

一般社団法人
京都私立病院協会

60周年記念誌



会 員 憲 章

- われわれは患者さま中心の医療を行います
- われわれは社会の発展と健康増進に貢献します
- われわれは環境に配慮した医療活動を行います
- われわれは法律を順守し適正な経営を継続します
- われわれは医療人としてのモラルの向上に努めます

病 院 綱 領

- われわれ病院人は、人々の平等と権利を尊重し、個人のプライバシーを保護します
- われわれ病院人は、人々の生命にかかわる者として、医療の安全に最善の努力を払います
- われわれ病院人は、常に教養を高め、質の良い医療を提供するために研鑽に励みます
- われわれ病院人は、医療サービスの安定的提供のため、健全な病院経営に努めます
- われわれ病院人は、地域の医療連携システムの要となって、人々の健康増進を図ります
- われわれ病院人は、社会活動の実践者として、地域づくりに貢献します



一般社団法人 京都私立病院協会

1. 協会組織のうごき	
京都私立病院協会 組織図	15
役員体制	16
総会	16
理事会	17
幹事会・役員会・政策委員会	17
会員のうごき	17
2. 会員相互の連携と組織強化	
表彰	19
事務長会	20
看護部長会	30
薬剤師部会	34
放射線技師部会	36
臨床検査部会	38
栄養士部会	40
臨床工学技士部会	42
リハビリテーション部会	43
部会連携	45
全体会議	46
創立記念式典	47
新春会員懇親会	47
創立60周年記念事業	48
3. 広報と情報提供の役割と重要性	
京都私立病院報	51
協会ホームページ	52
ファックス通信	52
4. 病院職員の確保対策	
医療従事者の養成	53
京都府医療勤務環境改善支援センター	54
医療労務管理支援事業	57
勤務医勤務環境改善体制整備事業	60
看護人材早期復職支援事業	62
京都市離職看護師能力再開発事業	68
これからの社会保障を考えるセミナー	68
医療従事者勤務環境改善体制整備事業	71
医療従事者確保強化事業	74
無料職業紹介メデイワークセンター事業	80
5. 他団体との連携・交流	
近畿病院団体連合会	82
近畿病院団体連合会事務長会	83
中央における病院団体	85
京都における医療・介護関係団体	85
京都私立病院協会関係団体	86
6. 行政・政党への対応	
行政への対応	87
政党への対応	91
7. 医療保険制度への対応	
医療保険をとりまく情勢	92
医療保険をめぐる日常活動	92
診療報酬委員会	93
8. 介護保険制度への対応	
介護保険をとりまく情勢	94
介護保険をめぐる日常活動	95
介護保険委員会	95
介護サービス第三者評価事業	98
京都市新規介護認定調査事業	99
9. 地域医療構想への取り組み	
地域医療構想をめぐる状況	100
京都府地域医療介護総合確保基金	101
地域医療構想検討委員会	102
10. 救急医療体制の確保と推進	
京都府における二次病院群輪番体制	103
京都府内の救急医療システム	104
救急医療をめぐる諸問題への対応	105
救急医療検討委員会	106
11. 感染症対策への対応	
感染症対策委員会	108
新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応	112
京都市新型コロナワクチン集団接種事業	114
京都府新型コロナ宿泊療養施設事業	115

12. 医療安全対策への対応	
医療安全対策委員会	116
医療事故調査制度	117
13. 京都式地域包括ケアシステムの推進	
在宅療養あんしん病院登録システム	119
府民リハビリテーション啓発支援事業	119
病院認知症対応力向上事業	123
病院地域包括ケアシステム強化事業	136
地域連携型在宅医療支援病院事業	144
14. 京都病院学会の開催	
京都病院学会	146
15. 教育・研修活動	
教育研修基礎コース	148
中堅幹部職員研修	149
看護卒後教育	149
看護中間管理者研修	149
看護リーダーシップ研修	152
准看護師研修	153
看護補助者研修	153
看護新人研修	155
看護過程研修（初級・応用編）	155
看護管理実践報告会（フォローアップ研修）	156
看護研究研修	156
保健医療管理者養成講座	157
医師臨床研修・専門医制度	159
16. 病院経営に関する取り組み	
民間病院に対する各種補助制度及び	
融資制度	160
京都府救急告示病院等運転資金融資制度	162
17. 病院管理に関する取り組み	
環境問題委員会	163
病院機能向上委員会	164
情報セキュリティ向上対策事業検討委員会	168
18. 税制問題への取り組み	
税制	171
19. 福利厚生活動	
京都府知事杯争奪病院対抗野球大会	173
京都府知事杯争奪	
病院対抗バレーボール大会	173
京都私立病院協会会長杯争奪	
病院対抗フットサル大会	174
京都私立病院協会会長杯争奪	
会員親睦ゴルフコンペ	174
20. 事務局体制	
事務局体制	176
●関係団体の事業	
京都保健衛生専門学校	178
京都府病院協同組合	180
京都府病院企業年金基金	182
（専）京都中央看護保健大学校	184
●年表	
（協会のあゆみ・医療界と社会の主なできごと）	186
●京都私立病院協会 役員の変遷と業務分担	190
●関連諸機関・団体への推薦／派遣委員	192
●各委員会委員名簿	198

創立60周年を迎えて

一般社団法人 京都私立病院協会 会長 清水 鴻一郎

令和6年10月16日、京都私立病院協会は創立60周年という記念すべき節目を迎えました。昭和39年10月、京都府下の44の私立病院が、その向上発展と社会福祉への貢献を期して発足して以来、現在143の会員施設で構成する団体へと成長いたしました。

この長きにわたる道のりは、決して平坦なものではありませんでした。高度経済成長期からバブル崩壊、そして少子高齢化社会の到来と、激動の時代の中で医療を取り巻く環境も大きく変化し、多くの課題に直面しました。しかし、歴代会長をはじめとする役員の皆様の卓越したリーダーシップと、会員各位の並々ならぬご尽力、そして関係各方面からの温かいご支援により、数々の困難を乗り越え、京都の地域医療を支える一翼を担うことができました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。



関係団体である京都保健衛生専門学校、(専)京都中央看護保健大学校の2つの養成校からは、多くの医療従事者が巣立ち、府内の医療現場で活躍しています。また、京都府病院協同組合、京都府病院企業年金基金も、それぞれ会員施設の経営基盤強化や福利厚生の実現に貢献しており、協会の活動を多角的に支える存在となっています。

創立55周年記念誌を発行して以降、60周年を迎えるまでの5年間も我々にとって苦難の連続でした。特にCOVID-19は、未知の感染症として2020年1月に京都府内で初確認後、感染拡大を繰り返して医療現場は混乱し、マスクなどの衛生材料の不足、患者・医療従事者の院内クラスタの発生等により、救急の受入れや通常医療も困難となる事態が起きました。しかし、そうした中でも、府民の安心・安全を守り抜くという会員施設の強い覚悟の下、各々が担う医療の維持に加え、コロナ患者の入院病床の確保、診療・検査体制の充実、コロナ回復後の入院受入等のバックアップ体制の確保に貢献いたしました。2021年6月からの京都市の新型コロナワクチンの集団接種では、京都市から当協会に、接種会場で従事する医師、薬剤師、看護師の派遣要請に対し、会員施設からの協力を得て派遣を行い、接種を希望する京都市民への円滑な接種に尽力いたしました。さらに、2021年9月からの京都府の新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設の運用開始では、京都府からの要請で、会員施設の看護師を24時間体制で派遣し、感染者の療養を支えました。

京都府の地域医療構想(京都府地域包括ケア構想)では、2025年の実現に向けて、高度急性期から慢性期医療まで幅広い病床機能、専門医療に対応できるよう地域の病院間の機能分化・連携を進め、診療所、介護・福祉サービスとも連携して、地域全体で医療を支えることができるよう各地域の会員施設が役割を果たし、当協会としても京都府全体の医療提供体制を確保すべく、病院医療の向上と医療を取りまく諸課題の解決に取り組んでまいりました。これらの実績と成果を創立60周年記念誌にまとめましたので、ご高覧いただければ幸いです。

これも偏に、様々な得意分野や機能を有する会員施設、会員施設の多職種が切磋琢磨して取り組んできた成果であり、また、最大の強み・誇りでもあります。60周年を機に、我々は改めてその原点に立ち返り、これまでの歩みを振り返るとともに、未来を見据えて、新たな決意を胸に刻みたいと存じます。次は、新たな地域医療構想、すなわち85歳以上の増加や人口減少がさらに進む2040年とその先も見据えて、入院のみならず、外来・在宅、介護との連携、人材確保等も含めたあるべき医療提供体制の実現のために、会員施設とともに真摯に向き合い、一層の努力を重ねていく所存です。

今後も当協会は、京都の医療の発展、府民の皆様の健康と福祉に貢献できるよう、全力で取り組んでまいります。皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

祝 辞

京都府知事 西脇 隆俊

一般社団法人京都私立病院協会が、創立60周年という記念すべき年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

京都私立病院協会の皆様におかれましては、昭和39年の創立以来、医療の質の向上と、医療サービスの安定的な提供に努められ、府民の皆様の健康福祉の増進に多大なる御貢献をいただいておりますことに厚く御礼申し上げますとともに、清水会長をはじめ歴代会長、会員及び関係者の皆様方の御尽力に対し、深く敬意を表します。

この5年間を振り返りますと、令和2年1月に新型コロナウイルス感染症の府内第1例目の感染者が確認されて以降、府内でも感染拡大の大きな波が繰り返し発生しました。貴協会には、臨床経験豊富な看護師を現場の指揮命令系統の核となる看護師長として派遣していただくなど、宿泊療養施設における環境整備や、ワクチン接種の体制整備などに御協力いただき、また、清水会長には、会議等において医学的な見地に基づく助言等をいただきました。昨年4月には通常の医療提供体制となり、また、令和6年の年間の訪日外客数は過去最高を記録するなど、ほぼコロナ以前の社会経済状況に戻ってまいりました。これもひとえに、医療現場の第一線で御奮闘いただきました皆様のおかげであり、改めて、御礼申し上げます。

また、令和6年度は創立60周年記念として、様々な事業を実施いただきましたが、その主要事業として、京都府で初めて「全日本病院学会」を開催いただきました。参加人数が4千人を超える大盛況であったとお聞きしており、参加者にとって実りの多い有意義な2日間であったと思います。この学会を通じて、京都府の医療水準が更に向上していくことを期待しております。

現在、我が国では少子高齢化・人口減少の進展や、生活習慣病の増加などの疾病構造の変化など、保健医療を取り巻く環境が著しく変化しています。このような状況の中、貴協会におかれましては、医療従事者の確保・育成のほか、地域包括ケアシステムの推進に向けた取組など、地域に根ざした医療・介護体制の充実のため、様々な取組を行っていただいているところです。また、昨年4月には、医師の働き方改革推進に伴う時間外労働の上限規制が施行されましたが、貴協会に運営を委託しております京都府医療勤務環境改善支援センターにおいても、医療従事者にとって働きやすい環境整備に御尽力いただいております、改めて感謝申し上げます。

現在、厚生労働省において、医療・介護の複合ニーズを抱える85歳以上の高齢者の増加や人口減少がさらに進む2040年を見据え、新たな地域医療構想に関する検討が進められているところです。

京都府におきましても、国の動向を注視しながら、今後とも、貴協会をはじめとする関係団体の皆様と連携し、地域における保健医療資源の充実と、持続可能な医療提供体制を構築するための施策を進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き皆様方の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに当たりまして、一般社団法人京都私立病院協会が、60年に及ぶ輝かしい歴史と伝統を礎に、今後ますます御発展されますことを心からお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



祝 辞

京都市長 松井 孝治

この度、一般社団法人京都私立病院協会が創立60周年の大きな節目を迎えられ、記念誌を発行されますことを、心からお慶び申し上げます。

創立60周年記念事業として開催された「第65回全日本病院学会 in 京都」では、全国各地から4,000名を超える医療関係者の皆様が京都に集い、医療の更なる充実に向けて研鑽を深められました。私も皆様の熱意を目の当たりにし、こうした弛まぬ努力が、日本の高度な医療を支えていることを、改めて実感する機会となりました。

市民の命と健康を守る地域医療の大切な担い手として、御尽力いただいている清水鴻一郎会長をはじめ、貴会の皆様に、改めて深く敬意と感謝を表します。

さて、創立から60年の間には、様々な困難にも直面してこられたことと存じます。3年以上にわたったコロナ禍においては、入院患者の受入れや新型コロナワクチン集団接種会場への職員派遣等に取り組み、前例のない感染症に、高い倫理観と使命感で立ち向かってくださいました。医療従事者の皆様の献身的な御尽力により、多くの市民の命と健康を守り抜くことができました。

また、本市の病院群輪番制事業では、貴会が中心となって、昼夜問わず救急患者を受け入れていただき、京都・乙訓医療圏の救急医療を支える大きな役割を果たしていただいています。

一方で、昨今の民間病院を取り巻く状況は、物価高騰や働き方改革、医療DXの推進、サイバーセキュリティ対策など様々な課題があります。人口減少や少子高齢化が一層進む中、医療の担い手の確保は喫緊の課題です。貴会では、離職看護師の円滑な職場復帰を目的とした「無料職業紹介メディワークセンター」の設置や各種研修、セミナーの開催など、医療現場で働く皆様へのサポート体制の充実にも力を入れておられ、大変心強い限りです。

今年2025年は、いわゆる団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となります。また、今後は団塊ジュニア世代が65歳を迎える2040年頃を見据え、85歳以上の高齢者の増加や現役世代の減少に伴う医療需要の変化に対応していくことが求められており、国において「新たな地域医療構想」に関する取りまとめが示されました。

京都市としましても、引き続き貴会をはじめ医療に関わる皆様、国、府とも連携を深めながら、市民の命と健康を守る医療の充実を図ってまいります。そして、「新京都戦略」に基づき、誰もが幸せを感じ、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できるウェルビーイングなまちの実現に取り組んでまいりますので、変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますの御発展と、貴会の皆様の更なる御活躍を祈念いたします。



祝 辞

一般社団法人 京都府医師会 会長 松井 道宣

この度は京都私立病院協会が創立60周年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、昭和39年の創立以来、京都府内の病院医療を担う団体として、地域の人びとの生命と健康を守るべく、良質で安心・安全な病院医療に資するための取組を行い、京都府内の地域医療の発展にご尽力されてこられました。名実共に京都の病院団体をリードする組織に発展してこられましたのは、協会のリーダーとして会務に携わってこられました清水鴻一郎会長を始めとする歴代の会長・役員の皆様、諸先生方、関係各位の献身的なご尽力、ご労苦の賜であり、深甚なる敬意を表する次第であります。



さて、本年は団塊の世代の方々が全て75歳となり、全人口の約18%が75歳以上の後期高齢者という超高齢化社会に突入しいわゆる「2025年問題」に直面しており、今後ますます医療の質とアクセスの確保が重要な課題となってまいります。この超高齢化社会において地域の人びとが安心して住み慣れた場所で生活をするためには、地域医療の一層の充実と地域包括ケアシステムの推進による次世代のための「まちづくり」が必要であり、医療関係者が一丸となって取り組んでいかなければなりません。国においては、新たな地域医療構想として2040年とその先を見据え、医療・介護の複合ニーズを抱える85歳以上人口の増大や現役世代の減少に伴う医療需要の変化に対応できるよう、病院のみならず、かかりつけ医機能や在宅医療、医療・介護連携、人材確保等を含めた地域の医療提供体制全体の地域医療構想として検討を始めております。

また、これから少子高齢化が進展し、支えられる世代に比べて支える世代が減少する社会において、労働人口の減少は大きな課題であり、加えて、昨今の急激な人件費の増加、物価高騰などもあいまって、医療機関の経営は非常に厳しい状況にあります。公定価格で運営される医療分野では、コスト増加分を価格に転嫁することができないことから、賃上げが続く他産業に人材が流出することが懸念されるなど課題が山積しております。

京都府医師会といたしましても、各課題に対して真摯に取り組む所存でありますので、より一層のご協力と緊密な連携をお願いする次第であります。

結びにあたりまして、60年におよぶ輝かしい歴史と伝統を礎として、一般社団法人京都私立病院協会の今後さらなる発展と、会員の皆様のみましますのご健勝とご多幸を心より祈念いたします。

祝 辞

一般社団法人 京都府病院協会 会長 若園 吉裕

一般社団法人京都私立病院協会創立60周年、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

2024年9月に行われた全日本病院学会in京都では、清水鴻一郎会長を中心に京都私立病院協会の皆様にはすばらしい企画で充実した学会を運営され、心より敬意を表します。また毎年京都病院学会では貴協会に事務局機能を担っていただき感謝申し上げます。

2024年に開始された医師の働き方改革では救急医療やへき地の医療に大きな影響が出現しないかと危惧されましたが、最終的には無事着地できたことは非常に喜ばしいことであり、貴協会が運営されている京都府医療勤務環境改善支援センターの活躍が京都府全体に貢献されたことにも感謝申し上げます。

2020年から昨年まではCOVID-19の影響が強くあり受診抑制が解けていない状況が続いていたと考えています。十分外来・入院患者さんが戻らない中で、2024年度診療報酬改定では物価高騰や光熱費の値上がりなどが反映されておらず人件費についても不十分で、必要な医療を提供し続けることで経営が苦しくなり、新たな投資ができにくい状況となりました。振り返りますと私が京都府病院協会の副会長に就任した2021年から2年間はCOVID-19関連の事項一色で、医療従事者に対する差別と感謝、クラスター発生時の医療提供の制限と解除の繰り返しなどさまざまなことを経験しました。会長に就任した2023年はCOVID-19の影響が少なくなることを期待しておりましたが、実際には患者さんの受診抑制は続き困難な状況は変わらずそれでも何とか対応してきました。その時点までは医業利益がマイナスでも国からの補助金があり、わずかでもプラスの経常利益を計上できる可能性がありましたが、2024年はCOVID-19に対する補助金もなくなり外来・入院患者さんが戻らない状況が続きそれに物価上昇や人件費上昇が追い打ちをかける状況となりました。もう一つの大きな問題は人手の減少・不足です。この対応策として外国人労働者の雇用やAIの強化がずいぶん以前より言われていますが、これらにも費用が掛かります。また医療には人でないといけない業務が多く含まれ、医師や看護師の代わりにできないことも多くあり、マンパワーも必須となる分野です。京都府病院協会の各病院でも地域の差はあるものの看護師不足が非常に顕著にみられるようになってきました。これについては医療者の矜持よりも多様性と合理性が強く主張される個人主義的方向へ社会が動いたことも原因となっているように感じておりますが、他の職業でも同じかもしれません。そのような状況の時こそ皆様一堂に会する機会が必要ではないかと思えます。COVID-19で人が集まることが少なくなった状況はコミュニケーションの不足を助長しがちです。ぜひ人と人が繋がる機会を増やすことができましたらありがたいと感じております。2016年私が理事に就任した頃は京都府病院協会と京都私立病院協会でも合同勉強会・懇親会が開催されていたことを思い出します。京都病院学会の理事会も始まっておりますので、是非また両協会の勉強会・懇親会を復活させていただき力を合わせて行政に提言などができましたらありがたいと感じております。

最後になりましたが、京都私立病院協会の会員の皆様方の今後のご健勝とご発展を心より祈念申し上げます。祝辞とさせていただきます。



京都府の医療を考える

出席者 西脇 隆俊氏（京都府知事）・松井 孝治氏（京都市長）
清水鴻一郎氏（京都私立病院協会会長・京都リハビリテーション病院理事長）

京都府内の143施設が加盟する一般社団法人京都私立病院協会は、2024年10月16日に創立60周年を迎えました。協会が京都府民・市民へ向けた医療をより良くするために取り組む活動について広く知っていただくため、西脇知事と松井市長を迎えて座談会が行われました。

（2025年2月・京都ブライトンホテル）

清水：まずは新型コロナウイルス感染症対策を振り返ります。京都府は2020年、いち早く「京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」を立ち上げ、対策や各病院の役割分担を協議し、医療資材が不足する中、京都市とともに多くの対応をしていただきました。京都私立病院協会（私病協）は府の療養施設となったホテルに看護師等を24時間体制で派遣、重症化予防のためのワクチン接種に奔走し、加盟病院に呼び掛けて入院病床の確保や診療・検査体制の充実にも努めました。

西脇：20年1月30日に府内初の感染者が出て以後、感染拡大の波が繰り返し発生しました。23年5月には5類に移行、24年4月からは医療提供体制が通常になり、観光客数もコロナ禍前の水準に戻ってきました。振り返ると、まずは何と言っても医療従事者の皆さまの多大なご尽力がありました。当初は防護服の着脱方法も分からない中、私病協をはじめとする医療関係者の協力があったからこそ、なんとか感染の波を乗り切ることができました。感染者が爆発的に増えた際の受け入れ態勢も迅速に拡充いただきました。もう一つは、行動制限やイベント自粛などで、府民の皆さまに、法律に規定のない要請に対しても理解をいただいたことが大きかったと受け止めています。ただ、新たな感染症は今後も発生する可能性があります。それに備えて府は昨年、私病協などの協力の下、感染症予防計画を改定しました。

松井：当時、私は東京で大学教員をしており、対策の前線にいたわけではありません。京都市は当初、



ウイルスの病原性に未知の点が多く開業医が動けない中、まずは保健所応援体制を強化するため、24時間体制の相談窓口を設置。官民各病院が対応に追われる中、「大学のまち」としての特性を生かし市内の看護系大学の賛同を得て、21年には保健所の業務を支援する京都市版IHEAT（アイヒート）が結成されるなど独自の対策を行ってきました。門川大作前市長は緊急時の司令塔は知事に一元化すべきとし、府市協調の下、オール京都で感染対策に取り組んだ



西脇 隆俊氏

オール京都で 感染症発生に備え

ことがコロナを抑え込めた要因でしょう。苦労を重ねた教訓を生かし、西脇知事が京都版CDC（京都感染症予防管理センター）（仮称）を提唱されたことには心から賛同いたします。

西脇：京都版CDCについては、新たな感染症が発生した際にゲノム解析などを京都で実施し、その結果を迅速に対策に役立てられる体制を構築したいということが第一です。京都企業の先進技術基盤や大学病院の力を結集して、オール京都で取り組んでいきたいと考えています。

清水：次のテーマは人材確保です。病院は24時間365日稼働しており「しんどい、きつい」イメージが強く、当協会では15年に京都府医療勤務環境改善支援センターを委託されたことを機に、医療機関での残業時間短縮のためのサポートやIT化の推進による業務の見直しなどを進めています。未就業の医療職資格者（潜在看護師・薬剤師等）すなわち出産などで仕事にブランクがある人がいつでも復帰しやすいよう、「看護職つながりネット」「きょうと薬剤師サポートネット」といった登録制度を整備し再就業に向けて支援を行っています。求職と求人との橋渡しをする「無料職業紹介メディワークセンター」も設置しています。一方、私病協は京都保健衛生専門学校と京都中央看護保健大学校を運営しています。大学進学志向が高まる中、看護師養成専門学校では、およそ8割以上が府内に就職しますが、大学の看護学部では5割以下というのが実情です。業務の一部を医師から看護師に、看護師から看護補助者（看護助手）に回すタスクシフトも、看護補助者の人手不足と思うほど進んではいません。「きらめく★看護補助者ネット」を立ち上げ、資格がなくても働くことができることをアピールし研修等を行っています。病院経営に貢献できる人材育成も大切で、当協会は1991年から保健医療管理者養成講座を実施しています。

西脇：京都府の医療施設で働く医師数は、人口10万人当たりで全国3位ですが、京都・乙訓以外の医療圏は全て全国平均以下で、特に丹後・南丹・山城南は医師少数区域に該当し、偏在している状況です。京都府立医科大は、府北部地域の勤務医師のキャリア形成も視野に、北部キャンパスを設けました。看護師については、丹後医療圏で半数以上が50歳以上

新たな地域医療構想へ 民間病院の役割は

と高齢化が進んでいますが、まずは小中学生を対象に看護師の仕事を知ってもらうため、北部地域で体験学習会を行ったところ一定の効果がありました。

清水：私病協でも創立55周年記念事業で、府内の中学校に医療従事者が訪問し、病院で働くことのやりがいを伝えました。その時に作成した、負傷したバスケットボール選手を支える病院の医療チームを紹介したドラマは中学生にインパクトを与えたようです。

松井：京都市の病院で働く医師数は人口10万人当たり政令指定都市では4番目、看護師は7番目です。早い段階で看護職に関する授業や体験学習をさらに増やし、看護の仕事の大切さややりがいを伝えていく必要があります。看護師等養成所運営補助や修学資金融資制度などで市も支援していくことが重要だと考えます。同時に、離職看護師復帰支援対策事業や潜在看護力再チャレンジ講座、あるいは京都市看護職能力向上・定着確保研修などにも注力していきます。

清水：京都府は国の施策と連動し、団塊の世代が75歳になる2025年を目標に地域包括ケア構想の取り組みを進めてきました。また全国に先駆け11年、在宅療養中の高齢者が体調不良時に早期に登録病院にアクセスできる「在宅療養あんしん病院登録システム」を開始され、当協会加盟病院を中心に登録病院数は

134にも上っています。在宅医療や介護ニーズが一段と高まる中、民間病院の役割もより重みを増すものと認識しています。

西脇：在宅療養あんしん病院登録システムの運用にあたっては、11年の京都地域包括ケア推進機構設置当初から私病協に協力をお願いしています。現状でも85歳以上の高齢者は増え続けており、登録者優先で入院調整が行われていますが、登録病院からは診療報酬に反映してほしいなどの要望も聞かれます。

松井：京都市では12カ所に「地域介護予防推進センター」を設置、私病協から16病院が参画する府の「地域リハビリテーション支援センター」と連携し、主体的な健康増進や介護予防に向けた取り組みを推進しています。加えて、市内61カ所の地域包括支援センターでは医療、介護、福祉各面から総合的に高齢者の支援を行っています。また近年は家族への支援も課題で、24年、本市ではいわゆる「ケアラー支援条例」を制定、家族の介護や世話を担うケアラーも自分らしく生きる社会を目指します。医療・介護従事者の連携については、市内8カ所に在宅医療・介護連携支援センターを設置、医療介護資源の把握や相談対応などを行っています。認知症の方への対応力の面では、私病協の力をお借りしながら、病院を訪問して多職種向け認知症対応力向上研修を実施しています。

西脇：やはり高齢者にとっては住み慣れた地域で暮らし続けることが重要で、そのためには、高齢者の受け皿となる地域の力がさらに必要になってきます。

清水：地域包括ケアには多様な職種の人が必要ですが、府内の中学校区を基本とする日常生活圏域で高齢の方々が安心して生活できるよう、専門職の集まる病院がその中心を担うぐらいの気概を持って今後でも取り組んでいきたいと考えています。

松井：地域コミュニティーの立て直しにも注力しなければなりません。

清水：私病協創立60周年記念事業の一環として、約2500の民間病院が参加する全日本病院協会（全日病）



清水鴻一郎氏

地域完結型医療へ
災害対応も

の第65回学会を24年9月、京都にて開催しました。テーマは「地域医療構想前夜～嵐の中の航海 羅針盤を求めて～」。高齢社会では病院・診療所が介護、福祉サービスと連携して「治し支える」地域完結型医療へシフトしつつあることを踏まえ、活発な議論が行われました。学会では災害時の対応も話題に上りました。実は、私は阪神・淡路大震災で初めて災害医療活動に従事しました。

西脇：発災直後72時間は命を救うことが最優先ですが、その後は避難所や仮設住宅への支援の在り方が重要になってきます。最近では医療に限らず、栄養士やリハビリなども含めた総合的なチームを派遣することが定着してきました。

松井：京都市では、私病協の医療・介護グループと災害時の包括協定を結びました。帰宅困難者が発生した場合、医療従事者を派遣し、傷病者の発生に備えて予防的な救護体制を構築します。今回の能登半島地震の教訓も生かして、学校体育館の空調整備に取り組んでいきます。避難に関しては、京都は観光客など人口プラスアルファの滞在者がいることも考慮して対応しなければいけません。神社・仏閣などとのさらなる連携も必要になってくるでしょう。

西脇：現在、政府は2040年に向け新たな地域医療構想の検討を進めており、国の検討を踏まえて京都府の地域医療構想を策定していきます。少子高齢化の

流れがますます加速する中、医療の需要と供給の両面を見極めていかなければなりません。そのためには私病協とのさらなる連携が必要です。

松井：人生100年時代においてQOL（生活の質）を保っていくには地域力の充実が欠かせません。府と同様、京都市も医療体制に困難を抱えている地域をどう支えるかが課題です。休日や夜間時間帯の災害発生にも配慮していく必要があるでしょう。今後も市は私病協とともに両輪となって健康長寿社会を支える所存です。



松井 孝治氏

府市で医療・介護の連携推進

清水：本日はありがとうございました。これからも、しっかりと役割を果たしてまいります。



1 協会組織のうごき

京都私立病院協会は、2024（令和6）年に創立60周年を迎えた。2024年度末現在で正会員は135施設、特別会員は8施設となっており、会員施設の病床数は一般病床13,898床、療養病床3,083床、精神科病床4,732床、結核病床6床、介護医療院2,503床となっている。

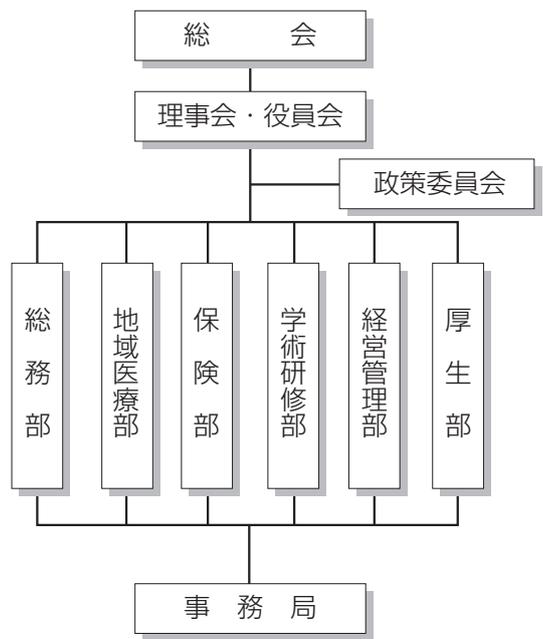
組織としては、2013（平成25）年4月1日に社団法人から一般社団法人へ移行し、その後行政庁に対して事業年度毎に公益目的支出計画の実施状況を報告してきたが、2024年3月31日をもってその公益目的支出計画を完了するに至った。

役員体制は、一般社団法人移行後より理事・幹事・監事の構成であったが、2023（令和5）年度より定款を変更し、理事・監事での構成に改められた。これに伴って、従来の「幹事会」も「役員会」へ名称変更となった。

令和2年度からの5年間においては、特に前半は新型コロナウイルス感染症の影響下で民間病院が直面している課題解決に向けた意見・提言・要望、後半は令和7年度以降の初期臨床研修定員数に関する緊急要望など、医療・介護に関連する事案に対する協会としての対応について幹事会・役員会にて協議した。そこで決定された方針をもとに、京都府・京都市、厚生労働省、医師会等に対して、積極的かつ継続的に働きかけを行ってきている。

（副会長 石丸庸介）

京都私立病院協会 組織図



総会・理事会・役員会のもとにある6つの部会に所属する組織として、以下の委員会・事業を有している。（2025（令和7）年3月31日現在）

〈総務部〉

理事長・院長会、事務長会、看護部長会、薬剤師部会、放射線技師部会、臨床検査部会、臨床工学技士部会、栄養士部会、リハビリテーション部会、全体会議、部会連携会議、メディアワークセンター事業運営委員会、新春会員懇親会、創立記念式典、情報システム、近畿病院団体連合会委員会、近畿病院団体連合会事務長会、四病院団体協議会

〈地域医療部〉

地域医療構想検討委員会、救急医療検討委員会、京都市域二次病院群輪番制、山城北二次病院群輪番制、医療安全対策委員会、医療事故調査制度、感染症対策委員会、在宅療養あんしん病院登録システム、府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会、医師臨床研修・専門医制度、看護人材早期復職支援事業検討委員会、きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム、京都市離職看護師能力再開発事業、病院認知症対応力向上事業検討委員会、京都府医療勤務環境改善支援センター、医療労務管理支援事業、医療従事者確保強化事業検討委員会、医療従事者キャリア向上事業、医療従事者勤務環境改善体制整備事業、病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員会、地域連携型在宅医療支援病院事業

〈保険部〉

診療報酬委員会、介護保険委員会、介護サービス第三者評価審査委員会 京都市新規要介護認定調査事業

〈学術研修部〉

京都病院学会理事会、京都病院学会実行委員会、看護卒後教育、幹部教育（中堅幹部職員研修）、初級教育（教育研修基礎コース）、保健医療管理者養成講座運営委員会

〈経営管理部〉

環境問題委員会、病院機能向上委員会、融資斡旋、税制・補助金、危機管理情報セキュリティ向上対策事業検討委員会（R4.4～）



第9回総会（2021年）



第12回総会（2024年）

〈厚生部〉

私病報編集委員会、野球大会実行委員会、バレーボール大会実行委員会、フットサル大会実行委員会、会員親睦ゴルフコンペ実行委員会

事の大槻稔司が顧問に就任し、2024（令和6）年3月末に近藤泰正（堀川病院）が監事を退任した。

役員体制

2020（令和2）年度は、清水鴻一郎（京都ハビリテーション病院）会長体制の4期目であり、2020（令和2）年度は副会長の岡田 純（脳神経リハビリ北大路病院）が退任した。

2021（令和3）年度、2022（令和4）年度は、清水鴻一郎会長の5期目に入り、2021（令和3）年度の役員改選で幹事のうち新しく真鍋由美（八幡中央病院）が副会長に就任した。理事は菅 知行（愛生会山科病院）が退任、幹事のうち清水 聡（京都南病院）、清水 聡（京都南西病院）、清水史記（シミズ病院）が就任した。新しく幹事に赤木 博（なごみの里病院）、菊地三弥（千春会病院）、児玉直俊（京都近衛リハビリテーション病院）が就任した。監事は高松晃司から津田政典に交代し、理事・幹事・監事合わせて25名の体制になった。その後、2021（令和3）年7月に理事の清水 聡が退任し、24名の体制で協会の運営に当たった。

2023（令和5）年度、2024（令和6）年度は、清水鴻一郎会長の6期目に入った。2023（令和5）年度の役員改選で、理事のうち近藤泰正（堀川病院）が監事に就任し、茨木孝二（亀岡病院）と幹事の菊地三弥が退任した。この第6期からは定款第29条に規定する役員を廃止し、役員を理事と監事とする定款の変更に伴い、幹事は全員理事に就任し、新しく理事に海藻 達（京都回生病院）、河端博也（河端病院）、清水幹久（脳神経リハビリ北大路病院）、矢野裕典（洛和会音羽病院）が就任した。また、監

総 会

総会は会員の総意に基づき、事業決算の承認、理事及び監事の選任等の重要事項を議決する最高議決機関である。（2013（平成25）年からの一般社団法人への移行後は、事業報告、事業計画・予算は報告事項となっている）

2020（令和2）年度以降2024（令和6）年度まで計5回の通常総会を開催した。

2023（令和5）年5月の一般社団法人京都私立病院協会第11回通常総会において、役員を廃止し、役員を理事と監事とする定款変更が可決された。

◆第8回通常総会 2020(令和2)年5月27日

ホテル日航プリンス京都
事業決算を審議し可決した。

事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。

◆第9回通常総会 2021(令和3)年5月26日

リーガロイヤルホテル京都
事業決算、第5期役員を選出、第5期会長及び副会長候補者の選出を審議し可決した。

事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。

◆第10回通常総会 2022(令和4)年5月25日

リーガロイヤルホテル京都
事業決算を審議し可決した。

事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。



役員会



役員会 (外部会場)

- ◆第11回通常総会 2023(令和5)年5月24日
ホテル日航プリンス京都
事業決算、第6期役員を選出、第6期会長及び副会長候補者の選出、定款変更を審議し可決した。
事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。
- ◆第12回通常総会 2024(令和6)年5月22日
THE THOUSAND KYOTO
事業決算を審議し可決した。
事業報告、公益目的支出計画実施報告、監査報告、事業計画・予算を報告した。

幹事会(役員会)では協会の各委員会等が提案する意見・報告、会務に関する事項を審議した。また、民間病院に関わる医療・介護制度の問題、京都府・京都市予算等への要望、その他関係する事案について協議し、厚生労働省、京都府・京都市等に対して積極的に意見・提言を行った。

- ◆第4期(55周年記念誌掲載以降)
第2回幹事会(2019(令和元)年6月19日)
～第42回幹事会(2021(令和3)年5月12日)
- ◆第5期 第1回幹事会(2021(令和3)年6月2日)
～第39回幹事会(2023(令和5)年5月10日)
- ◆第6期 第1回役員会(2023(令和5)年6月7日)
～第37回役員会(2025(令和7)年3月19日)

政策委員会は、幹事会(役員会)終了後を基本に開催し、幹事会(役員会)で一任された案件の審議や協会運営の重要案件について基本方針の検討などを行った。

理事会

理事会は、理事、監事で構成し、協会の定款に基づき、理事会の承認事項である法人の業務執行、事業報告及び決算、事業計画・予算、その他協会の重要案件を審議する際に開催した。

- ◆第4期(55周年記念誌掲載以降)
第2回理事会(2019(令和元)年11月20日)
～第9回理事会(2021(令和3)年5月13日)
※第9回は文書審議
- ◆第5期 第1回理事会(2021(令和3)年5月26日)
～第7回理事会(2023(令和5)年4月26日)
- ◆第6期 第1回理事会(2023(令和5)年5月24日)
～第6回理事会(2025(令和7)年3月19日)

幹事会・役員会・政策委員会

幹事会は理事、幹事、監事で構成し、原則、毎月第1、第3水曜日に定例開催している。第6期からは協会の定款変更に基づき、名称を役員会とした。

会員のうごき

2020(令和2)年度末(2021(令和3)年3月31日)より2024(令和6)年度末(2025(令和7)年3月31日)までの会員数および病床数の動きは以下の通りである。

		2020(令和2)年度末	2021(令和3)年度末	2022(令和4)年度末	2023(令和5)年度末	2024(令和6)年度末
会員数	会 員	133	133	135	135	135
	特別会員	10	10	9	8	8
	計	143	143	144	143	143
病床数	会 員	24,476	24,000	24,245	24,243	24,222
	特別会員	9	28	19	19	19
	計	24,485	24,028	24,264	24,262	24,241

2020（令和2）年度末（2021（令和3）年3月31日）より2024（令和6）年度末（2025（令和7）年3月31日）までの種別病床数の動きは以下の通りである。

		2020(令和 2)年度末	2021(令和 3)年度末	2022(令和 4)年度末	2023(令和 5)年度末	2024(令和 6)年度末
会 員	一 般	13,704	13,567	13,768	13,925	13,898
	療 養	3,364	3,254	3,245	3,087	3,083
	精 神	5,206	4,845	4,845	4,732	4,732
	結 核	12	12	12	12	6
	介 護 医 療 院	2,190	2,322	2,375	2,487	2,503
特 別 会 員	一 般	9	28	19	19	19
	計	24,485	24,028	24,264	24,262	24,241

2 会員相互の連携と組織強化

京都私立病院協会は、理事会・役員会を中心として、事務長会、看護部長会、薬剤師部会、放射線技師部会、臨床検査部会、栄養士部会、リハビリテーション部会、臨床工学技士部会の各部会が設置されている。これらの各部会では、職種ごとの情報共有ならびに課題解決に向けた会議実施の他、当該専門職のみならず広く他職種も対象とした研修会の企画・開催、施設見学会の実施、各施設で共通して使用可能な帳票マニュアルの発行・改定など、多岐にわたる積極的な活動を展開している。

また、各部会の連携強化を目的に、部会連携会議を設置している。この5年間は新型コロナウイルス感染症の影響があったため、その開催方法について随時模索しながら、可能な形での意見交換が行えるように努めてきたところである。

こうした会員相互の連携に資する取り組みを推進することで、当協会組織の強化に繋がるとともに、各会員施設の提供する医療・介護サービスの質の向上を通じて、京都府各地域にお住まいの方々の安心な暮らしを支える一助になるものと考えている。

なおこの間も、これまで同様に医療の分野で顕著な功績があったものに対する協会からの推薦は継続して行っており、多くの会員施設・関係者が表彰されている。

(副会長 石丸庸介)

表彰

国や地方自治体では、医療の分野で顕著な功績のあった者に対し表彰の場を設けているが、その表彰事業の被表彰者の選出にあたり当協会から推薦を行っている。この間、会員関係では以下の方々表彰された。(所属・職名は表彰日現在、当協会からの推薦者のみ掲載)

〈救急医療功労者・厚生労働大臣表彰〉

※京都府医師会、京都府病院協会との合同推薦

2021(令和3)年 富士原正人(医療法人福富士会
京都ルネス病院理事長・院長)

2024(令和6)年 河端博也(河端病院理事長)

〈公衆衛生事業功労者・厚生労働大臣表彰〉

2020(令和2)年 岡田 純(脳神経リハビリ北大
路病院理事長)

2021(令和3)年 石丸庸介(医療法人社団石鎚会
理事長)

2022(令和4)年 畑 典男(一般財団法人長岡記

念財団院長)

2024(令和6)年 上田陽彦(医療法人明生会賀茂
病院院長)

〈産科医療功労者・厚生労働大臣表彰〉

2022(令和4)年 川俣 潔(医療法人社団石鎚会
京都田辺中央病院産婦人科部長)

2024(令和6)年 佐川典正(医療法人社団洛和会
洛和会音羽病院総合女性医学健
康センター参与)

〈優良看護職職員・厚生労働大臣表彰〉

2022(令和4)年 矢田貴子(社会医療法人西陣健
康会堀川病院看護部長)

〈京都府救急医療功労者表彰〉

2020(令和2)年 相馬 靖(医療法人相馬病院理
事長)

京都武田病院

2021(令和3)年 菊地孝三(医療法人社団千春会
千春会病院理事長)

堀川病院



京都府保健医療功労者表彰

- 2022(令和4)年 近藤泰正 (社会医療法人西陣健康会堀川病院理事長)
宇治武田病院
- 2023(令和5)年 南 八王 (医療法人八仁会久御山南病院理事長・院長)
千春会病院
- 2024(令和6)年 津田永明 (医療法人社団蘇生会蘇生会総合病院理事長)
男山病院

〈京都府保健医療功労者表彰〉

- 2020(令和2)年 地域保健医療部門／川俣 潔
(医療法人石鎚会田辺中央病院産婦人科部長)
地域保健医療部門／新京都南病院
- 2021(令和3)年 地域保健医療部門／栗原仁美
(医療法人社団恵仁会なぎ辻病院院長)
地域保健医療部門／武田病院
- 2022(令和4)年 地域保健医療部門／久野成人(医療法人社団育生会京都久野病院理事長)
地域保健医療部門／京都ルネス病院
- 2023(令和5)年 地域保健医療部門／佐川典正
(医療法人社団洛和会洛和会音羽病院総合女性医学健康センター参与)
地域保健医療部門／京都八幡病院
- 2024(令和6)年 地域保健医療部門／中野博美
(医療法人啓信会京都きづ川病院理事長)
地域保健医療部門／京都リハビ

リテーション病院

〈京都府看護功労者表彰〉

- 2020(令和2)年 桐畑 宏子 (一般財団法人療道協会西山病院看護部長)
- 2021(令和3)年 植村ひかる (医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院看護部長)
- 2022(令和4)年 中澤美知子 (医療法人社団恵仁会なぎ辻病院看護部長)
- 2023(令和5)年 春日かほる (医療法人社団石鎚会京都田辺中央病院看護部長)
- 2024(令和6)年 小河陽子 (医療法人啓信会京都きづ川病院看護部長)

〈公衆衛生事業功労者・一般財団法人日本公衆衛生協会会長表彰〉

- 2020(令和2)年 澤田親男 (医療法人三幸会北山病院院長)
- 2021(令和3)年 西村伊三男 (一般財団法人川越病院副院長)
- 2022(令和4)年 土井章一 (社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院元化学療法部部长)
- 2023(令和5)年 武田敏也 (医療法人社団恵心会京都武田病院理事長・病院長)
- 2024(令和6)年 真鍋由美 (医療法人医聖会八幡中央病院理事長・院長)

 事務長会

事務長会では常任委員会を中心に、事務長会独自の事業展開はもとより、役員会の方針に基づいた各種事業に積極的に参画し、また協会の各部会・委員



事務長会総会



事務長会総会研修会

会からの要請事項にも対応するなど活発に活動を行っている。

病院医療を取り巻く状況が厳しさを増すなか、事務長会では医療情勢の動向把握とそのための情報収集に努めるとともに、会員が直面する諸問題を事務的側面から捉え、その解決に尽力してきた。さらに、私病協の各委員会への事務長会代表委員派遣を通して各種事業に参画し、協会の基本方針に対し全面的な協力体制をとっている。

常任委員会では3つの部会を構成し、教育・研修部会、総務・企画部会、調査・研究部会の専門能力を活かしながら、有機的な連携のもと数多くの事業を企画・実施している。

2024(令和6)年度は、京都が近畿2府4県の病院団体によって組織される近畿病院団体連合会事務長会の主催となり、第1回目は共通の事前アンケートを実施し、「令和6年度診療報酬改定について」、「病院事務職員の採用について」意見交換を行った。第2回目は「病棟再編について」「最低賃金と非常勤職員の賃金バランス、人材確保策について」意見交換を行った。

激動の医療情勢のもと、病院経営の安定化と効率化をめざす事務長会の取り組みは、多岐にわたっている。

5年間の主な事務長会活動を以下に記す。

◆歴代常任委員長

茨木孝二 2020(令和2)年6月～2023(令和5)年5月(亀岡病院)

仲田昌司 2023(令和5)年6月～現在(三菱京都病院)

◆事務長会総会(毎年5月に開催し、前年度の事業

報告と次年度の事業方針、役員の選出などを決定しているほか、研修会を行っている。研修テーマについては後述)

2020(令和2)年 5月8日

ホテル日航プリンセス京都

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2021(令和3)年 5月14日

京都私立病院協会会議室(Web併用)

2022(令和4)年 5月13日

京都私立病院協会会議室(Web併用)

2023(令和5)年 5月12日

ホテル日航プリンセス京都

2024(令和6)年 5月10日

京都ホテルオークラ

◆事務長会全体会議(毎年12月に開催し、上半期の事業報告と経営管理講演会を行っている。講演会テーマについては後述)

2020(令和2)年 12月11日

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2021(令和3)年

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2022(令和4)年

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2023(令和5)年 12月8日

京都ブライトンホテル

2024(令和6)年 12月13日

ホテルモントレ京都

◆研修会・拡大常任委員会

2020(令和2)年度

・5月8日 ホテル日航プリンセス京都(総会



事務職基礎研修会

研修会)

「ジャパンリレーチームが世界を競えるようになった理由」

講師／朝原宣治（大阪ガス株式会社地域共創部門 近畿圏部地域活力創造チームマネージャー）

*新型コロナウイルス感染症の影響により中止

- ・ 9月17日 メルパルク京都（Web併用）（事務長会研修会）

「コロナに負けない免疫力をつけるための栄養と運動」

講師／森谷敏夫（京都大学名誉教授、京都産業大学・中京大学客員教授、（株）運動医科学研究所所長）

「地域医療構想について」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

- ・ 1月26日 京都私立病院協会会議室（Web併用）（事務長会研修会）

「最高裁判決を踏まえた同一労働同一賃金の実務対策」

講師／岸川 守（関西ステート経営労務事務所代表・特定社会保険労務士）

「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

- ・ 2月20日 メルパルク京都（Web併用）（事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナー・Part 5・京都府慢性期医療協会合同開催）

「令和3年度介護報酬改定について」

講師／眞鍋 馨（厚生労働省老健局老人保健課長）

- ・ 事務職基礎研修会（1日目～4日目）

11月8日・15日・22日・29日

第1章 医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護

講師／勝元伸二（岸和田徳洲会病院診療情報管理室課長）

第2章 診療支援業務と配置部署における診療の流れ

講師／阿南 誠（川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療情報学科教授）

第3章 医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）

講師／井關博喜（洛和会ヘルスケアシステム本部医療情報部次長）

第4章 保険診療概要

講師／仲田昌司（三菱京都病院事務長）

第5章 医師法、医療法、薬事法、健康保険法等の関連法規の概要

講師／藪本恭明（大阪国際総合法律事務所 弁護士・医師）

第6章 医学一般

講師／石丸庸介（京都田辺中央病院理事長）

第6章 感染対策

講師／清水 聡（京都南病院理事長）

第7章 医療安全

講師／南川哲寛（京都岡本記念病院副院長）

第8章 薬剤の基礎知識（処方箋の知識）

講師／浅野育子（京都民医連あすかい病院 薬剤課）

第9章 検査一般の知識（臨床検査部門）

講師／増田信弥（京都民医連中央病院検査技術課課長）

第9章 検査一般の知識（放射線部門）



事務長会研修会

講師／茶谷和真（京都田辺中央病院放射線
科科長）

第10章 診断書・証明書等の実務

講師／中山和則（筑波メディカルセンター
病院副院長・事務部長）

2021(令和3)年度

- ・ 5月14日 京都私立病院協会会議室（総会研
修会）

「事務長向け感染対策について」

講師／清水 聡（新京都南病院理事長・院長）

「地域医療構想の最近の動向について」（事務
局）

- ・ 2月26日 京都私立病院協会会議室（Web
併用）

（事務長会研修会・これからの社会保障を考
えるセミナー・Part 3 合同開催）

「令和4年度診療報酬改定について」

講師／井内 努（厚生労働省保険局医療課長）

- ・ 3月11日 Web（事務長会研修会）

「改正育児休業法の内容と実務対策について」

講師／岸川 守（関西ステート経営労務事務
所代表・特定社会保険労務士）

「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）
についてーオール京都体制による地域包括ケ
アシステムの構築ー」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

2022(令和4)年度

- ・ 2月14日 京都私立病院協会会議室（Web
併用）（事務長会研修会）

「次世代事務長に必要な資質とその育成方法」

講師／斐 英洙（ハイズ株式会社代表／慶應
義塾大学大学院特任教授）

2023(令和5)年度

- ・ 6月16日 京都私立病院協会会議室（Web
併用）（事務長会研修会）

「インボイス制度について」

講師／岡 吉弘（岡吉弘税理士事務所税理士）

「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）
ー京都府の人口・患者動態からー」（事務局）

- ・ 11月27日 京都私立病院協会会議室（Web
併用）（事務長会研修会）

「コスト適正化に向けた取り組みについて～
電気料金等 諸経費削減対策～」

講師／木村圭太（ヘルスケア・ディレクショ
ンズ合同会社代表社員）

「地域医療構想と医療DX」（事務局）

- ・ 12月8日 京都ブライトンホテル（全体会議
経営管理講演）

「現場の中の困った人たちへの対応～事務長
の果たすべき役割～」

講師／河北 隆（hrms-jp 人事労務マネジ
メント研究会代表・特定社会保険労務士）

「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）
についてーオール京都体制による地域包括ケ
アシステムの構築ー」

講師／松尾治樹（京都府健康福祉部医療課参事）

2024(令和6)年度

- ・ 4月26日 からすま京都ホテル（事務長会研
修会・これからの社会保障を考
えるセミナー・Part 1 合同開催）

「令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定説
明会」

講師／眞鍋 馨（厚生労働省保険局医療課長）

古元 重和（厚生労働省老健局老人保



全体会議経営管理講演

健課長)

- ・ 5月10日 京都ホテルオークラ (総会研修会)
「Noと言わないサービスの実践—ホテル業界で培われたサービスのプロから学ぶホスピタリティとは—」
講師／服部 崇 (城西国際大学観光学部観光学科教授)
「京都府地域包括ケア構想について」
講師／吉田光宏 (京都府健康福祉部医療課参事)
「特殊詐欺の現状及びご協力依頼」
講師／政 聖治 (京都府警察本部特殊詐欺対策室室長補佐)
- ・ 6月16日 京都私立病院協会会議室 (Web併用) (事務長会研修会)
「業務効率化～ChatGPTの基礎と活用方法について～」
講師／足立明穂 (オフィス ビット・ブレイク)
「地域医療構想と医療DX」 (事務局)
- ・ 12月13日 ホテルモンテレ京都 (全体会議経営管理講演)
『観光業のよーじやが取り組む「脱・観光依存」～京都に愛されなくなった企業の道半ばの挑戦～』
講師／國枝 昂 (よーじやグループ代表取締役)
「京都府地域包括ケア構想について」
講師／吉田光宏 (京都府健康福祉部医療課参事)
- ・ 1月23日 京都私立病院協会会議室 (Web併用) (事務長会研修会)
「病院建設のコスト管理とブランディング力向上のポイント」
講師／後藤茂信 (株式会社MiC代表取締役)
「地域医療構想について」 (事務局)

◆他府県病院協会事務長会との交流 (近畿病院団体連合会の頁に詳記)

1) 近畿病院団体連合会との交流

- ・ 2020(令和2)年度
主務／兵庫県民間病院協会
第1回 9月11日
*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
第2回 3月5日 京都私立病院協会会議室 (Web参加)

・ 2021(令和3)年度

- 主務／和歌山県病院協会
第1回 11月26日 ダイワロイネットホテル和歌山
*例年2回開催のところ、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、1回の開催となった。

・ 2022(令和4)年度 主務／奈良県病院協会

- 第1回 9月30日 Web
第2回 3月9日 Web

・ 2023(令和5)年度 主務／滋賀県病院協会

- 第1回 10月20日 琵琶湖ホテル
第2回 3月6日 琵琶湖ホテル

・ 2024(令和6)年度 主務／京都私立病院協会

- 第1回 7月30日 都ホテル京都八条
第2回 3月6日 グランヴィア京都

◆外部研修

先進的な病院運営や取り組みを実施している医療機関の見学を通しての研修と、会員事務長間の親睦を図ることを目的に実施している。

2020(令和2)年

- *新型コロナウイルス感染症の影響により開催



事務長会外部研修会

中止

2021(令和3)年

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催

中止

2022(令和4)年

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催

中止

2023(令和5)年 11月2日

社会医療法人誠光会淡海医療センター (滋賀県草津市)

2024(令和6)年 10月11日

社会医療法人協和会加納総合病院 (大阪府大阪市)

テーマ:「これからの民間病院のあり方について」

講師: 加納繁照 (社会医療法人協和会理事長・一般社団法人大阪府私立病院協会会長)

◆教育・研修部会の主な活動

・2020(令和2)年

- 1) 事務長会研修会「コロナに負けない免疫力をつけるための栄養と運動」
- 2) 事務長会研修会「最高裁判例からみた同一労働同一賃金の対応策」
- 3) 事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナー・Part 5・京都府慢性期医療協会合同開催「令和3年度介護報酬改定について」
- 4) 会員施設の事務長が日常業務の中で抱えている問題の解決に資するテーマや病院事務職員向けのタイムリーな内容をテーマとした研修会の企画・検討を行った。

・2021(令和3)年

- 1) 事務長研修会「改正育児休業法の内容と実務対策について」
- 2) 事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナー・Part 3 合同開催「令和4年度診療報酬改定について」
- 3) 会員施設の事務長が日常業務の中で抱えている問題の解決に資するテーマや病院事務職員向けのタイムリーな内容をテーマとした研修会の企画・検討を行った。

・2022(令和4)年

- 1) 事務長研修会「次世代事務長に必要な資質とその育成方法」
- 2) 会員施設の事務長が日常業務の中で抱えている問題の解決に資するテーマや病院事務職員向けのタイムリーな内容をテーマとした研修会の企画・検討を行った。

・2023(令和5)年

- 1) 事務長会研修会「インボイス制度について」
- 2) 事務長会研修会「コスト適正化に向けた取り組みについて～電気料金等諸経費削減対策～」
- 3) 会員施設の事務長が日常業務の中で抱えている問題の解決に資するテーマや病院事務職員向けのタイムリーな内容をテーマとした研修会の企画・検討を行った。

・2024(令和6)年

- 1) 事務長会研修会・これからの社会保障を考えるセミナー・Part 1 合同開催「令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定説明会」
- 2) 事務長会研修会「業務効率化～ChatGPTの基礎と活用方法について～」



近畿病院団体連合会事務長会

- 3) 事務長会研修会「病院建設のコスト管理とブランディング力向上のポイント」
- 4) 会員施設の事務長が日常業務の中で抱えている問題の解決に資するテーマや病院事務職員向けのタイムリーな内容をテーマとした研修会の企画・検討を行った。

◆総務・企画部会の主な活動

・2020(令和2)年

- 1) 事務長会総会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。
- 2) 日常業務等に関わる各種調査を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。
 - ・ 今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について
 - ・ 新型コロナウイルス感染症支援金について
 - ・ 冬期賞与の支給状況について
- 3) 教育・研修部会、調査・研究部会に対し、必要に応じて意見提言する等のサポートに努めた。

・2021(令和3)年

- 1) 事務長会総会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。
- 2) 日常業務等に関わる各種調査を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。
 - ・ 今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について
 - ・ 冬期賞与の支給状況について
- 3) 教育・研修部会、調査・研究部会に対し、必要に応じて意見提言する等のサポートに努めた。

・2022(令和4)年

- 1) 事務長会総会、事務長会全体会議・年末懇親会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。
- 2) 事務長会研修旅行の見学先及び行程について検討を行った。
- 3) 日常業務等に関わる各種調査を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。
 - ・ 今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について
 - ・ 入院時食事療養費について
 - ・ 看護職員処遇改善手当について
 - ・ 冬期賞与の支給状況について
- 4) 教育・研修部会、調査・研究部会に対し、必要に応じて意見提言する等のサポートに努めた。

・2023(令和5)年

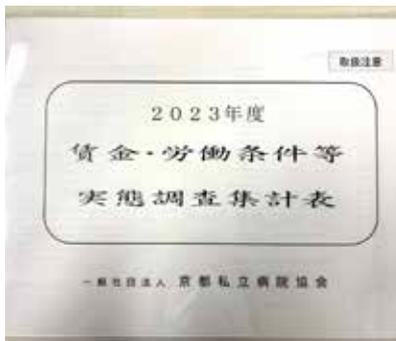
- 1) 事務長会総会、事務長会全体会議・年末懇親会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。
- 2) 事務長会外部研修の見学先及び行程について検討を行った。
- 3) 日常業務等に関わる各種調査を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。
 - ・ 今春の賃金改定及び夏期賞与の支給状況について
 - ・ 冬期賞与の支給状況について
- 4) 教育・研修部会、調査・研究部会に対し、必要に応じて意見提言する等のサポートに努めた。

・2024(令和6)年

- 1) 事務長会総会、事務長会全体会議・年末懇



経営分析調査結果



賃金労働条件等実態調査集計表



診療報酬請求事務能力向上勉強会

- 親会の講師・テーマ及び運営全般について企画・検討を行った。
- 2) 事務長会外部研修の見学先及び行程について検討を行った。
- 3) 日常業務等に関わる各種調査を実施し、会員施設に必要な情報提供を行った。
 - ・ 今春の賃金改定（2回）及び夏期賞与の支給状況について
 - ・ 職員に対する健康診断の実施内容について
- 4) 教育・研修部会、調査・研究部会に対し、必要に応じて意見提言する等のサポートに努めた。

- ・ 2023(令和5)年
 - 1) 令和4年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 2023年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計
- ・ 2024(令和6)年
 - 1) 令和5年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 2024年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計
 - 3) 2024年度賃金実在者全数調査の実施とその集計

◆調査・研究部会の主な活動

- ・ 2020(令和2)年
 - 1) 令和元年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 2020年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計
- ・ 2021(令和3)年
 - 1) 令和2年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 2021年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計
 - 3) 2021年度賃金実在者全数調査の実施とその集計
- ・ 2022(令和4)年
 - 1) 令和3年度分経営分析調査の実施とその集計。集計結果には解説を添付した。
 - 2) 2022年度賃金労働条件等実態調査の実施とその集計

◆医事業務研修会プロジェクトチーム

本プロジェクトチームは、診療報酬請求事務担当職員向けの「医事業務研修会」の企画・検討を行っている。これまで一泊二日の多様なカリキュラムからなる「医事業務研修会」を開催してきたが、2020(令和2)年は新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、同研修会のカリキュラムの一つであった、手書きレセプト作成の演習が中心の「診療報酬請求事務能力向上勉強会」のみを開催し、それ以降は同様の形式で継続開催している。

少人数制のため、講師の手厚いサポートを受けることができ、実践的な内容となっている。入院、外来、初心者の3クラスに分かれ、全日程、京都私立病院協会会議室で開催している。

2020(令和2)年

- (入院クラス) 10月16日
- (外来クラス) 10月22日・10月29日
- (初心者クラス) 10月19日



事務職のためのマネジメント研修（オンライン）

2021(令和3)年

- (入院クラス) 10月22日・11月18日
- (外来クラス) 10月14日・10月29日
- (初心者クラス) 10月15日・10月29日・11月22日

2022(令和4)年

- (入院クラス) 10月17日・10月24日
- (外来クラス) 9月26日・10月31日
- (初心者クラス) 10月21日・10月25日・11月17日

2023(令和5)年

- (入院クラス) 9月15日・10月24日
- (外来クラス) 9月19日・10月17日
- (初心者クラス) 9月25日・10月12日・10月23日

2024(令和6)年

- (入院クラス) 10月17日・11月21日
- (外来クラス) 9月24日・10月25日
- (初心者クラス) 9月20日・10月18日・10月29日

◆事務職のためのマネジメント研修プロジェクトチーム

経営に貢献できる能力を身に付けることを目的に、中堅幹部職員対象の1泊2日の「中堅幹部職員研修会」を2年に1回開催してきたが、開催年であった2020年(令和2年)は新型コロナウイルスの影響により中止となり、それに代わる研修会として、2021(令和3)年度より、病院事務職のエキスパートとして活躍するために必要な基礎知識や、組織の一員としてのあり方を学ぶとともに、講義や情報交換を通して、病院組織の活性化を図るためのヒントを得ていただくこと等を目的に、「事務職のためのマネジメント研修」を開催している。2022(令和4)年度に「事務職のためのマネジメント研修プロジェクトチーム」が発足し、同チームで研修の企画・運営

を行っている。

2020(令和2)年度

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催はなし。

2021(令和3)年度

- ・3月14日 Web
「事務職としての他部門との関わり方・事務長会の紹介」
講師/茨木孝二(亀岡病院理事)
「『組織』をどのように考えるか」
講師/松原為人(京都民医連中央病院院長)
- ・3月17日 Web
「メンタルヘルス・アンガーマネジメントについて」
講師/林たみこ(洛和会音羽病院臨床心理室 主席課長)

2022(令和4)年度

- ・3月14日 Web
「事務職としての他部門との関わり方・事務長会の紹介」
講師/茨木孝二(亀岡病院理事)
「『組織』をどのように考えるか」
講師/松原為人(京都民医連中央病院院長)
- ・3月16日 Web
「アンガーマネジメント～心身のリフレッシュのために」
講師/林たみこ(洛和会音羽病院臨床心理室 主席課長)

2023(令和5)年度

- ・12月19日 Web
「事務職としての他部門との関わり方・事務長会の紹介」



地区別事務長会

講師／仲田昌司（三菱京都病院事務長）

「『組織』をどのように考えるか」

講師／松原為人（京都民医連中央病院院長）

・12月22日 Web

「アンガーマネジメント～心身のリフレッシュのために」

講師／林たみこ（洛和会ヘルスケアシステム健康経営推進室内 洛和会メンタルサポート室 臨床心理室主席課長）

2024(令和6)年度

・3月17日 Web

「事務職としての他部門との関わり方・事務長会の紹介」

講師／仲田昌司（三菱京都病院事務長）

「組織をどのように考えるか」

講師／服部 崇（城西国際大学観光学部観光学科教授）

・3月18日 Web

「部下のメンタルケアと自分のアンガーマネジメント」

講師／林たみこ（洛和会ヘルスケアシステム健康経営推進室内 洛和会メンタルサポート室臨床心理室主席課長）

◆地区活動

◆南部地区事務長会の活動

宇治・城陽・八幡・京田辺・久御山・精華地区の会員を対象とする南部地区事務長会が地域固有の話題をはじめ、病院経営に関わる様々な問題について協議・情報交換を行った。

・2020(令和2)年 6月

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催

中止

2020(令和2)年 10月13日 Web

・2021(令和3)年 6月30日 Web

2021(令和3)年 11月19日 Web

・2022(令和4)年 6月30日 Web

2022(令和4)年 12月13日 宇治市産業会館

・2023(令和5)年 6月28日 宇治市産業会館

2023(令和5)年 11月22日 宇治市産業会館

・2024(令和6)年 6月26日 宇治徳洲会病院

2024(令和6)年 11月27日 宇治徳洲会病院

◆北部地区事務長会の活動

中丹、丹後地区の会員を対象とする北部地区事務長会が、経営管理に関する情報交換や北部地区固有の問題について協議・情報交換を行った。

・2020(令和2)年 10月2日

ホテルロイヤルヒル福知山

2021(令和3)年 2月5日 Web

・2021(令和3)年 10月29日 Web

2022(令和4)年 2月4日 Web

・2022(令和4)年 10月21日

ホテルロイヤルヒル福知山

2023(令和5)年 3月17日 天橋立ホテル

・2023(令和5)年 10月6日

市民交流プラザふくちやま

2024(令和6)年 2月16日 天橋立ホテル

・2024(令和6)年 10月25日

ホテルロイヤルヒル福知山

2025(令和7)年 2月7日 天橋立ホテル

◆京都・乙郡・南丹地域

2022(令和4)年度より、南部・北部地区以外の府内会員施設を対象に事務長会を4ブロックに分けて開催し、各々の地域の課題について協議・意



看護部長会総会



看護部長会総会（Web併用）

見交換を行うとともに施設間連携強化を図った。

◆北区・上京区・左京区ブロック

- 2023(令和5)年 3月7日 堀川病院
- 2024(令和6)年 3月15日 いわくら病院
- 2025(令和7)年 3月21日
クリニックほりかわ

◆中京区・下京区・南区ブロック

- 2022(令和4)年 10月25日 喜美商事ビル
- 2024(令和6)年 3月19日
京都私立病院協会会議室
- 2025(令和7)年 3月18日
京都私立病院協会会議室

◆山科区・東山区・伏見区ブロック

- 2022(令和4)年 10月25日 喜美商事ビル
- 2024(令和6)年 2月20日
洛和会音羽病院アイセンター
- 2025(令和7)年 3月11日
京都リハビリテーション病院

◆右京区・西京区・向日市・長岡京市・亀岡市・南丹市・船井郡ブロック

- 2022(令和4)年 11月25日 三菱京都病院
- 2023(令和5)年 12月15日 三菱京都病院
- 2024(令和6)年 12月20日
京都民医連中央病院

らはオンラインにて開催し、その後もオンライン併用で約2か月に1回の定例会を開催した。

オンライン併用となっても各委員会および研修会、関連事業所からの報告と日常業務などの疑問に即対応できるよう情報交換を行い、毎回平均60名前後の参加を得ている。また定例会後に実施する相互研修では、議題に基づいての全体情報交換やグループ討議、各方面から講師を招いての講義と様々な形式を取り入れて実施している。

◆総会

看護部長会の総会は毎年5月に開催し、前年度の事業報告と次年度の事業方針、役員・委員の選出などを決定している。

- 2020(令和2)年度
※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
- 2021(令和3)年度
※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止
- 2022(令和4)年度
5月27日（Web併用）京染会館
- 2023(令和5)年度
5月23日 ホテルオークラ京都
- 2024(令和6)年度
5月24日 ホテル日航プリンセス京都

◆相互研修

- 2020(令和2)年度
9月「COVID-19対応」（3施設より報告）
1月「次年度新卒看護師受け入れへの準備…コロナ禍の看護学生の実習等現状」（情報

看護部長会

当部会では会員病院の看護管理者であれば誰でも参加できるオープン参加形式をとり原則、毎月1回定例会を開催していたが、2020（令和2）年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、研修状況等を「看護部長会通信」として文書にて発信、9月か



相互研修 (Web併用)

提供)

提供/石束佳子 (京都中央看護保健大学校副
校長)

3月「看護部長のナラティブ」(事例発表)

発表者/石束佳子

後藤幸代 (宇治武田病院看護部長)

植村ひかる (京都田辺中央病院看護
部長)

門 真由美 (京都回生病院看護部長)

2021(令和3)年度

7月「第5次指定規則改正～新カリキュラムで
変わる～」(講演)

講師/池西静江 (Office Kyo-Shien 代表)

9月「看護部長の元気の源…めざせZoomの達
人」

内容/Zoom ミーティングによるグルー
プワーク

解説/京都私立病院協会事務局

11月「医療情勢と看護管理」(講演)

講師/大島敏子 (NPO 法人看護職キャリア
サポートフリージア・ナースの会会長)

1月「コロナ禍における訪問看護の現場から」(講演)

講師/白井美絵 (アドナース洛西訪問看護所
長)

小野裕美 (アドナース洛西訪問看護
看護部統括)

橘 文子 (訪問看護ステーションはく
あい所長)

3月「看護部長のナラティブ」(事例発表)

発表者/大塚安子 (加藤山科病院)

南田喜久美 (京都九条病院)

加藤泰子 (京都南西病院)

齋藤文代 (宇治徳洲会病院)

2022(令和4)年度

4月「2022年度改定と看護部への影響」(講演)

講師/濱中洋平 (株式会社日本経営NKアカ
デミー事業統括マネージャー)

7月「令和4年度診療報酬改定を受けての取り
組み」(事例発表)

事例/①「感染対策向上加算1について」

②「看護補助体制充実加算取得のため
の職員への院内研修について」

講師/①谷口文代 (京都桂病院看護部長)

②田中雅子 (川越病院看護部長)

9月「看護と法律～管理者として知っておき
たい法的知識」(講演)

講師/友納理緒 (弁護士・看護師)

11月 看護管理者リフレッシュ研修を相互研修
として開催

3月「看護部長のナラティブ」(事例発表)

発表者/衣川あおい (綾部ルネス病院看護部長)

永野裕子 (吉川病院看護部長)

永島直俊 (丹後中央病院看護部長)

2023(令和5)年度

7月「特定行為研修修了者の活用について」(講演)

講師/木村理香 (京都田辺中央病院看護副部長)

吉田幸子 (医療法人社団石鏡会訪問
看護ステーションやすらぎ所長)

宝関芽衣 (京都田辺中央病院看護部長)

9月「令和5年度 適時調査を受けて」(事例
発表)

11月「ITを利用した看護業務の改善・効率化
への取り組み」(講演)

講師/嶋 雅範 (三菱京都病院看護部長)

北川きよみ (宇治徳洲会病院看護部長)



定例会



定例会 (Web併用)

3月「看護部長のナラティブ」(事例発表)

発表者／矢田貴子(堀川病院)

岩田和子(京都ルネス病院)

中澤美知子(なぎ辻病院)

2024(令和5)年度

4月「看護部として考えるべき2024年診療報酬改定対応」(講演)

講師／濱中洋平(株式会社日本経営アカデミー共創事業部事業責任者)

6月「在宅看護連携に必要な看護管理部の支援」(講演)

講師／青木菜穂子(トータルライフケアプロモーション代表)

7月「看護組織における心理安全性と多様性を考える」(講演)

講師／辰巳陽一(近畿大学病院安全管理センター医療安全対策部部長)

11月 看護管理者リフレッシュ研修を相互研修として開催

12月「適時調査について」(事例発表)

3月「看護部長のナラティブ」(事例発表)

発表者／岩田裕花(伏見岡本病院)

田中悦子(向日回生病院)

細越万里子(がくさい病院)

◆総務委員会

看護部長会運営の全般企画、調整を行い部会長と副部会長などで構成されている。主な活動としては定例会での相互研修の企画・運営を行い、事例発表、講演会など研修形式についても検討している。2020(令和2)年度は特にコロナ禍での活動について検討し、最終決定を行った。その他、2015(平成27)

年度から開催している看護補助者の確保を目的とし、一般市民を対象とした「看護補助者説明会」の企画運営(※2018(平成30)年度より医療従事者確保強化事業の看護補助者確保推進事業として実施)を引き続き行い、さらに令和4度からは新たに京都府生涯現役クリエイティブセンターリカレント研修の「医療人材(看護補助者)育成コース」の企画・運営を担当し、看護師の資質向上だけでなく、看護補助者の人材確保にも尽力している。また、コロナ禍で疲弊した看護管理者にリフレッシュしていただくべく「看護管理者リフレッシュ研修」を令和3年度より企画した。当委員は教育委員会・福利厚生委員会の委員も兼ねており、各委員会の企画・運営に関しても当委員会で検討している。

〈看護管理者研修〉

2020(令和2)年度

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2021(令和3)年度

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2022(令和4)年度

12月2日

京都経済センター(Web併用)

テーマ／「看護補助者の活用と成長支援」

内容／①看護補助者活用に関する制度等の概要

②看護補助者の雇用形態と処遇

③看護職員との連携と業務整理

④看護補助者の育成・研修・能力評価

講師／①濱中洋平(株式会社日本経営NKアカデミー事業統括マネージャー)

②松浦総太郎(株式会社日本経営組織人事コンサルティング部参事)



看護管理者研修



リモート懇親会



新春懇親会

③矢田貴子（堀川病院看護部長）

④鳴海あゆみ（堀川病院副看護部長）

2023(令和5)年度

9月5日

ラポール京都

※2022（令和4）年度とテーマ・内容・講師①～②同じ

※講師③④のみ変更

講師／③小河陽子（京都きづ川病院看護部長）

④上田裕子（京都きづ川病院看護次長）

2024(令和6)年度

7月18日

ラポール京都

※2023（令和5）年度とテーマ・内容・講師同じ

〈看護管理者リフレッシュ研修〉

2021(令和3)年度

11月29日 Web

テーマ／「妖怪人間ベムは永遠に笑わない—生きる意味それは誰かとの間(あわい)—」

講師／佐藤泰子（京都大学大学院人間・環境学研究科研究員）

説明／「地域医療構想について～京都府の新型コロナ医療提供体制を踏まえて～」

（事務局）

2022(令和4)年度

11月21日 Web

テーマ／「ドラえもんは最後に何をした—生きる意味とスピリチュアルペイン—」

講師／佐藤泰子（京都大学大学院人間・環境学研究科研究員）

2023(令和5)年度

12月4日 Web

テーマ／「忠犬ハチ公はなぜ待ち続けて死んだのか—スピリチュアルペインから読み解く—」

講師／佐藤泰子（京都大学大学院人間・環境学研究科研究員）

資料提供／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

2024(令和6)年度

11月12日 Web

テーマ／「人生100年時代～看護職としての学びを深めよう～」

講師／福井トシ子氏（国際医療福祉大学大学院教授・副大学院長）

◆教育委員会

看護職員の教育の役割を担っており、看護主任や師長などを対象とした看護卒後教育に関する研修を中心に看護職員を対象とする様々な研修会の企画・運営を行っている。コロナ禍における開催方法や形式についての検討も行った。

◆福利厚生委員会

看護部長相互の親睦を深めることを目的とし、活動している。毎年1月に開催する新春懇親会や5月開催の総会での懇親会などの企画を担当している。令和2年度からは新型コロナウイルスの影響により総会・懇親会が中止になる中、看護部長同士がコロナ禍でも連携し、つながることができるリモート懇親会の企画・運営を行った。



薬剤師部会講演会



薬剤師部会講演会 (Web)

〈リモート懇親会〉

2020年 (令和2)年度

1月19日 Web

テーマ／「つながりTalk会」「新人看護部長
フリートーク会」

2021年 (令和3)年度

5月28日 Web

テーマ／「今こそ新たなつながりを」

2022年 (令和4)年度

5月27日 京染会館 (Web併用)

テーマ／「振り返るな前を向こう看護部長
～アフターコロナにやりたいこと～」

1月17日 Web

テーマ／「ちょっと教えて管理のコツ」

〈新春懇親会〉

2024(令和6)年

1月26日 ホテルモントレ京都

2025(令和7)年

2月7日 都ホテル京都八条

薬剤師部会

当部会は、医薬品の品質や薬剤師の日常業務改善のための情報交換、学術研修活動、医療制度の検討を目的として1982(昭和57)年に薬局長会として発足し、2002(平成14)年10月からは薬局長のみならず薬剤師も委員会に参加するようになり、薬剤師部会と名称を改めて現在に至っている。

薬剤師の技能向上を図るための取り組みの一環として日頃の日常業務に役立つ研修を毎年開催している。この5年間に限らず、新型コロナウイルスの

対策やワクチン、2024(令和6)年に起こった能登半島地震のDiaMATによる活動など、今知りたい情報をすぐに提供する企画の他、電子処方箋やタスクシフト/シェア、AIなど、その時話題のテーマを取り上げて講演会を開催した。

また、医療従事者確保強化事業の「きょうと薬剤師サポートネット」と連携し、委員・講師の派遣やプロジェクト充実のため、全面的に協力した。

◆講演会

第102回 2020(令和2)年10月6日

メルパルク京都 (Web併用)

テーマ／①「COVID-19対策一病院薬剤師の役割」

②「新型コロナウイルス対策の実際」

講師／①吉岡陸展 (宝塚市立病院薬剤部部長)

②石津智司 (宝塚市立病院薬剤部主査)

説明／「地域医療構想—最近の動向について—」(事務局)

第103回 2021(令和3)年5月10日 Web

テーマ／「新型コロナワクチン今わかっていること まだわからないこと」

講師／守屋章成 (名古屋検疫所中部空港検疫所支所)

説明／「地域医療構—最近の動向について—」(事務局)

第104回 2022(令和4)年2月17日 Web

テーマ／「適正なインスリン自己注射を確立するために必要な指導ポイント」

講師／朝倉俊成 (新潟薬科大学 薬学部臨



薬剤師部会講演会 (Web併用)

床薬学教育研究センターセンター長・
教授 (薬剤師))

説 明 / 「京都府地域包括ケア構想 (地域医
療ビジョン) について—オール京都
体制による地域包括ケアシステムの
構築—」

講 師 / 真下信男 (京都府健康福祉部医療課
参事)

第105回 2022(令和4)年7月25日 Web

テーマ / 「麻薬・向精神薬・覚せい剤原料の
取扱い」

講 師 / 金附宏明 (京都府健康福祉部薬務課
技師)

説 明 / 「京都府地域包括ケア構想 (地域医
療ビジョン) について—オール京都
体制による地域包括ケアシステムの
構築—」

講 師 / 松尾治樹 (京都府健康福祉部医療課
参事)

第106回 2022(令和4)年12月6日 Web

テーマ / ① 「近くにおいて頼りになる管理栄養
士さんを目指して～がん患者さん
との関わり～」

② 「管理栄養士の病棟業務 ～薬剤
師との連携を考える～」

講 師 / ①片山影美子 (京都九条病院臨床栄
養課課長)

②長谷川由起 (洛和会音羽病院栄養
管理室主席課長)

説 明 / 「地域医療構想 (京都府地域包括ケ
ア構想) —最近の動向について—
(事務局)

第107回 2023(令和5)年10月31日

京都私立病院協会会議室

テーマ / ① 「電子処方箋とは」

② 「クリニックにおける導入事例の
報告」

講 師 / ①馬瀬久宜 (武田病院グループ本部
薬剤部長)

②大木達雄 (武田病院グループ本部
医療情報管理部部長)

説 明 / 「地域医療構想 (京都府地域包括ケ
ア構想) —最近の動向について—
(事務局)

第108回 2024(令和6)年2月16日

京都私立病院協会会議室 (Web併用)

テーマ / 「薬剤師によるタスクシフト / シェ
アとBPM」

講 師 / 寺田智祐 (京都大学医学部附属病院
教授・薬剤部長)

事例発表者 / 下田優作 (京都久野病院薬局長)
吉川千秋 (京都九条病院医薬品
情報管理室課長)

説 明 / 「地域医療構想と医療DX」(事務局)

第109回 2024(令和6)年5月31日

京都私立病院協会会議室 (Web併用)

テーマ / 「DiaMAT (災害時糖尿病医療支援
チーム) 活動について」

講 師 / 【医師】山崎真裕 (京都第二赤十字
病院代謝・内分泌内科部長)

【看護師】杉島訓子 (京都大学医学
部附属病院看護部)

【管理栄養士】中谷美幸 (京都大学
医学部附属病院疾患栄養治療部)



薬剤師部会施設見学



放射線技師部会講演会

【薬剤師】佐藤和生（日本パプテス
ト病院薬剤部主任）

説 明／「京都府地域包括ケア構想（地域医
療ビジョン）について
一オール京都体制による地域包括ケ
アシステムの構築一」（事務局）

第110回 2024(令和6)年12月9日 Web

テーマ／「AIと共創する薬剤師の未来：変
革への道筋と実践的アプローチ」

講 師／片岡裕貴（京都民医連あすかい病院
内科急性期病棟医長・京都大学大学
院医学研究科地域医療システム学講
座客員研究員・京都大学大学院医学
研究科医療疫学分野非常勤講師・東
北大学大学院 歯学研究科 国際歯科
保健学分野 非常勤講師・臨床研究・
ピアサポートグループ(SRWS-PSG))

説 明／「地域医療構想について一2040年に
向けた「新たな地域医療構想」一」
(事務局)

◆施設見学

2024(令和6)年6月21日 京都大学医学部附属病院

放射線技師部会

1989年（平成元年）にそれまで当協会の事業のひ
とつであったが活動を休止していた放射線技術研究
会が名称変更を行い、放射線技師部会として発足し
た。従来からの活動を継承し、主に会員施設におけ
る放射線部門の業務の効率化を図るとともに、会員
間で相互に親睦・交流を深めることを目的に活動を

続けている。

当委員会の活動は、主に講演会の企画・開催を行
い、広範囲に渡るテーマより開催している。また、
2020（令和2）年からは新人の診療放射線技師向け
に新人研修会を開催している。

画像診断部門の技術は日進月歩であり、放射線技
師には日々技術向上のための努力が求められている。
放射線技師のスキルアップを助力するべく、当部会
では多様なテーマで研修会等の取り組みを行っている。

◆講演会

第85回 2020(令和2)年10月22日

メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「撮影教科書に書いてなかった！頸
椎、胸椎、腰椎の撮影技術」

講 師／安藤英次（大阪滋慶学園大阪ハイテ
クノロジー専門学院診療放射線技師
学科専任教員）

説 明／「京都府地域包括ケア構想について」
(事務局)

第86回 2020(令和2)年12月11日

メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「〈新人研修会〉救急における画像
診断」

講 師／金山大成（京都府立医科大学放射線
医学教室助教）

説 明／「京都府地域包括ケア構想について」
(事務局)

第87回 2021(令和3)年9月9日

メルパルク京都（Web併用）

テーマ／『立位から臥位までの「足関節と足
部」撮影を知ろう』



放射線技師部会講演会



放射線技師部会施設見学

講師／安藤英次（大阪滋慶学園大阪ハイテク
テクノロジー専門学院診療放射線技師
学科専任教員）
説明／「地域医療構想と新型コロナウイルス
感染症について」（事務局）

第88回 2021(令和3)年12月3日

メルパルク京都（Web 併用）

テーマ／「〈新人研修会〉救急における画像
診断～ MR 画像を含む～」

講師／金山大成（京都府立医科大学放射線
医学教室助教）

説明／「地域医療構想の最近の動向につ
いて」（事務局）

第89回 2022(令和4)年8月23日

メルパルク京都（Web 併用）

テーマ／「股関節のパテラホルン肢位と生殖
防護」

講師／安藤英次（大阪滋慶学園大阪ハイテ
クテクノロジー専門学院診療放射線技師
学科専任教員）

説明／「地域医療構想の最近の動向につ
いて」（事務局）

第90回 2022(令和4)年11月10日

京都私立病院協会会議室（Web 併用）

テーマ／「〈新人研修会〉はじめての方のた
めのMRI の基礎」

講師／五十川侑加（キヤノンメディカルシ
ステムズ株式会社MRI アプリケー
ション担当）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第91回 2023(令和5)年8月24日

ハートンホテル京都（Web 併用）

テーマ／「今、求められる股関節のX線撮影
法とは？～患者に優しく再現性の有
る撮影肢位～」

講師／安藤英次（滋慶医療科学大学大学院
医療管理学研究科医療安全管理学専
攻客員教授）

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケ
ア構想）～最近の動向について～」
（事務局）

第92回 2024(令和6)年1月24日

ハートンホテル京都（Web 併用）

テーマ／「〈新人研修会〉MRIの基礎～臨床
編～」

講師／石本 剛（シーメンスヘルスケア株
式会社カスタマーサービス事業本部
エデュケーションサービス本部アプ
リケーション部）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

第93回 2024(令和6)年10月10日

ハートンホテル京都（Web 併用）

テーマ／「二足歩行で進化した指と手と肘の
関節撮影とは？」

講師／安藤英次（滋慶医療科学大学大学院
医療管理学研究科医療安全管理学専
攻客員教授）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

第94回 2025(令和7)年1月20日

ハートンホテル京都（Web 併用）

テーマ／「CT装置におけるAIを活用した機
能」

講師／小川 亮（株式会社フィリップス・
ジャパン/プレジジョン ダイアグ



臨床検査部会講演会

ノリス事業部/CTモダリティスペ
シャリスト)

説 明/「地域医療構想について」(事務局)

◆施設見学

2024(令和6)年9月12日 京都桂病院

臨床検査部会

臨床検査技師として幅広い知識・技術を習得することにより、更なる資質の向上を図るための活動を行っている。

これまでに、数多くの講演会や研修会を開催し、日常の検査業務に求められる専門知識の習得や検査部門運営において重要な情報交換を行ってきた。また、会員病院検査部門の交流にとどまらず、京都府臨床検査技師会の情報システム研究班とも連携しながら、全職種を対象にパソコン講習会等の企画を行っている。研修会では、タイムリーなテーマを取り上げた講演内容を企画するほか、感染症、血液製剤、検体の取り扱い、医療DXなど、他職種との連携を必要とする問題についても積極的に取り組んでいる。

運営委員会は隔月で開催し、ますます厳しさを増す医療環境や検査部門運営等について討議し、業務の改善に向けた啓発活動を行いつつ、京都府臨床検査技師会との連携に努めている。また、委員会で検討した議事については、その内容を「臨床検査部会FAX通信」として取りまとめ、会員病院の検査室宛に送信している。

◆講演会

第54回 2020(令和2)年2月25日

メルパルク京都 (Web併用)

テーマ/「COVID-19に関する最近の話題」

講 師/笠松 悠 (京都府立医科大学感染制御検査医学教室助教・京都府立医科大学附属病院感染症科医員)

説 明/「地域医療構想について」(事務局)

第55回 2021(令和3)年12月15日

メルパルク京都 (Web併用)

テーマ/「新型コロナウイルス感染症、新型コロナウイルスの2年間の推移」

講 師/笠松 悠

説 明/「地域医療構想について」(事務局)

第56回 2022(令和4)年8月10日

メルパルク京都 (Web併用)

テーマ/「がんゲノム医療はチーム医療である～がんゲノム医療での各職種の関わり方～」

講 師/柳田絵美衣 (慶應義塾大学病院検査科ゲノム検査室)

説 明/「地域医療構想について」(事務局)

第57回 2023(令和5)年12月20日

京都経済センター (Web併用)

テーマ/「コロナ5類化後の感染症対策の考え方」

講 師/忽那賢志 (大阪大学医学部附属病院感染制御部部长・大阪大学大学院医学系研究科感染制御医学講座教授)

説 明/「地域医療構想と医療DX」(事務局)

第58回 2024(令和6)年12月23日

京都私立病院協会会議室 (Web併用)



臨床検査部会施設見学



医療統計講習会



テーマ／「医療DX時代における医療従事者の役割を考える」

講師／神戸 翼（医療法人社団永生会永生総合研究所所長）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

講師／増田健太

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2023(令和5)年6月30日

テーマ／「Excel（初級編）」

講師／増田健太

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2023(令和5)年10月20日

テーマ／「PowerPoint（初級編）」

講師／増田健太

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2024(令和6)年6月20日

テーマ／「Excel（初級編）」

講師／増田健太

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2024(令和6)年10月31日

テーマ／「PowerPoint（初級編）」

講師／増田健太

説明／「地域医療構想について」（事務局）

◆医療統計講習会(パソコン講習会)

※全て京都保健衛生専門学校で開催

2020(令和2)年8月27日

テーマ／「Excel（初級編）」

講師／増田健太（京都大学医学部附属病院検査部・一般社団法人京都府臨床検査技師会システム研究班）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2020(令和2)年12月15日

テーマ／「PowerPoint（初級編）」

講師／増田健太

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2021(令和3)年11月25日

テーマ／「Excel（初級編）」

講師／増田健太

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2022(令和4)年1月27日

テーマ／「PowerPoint（初級編）」

講師／増田健太

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2022(令和4)年6月16日

テーマ／「PowerPoint（初級編）」

講師／増田健太

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2022(令和4)年10月27日

テーマ／「Excel（初級編）」

◆施設見学

2023(令和5)年11月30日 株式会社京都科学

2024(令和6)年11月19日 京都橘大学

◆FAX通信

2020(令和2)年度 No.154～No.159

2021(令和3)年度 No.160～No.165

2022(令和4)年度 No.166～No.171

2023(令和5)年度 No.172～No.177

2024(令和6)年度 No.178～No.183



栄養士部会全体会議（講演会）

栄養士部会

当部会は1986年（昭和61年）に設置された。病院入院中の食事療養が疾病治療の直接的手段の一部であることを常に意識しながら、管理栄養士・栄養士・調理師の質的向上と安全かつ良質な食事の提供、栄養管理業務のさらなる効率化と改善に向けた活動を展開している。

臨床栄養に関するタイムリーなテーマを取り上げた研修会を毎年開催しており、講演会や事例報告等を行いながら、実践的なスキルアップを図っており、毎回多くの参加を得ている。また、研修会ではグループディスカッションを積極的に行うことで、会員職員間での情報交換の場としても機能するよう心がけている。

病院栄養士の業務は、患者に提供する食事の献立作成や食材発注、厨房での業務などの給食管理とあわせ、チーム医療の一員として多職種と協同して栄養管理や栄養指導を行うほか、近年は病棟に栄養士を配置する病院もみられるなど、病院栄養士の専門性が評価されてきているとともに、医療の場で栄養士に期待される役割と求められるスキルはますます大きくなっているといえる。

こうした病院栄養士業務の捉え方の変化を踏まえ、当部会では、研修会の企画・開催に加え、栄養管理帳票マニュアルの定期的な改訂・発行や嚥下食一覧表の更新を毎年実施する等の活動を行っている。さらに運営委員会で委員同士の相互学習会や情報交換を行うほか、年1回の施設見学を実施するなど、栄養部門を取り巻く状況を的確に把握し、会員に有用な情報提供ができるよう研鑽に努めている。

◆講演会

第80回 2020(令和2)年10月27日

京都経済センター（Web併用）

テーマ／「令和2年度栄養部門診療報酬改定
東京医科大学病院のとりくみ」

講師／宮澤 靖（東京医科大学病院栄養管理科科长）

説明／「地域医療構想の最近の動向」（事務局）

第81回 2021(令和3)年3月4日

京都私立病院協会会議室（Web併用）

テーマ／「日本人の食事摂取基準（2020年版）
の活用について」

講師／小松龍史（同志社女子大学生生活科学部特任教授）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

第82回 2021(令和3)年7月15日

京都私立病院協会会議室（Web併用）

テーマ／「高齢者のサルコペニア、フレイル、
コモビディティと栄養管理」

講師／吉田貞夫（ちゅうざん病院副院長・
金城大学客員教授）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

第83回 2021(令和3)年12月20日～2022(令和4)

年1月21日 動画配信

テーマ／「令和3年度介護報酬改定について
（栄養分野関連）」

講師／泉 綾子（株式会社フードケア学術
担当）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」



栄養士部会施設見学



嚥下食一覧表(当協会ホームページで公開)



表紙 栄養管理帳票マニュアル2021

て」(事務局)

第84回 2022(令和4)年9月15日

京都私立病院協会会議室(Web併用)

テーマ/「令和4年度診療報酬改定～栄養部門における取り組みについて～」

講師/京都私立病院協会栄養士部会運営委員
説明/「京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」

講師/松尾治樹(京都府健康福祉部医療課参事)

第85回 2023(令和5)年2月16日

京都私立病院協会会議室(Web併用)

テーマ/「プレバイオティクスを使用した便秘対策—腸内細菌叢の視点から—」

講師/井戸由美子(京都女子大学家政学部食物栄養学科教授)

説明/「地域医療構想(京都府地域包括ケア構想)—最近の動向について—」

(事務局)

第86回 2023(令和5)年10月19日

京都経済センター

テーマ/「アウトカムに繋げるための栄養検査指標の活用—栄養指標を使いこなす—」

講師/土師誠二(蘇生会総合病院副院長兼外科部長)

説明/「地域医療構想(京都府地域包括ケア構想)—最近の動向について—」

(事務局)

第87回 2024(令和6)年3月21日

京都経済センター

テーマ/「“口から食べる”を叶えるために～リハビリ職から伝えたいこと～」

講師/杉本大輔(京都大原記念病院グループ作業療法士)

御牧里穂(京都大原記念病院グループ言語聴覚士)

説明/「地域医療構想と医療DX」(事務局)

第88回 2024(令和6)年10月22日

京都経済センター

テーマ/「令和6年度診療報酬改定～栄養部門における取り組みについて～」

講師/京都私立病院協会栄養士部会運営委員
説明/「京都府地域包括ケア構想」(事務局)

第89回 2025(令和7)年3月12日

京都経済センター

テーマ/「給食管理、みなさんどうしていますか?」(グループディスカッション)

説明/「地域医療構想について—2040年に向けた新たな地域医療構想—」

(事務局)

◆施設見学

2023(令和5)年7月20日

京都民医連中央病院

2024(令和6)年11月21日

京都近衛リハビリテーション病院

◆栄養管理帳票マニュアル

2022(令和4)年2月

「栄養管理帳票マニュアル2021年度版」の発行



臨床工学技士部会講演会



臨床工学技士部会施設見学

◆京都私立病院協会嚙下食一覧表(2019年開設)

2020年～2024年度 毎年更新 (以下、掲載施設数)

2020(令和2)年度 93施設

2021(令和3)年度 96施設

2022(令和4)年度 94施設

2023(令和5)年度 94施設

2024(令和6)年度 97施設

竹村帆貴 (京都桂病院臨床工学科)

黒瀧友里 (京都民医連あすかい病院
臨床工学部)

守時祐輔 (西陣病院臨床工学科)

中尾嶺一 (洛和会音羽記念病院CE部)

説 明 / 「地域医療構想について」(事務局)

第8回 2021(令和3)年10月23日

京都私立病院協会会議室 (Web 併用)

テーマ / 「新型コロナウイルス感染症対策に
ついて～臨床工学技士の視点から～」

講 師 / 大西智貴 (医仁会武田総合病院臨床
工学科係長)

加藤知子 (宇治徳洲会病院臨床工学
科主任)

吉川純希 (京都桂病院臨床工学科)

末延史江 (京都民医連あすかい病院
臨床工学部副主任)

古田貴志 (西陣病院臨床工学科主任)

長谷川裕樹 (洛和会音羽記念病院
CE部)

説 明 / 「地域医療構想 (タスクシフト / シ
ェアの推進、臨床工学技士の業務範
囲拡大の内容を含む)」

講 師 / 藤井 耕 (京都民医連あすかい病院
医療安全管理室長)

第9回 2022(令和4)年10月15日

京都私立病院協会会議室 (Web 併用)

テーマ / 「臨床工学技士法改正による業務範
囲の追加～法令の“解釈”を中心に～」

講 師 / 青木郁香 (公益社団法人日本臨床工
学技士会専務理事)

説 明 / 「地域医療構想の最近の動向につい

臨床工学技士部会

医療機器の適切かつ安全な使用・管理の推進など、病院での医療安全対策強化等において、臨床工学技士の担う役割は重要であり、当協会においても会員病院に勤務する臨床工学技士の更なる質の向上等を図るべく、2014(平成26)年10月に当部会が発足した。

臨床工学技士の知識やスキルの向上を図るとともに、臨床工学技士のいる、いないにかかわらず、多くの会員施設において適切かつ安全な医療機器の使用・管理が実施できるよう、他の職種への啓発・支援も含めた様々な内容の研修会や調査等を企画・実施している。

◆講演会

第7回 2020(令和2)年10月24日

メルパルク京都 (Web 併用)

テーマ / 「臨床工学技士からの提案～インシ
デント事例から対策を一緒に考え
ませんか～」

講 師 / 村瀬太一 (医仁会武田総合病院臨床
工学科副主任)

冠崎大毅 (宇治徳洲会病院臨床工学科)

て」(事務局)

第10回 2024(令和6)年1月27日

京都経済センター (Web併用)

テーマ/①タスク・シフト/シェアの取組の
現状や課題等

②業務範囲追加に伴う臨床工学技士
養成学校における臨床実習の変更
点等

講師/①岡本博行 (武田病院グループ本部
臨床工学部部長)

石塚雄介 (宇治徳洲会病院 臨床
工学科副主任)

大澤健太 (京都桂病院 臨床工学科)

西本光輝 (京都岡本記念病院 臨
床工学部主任)

松田英樹 (西陣病院 臨床工学科
科長)

長谷井あい (洛和会音羽記念病院
CE部主席係長)

②泉田洋志 (京都保健衛生専門学校
臨床工学技士専攻科教務主任)

説明/「地域医療構想について」(事務局)

第11回 2025(令和7)年2月1日

京都私立病院協会会議室 (Web併用)

テーマ/「臨床工学技士が担う医療DX推進
とサイバーセキュリティ対策」

講師/肥田泰幸 (東都大学幕張ヒューマン
ケア学部臨床工学科助教・公益社団
体法人日本臨床工学技士会副理事長)

説明/「地域医療構想について—2040年
に向けた新たな地域医療構想—」

(事務局)

◆施設見学

2021(令和3)年3月23日

エア・ウォーター株式会社「国際くらしの医療
館・神戸」(Web)

2023(令和5)年1月31日

東レ株式会社岡崎工場 (Web)

2024(令和6)年3月19日

エア・ウォーター株式会社「国際くらしの医療
館・神戸」

リハビリテーション部会

当部会は2004(平成16)年11月に発足し、2024(令和6)年で20年目を迎える。会員施設に勤務する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のリハビリ職員が専門職としての資質の向上を図ること及びリハビリ関連の医療保険・介護保険等に関する情報を迅速に収集・分析し、会員へ提供することを目的に現在まで活発な活動を展開している。

活動内容としては日頃の業務の充実を図るための講演会と施設見学を毎年企画・開催している。

また、2005(平成17)年に当部会で作成した「リハビリテーション帳票マニュアル」を診療報酬改定の都度改訂を行い、会員の日常業務で当マニュアルを活用できるよう当協会のホームページで提供している。

さらに、2011(平成23)年度より始まった地域包括ケア推進機構からの団体交付金事業である府民リハビリテーション啓発支援事業に全面的な協力を行っている。



リハビリテーション部会講演会（動画撮影）

◆講演会

第21回 2020(令和2)年 8月21日（動画撮影）

9月1日～9月14日（動画配信）

テーマ／「リハビリテーション栄養とサルコペニアの最新の動向」

講師／若林秀隆（東京女子医科大学病院リハビリテーション科教授）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第22回 2020(令和2)年 10月20日（動画撮影）

11月2日～11月24日（動画配信）

テーマ／「視床出血に強くなる」

講師／吉尾雅春（千里リハビリテーション病院副院長・理学療法士）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第23回 2021(令和3)年 1月29日（動画撮影）

2月8日～3月1日（動画配信）

テーマ／「リハビリテーション診療における感染管理」

講師／宮越浩一（亀田総合病院リハビリテーション科部長）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第24回 2021(令和3)年 7月13日（動画撮影）

7月26日～8月20日（動画配信）

テーマ／「被殻出血に強くなる」

講師／吉尾雅春（千里リハビリテーション病院副院長・理学療法士）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第25回 2021(令和3)年 11月10日（動画撮影）

11月22日～12月6日（動画配信）

テーマ／「リハビリテーション部門における人材育成と働き方」

講師／松原 徹（輝生会在宅総合ケアセン

ター成城副センター長・理学療法士）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第26回 2022(令和4)年 3月21日（動画撮影）

3月23日～3月31日（動画配信）

テーマ／「令和4年度診療報酬改定のポイント」

講師／仲野 豊（仲野メディカルオフィス代表取締役）

第27回 2022(令和4)年 7月4日（動画撮影）

7月13日～7月27日（動画配信）

テーマ／「がん患者のリハビリテーション栄養」

講師／荒金英樹（愛生会山科病院消化器外科部長／京滋摂食・嚥下を考える会顧問）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第28回 2022(令和4)年 10月13日（動画撮影）

10月24日～11月7日（動画配信）

テーマ／「こんな会話がイキイキした組織創り・部下育成をダメにする！～せっかく導入した1on1やコーチングを木端微塵にするコミュニケーション～」

講師／椎木洋子（社会医療法人有隣会東大阪病院リハビリテーション部長・作業療法士）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第29回 2023(令和5)年 1月30日（動画撮影）

2月8日～2月22日（動画配信）

テーマ／「臨床研究 はじめ方」

講師／福間真悟（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻准教授）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

第30回 2023(令和5)年 9月14日（動画撮影）



リハビリテーション部会施設見学



リハビリテーション
帳票マニュアル

- 9月26日～10月17日（動画配信）
 テーマ／「口と全身の健康とのつながり」
 講師／大河貴久（大河歯科医院院長・京都府歯科医師会地域保健部次長）
 説明／「地域医療構想について」（事務局）
 第31回 2023(令和5)年 11月7日（動画撮影）
 11月20日～12月11日（動画配信）
 テーマ「認知能力の理解—認知行動アセスメント（CBA）を通じて—」
 講師／森田秋子（鶴飼リハビリテーション病院リハビリテーション部長・言語聴覚士）
 第32回 2024(令和6)年 3月5日（動画撮影）
 3月11日～3月28日（動画配信）
 テーマ／「令和6年度診療報酬改定のポイント」
 講師／仲野 豊（仲野メディカルオフィス代表取締役）
 第33回 2024(令和6)年 8月5日（動画撮影）
 8月19日～9月18日（動画配信）
 テーマ／「脳のシステム障害を理解する」
 講師／吉尾雅春（千里リハビリテーション病院副院長・理学療法士）
 説明／「地域医療構想について」（事務局）
 第34回 2024(令和6)年 9月26日（動画撮影）
 10月7日～10月28日（動画配信）
 テーマ／「2024年度診療報酬改定と今後の医療制度の動向」
 ～リハビリ関連の運用と地域医療構想等について～
 講師／仲野 豊（仲野メディカルオフィス代表取締役）
 第35回 2024(令和6)年 12月18日（動画撮影）

- 1月7日～1月28日（動画配信）
 テーマ／「かけ橋の上から見える風景 ～当事者セラピストと振り返る障害のありか～」
 講師／山田 隆司（特定非営利活動法人にこまる経営企画部・作業療法士
 Charcot-Marie-Tooth病患者会
 CMT友の会代表）
 説明／「地域医療構想について」（事務局）

◆施設見学

2024(令和6)年9月6日
 mediVRリハビリテーションセンター大阪

◆その他

リハビリテーション帳票マニュアルの改訂
 2020(令和2)年9月
 2022(令和4)年8月
 2024(令和6)年10月

部会連携

協会の会員施設の運営は多様な専門職で成り立っており、協会の取組は病院に従事する職員全てに通じている。同職種のみを取組にとどまらず、全ての職種が連携して協会の目的を達成すべく、2018（平成30）年度より職能別部会が一堂に会する「部会連携会議」を設置した。協会役員と職能別部会、部会同士が顔の見える関係を築いて意見交換や課題の共有等を行い、各部会が協力し合って職種間の連携と協会の各種事業を推進する体制づくりに努めた。



部会連携会議全体会議



職務執行状況
報告書

2020(令和2)年度

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一堂に会しての開催は見送った。

2021(令和3)年度

各部会の代表者による「運営委員会」を立ち上げ、協会役員と各部会との会議を「部会連携会議全体会議」とし、職種間・部会同士の連携強化に向けて協議した。

2022(令和4)年度

運営委員会で全体会議を企画し、全体会議を開催した。全体会議では各部会から多職種での相互協力事例、病院経営への貢献事例の発表を行うとともに、今後の職種間連携の更なる推進について意見交換を行った。

全体会議

2022(令和4)年11月29日

からすま京都ホテル

テーマ／「各部会の活動状況及び各職種間の協力関係の推進について」

発表者／職能別部会8部会の代表者

テーマ／「部会連携会議の今後の運営について」

発表者／友沢明德（薬剤師部会）

特別プレゼンテーション

テーマ／「脳卒中相談窓口のこれからの展開」

講師／宮本 享（京都大学医学部附属病院病院長）

2023(令和5)年度

事務長会・看護部長会を除くコメディカル部門6部会による打ち合わせ会を開催し、6部会が連携した取組を検討した。

2024(令和6)年度

職能別部会同士による合同会議を開催し、連携を

テーマに意見交換を行うとともに、全体会議も開催し、協会役員と職能別部会が現状の進捗状況や今後の連携強化のための課題を共有し、意見交換を行った。

合同会議

2024(令和6)年11月5日

京都私立病院協会会議室（Web併用）

リハビリテーション部会・薬剤師部会・栄養士部会3部会合同会議

2024(令和6)年12月6日

京都私立病院協会会議室（Web併用）

放射線技師部会・臨床検査部会・臨床工学技士部会3部会合同会議

書面開催

事務長会・看護部長会合同会議

全体会議

2025(令和7)年2月19日

キャンパスプラザ京都

全体会議

協会執行部から会員に医療・介護にかかる国の政策や動向、協会の取組を説明するとともに、京都府の各医療圏や地域における諸問題等の意見交換を通じて、会員の連携強化と課題解決に資することを目的に年1回開催している。全体会議終了後は特別講演会を行ってきた。

しかし、2020(令和2)年度から2024(令和6)年度にかけては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、従来の全体会議形式での開催が困難となり、代替手段として、各年度の上半期の協会事業をまとめた「職務執行状況報告書」を会員に送付し、



創立記念式典



創立記念祝賀会

報告書に対する意見や地域で抱える課題等についての意見は、電話及びEメールで受け付けた。

新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態に直面し、全体会議の開催方法を大きく変更せざるを得ない状況となり、会員にとって有益な情報提供と意見交換の機会となるよう、開催の在り方を検討している。

創立59周年記念式典 2023(令和5)年11月17日

ホテルオークラ京都

優良職員・永年勤続職員表彰 446名

創立60周年記念式典 2024(令和6)年11月15日

ホテルオークラ京都

特別功労者表彰 47名

優良職員・永年勤続職員表彰 358名

創立記念式典

1964(昭和39)年10月16日に京都府内44病院が参加して京都私立病院協会が設立されたことを記念し、毎年11月に式典を開催している。

式典には京都府知事、京都市長をはじめ府市行政、議員、医療関係団体等の臨席のもと、会員とともに協会の活動を振り返りながら、今後のさらなる発展を祈念している。式典では、会員施設で功績のあった優良職員・永年勤続の職員の表彰を行うとともに、当協会が養成している保健医療管理士の認定式を行っている。創立60周年記念式典では、協会の発展に貢献された方々への特別功労者表彰や創立60周年記念事業の中間報告を行った。

創立56周年記念式典 2020(令和2)年11月6日

京都テルサ

優良職員・永年勤続職員表彰 289名

創立57周年記念式典 2021(令和3)年11月30日

京都ホテルオークラ

優良職員・永年勤続職員表彰 330名

創立58周年記念式典 2022(令和4)年11月18日

ホテルオークラ京都

優良職員・永年勤続職員表彰 330名

新春会員懇親会

1984(昭和59)年に「名刺交換会」として始まった年頭行事も今では「新春会員懇親会」として定着し、会員病院と関係団体、または医療と特に関係の深い行政担当者と新年の挨拶を交わすことで、さらに親睦を深める場となっている。また、懇親会の前には幅広いテーマで専門家や著名人を招いて講演会や演奏会も開催しており、趣向を凝らした内容として毎年多数の参加を得ている。2020(令和2)年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、これに代わる企画として動画にて新年のご挨拶とコロナ禍における医療従事者への激励の言葉を京都私立病院協会ホームページにて公開した。

第38回 2021(令和3)年1月

京都私立病院協会ホームページにて公開

動画 新年のご挨拶 清水鴻一郎会長、西脇隆俊京都府知事、門川大作市長

第39回 2022(令和4)年1月15日

京都ブライトンホテル(Web併用)

講演会 「池坊華道の魅力 なぜ1500年続いてきたか」

講師 池坊雅史(華道家元池坊事務総長)、今川有紀(池坊短期大学専任講師)



新春講演会



新春会員懇親会

第40回 2023(令和5)年1月

*新型コロナウイルス感染防止の影響により中止

第41回 2024(令和6)年1月20日

京都ブライトンホテル

第42回 2025(令和7)年1月18日

京都ブライトンホテル

講演会 これからの社会保障を考えるセミナー
Part 3

テーマ 「2040年に向けた医療・介護を考える」

講師 伊原和人(厚生労働事務次官)

ホテルグランヴィア京都

参加者/132名

学 会 長/清水鴻一郎

副 学 会 長/久野成人 富士原正人

実行委員長/武田隆久

副実行委員長/小森直之 石丸庸介

実行委員会

(京都私立病院協会理事で実行委員会を構成)

・2023(令和5)年

4月5日 7月5日 11月1日

・2024(令和6)年

2月21日 4月3日 6月5日

プログラム編成会議/2023(令和5)年12月4日

全体テーマ/「地域医療構想前夜～嵐の中の航海
羅針盤を求めて～」

プログラム/・学会長講演

・特別講演 3題

・学会企画 7題

・特別対談 清水学会長×藤原紀香
(俳優)

・一般演題 口述発表566題 ポス
ター発表273題 合計/839題

・全日病委員会企画 15題

創立60周年記念事業

1964(昭和39)年10月16日に発足した京都私立病院協会は、2024(令和6)年に創立60周年を迎え、「第65回全日本病院学会in京都」の運営をはじめ、創立60周年記念各種事業を実施した。

1)「第65回全日本病院学会in京都」の開催

会 期/・2024(令和6)年9月28日・29日

国立京都国際会館

参加者/4,011名

・2024(令和6)年9月27日(学会長招宴)



第65回全日本病院学会in京都学会長講演



第65回全日本病院学会in京都

- ・日本医業経営コンサルタント協会
企画 1題
- ・日本医療機能評価機構企画 1題
- ・ランチョンセミナー 26題
- ・イブニングセミナー 2題
- ・スポンサードセミナー 2題

一夜限りの特別拝観／2024(令和6)年9月28日
清水寺(世界遺産) 参加者／1,040名
能登半島をはじめ全世界の被災地域の復興と世界
の平和と安全を祈願

法要・読経／森 清顕 師(清水寺)
企業展示／68社(スタンプラリーを実施)
おみやげコーナー／8店

2) 創立60周年記念スポーツ大会の開催

- ・京都府知事杯争奪第60回病院対抗野球大会
- ・京都府知事杯争奪第43回病院対抗バレーボール
大会
- ・京都私立病院協会会長杯争奪第16回病院対抗フット
サル大会
- ・京都私立病院協会会長杯争奪第11回会員親睦ゴルフ
コンペ

*結果は「19. 福利厚生活動」に詳記



京都府知事杯争奪第60回病院対抗野球大会



京都私立病院協会杯争奪第16回会員親睦ゴルフコンペ



京都府知事杯争奪第43回病院対抗バレーボール大会



京都私立病院協会会長杯争奪第16回病院対抗フットサル大会

3) 創立60周年記念式典・祝賀会の開催

開催日時・場所／

2024(令和6)年11月15日

ホテルオークラ京都 参加者／397名

内 容／

特別功労者表彰：47名

永年勤続職員・優良職員表彰：358名

保健医療管理士認定：23名（第33期生）

創立60周年記念事業中間報告



創立60周年記念式典特別功労者表彰



創立60周年記念祝賀会

4) 京都私立病院協会ホームページのフルリニューアル

2014（平成26）年以來となるフルリニューアルを行い、会員にとってより利便性の高いサイトを構築し、2025（令和7）年3月にリリースした。



リニューアルホームページ
トップ



リニューアルホームページ
協会の紹介

5) 創立60周年記念誌の発行

2020（令和2）年度から2024（令和6）年度の5年間における京都私立病院協会のあゆみを記録した「創立60周年記念誌」を編纂・発行し、会員及び関係各所に配布した。

発行数：500冊



創立60周年記念誌

3 広報と情報提供の役割と重要性

京都私立病院協会は1964年の創立以来、民間病院のネットワークとして医療・介護の発展に貢献してきました。その中で「広報と情報提供」は、会員間の情報共有、行政・関係団体との連携、地域社会との信頼構築において重要な役割を果たしています。特に、医療・介護を取り巻く環境が変化する中で、迅速かつ正確な情報発信は不可欠です。

本協会の『京都私立病院報』（私病報）は1964年の創刊以来、会員病院の情報共有の場として機能しています。新型コロナ対応や学会情報の発信など、会員にとって有益な情報を掲載してきました。また、ホームページも重要な情報源となっており、2024年度には創立60周年記念事業の一環として全面リニューアルを行いました。これにより、行政通知や医療・介護の最新情報を迅速に提供できる環境が整いました。

さらに、ファックス通信は緊急時の情報伝達手段として活用され、災害時や感染症流行時の対応に役立っています。今後も広報活動の充実を図り、会員病院と社会全体に貢献してまいります。

（理事 清水幹久）

京都私立病院報

『京都私立病院報』（私病報）は1964年（昭和39）年11月15日に第1号が創刊されて以来、当協会の基幹広報誌として役割を果たしている。定期号は毎月1回、1日付で発行しているほか、新年特別号、総会号などを臨時に増刊しており、2025（令和7）年3月31日現在で発行回数は763号を数える。

内容は、医療・介護に関するニュース、民間病院に関わるトピックスや重要事項、当協会の各種研修会・委員会の報告・スケジュール、会員施設の職員からの投稿記事・表紙写真・会員異動などを掲載している。

2020（令和2）年～2021（令和3）年は上記の内容に加え、新型コロナウイルス感染症関連の情報や当協会の対応をタイムリーに掲載した。2024（令和6）年は当協会創立60周年の記念事業の一環として企画・運営を担った「第65回全日本病院学会in京都」について演題募集、参加受付、プログラム内容を広報する媒体としての役割も担った。

当協会の役割や事業がますます増える中、多様かつ充実した内容となるよう努めている。

編集には、担当役員のほか、事務長会・看護部長会からの委員で構成される「私病報編集委員会」があたり、編集会議を毎月開催している。

現在の発行部数は2,350部であり、会員施設には病床規模に応じた冊数を送付している（購読料は会費に含まれている）ほか、行政、関係諸団体、議員等にも配布している。

毎月1日発行 2,350部

A4版 約40～70頁



京都私立病院報



京都私立病院協会ホームページ

協会ホームページ

当協会ホームページでは、協会の活動や会員の情報を発信し、協会と会員の存在意義を広く周知して認知度の向上を図るとともに、会員に京都府・京都市の各種通知をはじめ医療・介護に関する情報、その他重要事項などを迅速に提供している。2020（令和2）年度には、新型コロナウイルス感染防止対策として、各種研修のオンライン実施環境を整備し、研修会・イベント受付システムとの連携により、会員の研修受講者等の利便性の向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミック対し、刻々と変化する情報をタイムリーに掲載するとともに、「新型コロナの分かりやすい解説」のページを作成し、医療従事者として必要最小限知っておくべき情報の普及に努めた。

さらに、創立60周年記念事業の一環として、2024（令和6）年度には、2014（平成26）年9月以来となる協会ホームページのフルリニューアルに着手し、2025（令和7）年3月にリリースした。

京都私立病院協会ホームページ

<https://www.khosp.or.jp/>

ファックス通信

協会では、ファックス用の専用回線を有しており、全会員に一斉送信できるファックス通信網を敷いている。緊急の案件、行政からの通知文書、各種調査などをファックス通信で会員へ迅速に発信するツールとして、協会ホームページとともに活用している。

京都私立病院協会事務局ファックス番号

075-354-8802

京都私立病院協会事務局メールアドレス

info@khosp.or.jp

4 病院職員の確保対策

医療費抑制政策によって医療制度は次々に変更され、それに伴って看護師を中心とした医療従事者の確保が困難な状況が深刻になってきている。さらに最近では医療関係全職種に確保ができない状態となっている。当協会においては55周年の「みんないきいき明るい病院」をテーマに将来を担う若者に医療職への啓発を行っている。2015（平成27）年から設置された京都府医療勤務環境改善支援センターの事業では「京都いきいき働く医療機関認定制度」を創り、政府が始めた働き方改革を先取りした型で取り組みを進めてきた。2025（令和7）年1月末日現在、認定病院は53件に達している。関係団体の京都保健衛生専門学校、京都中央看護保健大学校による保健師、看護師、臨床検査技師、臨床工学技士の養成は会員病院の医療の質の向上に寄与していると考えている。医療労務管理支援事業や看護人材早期復職支援事業、主に薬剤師、看護補助者を対象とした医療従事者確保強化事業、京都市離職看護師能力再開発事業など地道な活動を展開している。

（副会長 富士原正人）

医療従事者の養成

1) 看護師の養成

1969（昭和44）年に堀川高等看護学院（現京都保健衛生専門学校の前身）の運営を開始し、1983（昭和58）年に京都中央看護専門学校を開校した。この間、両学校を卒業した数多くの看護師は、現在、会員施設の第一線で活躍しており、会員施設の看護の充実、技術の向上に寄与している。

京都保健衛生専門学校は、看護学科3年課程1クラス40名の定員で養成を行い、京都中央看護保健専門学校は、2012（平成24）年4月より学校名を（専）京都中央看護保健大学校に改め、統合カリキュラムによる看護保健学科4年課程1クラス40名、看護学科4年課程1クラス40名の合計80名定員で養成を行った。

両学校ともに時代のニーズにあわせた教育を実践し、将来を見据えた学校運営を行ってきた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には、例年と同様の学校運営ができない状況の中、両学校ともにオンライン授業を実施するための環境を整備し、

対面授業とオンライン授業との併用、また臨地実習前にPCR検査を行うなどさまざまな工夫を行い、感染防止対策を徹底することでコロナ禍における看護教育の質の確保に努めた。

高学歴を求める社会環境において、京都に看護学部を設置する大学が増加するとともに、18歳人口の減少により、学生募集を取り巻く環境は非常に厳しく、専門学校における学校運営は悪化の一途をたどり、各地で閉校が相次いでいる。

そのような厳しい状況下においても、高等教育において重要な役割を担う両専門学校には、今後も看護教育のあり方を見据えた中・長期的な視野に立ちながらの学校運営を行う必要があるとともに、就職内定率の高い専門学校の魅力を活かし、より専門性の高い、実践力のある人材の育成が求められる。

2) 臨床検査技師・臨床工学技士の養成

1973（昭和48）年4月、京都保健衛生学院として出発した臨床検査技師の養成は、夜間課程の第1期生31名の入学でスタートし、1986（昭和61）年9月に昼間部を新設し、現在は昼間・夜間を併せて80名の定員で養成を行ってきた。

しかしながら臨床検査技師を養成する大学が京都市内に1校開設された後は、少子化とあわせて学校運営がさらに厳しい状況となり、さらには2026（令和8）年度より臨床工学技士を養成する大学も開設されることから、今後さらに厳しい状況が予想される。

近年、現場におけるチーム医療に臨床検査技師が積極的に関わる機会が増えたこともあり、学校としては専門知識と技術の習得のみならず、医療人としての心も養い、社会に貢献する臨床検査技師の育成に力を注いだ。

臨床工学技士専攻科は定員24名と少数であるが、医用電気機器の保守点検、安全管理についての基礎知識、生命維持管理装置の操作、保守管理の基礎などの習得に重点をおいた教育を実践してきた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大時には、両学科ともにオンライン授業を実施するための環境を整備し、対面授業とオンライン授業と併用するなどのさまざまな工夫を行い、感染防止対策を徹底することでコロナ禍における質の確保にも努めた。

両学科ともに、診療情報管理士、第2種ME技術者、健康食品管理士等の資格も取得できる特徴を活かしながら今後も質の高い教育が求められる。

京都府医療勤務環境改善支援センター

2014（平成26）年6月の医療法改正により、医療機関の管理者が勤務環境改善の措置を講じることが求められ、都道府県で医療機関の勤務環境改善を促進するための支援を行うべく、拠点機能を持つ医療勤務環境改善支援センターの設置が義務付けられた。これに伴い、京都府は2015（平成27）年1月に「京

都府医療勤務環境改善支援センター」（以下、「勤改センター」）を設置し、当協会が勤改センターの運営を受託した。業務内容は、勤務環境改善に取り組む医療機関への個別支援・相談対応、勤務環境改善に関する研修会の実施、医療勤務環境改善マネジメントシステムの普及・啓発等が挙げられる。

京都府の勤改センターの特徴として、相談員は、医療労務管理アドバイザーである社労士を当協会職員として採用し、医業経営アドバイザーに会員施設の元事務長経験者を活用することで病院からも相談しやすい環境を構築している。

また、京都府独自の取り組みとして病院職員のモチベーション向上や人材確保・定着に資することを目的とし、府内の病院が雇用の質向上に取り組むことを宣言・公表して勤務環境改善に取り組む病院を勤改センターが認定を行う「京都いきいき働く医療機関認定制度」を2017（平成29）年1月より開始し、認定取得に向けての支援を行っている。

◆研修会

2020（令和2）年度

医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修（4回）

10月23日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「COVID-19襲来に翻弄された医療経営の状況を確認する～そして、民間医療機関目前のテーマ、資金繰りを考える～」

講師／石井孝宜（石井公認会計士事務所 所長、公認会計士・税理士）

11月19日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「時代が変わるとテーマも変わる？」



医療従事者確保・定着のための
経営・勤務環境改善研修

京都府勤改センターチラシ

懐疑心を持って医療の現実を見よう～今までの医療政策、今の医療提供体制、これからの変化について考える～

講師／石井孝宜

12月8日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「医師の働き方改革の現状について」

講師／馬場武彦（社会医療法人ペガサス理事長）

1月21日 京都私立病院協会会議室（Webのみ）

テーマ／「経営者・管理職が知っておきたいメンタルヘルス対策」

講師／西村幸秀（医療法人同仁会（社団）介護事業部事業部長統括医師）

2021（令和3）年度

医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修（4回）

10月19日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「“病院経営”の視点からコロナ禍の2020年を振り返る～禍の中で決定された骨太の方針と関連省庁見解も確認する～」

講師／石井孝宜

11月16日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「“これから何が”の視点から病院改革・第8次医療計画を考える～来年4月病院に義務化される外来報告と病床機能報告の相乗～」

講師／石井孝宜

12月7日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「地域で試されている病院の立ち位置」

講師／中山和則（筑波メディカルセンター病院副院長・事務部長）

1月18日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「医師の労働時間短縮計画作成のための取り組み」

講師／馬場武彦

2022（令和4）年度

医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境改善研修（3回）

10月18日 ハートンホテル京都（Web併用）

テーマ／「医師の働き方改革のためにやるべきこと—労働時間管理、宿日直許可申請、医師労働時間短縮計画を中心に—」

講師／福島通子（塩原公認会計士事務所・特定社会保険労務士）

12月1日 ハートンホテル京都（Web併用）

テーマ／「医師の働き方改革の最新動向と院内における効果的な進め方」

講師／斐 英洙（ハイズ株式会社代表／慶應義塾大学大学院特任教授）

12月14日 京都経済センター（Web併用）

テーマ／①「宿日直許可取得に向けた医師の労働時間管理について」

②「二次救急医療機関における宿日直許可を取得した事例」

③「医療機関勤務環境評価センターについて」

講師／①芦原教之（医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院事務長）



京都府勤改センター
イメージキャラクター
いきいきポップちゃん



京都いきいき働く医療機関認定制度
パンフレット



京都いきいき働く医療機関
認定制度ポスター

- ②吉田純一（社会医療法人中央会
尼崎中央病院理事長）
- ③石松宏章（Dr.JOY株式会社代
表取締役社長）

2023(令和5)年度

医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境
改善研修（3回）

8月29日 ハートンホテル京都（Web併用）
テーマ／「医師の働き方改革—令和6年4
月に向けて今すぐやるべきこと—」

講師／馬場武彦

10月25日 ハートンホテル京都（Web併用）
テーマ／「医師の働き方改革を院内で進め
るための3つの重要視点」

講師／斐 英洙

12月12日 京都経済センター（Web併用）
テーマ／「医療DXと勤務環境・経営改善」
講師／高橋 泰（国際医療福祉大学赤坂
心理・医療福祉マネジメント学部
教授）

2024(令和6)年度

医療従事者確保・定着のための経営・勤務環境
改善研修（3回）

11月11日 ハートンホテル京都（Web併用）
テーマ／「2024年診療報酬改定からポスト
2025へどうする医療機関経営」

講師／古株靖久（デロイトトーマツリス
クアドバイザリー合同会社ヘルス
ケアマネージャー）

撮影日 11月25日

配信期間 12月5日～12月23日

テーマ／「令和6年4月医師の働き方改革

施行後の病院経営」

講師／斐 英洙（慶應義塾大学大学院特
任教授）

1月29日 ハートンホテル京都（Web併用）
テーマ／「経営者・管理職が知っておきた
いメンタルヘルス対策」

講師／西村幸秀（西山病院院長）

◆病院訪問

令和2年度	18病院
令和3年度	6病院
令和4年度	4病院
令和5年度	10病院
令和6年度	25病院

◆医療機関からの個別相談対応

令和2年度	25件
令和3年度	39件
令和4年度	126件
令和5年度	189件
令和6年度	63件

◆京都府医療勤務環境改善支援センターNEWS(月
刊誌)の発刊

令和2年度	52号から63号
令和3年度	64号から75号
令和4年度	76号から87号
令和5年度	88号から99号
令和6年度	100号から111号

◆京都いきいき働く医療機関認定制度

令和2年度 宣言10病院 基本認定3病院



センターNEWS Vol.106 (2024年10月)



医療勤務環境改善研修会
「パワハラ防止法への対応について」



京都医療労務管理相談
コーナーパンフレット

令和3年度	宣言2病院	基本認定2病院
令和4年度	宣言0病院	基本認定4病院
令和5年度	宣言3病院	基本認定2病院
令和6年度	宣言3病院	基本認定2病院
計	宣言103病院	基本認定53病院

医療労務管理支援事業

当事業は労働局の委託事業で、医療勤務環境改善支援センターが医療勤務環境改善マネジメントシステムの導入を促進するため、医療機関を赴くなどアウトリーチ型の支援を強化し、医療機関における労務管理全般にわたる支援等を効果的に実施することを目的としている。京都府では京都府医療勤務環境改善支援センターを運営している当協会が2015（平成27）年より受託している。当事業では、医師の働き方改革や医療従事者の勤務環境改善に係る取り組みを推進するため、医療労務管理相談コーナーを開設して医療労務管理アドバイザー及び医療経営アドバイザーによる相談対応業務、個別支援業務、周知・広報業務等を行っている。また、2021（令和3）年度から2023（令和5）年度においては、毎月1回程度、アドバイザーが病院を訪問し、年間を通じて、勤務環境改善に向けて支援する特別支援事業を行った。

また、京都労働局、公益社団法人京都府看護協会の共催で医療勤務環境改善研修会を開催し、医療機関による積極的な勤務環境改善の促進に努めた。

◆研修会

2020(令和2)年度

- ・医療勤務環境改善研修会「パワハラ防止

法への対応について」

（共催：京都労働局）

10月12日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「新法で求められるパワハラ防止措置と間違いのない対応手順」

講師／岸川 守（関西ステート経営労務事務所代表・特定社会保険労務士）

- ・医療勤務環境改善研修会「タスク・シフト／シェアの推進について」

（共催：京都労働局、公益社団法人京都府看護協会）

11月5日 メルパルク京都（Web併用）

基調講演／「医師の働き方改革とタスク・シフト／シェア」

講師／秋山智弥（岩手医科大学看護学部共通基礎看護学講座特任教授・医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト／シェアの推進に関する検討会委員）

事例発表／特定行為研修を修了した看護師

山口剛史（洛和会音羽病院ICU/CCU主任）

医師事務作業補助者

中川良子（三菱京都病院医療支援課主任）

看護補助者

日下部佳子（丹後中央病院事務長）

2021(令和3)年度

- ・医療勤務環境改善研修会「医師、看護師等の宿日直許可基準について」

（共催：京都労働局）



医療勤務環境改善研修会「タスク・シフト／シェアの推進について」

10月25日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「医師、看護師等の宿日直許可基準について」

講師／小見伸雄（京都労働局労働基準部監督課統括特別司法監督官）

・医療勤務環境改善研修会「医師の働き方改革の進め方について」

（共催：京都労働局）

11月18日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「医師の働き方改革の進め方について」

講師／福島通子（塩原公認会計士事務所特定社会保険労務士）

・医療勤務環境改善研修会「業務改善による勤務環境改善について」

（共催：京都労働局、公益社団法人京都府看護協会）

1月13日 1月17日 1月21日（動画撮影）

2月3日～3月3日（動画配信）

基調講演／「医療機関の働き方改革～今のうちに対策しておきたい3テーマ～」

講師／竹中君夫（社会医療法人明和会医療福祉センターサステイナブル本部人事統括主幹）

事例発表／事務部門

金野栄一（洛和会音羽病院管理課課長）

看護部門

大平久美（熊本市医師会熊本地域医療センター前看護部長）

2022(令和4)年度

・医療勤務環境改善研修会「医療従事者の働き方改革について」

（共催：京都労働局、公益社団法人京都府看護協会）

10月27日 ハートンホテル京都（Web併用）

テーマ／「医師、看護師をはじめとする医療従事者の働き方改革について」

講師／諸橋泰夫（一般社団法人STRヘルスケアグループ常務理事）

・医療勤務環境改善研修会「医師の働き方改革について」

（共催：京都労働局）

11月9日 ハートンホテル京都（Web併用）

テーマ／「医師の働き改革と労働時間上限規制」

講師／岸川 守（関西ステート経営労務事務所代表・特定社会保険労務士）

・医療勤務環境改善研修会「医師等の宿日直許可基準について」

（共催：京都労働局）

12月21日 ハートンホテル京都（Web併用）

1月23日 ハートンホテル京都（Web併用）

テーマ／「医師等の宿日直許可基準について」

講師／小見伸雄（京都労働局労働基準部監督課統括特別司法監督官）

2023(令和5)年度

・医療勤務環境改善研修会「医師等の宿日直許可基準、研鑽時間の取扱いについて」

（共催：京都労働局）

・京都市内開催1回目



医療勤務環境改善研修会
「医師等の宿日直許可申請基準、研鑽時間の取扱いについて」

- 6月26日 京都経済センター (Web併用)
- ・京都府北部開催
- 7月3日 ホテルロイヤルヒル福知山&SPA (Web併用)
- ・京都府南部開催
- 7月12日 けいはんなプラザ (Web併用)
- ・京都市内開催2回目
- 8月3日 京都経済センター (Web併用)
- テーマ／「医師等の宿日直許可基準、研鑽時間の取扱いについて」
- 講師／各開催管轄区域の労働基準監督官
- ※各研修会終了後
- 「宿日直許可基準、研鑽時間の取扱いに関する相談会」を実施
- 相談対応／各開催管轄区域の労働基準監督官
- ・医療勤務環境改善研修会「医師の働き方、意識改革を進めるために」
(共催：京都労働局)
- 9月29日 ハートンホテル京都 (Web併用)
- テーマ／「医師の働き方、意識改革を進めるために～時短計画作成は始まりにすぎない～」
- 講師／中山和則 (日本病院会病院経営管理士会副会長・筑波メディカルセンター病院副院長・事務部長)
- ・医療勤務環境改善研修会「2024年4月医師の働き方改革施行に向けて」
(共催：京都労働局、公益社団法人京都府看護協会)
- 11月22日 ハートンホテル京都 (Web併用)
- テーマ／「2024年4月からの新制度施行前後でやるべきこと」
- 講師／福島通子 (塩原公認会計士事務所 特定社会保険労務士)
- ・医療勤務環境改善研修会「今後の労働時間管理と36協定について」
(共催：京都労働局)
- 1月22日 ハートンホテル京都 (Web併用)
- テーマ／「今後の労働時間管理と36協定について」
- 講師／深澤理香 (深澤社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士)
- 2024(令和6)年度
- ・医療勤務環境改善研修会「適正な労働時間管理と36協定」
(共催：京都労働局)
- 7月1日 ハートンホテル京都 (Web併用)
- テーマ／「適正な労働時間管理と36協定」
- 講師／多賀谷千尋 (京都労働局労働基準部監督課長)
- ・医療勤務環境改善研修会「宿日直許可取得後の適正な労務管理と自己研鑽について」
(共催：京都労働局)
- 8月2日 ハートンホテル京都 (Web併用)
- テーマ／「医師の働き方改革に関する取組」
- 講師／綱島佳子 (京都労働局労働基準部監督課 主任監察監督官)
- ・医療勤務環境改善研修会「労働安全衛生のポイント」
(共催：京都労働局)
- 9月5日 ハートンホテル京都 (Web併用)
- テーマ／「労働安全衛生のポイント」
- 講師／高塚知紀 (京都労働局労働基準部健康安全課課長)



医療勤務環境改善研修会「医師等の宿日直許可申請基準、研鑽時間の取扱いについて」



医療勤務環境改善研修会「医療機関におけるハラスメント防止対策について」

- ・医療勤務環境改善研修会「医療機関におけるハラスメント防止対策について」

(共催：京都労働局)

10月31日 ハートンホテル京都 (Web併用)
テーマ／「医療機関におけるハラスメント防止対策～指針と裁判例から学ぶ判断基準～」

講師／岸川 守 (関西ステート経営労務事務所代表・特定社会保険労務士)

- ・医療勤務環境改善研修会「医療従事者の働き方改革における取り組みについて」

(共催：京都労働局)

12月5日 ハートンホテル京都 (Web併用)
テーマ／「医療従事者の働き方改革の“今”と“これから”―法令順守に向けた取り組み―」

講師／福島通子 (福島通子社会保険労務士事務所特定社会保険労務士)

- ・医療勤務環境改善研修会「2024年4月以降の医師の働き方改革における労務管理について」

(共催：京都労働局)

2月10日 ハートンホテル京都 (Web併用)
テーマ／「2024年4月以降の医師の働き方改革における労務管理について」

講師／浅見 浩 (特定社会保険労務士・浅見社会保険労務士法人代表)

◆特別支援事業による支援

2021(令和3)年度支援施設：

桃仁会病院

2022(令和4)年度支援施設：

京都岡本記念病院、京都八幡病院、醍醐病院

2023(令和5)年度支援施設：

学研都市病院、京都岡本記念病院、京都府立医科大学附属北部医療センター

勤務医勤務環境改善体制整備事業

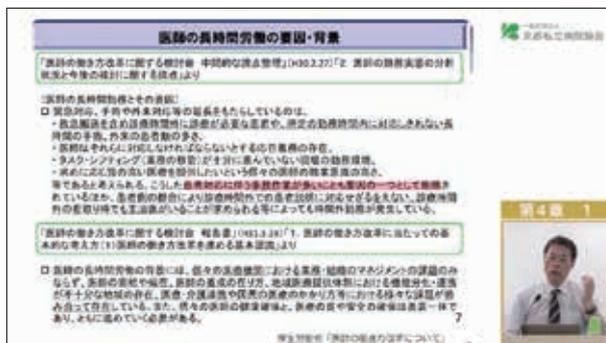
2024(令和6)年4月から施行される医師の時間外上限規制の適用に向けて、各医療機関における医師をはじめとする医療従事者の働き方改革への取り組みは重要な課題であった。しかし、医療機関によっては、院内の情報機器体制等のICT環境が十分に整備されていないことから、働き方改革の取り組みが進まない医療機関が見受けられた。

上記を踏まえ、ICT環境が十分に整備できていない医療機関が、勤務医をはじめとする医療従事者を対象として、AIを活用した問診システム、オンライン診療及び遠隔診療を行うためのPC等の設備、機器を導入した際に、その設備投資費の一部を補助する事業「勤務医勤務環境改善体制整備事業」を京都府が2021(令和3)年度に策定し、当協会が事業実施を受託し、会員施設の院内における情報設備・機器等の整備を図った。

また、2024(令和6)年度は、上記の事業に加え、病院の医療情報システムに関わる担当者がシステムを管理・運用する上で押さえておくべき基礎知識を体系的に習得することを目的とした「医療情報システム管理者育成講座」の実施、医師が診療業務に専念できる勤務環境を整え、医療の質と安全を確保すると同時に、持続可能な医療提供体制を維持することを目的に勤務環境改善に係る研修会(医師事務作業補助者研修会)を実施した。



医療情報システム管理者養成講座



勤務環境改善に係る研修会
(医師事務作業補助者研修会)

◆設備・機器の補助

- 2021（令和3）年度対象施設 12施設
- 2022（令和4）年度対象施設 14施設
- 2023（令和5）年度対象施設 9施設
- 2024（令和6）年度対象施設 9施設

◆研修会

2024(令和6)年度

・医療情報システム管理者育成講座

第1回 7月18日

カリキュラム／「情報システムの基礎」

第2回 8月26日

カリキュラム／「ガイドラインの要求事項①」

第3回 9月24日

カリキュラム／「ガイドラインの要求事項②」

第4回 10月30日

カリキュラム／「リスク評価の基礎」

第5回 11月27日

カリキュラム／「インシデント対応」

第6回 12月19日

カリキュラム／「システム監査の基礎」

講師（各回共通）／大久保茂人（プラスエス代表情報処理安全確保支援士・医療情報技師）

※各回、京都経済センターで開催

受講者／30名 修了者／27名

・勤務環境改善に係る研修会（医師事務作業補助者研修会）

第1回 8月2日～9月1日 Web

受講者／120名 修了者／117名

第2回 1月17日～2月16日 Web

受講者／56名 修了者／55名

研修内容

第1章 医師事務作業補助者のあり方と待遇・個人情報の保護

講師：勝元伸二（岸和田徳洲会病院診療情報管理室課長）

第2章 診療支援業務と配置部署における診療の流れ

講師：阿南 誠（川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部医療情報学科教授）

第3章 医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）

講師：井關博喜（洛和会ヘルスケアシステム本部医療情報部次長）

第4章 保険診療概要

講師：仲田昌司（三菱京都病院事務長）

第5章 医師法、医療法、薬機法、健康保険法等の関連法規の概要

講師：藪本恭明（大阪国際総合法律事務所弁護士・医師）

第6章 医学一般

講師：石丸庸介（京都田辺中央病院理事長）

第6章 感染対策

講師：清水 聡（京都南病院理事長）

第7章 医療安全

講師：岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）

第8章 薬剤の基礎知識（処方箋の知識）

講師：笹原千聖（京都民医連あすかい病院薬剤課主任）

第9章 検査一般の知識（臨床検査部門）

講師：増田信弥（京都民医連中央病院検



看護職つながりネット復職支援セミナー



看護職つながりネット復職支援セミナー（動画収録）

査技術課統括課長)

第9章 検査一般の知識(放射線部門)

講師:池信祐二(宇治徳洲会病院放射線
科技師長代行)

第10章 診断書・証明書等の実務

講師:阿部二郎(医仁会武田総合病院事
務長・診療情報管理士)

その結果、2025(令和7)年3月31日時点で
1,910名の看護職が登録し、そのうち464名が再就業
を果たした。

◆登録看護職に対するセミナー

2020(令和2)年度

第91回 2020(令和2)5月19日(動画撮影)

5月22日~5月28日(動画配信)

テーマ/「ストレスとうまく付き合ってますか?
~“日常”と“非日常”の過ごし方」

講師/片桐陽子(栄仁会京都駅前メンタル
クリニック・臨床心理士)

第92回 2020(令和2)6月5日(動画撮影)

6月10日~6月16日(動画配信)

テーマ/「タクティールケアについて」

講師/上坂勝芳(株式会社日本スウェーデン
福祉研究所)

第93回 2020(令和2)6月26日(動画撮影)

7月1日~7月7日(動画配信)

テーマ/「ちょっと気になる排泄支援とは?」

講師/山下和典(メディケア・リハビリ訪
問看護ステーション京都・作業療法士)

第94回 2020(令和2)7月16日(動画撮影)

7月28日~8月3日(動画配信)

テーマ/「認知症高齢者のコミュニケーション
方法について」

講師/山田亜由美(京都民医連中央病院・
認知症看護認定看護師)

第95回 2020(令和2)8月20日

京都私立病院協会会議室

テーマ/「輸液・経腸栄養療法の基礎について」

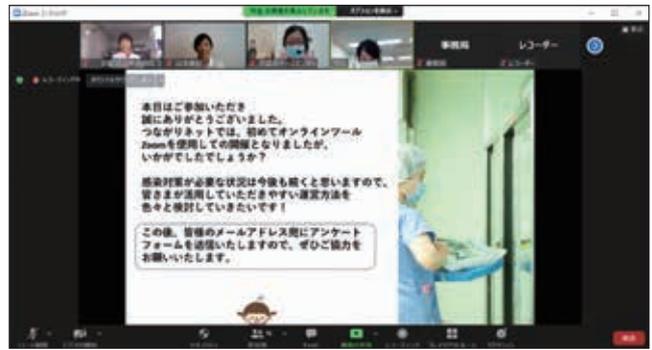
講師/株式会社大塚製薬工場

看護人材早期復職支援事業

看護職不足のひとつの要因となっている看護職員の潜在化に対し、京都府では現場を退職した看護職員の早期復帰を推進することにより就業看護職員を確保するべく、2012(平成24)年度に「看護人材確保支援事業」が策定され、当協会が事業運営を受託した。

看護現場を退職する看護職員及び未就業の看護職に対する登録制度の構築・普及、登録看護職に対する支援、支援により就業意欲が高まった看護職を無料職業紹介機関に繋げるなど、看護職へのサポートをしながら早期復職を支援する「京都府看護職復職支援・キャリアサポート つながりネット(以下、つながりネット)」を推進している。

また、2009(平成21)年度より介護・福祉の関係機関・団体が介護・福祉人材の確保・定着に取り組んでいる「きょうと介護・福祉ジョブネット」の看護職確保プロジェクトチームの運営事務も2012(平成24)年度より当協会が受託している。ジョブネットに参画する医療・介護・福祉の各団体、行政が協働してつながりネットの登録推進・再就業支援に取り組む、オール京都体制での看護職確保に取り組んでいる。



看護職つなごネットオンライン座談会

第96回 2020(令和2)年8月24日

メルパルク京都

テーマ／「はじめてのアンガーマネジメント」

講師／井上泰世(株式会社ナースハート代表取締役)

第97回 2020(令和2)年9月14日(動画撮影)

9月17日～9月23日(動画配信)

テーマ／「看取り・グリーフケア」

講師／野口幸子(稲荷山武田病院・緩和ケア認定看護師)

第98回 2020(令和2)年10月23日(動画撮影)

10月28日～11月4日(動画配信)

テーマ／「糖尿病看護～ケアのおさらいと簡単フットケア～」

講師／嶋田幸子(京都田辺中央病院・慢性疾患看護専門看護師)

第99回 2020(令和2)年11月17日(動画撮影)

11月19日～11月26日(動画配信)

テーマ／「新型コロナウイルス感染症対策と訪問看護」

講師／藤澤泉利(訪問看護ステーション・右京医師会)

第100回 2020(令和2)年7月30日(動画撮影)

12月15日～12月22日(動画配信)

テーマ／「看護職が知っておきたい臨床検査値の読み方」

講師／江口光徳(宇治徳洲会病院検査科技師長・臨床検査技師)

第101回 2020(令和2)年11月20日(動画撮影)

1月28日～2月7日(動画配信)

テーマ／「新型コロナウイルスと感染対策の話」

講師／谷山絵梨子(三菱京都病院・感染管

理認定看護師)

第102回 2020(令和2)年8月18日(動画撮影)

3月2日～3月12日(動画配信)

テーマ／「褥瘡の予防と治療」

講師／伊藤貢江(京都桂病院・皮膚排泄ケア認定看護師)

2021(令和3)年度

第103回 2021(令和3)年4月16日(動画撮影)

4月26日～5月6日(動画配信)

テーマ／「対人関係のストレスと付き合うために～コミュニケーションのポイントと、しんどい気持ちとの付き合い方～」

講師／片桐陽子(栄仁会京都駅前メンタルクリニック・臨床心理士)

第104回 2021(令和3)年5月17日(動画撮影)

5月25日～6月4日(動画配信)

テーマ／「タクティールケアについて」

講師／上坂勝芳(株式会社日本スウェーデン福祉研究所)

第105回 2021(令和3)年6月18日(動画撮影)

6月24日～7月5日(動画配信)

テーマ／「糖尿病看護について」

講師／木下 淳(フリーランス糖尿病看護ケアサポートシステムズ代表)

第106回 2021(令和3)年7月14日(動画撮影)

7月21日～8月1日(動画配信)

テーマ／「酸素療法～全ての呼吸ケアのFirst step」

講師／田中鮎美(京都田辺中央病院・慢性呼吸器疾患看護認定看護師)

第107回 2021(令和3)年8月11日(動画撮影)



看護職つながりネット
Instagram



看護職つながりネットWebサイト
<https://www.khosp.or.jp-net>

8月18日～8月31日（動画配信）

テーマ／「腰痛対策～予防体操と介助技術～」

講師／秋本喜英（医仁会武田総合病院リハビリテーション科科长・理学療法士）

第108回 2021(令和3)年9月8日

テーマ／「看護職さんのためのオンライン座談会“キャリア選びのヒントに～病院で働く”」

講師／植村ひかる（京都田辺中央病院看護部長）、山本美紀（医仁会武田総合病院看護部長）

第109回 2021(令和3)年8月31日（動画撮影）

9月16日～9月28日（動画配信）

テーマ／「看護師が知っておきたい臨床検査値の見方」

講師／江口光徳（宇治徳洲会病院検査科技師長・臨床検査技師）

第110回 2021(令和3)年10月14日（動画撮影）

10月20日～11月3日（動画配信）

テーマ／「新型コロナウイルスから学ぶ！現場で生かせる感染対策」

講師／谷山絵梨子（三菱京都病院・感染管理認定看護師）

第111回 2021(令和3)年11月16日（動画撮影）

11月24日～12月5日（動画配信）

テーマ／「①訪問看護はじめてみませんか？
②在宅でのエンド・オブ・ライフケア」

講師／藤原美智子（訪問看護ステーション「がくさい」・訪問看護認定看護師）
寸田初美（葵会総合ケアステーション・訪問看護認定看護師）

第112回 2021(令和3)年10月28日（動画撮影）

12月14日～12月24日（動画配信）

テーマ／「放射線と画像診断について」

講師／川越 聡（武田病院・放射線技師）

第113回 2021(令和3)年9月27日（動画撮影）

1月26日～2月6日

テーマ／「認知症高齢者のコミュニケーション方法と環境整理」

講師／山田亜由美（京都市民医連中央病院・認知症看護認定看護師）

第114回 2021(令和3)年12月16日（動画撮影）

3月14日～3月27日

テーマ／「褥瘡の治療とケア」

講師／伊藤貢江（京都桂病院・皮膚排泄ケア認定看護師）

2022(令和4)年度

第115回 2022(令和4)年4月15日（動画撮影）

4月25日～5月6日（動画配信）

テーマ／「セルフ・コンパッションでストレスケア～つらい時こそ、自分に思いやりを向けてみませんか～」

講師／片桐陽子（栄仁会京都駅前メンタルクリニック・臨床心理士）

第116回 2022(令和4)年5月16日（動画撮影）

5月24日～6月7日（動画配信）

テーマ／「排泄自立支援に向けての考え方と支援～その人らしい生活へ～」

講師／山下和典（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都・作業療法士）

第117回 2022(令和4)年6月22日（動画撮影）

6月28日～7月8日（動画配信）

テーマ／「フットケア教室！Part 1～糖尿病フットケアの基礎知識から基礎技術

- まで～」
 講師／木下 淳（フリーランス糖尿病看護
 ケアサポートシステムズ代表）
- 第118回 2022(令和4)年7月12日（動画撮影）
 7月22日～8月2日（動画配信）
 テーマ／「高齢者の転倒予防～評価とトレーニング～」
 講師／秋本喜英（医仁会武田総合病院リハ
 ビリテーション科科长・理学療法士）
- 第119回 2022(令和4)年8月10日（動画撮影）
 8月23日～9月5日（動画配信）
 テーマ／「特定行為看護師について」
 講師／木村理香（京都田辺中央病院看護副
 部長・特定行為看護師）
- 第120回 2022(令和4)年9月30日（動画撮影）
 10月7日～10月17日（動画配信）
 テーマ／「症例から学ぶ今どきの褥瘡ケア～
 予防編～」
 講師／植村陽子（三菱京都病院・皮膚・排
 泄ケア認定看護師）
- 第121回 2022(令和4)年10月17日（動画撮影）
 10月21日～11月1日（動画配信）
 テーマ／「症例から学ぶ今どきの褥瘡ケア～
 治療編～」
 講師／植村陽子（三菱京都病院・皮膚・排
 泄ケア認定看護師）
- 第122回 2022(令和4)年8月30日（動画撮影）
 11月17日～11月28日（動画配信）
 テーマ／「看護師が知っておきたい臨床検査
 値・心電図の見方」
 講師／江口光徳（宇治徳洲会病院検査科技
 師長・臨床検査技師）

- 第123回 2022(令和4)年11月9日（動画撮影）
 11月30日～12月8日（動画配信）
 テーマ／「新型コロナ感染拡大と訪問看護～
 左京での取り組み～」
 講師／松久保真美（ナーシングケアホーム
 おとく・訪問看護認定看護師）
- 第124回 2022(令和4)年10月27日（動画撮影）
 12月14日～12月26日（動画配信）
 テーマ／「安全な食事介助について～姿勢の
 重要性について体験してみよう～」
 講師／石田智子（医仁会武田総合病院・摂
 食・嚥下障害看護認定看護師）
- 第125回 2023(令和5)年1月23日（動画撮影）
 1月23日～2月6日（動画配信）
 テーマ／「医療安全に必要な safety-2 と心
 理的安全性」
 講師／藤井 耕（京都民医連中央病院・医
 療安全対策室室長）
- 第126回 2022(令和4)年8月24日（動画撮影）
 2月27日～3月13日（動画配信）
 テーマ／「認知症高齢者のコミュニケーション
 方法と療養環境の調整」
 講師／山田亜由美（京都民医連中央病院・
 認知症看護認定看護師）
- ※潜在看護師等の技術的な不安を解消すべく
 （専）京都中央看護保険大学の協力によ
 り基礎技術講習を実施
 看護スキル確認講習会 開催回数／8回
- 2023(令和5)年度
- 第127回 2023(令和5)年4月24日（動画撮影）
 4月28日～5月11日（動画配信）
 テーマ／「排尿障害の基礎～トイレをみます

- か、トイレもみますか〜」
 講師／山下和典（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都・作業療法士）
- 第128回 2023(令和5)年5月18日（動画撮影）
 5月23日～6月4日（動画配信）
 テーマ／「セルフケアと支援に活かす～看護職のための認知行動療法入門その2」
 講師／山出健博（長岡病院・心理課主任補佐）
- 第129回 2023(令和5)年6月14日（動画撮影）
 6月20日～7月2日（動画配信）
 テーマ／「はじめての口腔ケア」
 講師／東光里恵（京都田辺中央病院・歯科衛生士）
- 第130回 2023(令和5)年6月26日（動画撮影）
 7月6日～7月19日（動画配信）
 テーマ／「①褥瘡予防的ケア・②褥瘡治療的ケア」
 講師／伊藤貢江（京都桂病院・皮膚・排泄ケア認定看護師）
- 第131回 2023(令和5)年7月12日（動画撮影）
 7月21日～8月2日（動画配信）
 テーマ／「フットケア教室！Part2～必見・トラブル爪のケア！～」
 講師／木下 淳（フリーランス糖尿病看護ケアサポートシステムズ代表）
- 第132回 2023(令和5)年7月25日（動画撮影）
 8月10日～8月22日（動画配信）
 テーマ／「緩和ケアについて学ぼう～看護師として大切なこと～」
 講師／森井淳子（京都桂病院・がん看護専門看護師）
- 第133回 2023(令和5)年8月28日（動画撮影）
 9月4日～9月18日（動画配信）
 テーマ／「頑張りすぎない！これからの感染対策の考え方」
 講師／谷山絵梨子（三菱京都病院・感染管理認定看護師）
- 第134回 2023(令和5)年10月11日（動画撮影）
 10月17日～10月30日（動画配信）
 テーマ／「実践に生かせるフィジカルアセスメント」
 講師／萩原絵理（医仁会武田総合病院・クリティカルケア認定看護師）
- 第135回 2023(令和5)年11月20日（動画撮影）
 11月27日～12月12日（動画配信）
 テーマ／「訪問看護について」
 講師／小林菜穂子（訪問看護ステーションふれみる・訪問看護認定看護師）
 田中恵里（訪問看護ステーションひまわり・訪問看護認定看護師）
- 第136回 2023(令和5)年10月27日（動画撮影）
 12月13日～12月25日（動画配信）
 テーマ／「明日から使える心不全の基礎知識～心不全なんて怖くない～」
 講師／藤本幸江（医仁会武田総合病院・心不全療養指導士）
- 第137回 2023(令和5)年10月10日（動画撮影）
 1月23日～2月6日（動画配信）
 テーマ／「看護師が知っておきたい臨床検査値・心電図の見方」
 講師／江口光徳（宇治徳洲会病院検査科技師長・臨床検査技師）
- 第138回 2024(令和5)年9月29日（動画撮影）
 3月15日～3月20日（動画配信）

テーマ／「認知症高齢者のコミュニケーション方法と療養環境の調整」

講師／山田亜由美（京都民医連中央病院・認知症看護認定看護師）

※潜在看護師等の技術的な不安を解消すべく（専）京都中央看護保険大学の協力により基礎技術講習を実施

看護スキル確認講習会 開催回数／12回

2024(令和6)年度

第139回 2024(令和6)年4月8日（動画撮影）

4月19日～5月6日（動画配信）

テーマ／「創傷ケア用品の選び方・使い方」

講師／伊藤貢江（京都桂病院・皮膚・排泄ケア認定看護師、特定看護師（創傷））

第140回 2024(令和6)年6月6日（動画撮影）

6月17日～7月1日（動画配信）

テーマ／「アンガーマネジメント～イライラの正体を理解してうまく付き合おう～」

講師／林たみ子（洛和会ヘルスケアシステム洛和会メンタルサポート室 臨床心理室主席課長）

第141回 2024(令和6)年7月2日（動画撮影）

7月9日～7月22日（動画配信）

テーマ／「がん患者の意思決定支援」

講師／森井淳子（京都桂病院・がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師）

第142回 2024(令和6)年7月16日（動画撮影）

7月25日～8月7日（動画配信）

テーマ／「いまさら聞けない？看護師に役立つ抗菌薬の基礎知識—疥癬（かいせん）や新型コロナウイルス治療薬も含めて—」

講師／下田優作（京都久野病院薬局長・抗
菌化学療法認定薬剤師、感染制御認
定薬剤師）

第143回 2024(令和6)年8月22日（動画撮影）

8月29日～9月12日（動画配信）

テーマ／「フットケア@ベッドサイド 糖尿病看護におけるフットケア」

講師／嶋田幸子（京都田辺中央病院・慢性疾患看護専門看護師）

第144回 2024(令和6)年9月10日（動画撮影）

9月19日～10月3日（動画配信）

テーマ／「心電図の撮り方、見方」

講師／西村和司（武田病院検査科長）

第145回 2024(令和6)年10月7日（Web）

10月16日～10月30日（動画配信）

テーマ／「人生100年時代を生きる人々を支える看護師たちへ～看護倫理に触れよう」

講師／宮脇裕子（医仁会武田総合病院・上級臨床倫理認定士）

第146回 2024(令和6)年11月11日（Web）

11月20日～12月4日（動画配信）

テーマ／「感染対策のきほんの「き」～目にみえないからこそ大事～」

講師／高垣結香（医仁会武田総合病院・感染管理認定看護師）

第147回 2024(令和6)年10月31日（動画撮影）

12月4日～12月18日（動画配信）

テーマ／「これからの時代と看取り」

講師／堤 風馬（ぐりっと洛西訪問看護ステーション統括管理者・在宅ケア認定看護師）

第148回 2024(令和6)年12月11日（Web）

1月7日～1月21日（動画配信）

テーマ／「摂食嚥下のメカニズムと食事介助について」

講師／石田智子（医仁会武田総合病院・摂食嚥下障害看護認定看護師）

第149回 2025(令和7)年1月16日（動画撮影）

1月23日～2月6日（動画配信）

テーマ／「今日の医療安全」

講師／西崎節子（学研都市病院看護部長）

第150回 2024(令和6)年10月25日（動画撮影）

3月4日～3月18日（動画配信）

テーマ／「認知症初期集中支援チームの役割と支援の実際」

講師／山田亜由美（京都民医連太子道診療所・認知症看護認定看護師）

※潜在看護師等の技術的な不安を解消すべく（専）京都中央看護保険大学校、京都保健衛生専門学校との協力により基礎技術講習を実施
看護スキル確認講習会 開催回数／12回

京都市離職看護師能力再開発事業

離職看護師の再就業を支援して京都市内の医療機関の看護師確保に資するため、京都市は2011（平成23）年度に病院が実施した研修に要する経費の一部を補助する「離職看護師能力再開発事業」を策定し、2011（平成23）年度より事業実施を当協会が受託し、離職看護師能力再開発研修を実施した市内会員施設における離職看護師の再就業への取り組みの支援に努めた。

看護職員の資格を持ちながら仕事に就いていない離職看護師の数は、厚生労働省によると全国で約70

万人以上いると推測されている。子育てや家事との両立が難しい、ブランクがあり不安、看護内容や労働時間への不満など、看護師として働いていない理由はさまざまだと予想されるが、近年ワークライフバランスの充実に取り組む病院も増えており、離職看護師の再就業が期待されている。

◆事業実績

2020(令和2)年度～2024(令和6)年度 各年度補助金額 500,000円

これからの社会保障を考えるセミナー

2025年・2040年に向けての医療・介護提供体制の構築に対応し得る組織づくりと医療従事者の確保・定着は、病院経営者・経営に携わる管理職としての重要な役割であり、病院の理事長・院長・事務長・看護部長をはじめ、経営・労務の管理職を対象として、地域医療構想、地域包括ケアシステムの実現に必要な病床機能の充実・転換を図るために、医療政策の今後の方向性や経営改善を考えるとともに、医療従事者の確保・定着にもつなげるセミナーを開催した。

◆2020(令和2)年度

・7月21日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「新型コロナウイルス感染症について」

講師／長尾美紀（京都大学医学部附属病院検査部・感染制御部部長、京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学教授）

テーマ／「地域医療構想について」

解説／小森直之（当協会副会長・なぎ辻病



これからの社会保障を考えるセミナー

院理事長)

- ・10月30日 登録会館 (Web併用)
テーマ/「新型コロナウイルス感染症の経営への影響と活用できる補助制度」
講師/増井浩平 (山田コンサルティンググループ株式会社ヘルスケアコンサルティング事業部長)
テーマ/「新型コロナウイルス感染症との共存」
講師/吉川敏一 (公益財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター理事長、京都府立医科大学前学長)
テーマ/「京都府地域包括ケア構想 (地域医療ビジョン) について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」
解説/真下信男 (京都府健康福祉部医療課参事)
- ・11月25日 登録会館 (Web併用)
テーマ/「新型コロナウイルス感染症～わかっていること、わかってほしいこと」
講師/藤田直久 (京都府立医科大学感染制御・検査医学病院教授)
テーマ/「地域包括ケアシステムの推進、病床機能分化に必要な病院の役割について」
解説/真下信男 (京都府健康福祉部医療課参事)
- ・12月17日 メルパルク京都 (Web併用)
テーマ/「ウィズコロナ時代における病院の経営戦略～診療報酬の視点から～」
講師/中林 梓 (株式会社ASK 梓診療報酬研究所代表取締役)
- ・2月20日 メルパルク京都 (Web併用)
テーマ/「令和3年度介護報酬改定について」
講師/眞鍋 馨 (厚生労働省老健局老人保

健課課長)

共 催/京都府慢性期医療協会

◆2021 (令和3) 年度

- ・9月11日 メルパルク京都 (Web併用)
テーマ/「京都府における新型コロナウイルス感染症に対する対応について」
「地域医療計画・地域医療構想の今後」
講師/長谷川 学 (京都府健康福祉部長)
- ・12月13日 メルパルク京都 (Web併用)
テーマ/「いまさら聞けないCOVID-19のウイルス学」
講師/中屋隆明 (京都府立医科大学大学院医学研究科感染病態学教授)
テーマ/「京都府地域包括ケア構想 (地域医療ビジョン) について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」
解説/真下信男 (京都府健康福祉部医療課参事)
- ・2月26日 京都私立病院協会会議室 (Web併用)
テーマ/「令和4年度診療報酬改定について」
講師/井内 努 (厚生労働省保険局医療課長)
- ・3月23日 メルパルク京都 (Web併用)
テーマ/「2022年度診療報酬改定の重要ポイントと対応策を踏まえた今後の病院経営」
講師/中林 梓 (株式会社ASK 梓診療報酬研究所代表取締役・所長)



これからの社会保障を考えるセミナー

◆2022(令和4)年度

- ・ 7月9日 登録会館 (Web併用)
テーマ／「2040年を見据えた医療提供体制を考える—コロナ対応で明らかとなった課題とともに—」
講師／伊原和人 (厚生労働省保険局長)
- ・ 9月15日 京都経済センター (Web併用)
テーマ／「2040年に向けた全世代型社会保障制度の構築と病院経営—勤労者皆保険、医療DX、働き手確保、2024年度トリプル改定に向けて—」
講師／仲野 豊 (株式会社仲野メディカルオフィス代表取締役)
- ・ 11月15日 京都経済センター (Web併用)
テーマ／「“再評価は、再編を加速します”「第8次医療計画の中心は病院改革」～何が入院で、何が病院の果たすべき外来か?～」
講師／石井孝宜 (石井公認会計士事務所 所長・公認会計士)
- ・ 3月14日 京都経済センター (Web併用)
テーマ／「今国会提出か? 全世代社会保障法案「医療法人の経営情報のデータベース構築・公表制度とかかりつけ医機能報告制度の創設か?」～2つの医療提供体制関連の制度創設を考える～」
講師／石井孝宜 (石井公認会計士事務所 所長・公認会計士)

◆2023(令和5)年度

- ・ 6月24日 ホテルグランヴィア京都 (Web併用)

テーマ／「社会保障をめぐる最近の動き」

講師／大島一博 (厚生労働事務次官)

- ・ 11月28日 ハートンホテル京都 (Web併用)
テーマ／「始まる医業経営情報DXと医療提供体制再編」～(入院・外来)→(入院・外来・在宅)を考え、変化の本質を見極める～」
講師／石井孝宜 (石井公認会計士事務所 所長・公認会計士)
- ・ 2月27日 京都経済センター (Web併用)
テーマ／「京都府保健医療計画の概要と今後の展望について」
講師／長谷川 学 (京都府健康福祉部長)
- ・ 3月28日 からすま京都ホテル (Web併用)
テーマ／「令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定への対応—改定直前対策—」
講師／中林 梓 (株式会社ASK梓診療報酬研究所 所長)

◆2024(令和6)年度

- ・ 4月26日 からすま京都ホテル
テーマ／①「令和6年度診療報酬改定について」
②「令和6年度介護報酬改定について」
講師／①眞鍋 馨 (厚生労働省保険局医療課長)
②古元重和 (厚生労働省老健局老人保健課長)
- ・ 11月21日 京都経済センター (Web併用)
テーマ／「病院経営の『去年と今年と来年』」～令和5年の病院経営結果報告、令

和6年改定の実像分析、そして、令和7年新しくなる地域医療構想～
講師／石井孝宜（石井公認会計士事務所
長・公認会計士）

- ・ 1月18日 京都ブライトンホテル
テーマ／「2040年に向けた医療・介護を考
える」

講師／伊原和人（厚生労働事務次官）

- ・ 3月29日 京都経済センター
テーマ／①「厚生労働省での働き方改革」
②「医療DXで変わる未来」
③「地域包括ケアシステムの構築と
地域共生社会の実現」
④「こどもの第三の居場所をつくる
～こども家庭庁の取組の一つとし
て～」
⑤「インフレと人口減少社会におけ
る社会保障」

講師／①奥山晃正（厚生労働省大臣官房人
事課企画官）

- ②西川宜宏（厚生労働省大臣官房総
務課企画官（医政局特定医薬品開
発支援・医療情報担当参事官室、
医政局、健康・生活衛生局、感染
症対策部併任）
- ③南 孝徳（厚生労働省社会・援護
局地域福祉課生活困窮者自立支援
室長、地域共生社会推進室長）
- ④山下 護（こども家庭庁支援局総
務課長）
- ⑤大島一博（株式会社国際社会経済
研究所理事、前厚生労働事務次官）

医療従事者勤務環境改善体制整備事業

医師が診療業務に専念できる勤務環境を確保し、医療の質向上を図るべく、医師が行う業務のうち、カルテの入力・診断書や退院サマリーの作成等の事務的作業を代行する医師事務作業補助者の養成を目的とした事業として2015（平成27）年度より「医師事務作業補助者研修会」を開催している。修了者には診療報酬上の医師事務作業補助体制加算の施設基準に定める32時間の研修要件を満たすことを証明する修了証を交付した。

事業開始当初は日本病院会の協力を得て実施、その後平成28年度から当協会独自で企画・運営を行い、研修会を開催している。なお、2021（令和3）年度より、従来の会場開催型からeラーニングシステムを用いて本研修会を開催している。

なお、2024（令和6）年度以降の開催は、勤務医勤務環境改善体制整備事業として実施した。

◆医師事務作業補助者研修会

病院勤務医の負担を軽減し、勤務環境の改善を図るため、各医療機関が医師の事務作業を代行する医師事務作業補助者を配置することができるように養成研修を実施した。

2020（令和2）年度

受講者／40名 修了者／39名

1日目 8月30日 9：00～18：20

於：メルパルク京都

研修内容

第10章 診断書・証明書等の実務

講師：中山和則（筑波メディカルセン
ター病院副院長・事務部長）



2020年度医師事務作業補助者研修

第1章 医師事務作業補助者のあり方と
接遇・個人情報の保護

講 師：勝元伸二（岸和田徳洲会病院診
療情報管理室課長）

2日目 9月6日 9：00～18：40

於：メルパルク京都

研修内容

第2章 診療支援業務と配置部署におけ
る診療の流れ

講 師：阿南 誠（川崎医療福祉大学医
療福祉マネジメント学部医療情
報学科教授）

第7章 医療安全

講 師：南川哲寛（京都岡本記念病院副
院長）

第6章 医学一般

講 師：石丸庸介（田辺中央病院理事長）

3日目 9月13日 9：00～18：40

於：京都経済センター

研修内容

第4章 保険診療概要

講 師：仲田昌司（三菱京都病院事務長）

第9章 検査一般の知識（臨床検査部門）

講 師：増田信弥（京都民医連中央病院
検査技術課課長）

第9章 検査一般の知識（放射線部門）

講 師：茶谷和真（田辺中央病院放射線
科科長）

第8章 薬剤の基礎知識（処方箋の知識）

講 師：浅野育子（京都民医連あすかい
病院薬剤課）

4日目 9月20日 9：00～18：40

於：メルパルク京都

研修内容

第3章 医療情報システムと電子カルテ
（診療録の記載・管理・がん登
録含む）

講 師：井關博喜（洛和会ヘルスケアシ
ステム本部医療情報部次長）

第6章 感染対策

講 師：清水 聡（京都南病院理事長）

第5章 医師法、医療法、薬事法、健康
保険法等の関連法規の概要

講 師：藪本恭明（大阪国際綜合法律事
務所弁護士・医師）

（※事務局メモ：第2回は医療従
事者キャリア向上事業（事務長会）
の事務職基礎研修会として実施）

2021（令和3）年度

【第1回】8月6日～9月5日 Web

受講者／171名 修了者／164名

【第2回】1月21日～2月20日 Web

受講者／56名 修了者／54名

研修内容

第1章 医師事務作業補助者のあり方と
接遇・個人情報の保護

講 師：勝元伸二（岸和田徳洲会病院診
療情報管理室課長）

第2章 診療支援業務と配置部署におけ
る診療の流れ

講 師：阿南 誠（川崎医療福祉大学医
療福祉マネジメント学部医療情
報学科教授）

第3章 医療情報システムと電子カルテ

(診療録の記載・管理・がん登録含む)

講師：井關博喜（洛和会ヘルスケアシステム本部医療情報部次長）

第4章 保険診療概要

講師：仲田昌司（三菱京都病院事務長）

第5章 医師法、医療法、薬機法、健康保険法等の関連法規の概要

講師：籾本恭明（大阪国際綜合法律事務所弁護士・医師）

第6章 医学一般

講師：石丸庸介（京都田辺中央病院理事長）

第6章 感染対策

講師：清水 聡（京都南病院理事長）

第7章 医療安全

講師：岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）

第8章 薬剤の基礎知識（処方箋の知識）

講師：守谷まさ子（綾部ルネス病院薬剤科長）

第9章 検査一般の知識（臨床検査部門）

講師：増田信弥（京都民医連中央病院検査技術課統括課長）

第9章 検査一般の知識（放射線部門）

講師：茶谷和真（京都田辺中央病院放射線科科長）

第10章 診断書・証明書等の実務

講師：阿部二郎（医仁会武田総合病院事務長代理）

2022(令和4)年度

【第1回】 8月5日～9月4日 Web

受講者／184名 修了者／177名

【第2回】 1月20日～2月19日 Web

受講者／74名 修了者／72名

研修内容

第2～7章、第9～10章

2021（令和3）年度と同様

第1章 医師事務作業補助者のあり方と接遇・個人情報の保護

講師：勝元伸二（徳洲会大阪本部課長）

第8章 薬剤の基礎知識（処方箋の知識）

講師：大津山裕美子（洛和会音羽病院薬剤部主席課長）

2023(令和5)年度

【第1回】 8月4日～9月3日 Web

受講者／134名 修了者／128名

【第2回】 1月19日～2月18日 Web

受講者／95名 修了者／91名

研修内容

第1～2章、第4～8章、第10章

2021（令和3）年度・2022（令和4）年度と同様

第3章 医療情報システムと電子カルテ（診療録の記載・管理・がん登録含む）

講師：井關博喜（洛和会ヘルスケアシステム本部品質管理部門次長）

第9章 検査一般の知識（放射線部門）

講師：池信祐二（宇治徳洲会病院放射線科技師長代行）



薬剤師サポートネットセミナー



薬剤師サポートネット交流会

医療従事者確保強化事業

不足する病院医療従事者（薬剤師等）の人材確保を図るべく、2015（平成27）年9月より医療従事者確保強化事業を実施している。病院薬剤師等医療人材育成・確保事業では、医療現場等を退職する薬剤師・未就業の薬剤師の登録制度を構築し、病院への復職支援を図る「きょうと薬剤師サポートネット（以下、サポートネット）」を推進している。薬剤師部会運営委員会と連携して、登録薬剤師のためのセミナーを定期開催するとともに、見学受入施設への見学を積極的に勧めて就業意欲を高めるなど、病院に薬剤師の魅力発信に取り組んでいる。結果、サポートネットでは2025（令和7年）3月31日時点で230名の薬剤師・薬学部学生が登録した。

また、2018（平成30年）より、過去に看護補助者であった者や職種未経験者を対象とした看護補助者確保推進事業を開始。看護補助者の業務内容、魅力等を広く発信する講習会と、当該受講者に病院見学会を案内し、病院への就業を推進している。

◆病院薬剤師等医療人材・確保事業

◆キャリア支援セミナー

2020（令和2）年度

- 第46回 2020（令和2）年5月26日（動画撮影）
5月29日～6月4日（動画配信）
テーマ／「病院薬剤師のお仕事って？」
講師／浅野育子（京都民医連あすかい病院
薬剤課）
沼田多重（西山病院薬剤科長）
- 第47回 2020（令和2）年6月24日（動画撮影）
6月30日～7月6日（動画配信）

テーマ／「薬薬連携」

講師／橋元 誠（三菱京都病院薬剤部長）
佐藤和生（日本パプテスト病院薬局
長代行）

第48回 2020（令和2）年7月28日（動画撮影）
7月31日～8月6日（動画配信）

テーマ／「疑義照会」

講師／大津山裕美子（洛和会音羽病院薬剤
部課長）
友沢明德（京都九条病院薬剤部長）

第49回 2020（令和2）年8月28日（動画撮影）
9月1日～9月7日（動画配信）

テーマ／「病棟業務」

講師／益野秀樹（京都久野病院薬剤部長）
浅野育子（京都民医連あすかい病院
薬剤課）

第50回 2020（令和2）年9月28日（動画撮影）
9月30日～10月6日（動画配信）

テーマ／「せん妄の基礎知識と医薬品について」

講師／友沢明德（京都九条病院薬剤部長）
沼田多重（西山病院薬剤科長）

第51回 2020（令和2）年10月12日（動画撮影）
10月15日～10月22日（動画配信）

テーマ／「終末期医療／麻薬の使い方」

講師／佐藤和生（日本パプテスト病院薬局
長代行）
浅野育子（京都民医連あすかい病院
薬剤課）

第52回 2020（令和2）年11月19日
京都私立病院協会会議室

テーマ／「ミキシング」

講師／馬瀬久宜（医仁会武田総合病院薬局長）



きょうと薬剤師サポートネットWebサイト
<https://www.khosp.or.jp-net>



きょうと薬剤師サポートネット
 LINEアカウント

- | | |
|--|---|
| <p>小瀬弘尚 (医仁会武田総合病院薬局)</p> <p>第53回 2020(令和2)年10月14日(動画撮影)
 12月14日～12月21日(動画配信)
 テーマ/「感染対策/ICTの活動について」
 講師/守谷まさ子(綾部ルネス病院薬剤科
 長)
 中山太一(蘇生会総合病院薬剤部副
 主任)</p> <p>第54回 2020(令和2)年12月14日(動画撮影)
 1月28日～2月5日(動画配信)
 テーマ/「副作用」
 講師/浅野育子(京都民医連あすかい病院
 薬剤課)
 佐藤和生(日本パプテスト病院薬局
 長代行)</p> <p>第55回 2021(令和3)年2月12日、2月24日(動
 画撮影)3月15日～3月22日(動画配信)
 テーマ/「糖尿病」
 講師/佐藤和生(日本パプテスト病院薬局
 長代行)
 橋元 誠(三菱京都病院薬剤部長)</p> <p>2021(令和3)年度</p> <p>第56回 2021(令和3)年5月7日(動画撮影)
 5月19日～5月28日(動画配信)
 テーマ/「睡眠薬～睡眠薬はどう使うべきか」
 講師/畑 典男(長岡病院院長)</p> <p>第57回 2021(令和3)年6月14日(動画撮影)
 6月21日～6月30日(動画配信)
 テーマ/「病院薬剤師のお仕事全般について」
 講師/浅野育子(京都民医連あすかい病院
 薬剤課)
 佐藤和生(日本パプテスト病院薬局</p> | <p>長代行)</p> <p>第58回 2021(令和3)年7月13日(動画撮影)
 7月19日～7月30日(動画配信)
 テーマ/「ポリファーマシーについての基礎
 ～患者さんに合わせて薬を考えよう～」
 講師/多胡和樹(洛和会音羽リハビリテー
 ション病院薬剤課)</p> <p>第59回 2021(令和3)年8月19日(動画撮影)
 8月25日～9月6日(動画配信)
 テーマ/「認知行動療法に基づくストレスマ
 ネジメントの基礎」
 講師/山出健博(長岡病院心理課)</p> <p>第60回 2021(令和3)年9月16日(動画撮影)
 9月22日～10月1日(動画配信)
 テーマ/「抗菌薬」
 講師/下田優作(京都久野病院薬局長)</p> <p>第61回 2021(令和3)年8月31日(動画撮影)
 10月26日～11月5日(動画配信)
 テーマ/「薬剤師も知っておきたい臨床検査値」
 講師/江口光徳(宇治徳洲会病院検査科技
 師長)</p> <p>第62回 2021(令和3)年11月12日(動画撮影)
 11月18日～11月29日(動画配信)
 テーマ/「注射薬の調整」
 講師/馬瀬久宜(医仁会武田総合病院薬局長)
 小瀬弘尚(医仁会武田総合病院薬局)</p> <p>第63回 2021年(令和3)年12月14日(動画撮影)
 12月20日～12月28日(動画配信)
 テーマ/「糖尿病」
 講師/佐藤和生(日本パプテスト病院薬局
 長代行)
 藤井 亮(蘇生会総合病院薬剤部チーフ)</p> |
|--|---|

第64回 2022年(令和4)年1月19日(動画撮影)

1月27日～2月6日(動画配信)

テーマ/「慢性腎不全」

講師/守谷まさ子(綾部ルネス病院薬剤科
長)

大津山裕美子(洛和会音羽病院薬剤
部主席課長)

第65回 2022年(令和4)年3月16日(動画撮影)

3月23日～3月30日(動画配信)

テーマ/「抗がん剤治療」

講師/橋井祐子(日本バプテスト病院薬局)
白山佳奈(日本バプテスト病院薬局)

2022(令和4)年度

第66回 2022(令和4)年4月1日(動画撮影)

4月13日～4月22日(動画配信)

テーマ/「新型コロナウイルスの治療薬につ
いて」

講師/馬瀬久宜(医仁会武田総合病院薬局長)

第67回 2022(令和4)年6月10日(動画撮影)

6月21日～7月3日(動画配信)

テーマ/「抗うつ薬について」

講師/畑典男(長岡病院院長)

第68回 2022(令和4)年8月17日(動画撮影)

8月23日～9月5日(動画配信)

テーマ/「心不全について」

講師/林良壮(三菱京都病院薬剤部主任)

第69回 2022(令和4)年8月2日(動画撮影)

9月20日～9月29日(動画配信)

テーマ/「栄養療法の基礎～栄養サポートチ
ーム(NST)の取り組み～」

講師/中瀬理恵(京都民医連中央病院・管
理栄養士)

第70回 2022(令和4)年9月26日(動画撮影)

10月11日～10月20日(動画配信)

テーマ/「病院薬剤師のお仕事」

講師/下田優作(京都久野病院薬剤部長)

第71回 2022(令和4)年11月24日(動画撮影)

12月8日～12月18日(動画配信)

テーマ/「輸液とその調製方法」

講師/馬瀬久宜(医仁会武田総合病院薬局長)

小瀬弘尚(医仁会武田総合病院薬局)

第72回 2023(令和5)年1月10日(動画撮影)

1月16日～1月25日(動画配信)

テーマ/「認知症の人とのかかわり方」

講師/辰巳弥生(洛和会音羽病院・認知症
看護認定看護師)

第73回 2023(令和5)年2月15日(動画撮影)

2月27日～3月9日(動画配信)

テーマ/「最近の話題～タスクシフト～」

講師/藤井亮(蘇生会総合病院薬剤部長代行)

第74回 2023(令和5)年2月6日(動画撮影)

3月17日～3月30日(動画配信)

テーマ/「症例から学ぶペニシリン系・セフ
テム系・キノロン系の基礎」

講師/下田優作(京都久野病院薬局長)

2023(令和5)年度

第75回 2023(令和5)年6月6日(動画撮影)

6月21日～7月2日(動画配信)

テーマ/「双極性障害の症状と治療」

講師/畑典男(長岡病院院長)

第76回 2023(令和5)年7月13日(動画撮影)

7月24日～8月6日(動画配信)

テーマ/「①緩和ケアと薬剤師との出会い、
②緩和ケアにおける病院薬剤師の日



きらめく★看護補助者ネットWebサイト
<https://www.khosp.or.jpk-net>

- 常、医師との協働」
 講師／木原歩美（京都民医連あすかい病院・
 緩和ケア科医師）
 小林百合絵（京都民医連あすかい病
 院薬剤課）
- 第77回 2023(令和5)年9月15日（動画撮影）
 9月20日～10月1日（動画配信）
 テーマ／「脳血管障害」
 講師／藤井 亮（蘇生会総合病院薬剤部長代行）
- 第78回 2023(令和5)年11月9日（動画撮影）
 11月22日～12月3日（動画配信）
 テーマ／「輸液とその調製方法」
 講師／馬瀬久宜（医仁会武田総合病院薬局長）
 小瀬弘尚（医仁会武田総合病院薬局）
- 第79回 2023(令和5)年12月5日
 京都私立病院協会会議室
 テーマ／「糖尿病（演習）」
 講師／佐藤和生（日本パプテスト病院薬剤
 部主任）
 大津山裕美子（洛和会音羽病院薬剤
 部主席課長）
- 第80回 2023(令和5)年12月5日（動画撮影）
 1月16日～1月30日（動画配信）
 テーマ／「糖尿病」
 講師／佐藤和生（日本パプテスト病院薬局
 長代行）
 大津山裕美子（洛和会音羽病院薬剤
 部主席課長）
- 第81回 2024(令和6)年2月15日（動画撮影）
 2月27日～3月10日（動画配信）
 テーマ／「産科・婦人科における薬剤師の関
 わり」

- 講師／表 忍（三菱京都病院薬剤部副部長）
 弓木栞里（洛和会音羽病院薬剤部係長）
- 2024(令和6)年度
- 第82回 2024(令和6)年5月17日（動画撮影）
 5月27日～6月10日（動画配信）
 テーマ／「病棟業務について」
 講師／馬瀬久宜（医仁会武田総合病院薬局長）
 田中誉之（武田病院グループ本部情
 報システム部課長代理）
- 第83回 2024(令和6)年7月9日（動画撮影）
 7月22日～8月5日（動画配信）
 テーマ／「統合失調症の病態・症状・治療」
 講師／畑 典男（長岡病院院長）
- 第84回 2024(令和6)年9月9日（動画撮影）
 9月24日～10月8日（動画配信）
 テーマ／「抗菌薬をマスターするための3つ
 のステップ～入門者が押さえるポイ
 ント～」
 講師／小関敦視（八幡中央病院薬局長）
- 第85回 2024(令和6)年11月6日（動画撮影）
 11月21日～12月5日（動画配信）
 テーマ／「栄養療法の基礎～栄養サポートチ
 ーム（NST）の取り組み」
 講師／中瀬理恵（京都民医連中央病院栄養
 課）
- 第86回 2025(令和7)年1月10日（動画撮影）
 1月16日～1月30日（動画配信）
 テーマ／「入退院支援センターにおける薬剤
 師業務について」
 講師／戸田理紗子（洛和会音羽病院薬剤部）
- 第87回 2025(令和7)年2月21日
 京都私立病院協会会議室



看護補助者説明会

テーマ／「医療安全」

講師／佐藤和生（日本バプテスト病院薬剤部主任）
馬瀬久宜（医仁会武田総合病院薬局長）
表 忍（三菱京都病院薬剤部副部長）

2022(令和4)年2月3日～2月9日

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

2022(令和4)年度

2022(令和4)年8月10日（動画撮影）

9月9日～9月15日（動画配信）

講師／谷口文代（京都桂病院看護部長）

細見留利（京都桂病院看護補助者）

佐藤未来（シミズ病院看護補助者）

大原麻希（西山病院看護補助者）

2023(令和5)年2月10日～2月16日（動画配信）

2023(令和5)年度

9月22日

京都私立病院協会会議室

講師／畑田宏美（洛西ニュータウン病院看護部長）

松本桃佳（京都田辺中央病院看護補助者）

望月篤司（西山病院看護補助者）

西村 梢（堀川病院看護補助者）

2月2日

京都私立病院協会会議室

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

福原千栄子（京都きづ川病院看護補助者）

佐々木富子（堀川病院看護補助者）

野村周司（洛西ニュータウン病院看護補助者）

2024(令和6)年度

9月12日

京都私立病院協会会議室

講師／小河陽子（京都きづ川病院看護部長）

脇 智枝（医仁会武田総合病院看護

◆看護補助者確保推進事業

◆看護補助者説明会

2020(令和2)年度

2020(令和2)年8月3日（動画撮影）

9月11日～9月17日（動画配信）

テーマ／「病院で働いてみませんか～資格がなくても大丈夫」

講師／南 京子（新京都南病院看護部長）
若杉由美子（京都きづ川病院看護補助者）

原田美優（京都博愛会病院看護補助者）

松下泰之（堀川病院看護補助者）

2021(令和3)年2月10日～2月16日

※以下、前回とテーマ同じ。場所等が異なる場合のみ記載。

2021(令和3)年度

2021(令和3)年4月21日（動画撮影）

6月4日～6月10日（動画配信）

講師／春日かほる（京都田辺中央病院看護部長）

原田一途夢（京都大原記念病院看護補助者）

仲 伊津子（医仁会武田総合病院看護補助者）

潮見香苗（相馬病院看護補助者）



リカレント研修

補助者)
西尾希望 (京都桂病院看護補助者)
大谷智子 (男山病院看護補助者)

2024(令和6) 7月26日 (動画撮影)

12月12日～12月18日 (動画配信)

講師／浦野貴子 (亀岡シミズ病院看護部長)
城崎恵理 (綾部ルネス病院看護補助者)
大西友希 (学研都市病院看護補助者)
井根千寿子 (宮津武田病院看護補助者)

◆リカレント研修(京都府生涯現役クリエイティブ
センター主催)「医療人材(看護補助者)育成コース」

2022(令和4)年度

第1回 11月8日

京都経済センター

テーマ／「①病院を知る、②医療制度の概要」

講師／①春日かほる (京都田辺中央病院看護部長)

②矢田貴子 (堀川病院看護部長)

第2回 11月14日

京都経済センター

テーマ／「①医療安全、②感染対策に関する基礎知識」

講師／①南 京子 (新京都南病院看護部長)

②谷口文代 (京都桂病院看護部長)

第3回 11月28日

京都経済センター

テーマ／「チームワーク・アサーション」

講師／清野健太郎 (PureField代表)

第4回 12月16日

(専) 京都中央看護保健大学校

テーマ／「業務を遂行するための基礎的知識・

技術を学ぶ」

講師／阿形奈津子 ((専) 京都中央看護保健大学校副学校長看護学科長)

小河陽子 (京都きづ川病院看護部長)

第5回 病院見学と体験 (各協力施設にて実施)

2023(令和5)年度

第1回 10月27日

京都経済センター

テーマ／「①病院を知る、②医療制度の概要」

講師／①、②矢田貴子 (堀川病院看護部長)

第2回 11月2日

京都経済センター

テーマ／「①医療安全、②感染対策に関する基礎知識」

講師／①南 京子 (新京都南病院看護部長)

②谷口文代 (京都桂病院看護部長)

第3回 11月10日

京都経済センター

テーマ／「チームワークとコミュニケーション」

講師／清野健太郎 (PureField代表)

第4回 12月16日

(専) 京都中央看護保健大学校

テーマ／「看護補助の実際 (技術演習)」

講師／阿形奈津子 ((専) 京都中央看護保健大学校副学校長看護学科長)

小河陽子 (京都きづ川病院看護部長)

吉岡拓海 (京都きづ川病院看護師)

田中万結 (京都きづ川病院看護師)

第5回 病院見学と体験 (各協力施設にて実施)

2024(令和6)年度

第1回 10月29日

京都経済センター



メディワークセンター登録会



メディワークセンターホームページ
(<https://www.khosp.or.jp/mwc/>)

テーマ／「病院の機能や医療制度の基礎知識」
講師／春日かほる（京都田辺中央病院看護部長）

第2回 11月13日
京都経済センター

テーマ／「①医療安全、②感染対策に関する基礎知識」

講師／①南 京子（新京都南病院看護部長）
②谷口文代（京都桂病院看護部長）

第3回 11月21日
京都経済センター

テーマ／「チームワークとコミュニケーション」
講師／清野健太郎（PureField 代表）

第4回 11月28日
（専）京都中央看護保健大学校

テーマ／「看護補助の実際（技術演習）」
講師／阿形奈津子（（専）京都中央看護保健大学校副学校長看護学科長）
小河陽子（京都きづ川病院看護部長）
吉岡拓海（京都きづ川病院看護師）
田宮しずく（京都きづ川病院看護師）

第5回 病院見学と体験（各協力施設にて実施）

介メディワークセンター（以下、センター）」に名称を改めた。

センターは有料の人材紹介会社とは異なり、求人者にも紹介手数料は一切不要であることから、会員の期待は大きいですが、紹介事業の活性化にはセンターがさらに広く認知される必要があります。Webの充実やリーフレット・ノベルティ等を使用しての普及促進等、広報活動にも取り組んでいます。

2012（平成24）年度より京都府から受託実施している看護人材確保支援事業、2015（平成27）年度から京都府医療介護総合確保基金事業として実施している医療従事者確保強化事業（各々詳細別記）と連携し、再就職を希望する登録看護職・薬剤師をメディワークセンターに引き継ぐ等の取り組みを行っており求職登録の増加に努めている。また、看護部長会にて企画・運営している一般市民向けの看護補助者説明会（2018（平成30）年度より医療従事者確保強化事業として実施）においてもメディワークセンターの紹介を実施することで看護補助者の登録・就業につながった。

2016（平成28）年度より「メディワークセンター登録会」を開催。リビング京都に告知を掲載するとともに、会員施設に求人登録を呼びかけることで求人・求職登録の増加につながっており、会員施設への見学や面接など、就職に向けてのアプローチを行っている。2021（令和3）年度は、新型コロナウイルス感染症を鑑み、リビング京都にメディワークセンターの登録促進の記事を掲載し、求職者の登録を促した。

事業者団体、職能団体、行政が連携して、介護・福祉の人材確保・定着等に関する取り組みを行っている「きょうと介護・福祉ジョブネット」には、当

無料職業紹介

メディワークセンター事業

会員を中心に京都府内の医療機関の人材確保に寄与することを目的に、1988（昭和63）年1月に厚生労働大臣の認可を受けて、医療従事者・社会福祉の職種を取扱う無料職業紹介所として求人者と求職者を繋ぐ役割を担っている。2010（平成22）年9月には「医療従事者無料職業紹介所」から「無料職業紹

協会から役員を派遣するとともに、「看護職確保プロジェクトチーム」の事務局を京都府より受託（2012（平成24）年度～）し、介護・福祉における看護人材確保・定着事業も企画・実施している。

◆2020(令和2)年度～2024(令和6)年度(5年間)の実績

2020(令和2)年度	紹介件数18件	就職者数1件
2021(令和3)年度	紹介件数16件	就職者数4件
2022(令和4)年度	紹介件数24件	就職者数5件
2023(令和5)年度	紹介件数32件	就職者数2件
2024(令和6)年度	紹介件数31件	就職者数7件

◆メディワークセンター事業運営委員会

担当役員及び事務長会、看護部長会からの委員、事務局紹介責任者で運営委員会を構成している。また、当協会の職能別組織からは運営協力委員として協力を得て、職種別の需給状況や確保対策を意見交換しながらセンターの事業展開を企画・検討している。

◆メディワークセンター登録会の求職登録者の実績

2022(令和4)年度	求職登録14名
2023(令和5)年度	求職登録14名
2024(令和6)年度	求職登録25名

5 他団体との連携・交流

医療費抑制政策が長年継続される中、民間医療機関はインフレ社会の中、さまざまな課題を暗に突きつけられ、病院経営の困難さが増している現状です。京都私立病院協会は、府内全域における幅広い問題に対して多角的に提言を行っています。またこの提言を実働させるべく中央の病院団体への役員派遣、近畿病院団体連合会の各委員会への参加、そして地域医療構想についても関係各団体との情報交換、提言要望を行い、幅広く対応し活動しています。

(副会長 小森直之)

近畿病院団体連合会

近畿病院団体連合会は近畿2府4県の病院団体(10団体)で構成しており、1977(昭和52)年10月22日に第1回目が開催されて以降、今日に至っている。

近畿の病院団体が一堂に会して病院に関わる諸問題を協議し、改善・見直しが必要な課題は団結して要望等の行動を展開している。また、各々の団体での取組や各府県での状況について提供される情報を各々の活動に活用している。

近畿病院団体連合会は、各病院団体の役員による委員会と、各病院団体の事務管理者組織が参加する事務長会からなり、委員会は年1回、事務長会は2年を1期とし、各府県が持ち回りで運営している。

2023(令和5)年度の委員会並びに2024(令和6)年度の事務長会は当協会が主務(運営)を担当した。

◆委員会

◆2020(令和2)年度 主務/和歌山県病院協会

第1回 7月24日 Web

主な議題:

- ・新型コロナウイルス感染症における各府県の対応について
- ・新型コロナウイルス感染症による地域医療構想への影響

講演: 中止

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催は

1回

◆2021(令和3)年度 主務/奈良県病院協会

第1回 8月3日 Web

主な議題:

- ・新型コロナワクチンの接種状況について(現状と課題)
- ・地域医療構想への対応状況について
- ・医師の働き方改革への対応状況について

講演:「新型コロナウイルス感染症～その本質と対策を考える～」

川村 孝(京都大学名誉教授)

第2回 2月18日 Web

主な議題:

- ・オミクロン株への対応について
- ・新型コロナウイルス感染症の病院経営に対する影響調査結果について

講演:「新型コロナ対策を受けた地域医療構想、医療計画の現状と課題」

今村知明(奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授)

◆2022(令和4)年度 主務/滋賀県私立病院協会

第1回 8月18日 Web

主な議題:

- ・医師の働き方改革について
- ・新型コロナウイルス感染症の病院経営に対する影響調査(令和元年度～令和3年度)

講演:「我が国の最新国防事情」



2023年度近畿病院団体連合会委員会
(京都開催)



2023年度近畿病院団体連合会委員会
特別講演 (京都開催)



2023年度近畿病院団体連合会委員会
懇親会 (京都開催)

佐藤正久 (参議院議員)

第2回 2月16日 Web

主な議題:

- ・ 医師の働き方改革に向けた対応状況 (宿直許可の取得、医師労働時間短縮計画策定及び医療機関勤務環境評価センターへの評価申請等) について
- ・ 電気・ガス料金、食材料費等の高騰対策について

講演: 「困難に打ち勝つ方法」～比叡山の修行を経て～

宮本祖豊 (比叡山観明院住職)

◆2023(令和5)年度 主務/京都私立病院協会

第1回 7月14日 ホテルグランヴィア京都

主な議題:

- ・ 病院における情報セキュリティ対策について
サイバーセキュリティに対する病院への支援に関する要望を採択し、9月29日、厚生労働大臣に要望書を提出
- ・ 物価高騰への対応について

講演: 「地域多職種連携にもとづく脳卒中相談支援の展開」

宮本 享 (京都大学医学部附属病院脳卒中療養支援センター・もやもや病支援センターセンター長 (特任病院教授))

第2回 2月29日 ホテルグランヴィア京都

主な議題:

- ・ 令和6年度診療報酬改定について

基調講演

演 題/ 「2024年診療報酬改定と中医協議論」

講 師/ 太田圭洋 (厚生労働省中央社会保険医療

協議会委員、日本医療法人協会副会長、

社会医療法人名古屋記念財団理事長)

講演: 『加速する「あたたかい京都づくり」』

西脇隆俊 (京都府知事)

◆2024(令和6)年度 主務/大阪府私立病院協会

第1回 9月12日 ホテルグランヴィア大阪

主な議題:

- ・ 診療報酬改定の影響について

講演: 「2025年・大阪関西万博の楽しみ方」

溝畑 宏 (公益財団法人大阪観光局理事長)

第2回 2月27日 ホテルグランヴィア大阪

主な議題:

- ・ 診療報酬改定の影響について PART 2

講演: 「財務専門家の視点から見た令和6年診療報酬改定の病院経営への影響について」

石井孝宜 (石井公認会計士事務所所長・公認会計士)

近畿病院団体連合会事務長会

◆事務長会の主な活動

◆2020(令和2)年度 主務/兵庫県民間病院協会

第1回 9月11日

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

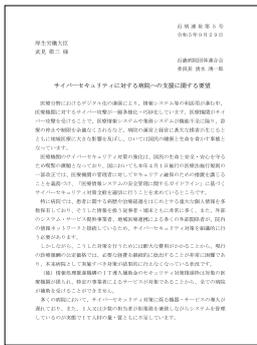
第2回 3月5日 Web

主な議題:

- ・ 各府県の諸問題について情報交換

講演: 「新型コロナウイルス感染症クラスター発生時の対応」

森 英貴 (医療法人尚和会宝塚第一病院事務長)



サイバーセキュリティに対する病院への支援に関する要望 2024年度近畿病院団体連合会事務長会（京都開催）

2024年度近畿病院団体連合会事務長会特別講演（京都開催）

◆2021(令和3)年度 主務/和歌山県病院協会
 第1回 11月26日 ダイワロイネットホテル和歌山
 主な議題：
 ・各府県の諸問題について情報交換
 講演：「夢をあきらめない—社会貢献の出来る人づくり—」
 高嶋 仁（智辯学園、智辯学園和歌山高校野球部名誉監督）
 ＊新型コロナウイルス感染症の影響により開催は1回

◆2022(令和4)年度 主務/奈良県病院協会
 第1回 9月30日 Web
 主な議題：
 ・「電気・ガス料金等の高騰による病院経営への影響と経費削減の取り組みについて」
 ・「医師の働き方改革について」
 講演：「万葉集入門 —飛鳥・藤原・平城—」
 阪口由佳（奈良県立万葉文化館主任研究員）

第2回 3月9日 Web
 主な議題：
 ・「地域医療構想の推進及び医療法人の経営情報データベースの構築について」
 ・「コロナ禍における看護師・看護助手の確保状況について」
 講演：「初心者のための能楽講座」
 金春穂高（重要無形文化財能楽総合指定保持者）

◆2023(令和5)年度 主務/滋賀県病院協会
 第1回 10月20日 琵琶湖ホテル
 主な議題：
 ・「コロナ禍後の経営改善の取り組みについて」
 ・「人材確保（医師以外の医療スタッフおよ

び事務職員の確保）について」
 ・「コロナ前後の外来患者動向や救急受入対応について」
 講演：「世界遺産の理念と彦根城の取り組み」
 金 宇大（滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科）

第2回 3月6日 琵琶湖ホテル
 主な議題：
 ・「診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定について」
 講演：「甲子園に魅せられて」
 多賀章仁（学校法人近江育成会近江高等学校副校長・野球部監督）

◆2024(令和6)年度 主務/京都私立病院協会
 第1回 7月30日 都ホテル京都八条
 主な議題：
 ・「令和6年度診療報酬改定について」
 ・「病院事務職員の採用について」
 講演：「表具師から見る伝統工芸の今」
 井上雅博（株式会社井上光雅堂代表・表具師）

第2回 3月6日 ホテルグランヴィア京都
 主な議題：
 ・「病棟再編について」
 ・「最低賃金と非常勤職員の賃金バランス、人材確保策について」
 講演：「事業継承で拓げる可能性～挑戦が生む新たな価値創造～」
 平井誠一（株式会社西利代表取締役社長）

中央における病院団体

2000（平成12）年7月に四病院団体協議会（四病協）が発足し、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会による全国組織の病院団体の連合体として、全国の病院の意見集約をし、国の医療政策等に対して積極的に意見・提言をおこなっており、対外的にもその存在が認知されている。当協会からは、日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会に役員を派遣し、情報収集や意見具申をしている。

2005（平成17）年4月には、上記病院団体を含む11団体による日本病院団体協議会（日病協）が発足し、国への要望活動や調査・研究活動を中心に活発な活動を展開している。

2010（平成22）年度からは全日本病院協会京都府支部及び日本医療法人協会京都支部、2024（令和6）年7月からは日本病院会京都府支部の事務局を当協会が担っており、中央の病院団体との連携強化を図っている。

◆中央の病院団体への役員派遣

2025（令和7）年3月31日現在

日本病院会

役員派遣／常任理事：武田隆久

代 議 員：清水鴻一郎、久野成人

京都府支部長：武田隆久

副支部長：清水鴻一郎、久野成人

全日本病院協会

役員派遣／理 事：清水鴻一郎

京都府支部長：清水鴻一郎

副支部長：小森直之、石丸庸介

日本医療法人協会

役員派遣／副会長（ブロック推薦理事）

：小森直之

理 事：富士原正人

京都支部長：武田隆久

京都における医療・介護関係団体

京都府医師会（府医）とは、医療介護に関わる様々な課題や諸問題について、日常より情報交換、意見交換を密にし、相互理解を図りながら協力・連携している。両会役員懇談会、病院長会議や医師会の各委員会への委員派遣を通じて課題解決を図るよう努めている。また、会員施設の協力を得て、災害医療チーム（JMAT）への派遣登録や京都マラソンの医療救護体制に係る医師派遣も行っている。

京都府病院協会（府病協）とは、京都病院学会を年1回共同で開催し、京都府内の病院の医療人が日頃の医療介護の実践や研究の成果を発表する場として定着している。また、京都市域二次病院群輪番体制では、府病協が土・日・祝の小児輪番、その他を当協会が担当し、両協会の病院が分担して休日・夜間等における救急患者への医療の確保に努めている。地域医療構想や働き方改革など、病院を取り巻く共通の課題には、役員懇談会を開催して意見交換している。

京都精神科病院協会（京精協）とは、精神科医療を専門とする京都府内の病院団体として、京都精神科病院協会から当協会役員を迎え、精神科を取り巻く諸問題に対し、専門家の立場として様々な意見を求めている。特に精神疾患と急性期の身体疾患を併せ持つ患者に対する診療や入院受入の課題を共通認識と

して、京都府及び京都市に対し、診療や入院受入が可能なシステムや医療提供体制の構築、入院病床の確保を要望している。

当協会が2013（平成25）年度から実施している「病院認知症対応力向上事業」等の各種事業においては、京都精神病院協会加盟の府内精神科病院から、認知症サポート医・認知症看護認定看護師・作業療法士・臨床心理士をはじめとする講師派遣の協力を得ている。

京都府慢性期医療協会（京慢協）とは、1998（平成10）年11月に京都介護療養型医療施設連絡協議会として設立された当初から2014（平成26）年3月に現在の協会名称に変更後も京都私立病院協会内に事務局を置き、互いに情報を共有しながら活動をおこなっている。慢性期医療の課題、診療報酬の施設基準（認知症ケア加算2・3、排尿自立支援加算・外来排尿自立指導料）の該当研修、介護サービス第三者評価の推進、医療と介護の連携等、共通の課題に協力して取り組んでいる。

そのほか、医療の職能団体や介護・福祉関連団体とも協力・連携関係を結び、オール京都体制で京都の医療・介護の充実に貢献できるよう努めている。

京都回復期リハビリテーション病棟協議会は、京都府内の回復期リハビリテーション病棟を有する病院で組織する団体として2023（令和5）年4月に設立され、京都私立病院協会内に事務局を置いている。回復期リハビリテーション病棟の機能の充実、地域の医療提供体制の維持に向けた活動を行っている。

京都私立病院協会関係団体

当協会には、京都保健衛生専門学校、京都中央看護保健大学の2つの学校と京都府病院協同組合、京都府病院企業年金基金の4つの関係団体がある。

それぞれの団体は、協会活動のなかから必然的に生まれた組織であり、各団体には協会の会員が参加しており、5つの団体が十分連携をとりながら業務を進めていくことが重要であることから、これを念頭に置いた組織運営がなされている。

各団体の役員には私病協の執行部より役員派遣を行い、各団体の事務局責任者が私病協の役員会へ出席することにより相互の業務の理解が深まるよう運営が行われている。

また、5団体の職員の賃金及び労働条件については、人事評価制度を盛り込んだ独自の賃金体系を活用し、部分的には各団体の業態の違いからくる制約があるものの、基本的には共通体系で運用されている。

毎年、各団体の事務局責任者による会議を開催し、新たな制度設計により必要な各事業所共通の規程の整備や改定作業、職員の就業規則をはじめ、賃金規程等についても必要な見直しを行い、2023（令和5）年度より新たな賃金制度に基づき運用を開始した。

5つの団体の全職員で組織している共済会「銀の会」、親睦団体「銅の会」は事業所からの補助と職員の拠出金で運営されている。各団体より職員を派遣し、2年任期で共済会の役員を務め運営している。

6 行政・政党への対応

民間病院が府民に、より充実した安心・安全な医療を提供するためには医療従事者の人材確保や経営基盤の安定が不可欠であり、行政に対してはあらゆる機会を捉えて要望活動を行ってきた。

毎年の京都府・京都市の予算編成に際し、オール京都の体制で地域医療を守るべく民間病院に必要な財政措置等について要望活動を行ってきた。コロナ禍物価高騰においては様々な要望活動及び緊急提言を行った。京都府や京都市の審議会等に参加し意見を述べると共に、京都府地域医療介護総合確保基金の活用事業や京都市の受託事業等の実施を通じ、連携・協力体制を強化してきた。また、民間病院が直面する諸問題に対し、京都府・京都市のみならず厚労省等の行政全般に対し要望・提言を行った。

政党への対応は、毎年公明党の予算・税制要望並びに政党懇談会、2020（令和2）年度には竹内譲衆議院議員（公明党政務調査会長）との懇談会、2021（令和3）年度には自由民主党京都府議会議員団への要望、2022（令和4）年度には牧原秀樹自由民主党厚生労働部会長との意見交換会など国政にも積極的に働きかけを行った。

（副会長 久野成人）

行政への対応

民間病院が府民により充実した医療、安心・安全な医療を提供するためには、医師・看護師等の人材確保や経営基盤の安定が不可欠であることから、行政に対しあらゆる機会を捉えて要望活動を行ってきた。

毎年の京都府及び京都市の予算編成に際しては、公的・民間病院の隔たりなく、オール京都の体制で地域医療の安心と安全を守る必要を謳い、民間病院に必要な財政措置等について要望活動を行ってきた。

コロナ禍では、病床のひっ迫、医療資材の不足、病院経営の悪化、また、物価高騰に伴う光熱水費、食材料費、医療材料・機器、人件費の上昇による影響等を踏まえたさまざまな要望活動及び緊急提言を行った。

府内を代表する民間病院の代表として京都府や京都市の審議会等さまざまな場で意見を述べるとともに、京都府からは京都府地域医療介護総合確保基金を活用した事業、京都市からは受託事業等の実施を

通じて、常に担当部局と話し合いや協議の場を持つことで、連携・協力体制を強化してきた。

【国】

1 要望活動

◆2020(令和2)年度

- ・10月14日 令和3年度介護報酬改定に関する要望

◆2023(令和5)年度

- ・9月29日 サイバーセキュリティに対する病院への支援に関する要望
- ・10月23日 令和6年度介護報酬改定に関する要望

【京都府】

◆2020(令和2)年度 京都府庁

1 要望活動

- ・4月28日 京都府庁
新型コロナウイルス感染症影響下における病

院機能維持に向けた緊急要望

- ・ 7月8日 京都府庁
新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援に関する要望
 - ・ 10月28日 京都府庁
令和3年度京都府予算に関する要望
〈要望内容「ウィズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」〉
 - (1) 新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援について
 - (2) 感染対策の強化を推進するために
 - (3) 地域医療構想（ビジョン）の実現にむけて
 - (4) 地域医療・介護総合確保基金による事業の継続と拡充について
 - (5) 医師・看護師をはじめとする医療従事者の不足解消にむけて
 - (6) きょうと健やか21（第3次）の実現にむけて
 - (7) 救急医療体制の充実にむけて
 - (8) 大規模災害発生時の体制整備の強化について
 - ・ 12月25日 京都府庁
新型コロナウイルス感染症に係る緊急提言
- 2 西脇隆俊京都府知事の表敬訪問
- ・ 6月3日 京都私立病院協会会議室
 - ・ 3月3日 京都私立病院協会会議室
新型コロナウイルス感染症の脅威に晒されながらも地域医療を守るために日夜奮闘している会員施設の医療従事者に対し、西脇隆俊京都府知事から敬意と感謝の言葉が述べられた。

◆2021(令和3)年度

1 要望活動

- ・ 10月15日 京都府庁
令和4年度京都府予算に関する要望
〈要望内容「ウィズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」〉
 - (1) 新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援について
 - (2) 地域医療構想（ビジョン）の実現にむけて
 - (3) 地域医療・介護総合確保基金による事業の継続と拡充について
 - (4) 医師・看護師をはじめとする医療従事者の不足解消にむけて
 - (5) きょうと健やか21（第3次）の実現にむけて
 - (6) 救急医療体制の充実にむけて
 - (7) 大規模災害発生時の体制整備の強化について

2 西脇隆俊京都府知事と京都私立病院協会役員との懇談

- ・ 10月12日 京都私立病院協会会議室
新型コロナウイルス感染症や医療体制について
意見交換

◆2022(令和4)年度

1 要望活動

- ・ 5月26日 京都府庁
新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望
- ・ 10月20日 京都府庁
令和5年度京都府予算に関する要望（要望項目は2021（令和3）年度と同様）

- ・11月25日 京都府庁
民間病院における光熱費（電気・ガス・燃料）
及び食材費等に関する緊急要望

◆2023(令和5)年度

1 要望活動

- ・10月17日 京都府庁
令和6年度京都府予算に関する要望
〈要望内容「ポストコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」〉
 - (1) 物価高騰に対する民間病院への支援について
 - (2) 医療DXの推進並びに情報セキュリティ対策の強化に向けた支援について
 - (3) 感染対策の強化の推進と新型コロナウイルス感染症の影響下における民間病院への支援について
 - (4) 地域医療構想（ビジョン）の実現にむけて
 - (5) 地域医療・介護総合確保基金による事業の継続と拡充について
 - (6) 医師・看護師をはじめとする医療従事者の不足解消にむけて
 - (7) 府民の健康づくり運動の実現にむけて
 - (8) 救急医療体制の充実にむけて
 - (9) 大規模災害発生時の体制整備並びに危機管理の強化について
- ・2月16日 京都府庁
令和7年度以降の初期臨床研修定員数に関する緊急要望

◆2024(令和6)年度

- ・10月15日 京都府庁
令和7年度京都府予算に関する要望
〈2040年に向けた持続可能な医療・介護提供体制の構築を目指して〉
 - (1) 物価高騰に対する民間病院への支援について
 - (2) 医療DXの推進並びに情報セキュリティ対策の強化に向けた支援について
 - (3) 感染対策の強化の推進と民間病院への支援について
 - (4) 地域医療構想（ビジョン）の実現にむけて
 - (5) 地域医療・介護総合確保基金による事業の継続と拡充について
 - (6) 医師・看護師をはじめとする医療従事者の不足解消にむけて
 - (7) 府民の健康づくり運動の実現にむけて
 - (8) 救急医療体制の充実にむけて
 - (9) 大規模災害発生時の体制整備並びに危機管理の強化について

【京都市】

◆2020(令和2)年度

1 要望活動

- ・4月23日 京都市役所
新型コロナウイルスの感染拡大等による要介護認定に関する要望
- ・4月28日 京都市役所
新型コロナウイルス感染症影響下における病

院機能維持に向けた緊急要望

・ 7月2日 京都市役所
新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援に関する要望

・ 10月28日 京都市役所
令和3年度京都市予算に関する要望
〈要望内容「ウィズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」〉

- (1) 新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援について
- (2) 感染対策の強化を推進するために
- (3) 医師不足・看護師不足への助成について
- (4) 救急医療体制の充実にむけて
- (5) 京都市民健康づくり推進プランの実現にむけて
- (6) 大規模災害発生時の体制整備の強化について

・ 12月25日 京都市役所
新型コロナウイルス感染症に係る緊急提言

◆2021(令和3)年度

1 要望活動

・ 10月28日 京都市役所
令和4年度京都市予算に関する要望
〈要望内容「ウィズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」〉

- (1) 新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援について
- (2) 医師不足・看護師不足への助成について
- (3) 救急医療体制の充実にむけて
- (4) 京都市民健康づくり推進プランの実

現にむけて

- (5) 大規模災害発生時の体制整備の強化について

◆2022(令和4)年度

・ 5月26日 京都市役所
新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望

・ 11月25日 京都市役所
令和5年度京都市予算に関する要望
〈要望内容「ウィズコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」〉

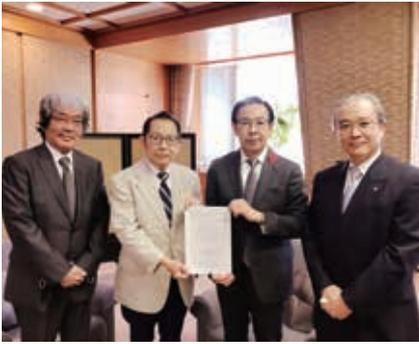
- (1) 新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援について
- (2) 医師不足・看護師不足への助成について
- (3) 救急医療体制の充実にむけて
- (4) 京都市民健康づくり推進プランの実現にむけて
- (5) 大規模災害発生時の体制整備の強化について

・ 11月25日 京都市役所
民間病院における光熱費（電気・ガス・燃料）及び食材費等に関する緊急要望

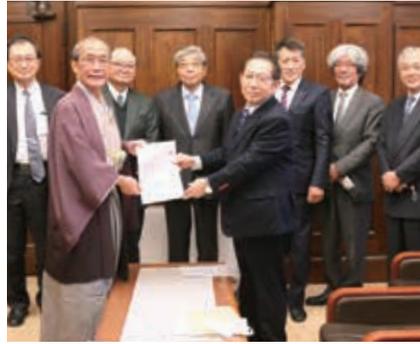
◆2023(令和5)年度

・ 11月9日 京都市役所
令和6年度京都市予算に関する要望
〈要望内容「ポストコロナ社会における持続可能な医療・介護提供体制の構築に向けて」〉

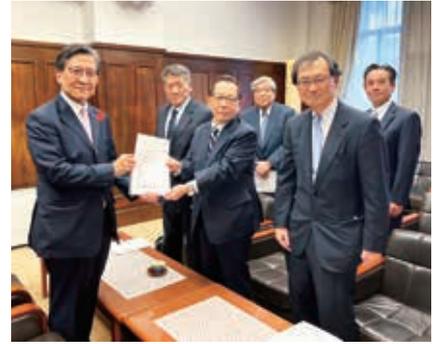
- (1) 物価高騰に対する民間病院への支援について
- (2) 医療DXの推進並びに情報セキュリティ対策の強化に向けた支援について



西脇隆俊京都府知事への予算要望



門川大作京都市長への予算要望



松井孝治京都市長への予算要望

- (3) 感染対策の強化の推進と新型コロナウイルス感染症の影響下における民間病院への支援について
- (4) 医師不足・看護師不足への助成について
- (5) 救急医療体制の充実にむけて
- (6) 京都市民の健康づくりの実現にむけて
- (7) 大規模災害発生時の体制整備並びに危機管理の強化について

◆2024(令和6)年度

- ・9月5日 井門明治安田生命ビル 保健福祉局 会議室

令和7年度京都市域病院群輪番制病院運営事業補助金額に関する要望

- ・11月5日 京都市役所

令和7年度京都市予算に関する要望

〈2040年に向けた持続可能な医療・介護提供体制の構築を目指して〉

- (1) 物価高騰に対する民間病院への支援について
- (2) 医療DXの推進並びに情報セキュリティ対策の強化に向けた支援について
- (3) 感染対策の強化の推進と民間病院への支援について
- (4) 医師不足・看護師不足への助成について
- (5) 救急医療体制の充実にむけて
- (6) 京都市民の健康づくりの実現にむけて
- (7) 大規模災害発生時の体制整備並びに危機管理の強化について

また京都府・京都市のみならず、医療環境の変化

とともに民間病院が直面する問題について厚生労働省をはじめその他の行政全般に対しても積極的に要望・提言などを行った。

政党への対応

毎年、公明党が実施する予算・税制要望並びに政策懇談会に出席し、京都府や京都市への予算要望内容を伝えるとともに、その他民間病院が抱える諸問題に対して理解を求めてきた。2020(令和2)年度には竹内議衆議院議員(公明党政務調査会長)との懇談を行い、コロナ禍における民間病院の窮状に理解と支援を求めた。

また、2021(令和3)年度には、コロナ禍での医療提供体制を守るため、自由民主党京都府議会議員団に診療報酬算定要件や労働基準法の柔軟な運用の適用、新型コロナワクチンの円滑な実施、必要な医療資材の安定的供給を要望した。

さらに2022(令和4)年度には牧原秀樹自由民主党厚生労働部会長との意見交換を行うなど、国政に対しても積極的に働きかけを行った。

7

医療保険制度への対応

医療保険制度を取り巻く環境は大変に厳しい状況になってきている。予算編成を掌る人達は自分たちの存在意義を高め権力を維持するために、財政再建を声高に主張される。社会保障費は、そのほとんどが内部留保される事がなく社会に還元されるので経済対策にもなるのである。そのような中で当協会では診療報酬委員会を中心に診療報酬改定毎に要望書を取り纏め厚生労働大臣に提出し、また2016（平成28）年からは直接厚生労働省に提出するのではなく中央の病院団体を通じて要望を上げる事を通じて我々の声を政府に届けるようにしている。

（副会長 富士原正人）

医療保険をとりまく情勢

当協会では会員施設が施設基準を適切に管理・運用することで、病院機能の強化および患者サービスなどに支障を来さぬよう、調査のあった施設から積極的に情報を集約し、会員に新しい情報を発信するようにしている。

近年、施設基準はその種類や算定要件が改定の度に複雑多様化し、かつ改定後解釈が変更されるケースが見受けられる。それに加え、適時調査も施設基準に定められた要件に沿って確認される。

こうした状況の中で、当協会は医療保険制度への対応を重要な事業のひとつとして位置づけ、会員施設の施設基準の運用が円滑にできるよう努めてきた。具体的には、会員からの相談随時受付、近畿厚生局や京都府等関係部局との連絡の上、必要な情報提供等を行っている。

2024（令和6）年度診療報酬改定は、プラス改定となったが、そのほとんどが医療従事者の賃金改善に充てられ、民間・中小病院の経営は一層厳しい状況となっている。また、地域医療構想と診療報酬は密接に関係している。地域医療構想が目指すべき医療提供体制の青写真であるのに対し、診療報酬はそれを経済的に実現する仕組みとして国の政策意図を現場に反映させるために連動して設計されており、今後の地域医療構想の動向も注視していく必要がある。

《医療保険に関する主な事業》

- ・事務長会
- ・診療報酬委員会
- ・診療報酬事務能力向上勉強会
- ・診療報酬全般に係る相談対応及び情報提供
- ・生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立ち合い

医療保険をめぐる日常活動

1 施設基準等に関する相談・情報提供

会員が届け出た施設基準等について、届出後の施設基準の日常管理における問題や疑義に対して助言・指導を行っている。また、診療報酬に関連する通知及び変更事項等の最新情報を入手し、協会ホームページを通じて会員に情報発信している。

2 生活保護法指定医療機関に対する個別指導への立ち合い

2020年（令和2年）度以降も京都府・京都市が実施する生保指定医療機関への個別指導の立ち合いにオブザーバーとして同席している。医師による立ち合いは府医または地区医師会担当理事が行い、当協会会員病院の調査には全て事務局担当者が立ち会うようにしている。

令和6年度
経営・診療報酬の影響に
関するアンケート結果

診療報酬委員会

当委員会の主な活動としては医療保険に関する情報の収集及び会員への情報提供、関係諸機関への要望活動等が挙げられる。最近では2022（令和4）年度・2024（令和6）年度診療報酬改定に向けて、当協会の意向を汲んだ改定内容となるよう、中央の病院団体や国会議員に要望した。

また、コロナ禍における活動では、2020（令和2）年度は新型コロナウイルス感染拡大による経営・診療報酬の影響に関するアンケート調査を実施し、京都府・京都市・国への要望に繋がったほか、2021（令和3）年度に新型コロナウイルス感染症患者の公費入院医療費の支払が滞った際には京都府及び京都市に支払いの迅速化を要望した結果、改善に繋がった。

2年毎の診療報酬改定後には、経営・診療報酬の影響に関するアンケート調査を実施し、調査結果を分析して国への改善要望に活用している。

◆主な活動

2020（令和2）年度

新型コロナウイルス感染拡大による経営・診療報酬の影響に関するアンケート調査

令和4年度診療報酬改定に向けた要望事項の提出

2021（令和3）年度

令和4年度診療報酬改定に向けた要望事項の提出

新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する緊急調査

2022（令和4）年度

新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望

令和4年度経営・診療報酬の影響に関するアン

アンケート調査の実施

2023（令和5）年度

令和6年度診療報酬改定に向けた要望事項の提出

2024（令和6）年度

令和6年度経営・診療報酬の影響に関するアンケート調査の実施

令和8年度診療報酬改定に向けた要望事項の提出

8 介護保険制度への対応

2000年に介護保険制度が創設されて以降、高齢者人口の増加や介護ニーズの増加に伴い、介護を取り巻く環境は大きく変化した。

2006年に介護療養病床の廃止が決定、その後2度にわたり廃止が延期された後、介護療養病床に変わる施設として、2018年4月に介護医療院が創設された。2021年の介護報酬では様々な移行推進の対応により介護療養病床の6割超えが介護医療院に転換し、2024年3月に完全廃止となった。

2024年の介護報酬改定では、人材の確保・定着やサービス提供の効率化が全施設において重要な課題となっている。介護医療院は、医療と介護の双方の機能を有し、地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を果たす施設として、今後も円滑な施設運営が継続できるよう、国に対して要望していく必要がある。当協会では今後も介護保険制度および施設・居宅等の介護関連事業が会員にとってより良いものとなるよう、情報収集や要望活動等を行っていく。

介護保険をめぐる日常活動として、施設基準等に関する相談・情報提供、京都府・京都市の実地指導への立ち会い等を行っている。

介護保険委員会は、行政当局（京都府・京都市）および京都府医師会の担当者も交え、情報交換や討議を行い制度の適正な運用と安定的な運営が図られるよう努めている。2020年、2023年には翌年度の介護報酬改定についての要望書を京都府慢性期医療協会との連名で厚生労働大臣等に提出した。また、会員にとって有益な研修会を年3回企画・開催している。

介護サービス第三者評価事業の取り組みは、当協会も評価機関としての認定を受け、評価を通じて受診事業所の質の向上とモチベーションの向上に寄与している。また、調査者の研修や新規調査者の養成にも力を入れている。

京都市新規介護認定調査事業については、京都府から指定市町村事務受託法人の指定を受け、会員施設等の介護支援専門員の協力を得て、年間約4,000～5,000件の認定調査を担っている。

（副会長 久野成人）

介護保険をとりまく情勢

2000（平成12）年に介護保険制度が創設されて以降、高齢者人口の増加および介護ニーズの増大に伴い、介護を取り巻く環境は大きく変化している。

2018（平成30）年4月、介護療養型医療施設に代わる施設として、新たに介護医療院が創設された。介護療養型医療施設は、日常的な医学的管理や看護

ケアを必要とする要介護者に対応する施設として、重篤な疾患を有する高齢者や身体合併症を有する認知症高齢者の受け入れ、ターミナル機能を有する施設として、また、長期療養生活を担う施設として機能してきたが、2006（平成18）年度の介護保険制度改正において廃止が決定された。廃止決定当時、介護療養病床は約12万床あり、介護療養病床を必要とする高齢者は多く、2011（平成23）年、2017（平成

29) 年と二度にわたり廃止が延期される措置がとられる中、厚生労働省の「社会保障審議会・療養病床の在り方等に関する特別部会」において議論が進められ、介護療養病床がこれまで担ってきた医療機能に加え、生活施設としての機能を兼ね備えた施設として介護医療院が制度化された経過をたどる。

2018（平成30）年度の介護報酬改定において、介護医療院は、既存の介護療養病床と同等の介護報酬・施設基準が設定され、さらに施設の一部を転換する場合は従来の医療機関名を継続して使用できるようになる等の取り扱いとされ、安定した施設運営が継続できるとともに、介護療養病床からの移行を図る対応がとられた。

2021（令和3）年度介護報酬改定においても、介護医療院等への移行を進める観点から、介護療養型医療施設では、基本報酬の大幅な減額や移行計画を提出しない場合の減算が設けられた一方、介護医療院では、基本報酬の引き上げや、機能向上に向けて取り組む施設に対する評価が新設されるなどの対応となった。

介護療養病床はその後、経過措置期間を経て2024（令和6）年3月に完全廃止となり、多くは療養病床もしくは介護医療院へ転換した。

2024（令和6）年度の介護報酬改定では、介護保険制度の開始以降、2番目に高い改定率となった。介護の需要が増えている一方で担い手不足が深刻化している現状を背景に、介護職員等の賃金アップのための対策が講じられ、人材の確保・定着やサービス提供の効率化は、全施設において重要な課題となっている。また、同改定は診療報酬との同時改定となり、医療と介護の連携強化を図る多くの項目が盛り込まれ、医療及び介護双方のニーズに対応する機

能を持つ介護医療院の需要は益々増している。地域包括ケアシステムにおいて重要な役割を果たす施設として、今後も円滑な施設運営ができるよう、会員の介護医療院の質の向上と経営の安定化に資する取り組みを継続して行うこととしている。

介護医療院のみならず、介護保険制度における施設サービス、居宅サービス等も含め、依然として介護保険に関して解決すべき課題は山積しており、当協会では今後も介護保険制度全般について対応を図ることとしている。

介護保険をめぐる日常活動

1 施設基準等に関する相談・情報提供

会員からの施設基準・介護報酬等に関する質問・相談に対応している。新たに出された通知や改定事項等の情報を文書等で通知するほか、ホームページにも掲載し周知している。

2 実地指導への立ち会い

京都府・京都市が定期的に行っている運営指導には、調査が適切に行われているか確認するため、制度発足当初から事務局員が立ち会いを行っている。

また、適切な事業運営に資するよう、調査での指摘事項等の情報を集約し会員施設へ情報提供している。

介護保険委員会

当委員会は、介護と医療の密接な関係を重視する観点から、介護保険制度が医療に及ぼす影響を的確に把握・予測するとともに、介護保険制度下におけ



介護保険委員会研修会

る問題点を検討し、制度の改善に向け提言しながら、介護サービス事業を行う会員が円滑に事業運営できるよう活動を行っている。2007（平成19）年にはケアマネジャー委員会を、2009（平成21）年に介護報酬委員会を当委員会と統合し、介護保険に関わる幅広い活動を展開する場として、重要な役割を担っている。

委員会では行政当局（京都府・京都市）及び京都府医師会の担当者も交え、現行の介護保険制度や介護制度改革の諸問題について情報交換や討議を行い、それぞれの立場から意見・要望を取り交わしていく中で、制度の適切な運用と安定的な運営が図られるよう努めている。

この間の主な活動としては、介護保険制度や介護報酬改定に関する情報収集や実態調査を実施し、会員に有用な情報提供が行えるよう努めたほか、2020（令和2）年度および2023（令和5）年度は、翌年度に控えた2021（令和3）年度・2024（令和6）年度介護報酬改定についての対応を重点的に検討し、その意見を集約した要望書を京都府慢性期医療協会との連名で厚生労働大臣、厚生労働省医務技監、厚生労働省老健局長、厚生労働省老健局老人保健課長にそれぞれ提出した。会員施設の全職種を対象とした研修会の開催や、介護サービス第三者評価事業における課題の分析・提言等についても継続して行っている。

◆研修会

※すべて京都府慢性期医療協会との共催

2020（令和2）年度

11月17日 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「身体拘束ゼロを可能にする認知症ケア

～BPSDを軽減させる大誠会スタイル～
講師／田中志子（医療法人大誠会内田病院理事長）
説明／「地域包括ケアシステムの推進、病床機能分化に必要な病院の役割について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）
12月4日 動画撮影

12月9日～1月13日 動画配信

テーマ／「やって良かった介護医療院」

講師／鈴木龍太（日本介護医療院協会会長、鶴巻温泉病院理事長・院長）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

3月15日 京都私立病院協会会議室（Web併用）

テーマ／「介護医療院（及び介護療養型医療施設）の人員・設備・運営基準・介護報酬について～実地指導結果を踏まえて～」

講師／澤井秀生（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課障害福祉・介護サービス担当課長）
後藤杏菜、谷口真理（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

2021（令和3）年度

5月24日 京都私立病院協会会議室（Web併用）

テーマ／「令和3年度介護報酬改定を読み解く～医療系サービスを中心に～」

講師／中林 梓（株式会社ASK梓診療報酬研究所代表取締役）

2月25日 Web

テーマ／「身体拘束ゼロを可能にする大誠会スタイル—身体拘束をしない看護ケアから—」



介護保険委員会研修会



介護保険委員会研修会

講師／内海知加子（社会福祉法人久仁会特別養護老人ホームくやはら認知症看護認定看護師）
小池京子（医療法人大誠会内田病院認知症看護認定看護師）

説明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）
3月25日 京都私立病院協会会議室（Web併用）

テーマ／「介護医療院（及び介護療養型医療施設）の人員・設備・運営基準・介護報酬について～実地指導結果を踏まえて～」

講師／吉井豊宏（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課障害福祉・介護サービス担当課長）
植村奈津子、谷口真理（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

説明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）
2022(令和4)年度

3月10日～20日 動画配信

テーマ／「慢性期医療の課題と展望」

講師／橋本康子（一般社団法人日本慢性期医療協会会長・医療法人社団和風会橋本病院理事長）

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）—最近の動向について—」（事務局）

3月17日 Web

テーマ／「2040年に向けた慢性期医療と介護保険施設等の経営と質の向上について—2024年度改定に向けた「治し、支える」医療

とニーズに寄り添う柔軟かつ多様な介護の連携の在り方—」

講師／仲野 豊（株式会社仲野メディカルオフィス代表取締役）

3月28日 京都私立病院協会会議室（Web併用）
テーマ／「介護医療院（及び介護療養型医療施設）の人員・設備・運営基準・介護報酬について～実地指導結果を踏まえて～」

講師／吉井豊宏（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課障害福祉・介護サービス担当課長）
植村奈津子、田中 駿（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）—最近の動向について—」（事務局）

2023(令和5)年度

1月31日 Web

テーマ／「実効性のあるBCP～現場のリスクマネジャーが伝授～」

講師／三上 信（東京海上日動ベターライフサービス株式会社管理部次長兼コンプラ・リスク管理グループ長・ISO主任審査員【QMS】【EMS】）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

2月14日～21日 動画配信

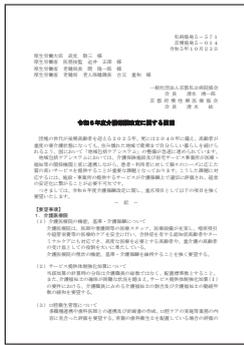
テーマ／「LIFE（科学的介護情報システム）利活用の重要性とその課題～2024年度介護報酬改定の動向を踏まえて～」

講師／高野龍昭（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科教授）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

3月1日 動画撮影

3月15日～22日 動画配信



令和6年度
介護報酬改定に関する
要望書



令和6年度
介護報酬改定に係る
影響度調査集計結果

テーマ／「介護医療院の人員・設備・運営基準・介護報酬について～運営指導結果を踏まえて～」

講師／吉井豊宏（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課障害福祉・介護サービス担当課長）
植村奈津子、田中 駿（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

2024(令和6)年度

10月11日～31日 動画配信

テーマ「介護保険制度の2027年度改定に向けた動向一介護人材確保・生産性向上推進に関する課題一」

講師／高野龍昭（東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科教授）

説明／「感染症法に基づく医療措置協定について」（事務局）

1月31日 登録会館

2月28日～3月14日 アーカイブ配信

テーマ「古武術の身体運用と発想に学ぶ介護技術」

講師／岡田慎一郎（介護福祉士・理学療法士、特定非営利法人JAMSNET 理事・事務局長）

説明／「地域医療構想について」

講師／吉田光宏（京都府健康福祉部医療課参事）

3月3日 動画撮影

3月14日～24日 動画配信

テーマ「介護医療院の人員・設備・運営基準・介護報酬について～運営指導結果を踏まえて～」

講師／佐藤秀一（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課障害福祉・介護サービス係長）
山本卓哉、植村奈津子（京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課）

説明／「地域医療構想について～2040年に向け

た「新たな地域医療構想」一」（事務局）

◆その他の活動

2020(令和2)年度

・令和3年度介護報酬改定への対応の検討および要望書の提出

2021(令和3)年度

・令和3年度介護報酬改定に係る影響度調査の実施

2023(令和5)年度

・令和6年度介護報酬改定への対応の検討および要望書の提出

2024(令和6)年度

・令和6年度介護報酬改定に係る影響度調査の実施

介護サービス第三者評価事業

事業者による介護サービスの質の向上・改善を促進し、同時にサービスを受ける利用者の選択の利便を図るために有効である介護サービス第三者評価は、京都府で2002（平成14）年度から全国に先駆けて試行実施事業が行われ、2005（平成17）年10月には、関係団体、行政等で組織する「京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構」が発足し、福祉サービスも含めた第三者評価への本格実施へと移行した。京都府では、現在介護分野で17機関が評価機関として認定を受けており、当協会も試行期間の2004（平成16）年9月に介護サービス第三者評価機関の認定を受けた。

当協会は介護分野の評価機関として、会員施設及び関連事業所の職員や元職員等に評価調査者、評価

審査委員として協力を得、医療系の専門職を数多く擁する特徴を活かして第三者評価を実施しており、評価を通じて受診事業所の質の向上とモチベーションの向上に努めている。また、調査者の質の向上を図るため、各種研修への参加や、当協会の評価調査者・審査委員による意見交換会の実施、新規調査者の養成にも力を入れている。

◆評価実施施設・事業所

2020(令和2)年度／特別養護老人ホーム長老苑、介護老人保健施設やすらぎ苑、バプテスト老人保健施設、特別養護老人ホームやすらぎの杜、デイサービスセンターヴィラ鳳凰、京都田辺中央病院居宅介護支援センター、訪問看護ステーションやすらぎ

計7事業所

2021(令和3)年度／木津屋橋武田病院介護医療院、介護老人保健施設梨の里、老人保健施設白寿、老人保健施設桃寿苑、宇治おうばく病院介護医療院

計5事業所

2022(令和4)年度／特別養護老人ホームサンフラワーガーデン、介護老人保健施設陽生苑、ケアプランセンター虹、ふれあいステーションゆきわり、訪問介護センターやすらぎ

計5事業所

2023(令和5)年度／介護老人保健施設mamクオーレ、特別養護老人ホーム桂まほろばテラス、バプテスト老人保健施設、介護老人保健施設やすらぎ苑、京都田辺中央病院居宅介護支援センター、特別養護老人ホームやすらぎの杜、特別養護老人ホームヴィラ稲荷山、特別養護老人ホーム加茂の里、特別養護老人ホームヴィラ鳳凰、訪問看護ステーションひまわり、訪問看護ステーションやすらぎ

計11事業所

2024(令和6)年度／向日回生病院介護医療院、老人保健施設白寿、木津屋橋武田病院介護医療院、デイサービスセンター楽生苑、老人保健施設桃寿苑、特別養護老人ホームまほろば

計6事業所

京都市新規介護認定調査事業

当協会では、2007(平成19)年11月1日付で京都府から介護保険法第24条に規定する指定市町村事務受託法人の指定を受け、京都市をはじめとする市町村からの委託による介護保険要介護(要支援)認定調査を実施している。会員施設等の介護支援専門員の協力を得て、年間約4,000から5,000件を超える認定調査を担っている。

認定調査員には、京都市が実施する現任研修会と当協会独自の研修会への参加を推進し、調査員としての基本姿勢、各調査項目の判断基準、特記事項の記入方法等の再確認を行い、調査の質の向上に努めている。

◆調査実施体制(2025(令和7)年3月31日現在)

認定調査員 36名

◆認定調査実績

2020(令和2)年度	3,975件
2021(令和3)年度	5,078件
2022(令和4)年度	4,896件
2023(令和5)年度	4,915件
2024(令和6)年度	5,511件



9 地域医療構想への取り組み

地域医療構想とは、2025年に団塊の世代が75歳以上となる超高齢化社会を迎える日本で、医療需要の変化に対応するための取り組みで、2014年に成立した「医療介護総合確保推進法」により制度化され、その後まとめられた『地域医療構想策定ガイドライン』に基づき、2017年にはすべての都道府県で2025年の必要病床数などが策定されました。その後、2025年に向けて、「地域医療構想の実現」「働き方改革」「医師の偏在対策」を三位一体として計画が進められ、本年2025年を迎えました。

当協会としては、地域医療構想の実現に向けて、病院勤務の医療従事者に向けて地域医療構想の周知、病床機能分担の連携に向けた研修を進めるとともに、働き方改革に会員病院が対応できるように勤務環境改善事業にも取り組んできました。

2040年には、第二次ベビーブームに生まれた「団塊ジュニア世代」が全員65歳以上になる年であり、医療・介護の複合ニーズを抱える85歳以上人口の増大や現役世代の減少に伴う医療需要の変化に対応できるよう、新たな地域医療計画の策定が始まりました。「病院の医療機能機能」、「かかりつけ医機能」、「在宅医療」、「医療・介護連携」等、中長期的課題を整理して検討を行うこととなっています。

引き続き、当協会でも最新の情報を会員に向けて発信し、必要な研修事業などに取り組んでいきます。

(副会長 武田隆久)



地域医療構想をめぐる状況

京都府における地域医療構想は、2017（平成29）年3月に地域包括ケアシステムの一環として地域医療構想を位置付けた「京都府地域包括ケア構想」が策定され、2018（平成30）年4月からの京都府保健医療計画に盛り込まれた。構想策定には、京都府医療審議会地域医療構想策定部会に当協会長が参画した。

京都府内の構想区域（6区域）の地域医療構想調整会議では、2018（平成30）年度より京都府地域包括ケア構想の実現に向けた協議が始まり、各調整会議には当協会の会員施設をはじめ地域の病院が主体的に参加している。特に病院数の多い京都市域地域医療構想調整会議には当協会長らが参画するとともに、京都市域を4ブロックに分けて病院が参加する意見交換会も開催されている。

病床機能報告の各病棟の医療機能の選択の参考になる基準（定量的基準）の検討では、2018（平成30）年10月に設置された京都府医療審議会病床機能区分検討ワーキングに参画し、当協会から提案した診療報酬基準に基づく重症度及び大規模病院の病棟構成の特徴を配慮した定量的分析が京都方式として採用された。

2020（令和2）年1月に日本国内で新型コロナウイルス感染者がはじめて確認されて以降、感染拡大により医療提供体制が逼迫したことから、国は医療計画の記載事項の5疾病5事業の「5事業」に「新興感染症発生・まん延時における医療」を追加して感染症医療及び通常医療の提供体制の確保を図ることとした。これに伴い、京都府では2024（令和6）年度からの京都府保健医療計画に位置づけている京都府感染症予防計画において、新興感染症発生・まん

延時の医療措置協定等による入院・外来体制、後方支援体制等の迅速な確保等に向けての対策が盛り込まれた。

京都府では、地域医療構想の実現に向けた取組を推進するため、2023（令和5）年度から国の地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業を活用し、地域課題などの現状把握や地域の医療需要の推移、医療資源等に関してデータ分析が行われており、その分析に当協会が参画している。

2024（令和6）年には、国が地域医療構想の「推進区域」を各都道府県で設定し支援を行うこととなり、京都府では丹後区域が推進区域に設定され、さらに「モデル推進地域」として、国がデータ分析等の技術的支援や、地域医療介護総合確保基金を優先的に配分する等の財政的支援をすることとなった。

2024（令和6）年3月に設置された国の「新たな地域医療構想等に関する検討会」では、2025年の先の2040年を見据えた新たな地域医療構想の内容が取りまとめられ、これまでの入院医療のみならず外来医療・在宅医療、介護連携等も対象とされることとなった。病床機能は引き続き4区分としつつ、これまでの回復期機能から包括期機能に代わり、構想区域ごとに確保すべき医療機関機能として、高齢者救急・地域急性期機能、在宅医療等連携機能、急性期拠点機能、専門等機能が位置づけられることとなった。2025（令和7）年度に国が新たな地域医療構想の策定・推進に関するガイドラインを検討・作成し、2026（令和8）年度から各都道府県において地域医療提供体制の方向性、必要病床数の推計等を検討・策定、2027（令和9）年度から医療機関機能に着目した地域の医療機関の連携・再編・集約化の協議等を行うとされている。

京都府地域医療介護総合確保基金

国は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を展望し、病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進、医療・介護従事者の確保・勤務環境の改善等、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」を図るべく、2014（平成26）年度から消費税増収分を活用した地域医療介護総合確保基金を各都道府県に設置し、各都道府県は、都道府県計画を作成し、当該計画に基づき事業（*）を実施している。

京都府でも、京都府地域医療介護総合確保基金が設けられ、当協会からの事業提案により、基金対象事業として各種事業を実施している。

*対象事業

- I - 1 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業
- I - 2 地域医療構想の達成に向けた病床の機能又は病床数の変更に関する事業
- II 居宅等における医療の提供に関する事業
- III 介護施設等の整備に関する事業（地域密着型サービス等）
- IV 医療従事者の確保に関する事業
- V 介護従事者の確保に関する事業
- VI 勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備に関する事業

◆2020（令和2）年度の基金事業

- 1 病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業
- 2 病院地域包括ケアシステム強化事業
- 3 地域連携型在宅医療支援病院事業
- 4 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
- 5 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
- 6 医療従事者確保強化事業
- 7 病院清掃感染防止対策事業

◆2021(令和3)年度の基金事業

- 1 病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業
- 2 病院地域包括ケアシステム強化事業
- 3 地域連携型在宅医療支援病院事業
- 4 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
- 5 勤務医勤務環境改善体制整備事業
- 6 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
- 7 医療従事者確保強化事業

◆2022(令和4)年度の基金事業

- 1 病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業
- 2 病院地域包括ケアシステム強化事業
- 3 地域連携型在宅医療支援病院事業
- 4 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
- 5 勤務医勤務環境改善体制整備事業
- 6 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
- 7 医療従事者確保強化事業

◆2023(令和5)年度の基金事業

- 1 病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業
- 2 病院地域包括ケアシステム強化事業
- 3 地域連携型在宅医療支援病院事業
- 4 京都府医療勤務環境改善支援センター事業
- 5 勤務医勤務環境改善体制整備事業
- 6 医療従事者勤務環境改善体制整備事業
- 7 医療従事者確保強化事業

◆2024(令和6)年度の基金事業

- 1 病床機能転換に向けた医療従事者キャリア向上事業
- 2 病院地域包括ケアシステム強化事業
- 3 地域連携型在宅医療支援病院事業
- 4 京都府医療勤務環境改善支援センター事業

- 5 勤務医勤務環境改善体制整備事業

- 6 医療従事者確保強化事業

地域医療構想検討委員会

地域医療構想は、地域の将来の医療需要の推計に基づき、病床の機能分化・連携を進めるものであり、病院はもとより地域医療に大きく影響を及ぼす重要課題として、当協会は2015(平成27)年6月から正副会長で構成する地域医療構想検討委員会を設置している。

委員会では国の動き、京都市域をはじめ各圏域の地域医療構想調整会議等における検討状況を把握して対応を協議するとともに、地域における民間病院の存在意義を京都府・京都市に意見している。

また、会員施設がそれぞれの有する医療資源と地域の医療需要を的確に捉え、将来の方向性を検討する必要から、厚生労働省主催の医療政策研修会・地域医療構想アドバイザー会議等に参加して国の動向をタイムリーに把握し当協会の各種研修会・会議でタイムリーに情報提供するとともに、厚生労働省幹部・有識者を招いての講演会(これからの社会保障を考えるセミナー等)を開催し、会員施設が直接情報収集できる機会を設けている。

10 救急医療体制の確保と推進

近年、医療費抑制政策やマンパワー不足、医師の働き方改革などにより民間病院が中心となる2次救急を担う病院の負担は大幅に増加している。

一方で高齢化社会が進むに比例して救急搬送件数は年々増加しており、地域の救急医療体制が崩壊の危機をむかえている。

京都府における救急医療体制は、当協会の会員病院の尽力や、行政・京都府医師会・京都府病院協会等との協力・連携、京都市域二次病院輪番制度や山城北病院輪番制度によりにより比較的安定した体制が確保されてきていたが、感染症拡大時などにおいては受け入れ困難事例も増加してきており、京都府全体の救急医療体制の見直しも必要となりつつある。

今後、新たな地域医療構想により、3次救急・2次救急・高齢者救急体制の在り方が検討されており、民間病院の救急対応がさらに重要になると思われるため、引き続き、国や行政に対して2次救急医療機関に対する適切な評価や補助を求めていく。

また、救急業務が高度化するのに伴って、当協会の会員病院でも救急救命士の特定行為の拡大に対する実習受け入れや、病院に就職している救急救命士の研修、タスクシフトなどの評価についても取り組んでいく。

(副会長 武田隆久)

京都府における二次病院群輪番体制

京都市（乙訓2市1町含む）の二次病院群輪番制度は、初期救急医療機関から転送された主に入院治療を必要とする重症患者の診療を協力病院が交代で担う制度である。当制度は協力病院が輪番制方式による平日の夜間・休日における急患発生時の対応に高い効果を上げてきた。現在は昨今の物価高騰により病院経営を圧迫していることや、医師の時間外労働上限規制の適用により医師の確保が困難な状況の中、日頃からの協力病院の地域医療を守るという強い使命感に支えられ、一般・小児輪番ともに現在も安定した制度の運営がなされており、年2回開催の当番編成会議も滞りなく順調に実施されている。

病院群輪番制事業は、1979（昭和54）年に国庫補助金制度として創設された。京都市の二次病院群輪番制度については制度発足時から取り組まれている。

一方、山城北医療圏においては、当初は病院群輪

番制事業としては何も制度が立ち上げられていない状態であった。その後、1992（平成4）年に策定された京都府保健医療計画に、病院群輪番制事業が整備されていない地域へ拡充する旨の記載がなされ、山城北医療圏の行政機関からの要請もあり、関係医療機関も交えた協議の結果、1995（平成7）年より山城北医療圏（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井出町、宇治田原町）を対象とした山城北二次病院群輪番制度が発足した。現在、山城北医療圏の輪番制度は休日や年末年始における救急医療体制の確保と充実に努め、山城北医療圏の救急医療に大きく貢献している。



京都健康医療よろずねっと

◆京都市域の二次輪番制度最近の推移

協力病院数

年	一般協力病院	小児協力病院
2020(令和2)年	57	10
2021(令和3)年	56	10
2022(令和4)年	56	10
2023(令和5)年	55	10
2024(令和6)年	55	10

搬送患者数

年	入院	外来
2020(令和2)年	1,242	3,188
2021(令和3)年	1,147	2,907
2022(令和4)年	1,220	3,959
2023(令和5)年	1,458	4,464
2024(令和6)年	1,330	3,843

補助金の推移（当協会会員協力病院分）

2020(令和2)年	¥63,856,000
2021(令和3)年	¥61,272,000
2022(令和4)年	¥63,604,000
2023(令和5)年	¥63,824,000
2024(令和6)年	¥63,808,000

◆山城北の二次輪番制度最近の推移

協力病院数

年	会員協力病院	会員外協力病院
2020(令和2)年	9	1
2021(令和3)年	9	1
2022(令和4)年	9	1
2023(令和5)年	10	1
2024(令和6)年	10	1

搬送患者数

年	入院	外来
2020(令和2)年	119	289
2021(令和3)年	123	703
2022(令和4)年	146	849
2023(令和5)年	174	417
2024(令和6)年	148	309

補助金の推移（当協会会員協力病院分）

2020(令和2)年	¥9,564,160
2021(令和3)年	¥10,638,720
2022(令和4)年	¥10,709,760
2023(令和5)年	¥10,851,840
2024(令和6)年	¥10,709,760

 京都府内の救急医療システム

京都府では、病院や診療所、薬局等に関する各種情報を収集し、府民に健康で充実した生活を送ることができるよう、総合的な健康医療情報を提供するホームページとして、「京都健康医療よろずネット」を開設している。同時に救急医療情報システムも一体的に運用しており、休日等に受診することができる身近な医療機関情報等も検索・閲覧可能としている。

府民のアクセス別利用状況は、2024（令和6）年度は概ね100,000件前後を推移しており、利用件数はその年月によって増減している。同システムは救急搬送先の減少による患者受け入れ困難が懸念されるなか、今後も有効な手段のひとつとして期待される。

京都府では、周産期医療情報を24時間体制で一元管理し、妊産婦や新生児の生命を守る周産期医療情



救急の電話相談窓口
(#7119・#8000)

報システムが稼働している。2018（平成30）年には、周産期医療体制を強化するため、京都府・京都第一赤十字病院・京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の四者間で「京都府周産期医療体制強化に関する協定」が締結された。

精神科救急では夜間休日に対応するために、救急情報センターが京都市こころの増進センターに設置され、専門の職員が電話相談に対応する体制が整備されている。2013（平成25）年11月からは精神科救急医療連携強化事業が開始され、山城北医療圏において、身体疾患と精神疾患を有する患者に対する一般救急病院と精神科病院との連携強化が図られている。

小児救急については、2005（平成17）年1月より、夜間の子供の急な病気に対する保護者の不安等から、軽症の場合でも直ぐに救急医療機関を受診される傾向にあるため、その対策として、京都府が小児救急電話相談（#8000）を開始した。当事業では毎夜間（午後7時から翌朝8時※土曜日（祝日・年末年始を除く）は午後3時から翌朝8時）の電話対応可能な体制を整備し、対象である京府内在住の15歳未満の子供とその家族等からの相談を受け付けている。

また、京都府では、2020（令和2）年10月より、看護師から受診の必要性や対処方法等の適切な助言、医療機関案内を受けることができる電話相談事業（#7119）を実施し、急な病気や怪我をした際の相談窓口として、24時間365日対応している。

救急医療をめぐる諸問題への対応

慢性期的な医師・看護師不足が続く中、近年大都市圏においても救急患者の受入困難事例が発生し、

マスメディアで報道されるなど、救急医療の崩壊が一般市民の間にも社会問題として認識されるようになってきている。

全国的に少子高齢社会が進む中、とりわけ高齢者に対する救急の割合が圧倒的な増加傾向にあり、今後は有病率の高い癌の治療及びそのターミナルの問題と、脳卒中、骨折、肺炎など、高齢者の急病変化に対する高齢者救急への対応が喫緊の課題となっている。

こうした中でも京都府下の救急医療体制は各医療圏にある会員病院の協力により他府県と比べても安定した体制を維持している。しかし、安定的な救急医療体制の確保には行政からの支援策（補助金）が必須であるが厳しい財政状況を理由に、今後見直される可能性もありうる。実際に、京都府では、京都市域、山城北圏域において病院群輪番制が稼働しており、当協会の会員病院を中心に2次救急医療を担っているが、京都市では、2009（平成21）年度に輪番協力病院への補助金の減額措置が執られ、2次救急医療の後退が懸念された。救急医療体制には、医師・看護師等の医療スタッフの充実が不可欠であり、その配置に要する人件費等の大半は病院の負担となっている。これまでの救急医療は、地域住民の生命と安全を守るといった地域の民間病院の使命感により成り立ってきたが、もはや限界に達しつつあり、将来にわたり救急医療体制が維持できるよう、京都府・京都市に支援を求め続けている。

また、コロナ禍においては、救急隊が搬送先の医療機関の選定に時間を要する救急搬送困難症例が急増したことから、一定の条件に達した症例は京都府救急医療情報システムの機能を用いて、複数の医療機関に一斉に搬送要請を行い、応需できる医療機関



救急医療研修会

をいち早く決定するよう連絡体制の強化を図った。また、新型コロナウイルスが5類移行後においても、救急搬送困難症例は継続して発生しており、今後も予断を許さない状況である。

その他、近年、全国各地で頻回に発生している大地震、台風による災害発生時における避難所・救護所等での医療や健康管理、被災地病院・診療所への支援等を行うために、2013（平成25）年にJMAT京都が発足され、2016（平成28）年の熊本地震、2018（平成30）年の西日本豪雨災害、2024（令和4）の能登半島地震では、現地へ赴き支援を行った。自賠責保険をめぐることは、京都府医師会（京都私立病院協会、京都府病院協会含む）と日本損害保険協会近畿支部、損害保険料率算出機構京都調査事務所三者による京都府交通事故医療連絡協議会での協議が進み、2003（平成15）年4月から自賠責保険診療費算定基準（ガイドライン）実施要項に基づいた請求が各病院で選択できるようになり、定着に向けた継続的な取り組みが行われている。

救急医療検討委員会

当委員会は、担当役員と会員病院の医師、事務長会、看護部長会代表によって構成されており、救急医療に関する問題について検討を行う場となっている。

2020（令和2）年の5年間では、新型コロナウイルスが流行したことに伴い、救急現場における新型コロナウイルスへの取り組み等をテーマに救急医療研修会を開催し、コロナ禍における救急医療体制をテーマに実態調査を実施した。

また、2024（令和6）年度は京都市域病院群輪番

制病院運営事業において、昨今の物価高騰に伴う必要経費の高騰が病院経営を圧迫していることや、2024（令和6）年4月から施行された医師の時間外労働上限規制の適用により医師の確保が困難な状況にあるため、各病院への負担は増加しており、今後、当事業の運営は益々厳しくなることが懸念されることから、補助金額の見直しを検討し、京都市へ要望を行った。

◆研修会

2021（令和3）年2月18日 動画撮影

3月2日～15日 動画配信

テーマ／「重症新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の特徴的病態とその管理法」

講師／石倉宏恭（福岡大学医学部救命救急医学講座主任教授福岡大学病院救命救急センター長）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

2022（令和4）年2月15日 動画撮影

2月25日～3月24日 動画配信

テーマ／「新型コロナウイルス感染症対応の経験から～緊急対応能力は日常医療体制の成績表だ～」

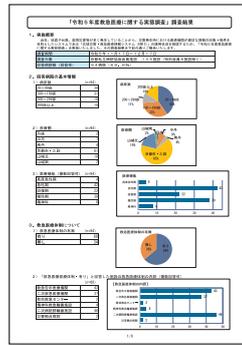
講師／山畑佳篤（京都府立医科大学救急医療部／救急・災害医療システム学講師）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

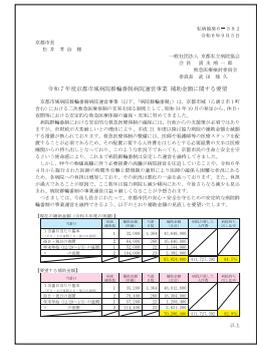
2023（令和5）年2月27日

京都私立病院協会会議室（Web併用）

テーマ／「救急医療における新型コロナ対応の



令和5年度
救急医療に関する
実態調査結果



令和7年度
京都市域病院群輪番制病院運営
事業補助金額に関する要望書

「取り組みについて」

- 講師／①成宮博理（京都第二赤十字病院救急科副部長）
②武田 純（武田病院院長）
③久野成人（京都久野病院理事長・院長）
竹内千裕（京都久野病院地域連携室副主任）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2024(令和6)年2月19日 動画撮影

2月28日～3月27日 動画配信

テーマ／「高齢者の救急医療について」

講師／高谷悠大（京都大学医学部附属病院初期診療・救急科助教）

テーマ／「大丈夫？高齢者医療施設の災害対策～一番大切なのはAREです！～」

講師／石倉宏恭（福岡大学医学部救命救急医学講座主任教授・福岡大学病院救命救急センター診療部長）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

2025(令和7)年1月28日 動画撮影

2月12日～3月11日 動画配信

テーマ／「動物咬傷に係わる感染症～救急現場で注意すべきこと」

講師／篠原 浩（京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学・京都大学医学部附属病院検査部・特定制御部特定病院助教）

説明／「地域構想について」（事務局）

「救急医療に関する実態調査～コロナ禍における救急医療体制～」の実施

2022(令和4)年度

「令和4年度救急医療に関する実態調査～コロナ禍における救急医療体制～」の実施

2023(令和5)年度

「令和5年度救急医療に関する実態調査」の実施

◆要望

2024(令和6)年度

令和7年度京都市域病院群輪番制病院運営事業補助金額に関する要望

◆実態調査

2020(令和2)年度

「救急医療に関する実態調査2020」の実施

11 感染症対策への対応

京都私立病院協会の「感染症対策委員会」では年に二度の感染対策研修会、感染対策に関連した各種マニュアルの作成と更新、感染対策に係る相談窓口の設置などの活動を行ってまいりました。また褥瘡対策に対する活動も当委員会が担当し、褥瘡対策研修会、褥瘡対策に係る相談窓口の設置などの活動も行っていました。さらに新型コロナウイルス感染症の流行により、当協会のWebサイト上に特設ページを開設したり、会員施設に新型コロナウイルス感染防止対応に関するWebミーティングを行い感染対策の支援をしてまいりました。また京都市新型コロナワクチン集団接種事業、京都府新型コロナウイルス宿泊療養施設事業にも協力してまいりました。

感染症に対して、さまざまな抗生剤や抗ウイルス剤、そしてワクチンも開発されていますが、やはり感染症は依然として人類の脅威に変わりなく、新型コロナウイルスのような世界的に広がる感染症は今後も起こりえる可能性があります。私たち医療従事者は、感染症に対して予防から治療まで最新の情報や正確な情報を入手し、整理し、そして現場に迅速に伝え感染症に立ち向かうことが求められています。京都私立病院協会の感染症対策委員会がそれのお役に立てるように、当委員会はこれからも精力的に活動していきたいと考えています。会員みなさまのご理解とご協力をどうかよろしくお願い致します。

(感染症対策委員会担当理事 清水 聡)

感染症対策委員会

1998（平成10）年より「感染症対策委員会」を設置し、感染症に係る諸課題への対応と院内感染防止対策の推進に取り組み。2017（平成29）年度からは、褥瘡の予防・ケアの充実に向けての取り組みも実施している。

委員会は当協会役員、看護部長会、薬剤師部会、臨床検査部会、会員の感染症部門の医師、会員の皮膚・排泄ケア認定看護師による構成で開催している。

2020（令和2）年度から2024（令和6）年度の取組としては、毎年度、感染症対策に資する研修会を2回、褥瘡対策に資する研修会を1回開催し、各々の対策の向上に努めるとともに、感染対策・褥瘡対策に関する会員からの個別相談にも対応した。新型コロナウイルス感染症に関しては、発生当初から情

報が錯綜する中で、当委員会が専門家の協力を得て、正しい知識・対応を分かりやすく簡潔にまとめた「新型コロナのわかりやすい解説」を当協会Webサイト上に特設ページを開設して広く啓発を行うとともに、会員施設からのコロナ対応に関する相談に対し、個別のWebミーティングや書面による対応を行った。2020（令和2）年は、京都府から当協会が病院清掃感染防止対策事業を受託し、当委員会が講師を担い、清掃会社の従業者に対しコロナ病棟の清掃に必要な知識と感染防止対策の習得に努めた。

更には感染症全般に関し、必要な感染症の知識や対応方法をまとめた「感染症対策マニュアル（2023年1月版）」、抗菌薬の適切な選択と使用の促進に資するべく「抗菌薬適正使用マニュアル（2024年1月版）」を発行するほか、当協会会報誌「京都私立病院報」で毎月の感染症情報を発信した。



感染対策研修会



病院清掃における新型コロナ研修会

◆主な活動

2020(令和2)年度

- ・ 9月3日 褥瘡対策研修会
京染会館 (Web併用)
テーマ/「褥瘡治療～傷が治る仕組みと軟膏の使い方～」
講師/是枝 哲 (これえだ皮フ科医院院長)
植村陽子 (三菱京都病院皮膚・排泄ケア認定看護師)
説明/「地域医療構想の最近の動向」(事務局)
- ・ 10月16日 感染対策研修会
京都経済センター (Web併用)
テーマ/①「クラスター解析とリスクコミュニケーション：コンセプト三密」
②「ネットの医療情報、注意すべき3つの落とし穴」
講師/①神代和明 (京都大学大学院医療疫学分野研究員・米国内科感染症予防医学専門医・厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策本部クラスター対策班)
②山本健人 (京都大学大学院医学研究科消化器外科専門医・感染症専門医)
座長/石黒義孝 (京都大学大学院医学研究科外科専門医)
説明/「地域医療構想の最近の動向」(事務局)
- ・ 2月2日 病院清掃における新型コロナウイルス感染防止対策研修会
メルパルク京都
テーマ/①「新型コロナウイルス感染症の基礎知識と感染防止対策について」

- ②「手指衛生の方法及び個人防護具の着脱方法について (実習有)」
- ③「一般清掃と病院清掃の違い」
- 講師/①清水 聡 (新京都南病院 院長・Infection Control Doctor)
- ②清水 聡 (同上)
谷口文代 (京都桂病院 看護部長・感染管理認定看護師)
- ③森 貞文 (公益社団法人京都ビルメンテナンス協会理事・公益事業委員会委員長・協会講師)
- ・ 3月9日 病院清掃における新型コロナウイルス感染防止対策研修会
メルパルク京都
テーマ/①「新型コロナウイルス感染症の基礎知識と感染防止対策について」
- ②「手指衛生の方法及び個人防護具の着脱方法について (実習有)」
- ③「日本赤十字社京都第二赤十字病院、ホスピタル・メンテナンス株式会社との取り組み」
- 講師/①清水 聡 (新京都南病院 院長・Infection Control Doctor)
- ②清水 聡 (同上)
谷口文代 (京都桂病院 看護部長・感染管理認定看護師)
- ③近藤大志 (京都第二赤十字病院感染管理認定看護師)
高橋政則 (ホスピタル・メンテナンス株式会社代表取締役)
- ・ 3月11日 感染対策研修会
京都経済センター (Web併用)



「新型コロナウイルスのわかりやすい解説」Webページ
https://www.khosp.or.jp/corona_information/

褥瘡対策研修会

テーマ／「新型コロナウイルス感染症とインフルエンザへの対応2021」

講師／山本舜悟（京都市立病院感染症内科部長）

説明／「地域医療構想の最近の動向」（事務局）

- ・「新型コロナウイルスのわかりやすい解説」Webページの制作
- ・感染対策・褥瘡対策に係る相談窓口対応
- ・毎月の感染症発生動向・感染症行政に関する情報提供（京都私立病院報）

2021(令和3)年度

- ・10月7日 感染対策研修会
 京都私立病院協会会議室（Web併用）

テーマ／「新型コロナウイルスの院内感染を防ぐには標準予防策が大事！～新型コロナウイルス対策を振り返って～」

講師／近藤大志（京都第二赤十字病院看護部看護係長・感染管理認定看護師）

説明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

- ・12月9日 褥瘡対策研修会
 メルパルク京都（Web併用）

テーマ／「最新の褥瘡局所ケア～ウンド・ハイジーン（創傷衛生）と臨界的定着疑い創に対する管理とは～」

講師／宮崎啓子（コンバテックジャパン株式会社アドバンスドウンドケア事業部皮膚・排泄ケア認定看護師）

説明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—

講師／真下信男

- ・3月3日 感染対策研修会

メルパルク京都（Web併用）

テーマ／①「COVID-19の衝撃とAMR 対策—我々に何ができるか—」

②「新型コロナウイルスに対する治療薬について」

講師／①山田 豊（京都民医連中央病院感染症科科長）

②馬瀬久宜（武田病院グループ本部薬剤部長）

説明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について

—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—

講師／真下信男

- ・会員施設への感染防止対策支援（Web併用）
- ・感染対策・褥瘡対策に係る相談窓口対応
- ・毎月の感染症発生動向・感染症行政に関する情報提供（京都私立病院報）

2022(令和4)年度

- ・9月8日 感染対策研修会
 京都経済センター（Web併用）

テーマ／「市中病院での新型コロナウイルス感染症への対応～ある中小病院での経験～」

講師／堀田 剛（新京都南病院内科医長）

説明／「地域医療構想について—医療従事者として知っておきたいポイント—」（事務局）

- ・12月22日 褥瘡対策研修会



感染症対策マニュアル
(2023年1月版)



感染症対策・褥瘡対策に係る相談窓口

- 京都経済センター (Web 併用)
- テーマ / 「褥瘡・スキナーケア・IAD (失禁関連皮膚炎) の違いを理解する」
- 講師 / 宇野育江 (かなえるリハビリ訪問看護ステーション都管理者、皮膚・排泄ケア認定看護師)
- 説明 / 「地域医療構想 (京都府地域包括ケア構想) —最近の動向について—」 (事務局)
- ・ 3月7日 感染対策研修会
 - 京都私立病院協会会議室 (Web 併用)
 - 全体テーマ / 「新型コロナウイルス感染症—公衆衛生、情報、救急現場の立場から—」
 - テーマ / ① 「パンデミック時の治療薬開発 R&D—基礎ではなく、クリニカルトリアルの観点から—」
 - ② 「気をつけるべきコロナの誤情報—医療者が身につけたい情報リテラシー—」
 - ③ 「京大病院におけるコロナ診療体制の紹介」
 - 講師 / ① 神代和明 (東北大学大学院医学研究科助教、元厚生労働省クラスター対策班)
 - ② 山本健人 (医学研究所北野病院消化器外科腫瘍研究部医員・研究員)
 - ③ 石黒義孝 (京都大学医学部附属病院初期診療・救急科特定病院助教)
 - 説明 / 「地域医療構想 (京都府地域包括ケア構想) —京都府の人口・患者動態から—」 (事務局)
 - ・ 「感染症対策マニュアル (2023年1月版)」 の発行

- ・ 新型コロナウイルス感染防止対策に係る支援 (Web 併用)
- ・ 感染対策・褥瘡対策に係る相談窓口対応
- ・ 毎月の感染症発生動向・感染症行政に関する情報提供 (京都私立病院報)

2023 (令和5) 年度

- ・ 9月27日 感染対策研修会
 - 京都経済センター (Web 併用)
 - テーマ / 「クリニックにおける5類移行後の COVID-19の対応—感染後遷延する症状への対応も含めて—」
 - 講師 / 安田雄司 (医療法人啓生会やすだ医院 理事長・院長)
 - 説明 / 「京都府地域包括ケア構想 (地域医療ビジョン) について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」
 - 講師 / 松尾治樹 (京都府健康福祉部医療課参事)
- ・ 12月14日 褥瘡対策研修会
 - 京都経済センター (Web 併用)
 - テーマ / 「褥瘡予防、関節拘縮防止、摂食・嚥下を考慮したポジショニングの工夫について」
 - 講師 / 神内昭次 (社会福祉法人京都福祉サービス協会人材マネジメント室人事部人材研修センター 研修担当部長・理学療法士)
 - 説明 / 「地域医療構想と医療DX」 (事務局)
- ・ 3月14日 感染対策研修会
 - 京都経済センター (Web 併用)
 - テーマ / 「ポストコロナ時代の AMR 対策再考—アクションプラン2023-2027と草の



抗菌薬適正使用マニュアル
(2024年1月版)

「根レベルでの取り組み—」

講師／山田 豊（京都市民連中央病院感染症
科科长・病棟医長）

説明／「2024年診療報酬改定と医療DX」（事
務局）

- ・「抗菌薬適正使用マニュアル（2024年1月版）」
の発行
- ・新型コロナウイルス感染防止対策に係る支援
（Web併用）
- ・感染対策・褥瘡対策に係る相談窓口対応
- ・毎月の感染症発生動向・感染症行政に関する情
報提供（京都私立病院報）

2024(令和6)年度

- ・9月11日 感染対策研修会
京都経済センター（Web併用）
テーマ／「現代の性感染症～梅毒を中心に～」
講師／栃谷健太郎（京都市立病院感染症科部長）
説明／「感染症法に基づく医療措置協定につ
いて」（事務局）
- ・12月5日 褥瘡対策研修会
京都経済センター（Web併用）
テーマ／「今まで見えなかった褥瘡の下を覗く
とどんなことができるのか？」
講師／畠山 誠（医療法人社団静和会静和記
念病院看護部皮膚・排泄ケア認定看護師）
説明／「地域医療構想について—2040年に向
けた新たな地域医療構想—」（事務局）
- ・3月6日 感染対策研修会
ハートンホテル京都（Web併用）
テーマ／「感染対策の基本～コロナをきっかけ
に換気まで～」
講師／菊地圭介（京都府立医科大学附属病院

感染対策部 副看護師長・感染管理認
定看護師）

説明／「地域医療構想について—2040年に向
けた新たな地域医療構想—」（事務局）

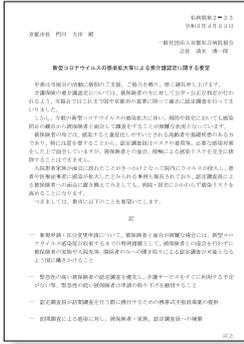
- ・毎月の感染症発生動向・感染症行政に関する情
報提供（京都私立病院報）

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対応

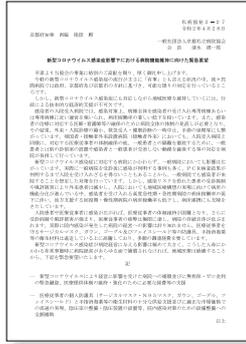
2019（令和元）年11月に中国湖北省武漢市で新型
コロナウイルス感染症（COVID-19）が発生し、
2020（令和2）年1月15日に日本国内で1例目の感
染者が報告された。新型コロナウイルスは全世界へ
拡大し、同年3月には世界保健機関（WHO）がパ
ンデミックを宣言した。日本政府は感染拡大を受け、
イベント・移動の自粛、学校の休校を要請する事態
に至った。京都府内では同年1月30日に1例目の感
染者が報告された。

当初、罹患者や陽性者が発生した医療機関では、
救急や外来診療を中止して院内を消毒する対応に迫
られ、濃厚接触とされた医療従事者が一定期間の自
宅待機を余儀なくされるなど、医療の継続が困難と
なった。また、相次ぐ疑い例の患者への対応により
医療従事者が疲弊し、マスク、手指消毒薬、衛生材
料の逼迫により、医療従事者の不安・危険が増大す
ることとなった。その後も感染が拡大する度に通常
医療に影響が出るとともに、本来病院を受診すべき
患者が受診を控え、感染防止対策を講じる経費も大
きな負担となり、病院経営にも大きな影響を及ぼし
た。

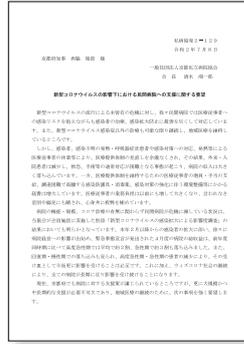
当協会は、新型コロナウイルス感染症発生当初か



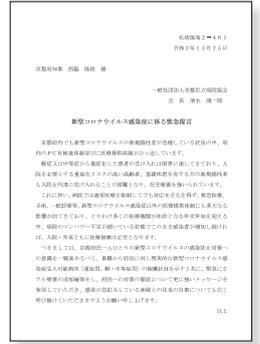
新型コロナウイルスの感染拡大等による要介護認定に関する要望



新型コロナウイルス感染症影響下における病院機能維持に向けた緊急要望



新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援に関する要望書



新型コロナウイルス感染症に係る緊急提言

ら京都府・京都市、会員施設と密に情報共有を行い、会員施設の懸命の努力により、新型コロナウイルス感染症対応の入院病床の確保、外来診療・PCR検査体制の充実、コロナ回復後の患者の受入などコロナ対応病院へのバックアップ体制の構築等に寄与した。

また、京都市からの要請により、2021（令和3）年6月から2023（令和5）年10月まで会員施設から医師・薬剤師・看護師、京都大学から医師協力を得て、京都市の新型コロナワクチン集団接種会場に派遣し、京都府からは新型コロナ宿泊療養施設への看護師派遣の要請により2021（令和3）年9月から2023（令和5）年3月まで会員施設の協力を得、24時間体制で看護師を派遣した。

京都府全体の対応や対策については、京都府に設置された新型コロナウイルス感染症対策専門家会議に当協会が参画して意見・提言するとともに、病院医療が逼迫する等の状況に応じて京都府・京都市に要望を行った。

◆主な取組

2020(令和2)年度

- 4月23日 新型コロナウイルスの感染拡大等による要介護認定に関する要望
京都市長に認定調査時の感染防止のための特例措置、認定調査員への衛生材料等の支援を要望
4月28日 新型コロナウイルス感染症影響下における病院機能維持に向けた緊急要望
京都府知事・京都市長に会員施設への経済的、物的支援を要望
5月4日 京都府議会議員（京都府私立病院振興議員連盟）とも懇談し、上記支援を要望

- 7月2日・8日 新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援に関する要望
会員施設に実施した影響度調査結果をもとに京都府知事・京都市長にウィズコロナ社会を見据えた長期的支援を要望

- 12月25日 新型コロナウイルス感染症に係る緊急提言

- 新型コロナ確保病床の公表値に対し、京都府知事・京都市長に現実的な受入可能病床（重傷、軽中等症）の公表と稼働宿泊療養施設の追加確保を要望

- 1月～2月 「新型コロナウイルス感染症患者の入院受入に関する緊急調査」の実施

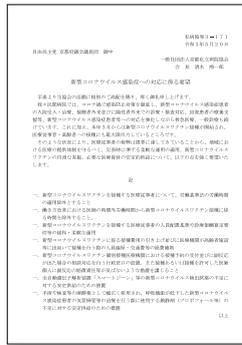
- 2月19日 「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の円滑な実施に関する協定書」を締結
京都府と府内市町村及び当協会も含め医療関係団体9団体で円滑な新型コロナウイルスワクチン接種の実施に向けた協定書を交わした

2021(令和3)年度

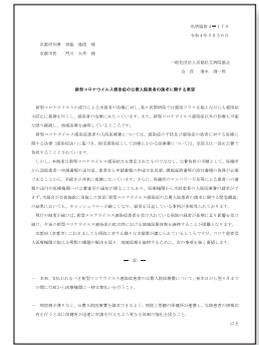
- 5月20日 新型コロナウイルス感染症への対応に係る要望
医療提供体制を守るため、自由民主党京都府議会議員団に診療報酬算定要件や労働基準法の柔軟な運用の適用、新型コロナウイルスの円滑な実施、必要な医療資材の安定的供給を要望
6月9日～3月26日 京都市新型コロナワクチン集団接種会場に医師・薬剤師・看護師を派遣
9月1日～3月31日 京都府新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設（アパホテル京都駅東）に24時間体制で看護師を派遣
10月2日 京都府知事と当協会役員で新型コロナ



新型コロナウイルス感染症に係る
ワクチン接種の円滑な実施に関する協定書



新型コロナウイルス感染症
への対応に係る要望



新型コロナウイルス
感染症の公費入院患者の
請求に関する要望

新型コロナウイルス感染症全般について意見交換

2022(令和4)年度

- ・ 5月26日 新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関する要望
新型コロナウイルス感染症患者の公費入院医療費について、請求手続きの簡素化と円滑な支払いがなされるよう京都府知事と京都市長に要望
- ・ 10月15日 公明党2023年度予算・税制要望並びに政策懇談会で、新型コロナ対策への財政的支援の継続、医薬品不足の解消、新型コロナワクチンの接種に係る事業継続、感染防護・管理のあり方について要望
- ・ 4月2日～3月25日 京都市新型コロナワクチン集団接種会場に医師・薬剤師・看護師を派遣
- ・ 4月1日～3月31日 京都府新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設（アパホテル京都駅東）に24時間体制で看護師を派遣

2023(令和5)年度

- ・ 5月24日～10月29日 京都市新型コロナワクチン集団接種会場に医師・薬剤師・看護師を派遣

2021(令和3)年度

集団接種会場	期 間	
イオンモール KYOTO	6月9日～7月20日	8月10日～10月29日
西陣織会館	6月9日～7月20日	
京都市役所	9月18日～2月27日	
東山地域体育館	3月5日～3月20日	
伏見区役所深草支所	3月5日～3月20日	
京都市役所（小児）	3月20日・26日	
		計88日間
		計30日間
		計57日間
		計4日間
		計4日間
		計2日間

 京都市新型コロナワクチン集団接種事業

新型コロナウイルスワクチンの接種については、医療機関等における個別接種及び市町村が特設会場を設けて行う集団接種で実施された。京都市は2021（令和3）年度からの集団接種の開始に向けて、当協会へ接種に必要な医療スタッフ派遣の協力を求めた。当協会は接種を希望する京都市民の接種機会と円滑な接種体制の充実に寄与するべく協力依頼に応じ、会員施設及び京都大学の協力を得て医師・薬剤師・看護師の集団接種会場への派遣を調整する業務を京都市から受託し、2021（令和3）年度から2023（令和5）年度の間、「京都市新型コロナワクチン集団接種事業」として実施した。2023（令和5）年3月末で特例臨時接種による全額公費負担が終了し、公共施設型接種会場の廃止等も行われ、当協会の役割を満了した。

2024（令和6）年4月からは高齢者を対象とした原則有料の定期接種へと移行し、高齢者以外は予防接種法に基づかない接種（任意接種）として自己負担で接種可能となった。



宿泊療養施設「アパホテル京都駅東」

2022(令和4)年度

集団接種会場	期 間	
東山地域体育館	4月16日～11月26日	計31日間
伏見区役所深草支所	4月16日～2月25日	計40日間
イオンモールKYOTO	4月29日～5月15日 7月1日～3月24日	計74日間
京都市役所(小児)	4月2日～2月25日	計52日間
イオンモール京都桂川	3月4日・3月25日	計2日間

2023(令和5)年度

集団接種会場	期 間	
イオンモールKYOTO	5月24日～6月28日	計8日間
イオンモール京都桂川	5月19日～6月26日	計8日間
京都市役所	10月11日～10月29日	計15日間

京都府新型コロナ宿泊療養施設事業

新型コロナウイルス感染症陽性者のうち、入院治療の必要がない軽症者や無症状者を対象として、重症化リスクが高い方への感染リスクを下げるとともに、軽症者等に適切な療養環境を提供するため、京都府は2021(令和3)年9月1日に府内3施設目の宿泊療養施設「アパホテル京都駅東」を設置した。当協会が京都府より委託を受け、会員施設等からの協力を得て宿泊療養施設に看護師(看護師長、リーダーを含む)を派遣し、入所者の受け入れ及び退所時の保健指導、健康観察及び記録・報告、急変時の対応、巡回医師や処方薬局との連携等、療養者の回復に向けて、日勤・夜勤24時間体制で出務を行い、

感染拡大時にも対応した。

◆派遣場所

宿泊療養施設「アパホテル京都駅東」

◆派遣期間

2021(令和3)年9月1日～2023(令和5)年3月31日

◆事前説明会

- ・新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養看護に係るオリエンテーション

2021(令和3)年8月30日

アパホテル京都駅東

12 医療安全対策への対応

「医療DX」「働き方改革」が進む中、他職種連携を実施している多くの医療機関に向けて、学びの場を提供する必要があります。当協会の医療安全対策委員会においては、新入職員向けに医療安全対策の基礎的な内容、中堅職員向けに「Team STEPPS」等をテーマにした、より実践的な内容の研修会を行っています。加えて、災害に対する啓発活動、地域医療における民間病院の医療安全に取り組んでいく活動を行っています。

(副会長 小森直之)

医療安全対策委員会

医療の質・安全に対する社会的ニーズの高まりにより、2000（平成12）年に医療安全対策委員会が設置されて以降、先進的な医療安全対策の推進に向けた取り組みや情報発信を行い、会員病院における医療安全の意識向上や医療安全管理体制の強化・充実を図っている。

医療法施行規則が2002（平成14）年に一部改正されたことに伴い、全ての病院及び有床診療所について4項目の医療安全管理体制の確保が義務付けられ、その中の1つに医療に係る安全管理のための職員研修の実施が挙げられており、当委員会としても会員施設の職員を対象とした研修会を毎年企画開催している。研修会では、実際に発生した事例をもとにした具体的な対策方法等についてや、医療の質と安全を向上させるためのチームワークシステム（Team STEPPS®）などをテーマに、各施設での医療安全対策の取り組みにつながるような内容としている。

◆講演会

2020(令和2)年10月28日動画撮影

11月4日～11月17日動画配信

テーマ／「チームトレーニングの結果を現場で出そう—HOW TO BE TeamSTEPPS—」

講師／辰巳陽一（近畿大学医学部附属病院安全管理部・医療安全対策室教授）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2020(令和2)年12月10日動画撮影

12月17日～1月6日動画配信

テーマ／「医療安全の考え方と安全管理の実際」

講師／岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

2021(令和3)年9月13日動画撮影

9月24日～10月25日動画配信

テーマ／「医療安全の基礎」

講師／長谷川剛（上尾中央総合病院情報管理特任副院長）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

2021(令和3)年12月27日動画撮影

1月14日～2月14日動画配信

テーマ／「医療機関向けBCP対策の基礎」

講師／大山幸一（一般社団法人医療・福祉連携支援センター副代表理事）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

2022(令和4)年8月29日 京染会館（Web併用）

テーマ／「医療安全に必要な safety-2 と心理的安全性—インシデント報告を有効活用するために—」

講師／藤井 耕（京都民医連あすかい病院医療安全管理室室長）

説明／「地域医療構想について」（事務局）



医療安全対策研修会（会場）



医療安全対策研修会（動画配信）

2022(令和4)年12月26日

京都私立病院協会会議室（Web）

テーマ／「医療安全文化の醸成」

講師／松村由美（京都大学医学部附属病院医療安全管理部部長）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

テーマ／「TeamSTEPPSはチーム医療の処方箋—心理的安全性獲得をめざして—」

講師／辰巳陽一（近畿大学病院安全管理センター医療安全対策部部長）

説明／「地域医療構想について—2040年に向けた新たな地域医療構想—」（事務局）

2023(令和5)年9月25日動画撮影

10月13日～11月6日動画配信

テーマ／「医療安全の基礎知識&ヒューマンエラーを理解する」

講師／中島聡子（蘇生会総合病院医療安全管理室室長）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

医療事故調査制度

2014（平成26）年6月の医療法改正に伴い、医療事故が発生した医療機関が院内調査を行い、その調査報告を第三者機関（医療事故調査・支援センター）が収集・分析することで再発防止につなげる仕組み（医療事故調査制度）が医療法に位置付けられ、2015（平成27）年10月から施行された。

2024(令和6)年2月16日

京都私立病院協会会議室（Web）

テーマ／「健全な病院経営の基本「心理的安全性」を業務に取り入れよう～医療安全の活動を学びと遊びの場に！～」

講師／山口悦子（大阪公立大学医学部附属病院医療の質・安全管理部部長）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

本制度の目的はあくまで「当該病院等に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、当該管理者が当該死亡及び死産を予期しなかった」医療事件事例を収集し医療界全体の安全を向上させることにあり、従来の医療事故の定義も異なれば、責任追及を目的としていない。かつて医師法21条の誤った解釈と運用により、警察への届出、医療過誤による業務上過失致死罪の立件件数が激増し、外科・産科をはじめ多くの医師が去った医療崩壊が再び起こることがあってはならない。

2024(令和6)9月6日動画撮影

10月17日～11月4日動画配信

テーマ／「医療安全の基礎知識」

講師／村木裕介（シミズ病院臨床工学科本部課長・医療安全管理者）

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

これを踏まえ、当協会では会員施設において本制度の正しい理解と対応が図られるよう、情報収集に努め、会員施設から本制度の内容、医療事故の報告対象に係る相談を受け付ける「医療事故調査制度相談窓口」を2015（平成27）年に開設し、当協会担当役員と事務局担当者によるサポートを行っている。

2025(令和7)2月3日

京都私立病院協会会議室（Web）

13 京都式地域包括ケアシステムの推進

京都式地域包括ケアシステムは団塊の世代が75歳以上を迎える2025年の超高齢社会に対して、高齢者の方が介護や医療が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるために行政、医療、介護、福祉の連携を強化し、各関係機関が一丸となりオール京都体制で地域包括ケアを実施してきた。京都私立病院協会では、在宅療養あんしん病院登録システム、府民リハビリテーション啓発支援事業、病院認知症対応力向上事業、病院地域包括ケアシステム強化事業（病院在宅医療・介護体制強化事業）を継続して協力し行ってきた。

在宅療養あんしん病院登録システムは在宅で医療介護の必要度が高い高齢者が体調崩し在宅困難な時に事前に情報登録しておくことでスムーズに入院できるシステムで、平成24年1月より運用され登録患者は順調に増えている。

府民リハビリテーション啓発支援事業はリハビリの手薄な京都府北部や南部の地域にリハビリ専門職からなるキャラバン隊を派遣する事業で5年間で延60カ所、1,059名の府民に啓発事業を行い大変好評であった。また啓発DVDを作成し配布し活用した。

病院認知症対応力向上事業は京都式オレンジプランの事業の一環としてどの一般病院に入院しても認知症治療が受けられる体制の充実を目指して京都府、京都市の委託を受け、病院の全職種が対応の知識やスキルを身につけることを目標とした。病院認知症対応力向上研修では集合研修と病院への訪問研修を続けており年々効果がでていられる。

病院地域包括ケアシステム強化事業は地域における病病、病診、医療、介護、他職種連携の強化や幅広い視点で地域包括ケアを担うことのできる病院関係者を育成することを目的に他職種による講義や、他施設・他職種で行うグループディスカッション等を盛り込んだ研修を実施している。

医療については病床の機能分化・連携推進が進み、京都においては高度急性期、急性期、回復期、慢性期の割合は大きな変更をすることなくほぼ目標に達成できた。今後は新たな地域医療構想の指針として、85歳以上の高齢者が急増する2040年頃に向けて増加する高齢救急、在宅医療需要などに対応するため、病床の機能分化、連携に加え医療機関機能（高齢者救急の受け入れ、在宅医療の提供、救急・急性期の医療提供）に着目し「治す医療」を担う医療機関と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、医療機関の連携、再編、集約化の推進の方向性が国から示された。これまでの「回復期機能」についてその内容に「高齢者の急性期患者への医療提供機能」を追加し「包括期機能」と位置付けられることになった。

（副会長 富田哲也）



訪問啓発



オンライン啓発活動

在宅療養あんしん病院登録システム

京都府における地域包括ケアの柱の一つである「在宅療養あんしん病院登録システム」は、在宅で療養生活を送る高齢者が、体調を崩し在宅での対応が困難になった時に、かかりつけ医の協力により事前に必要な情報を登録しておくことで、円滑に病院を受診し、必要に応じて入院ができるシステムである。2012（平成24）年1月より運用が開始され、現在に至っている。

早期の対応により、病状の悪化や身体の動きの低下を可能な限り防ぎ、早期退院の実現につなげることで在宅生活を続けることを支援する全国初の取組であり、当協会がシステムの運用に関わり、あんしん病院及び在宅高齢者の登録を推進している。

2025（令和7）年3月末現在で134病院が在宅療養あんしん病院の指定を受け、その大半を占める会員施設の協力のもとで、京都府内の在宅高齢者の安心に寄与している。なお、あんしん病院には2025（令和7）年3月末現在で18,903人が登録しているが、将来的にも高齢者の増加が見込まれる中で、登録システムの更なる周知と登録推進が課題となっており、当協会とあんしん病院が協力して登録システムの普及・推進に努めている。

また、当協会では、毎年、京都地域包括ケア推進機構の委託を受け、在宅療養あんしん病院登録システムに係る利用状況調査も実施しており、その結果も踏まえて登録システムの改善を図っている。

府民リハビリテーション啓発支援事業

当協会では、2011（平成23）年度より「府民リハ

ビリテーション啓発支援事業」を実施している。本事業は、医療機関やリハビリの専門職の少ない京都府内北部や南部の地域にリハビリを啓発するキャラバン隊を派遣する事業である。キャラバン隊メンバーとして、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士で構成している。

2020（令和2）年度からの5年間では延べ60ヶ所、延べ1,059名の府民に集団啓発を実施し、地域住民から好評を得ている。

また自地域において継続した支援を行うために標準プログラムを集録した啓発DVDも活用し、介護予防事業で活用頂くための伝達講習を実施した他、コロナ禍における訪問が困難な状況を踏まえ、地域の担当者を対象にオンラインを利用したオンライン啓発活動を実施する等、リハビリテーション啓発のために尽力している。

◆訪問実績

2020(令和2)年度 延べ7か所 100名への啓発

10月14日 福知山市

参加者／19名

於：正明寺公民館

キャラバン隊派遣／7名

11月12日 福知山市

於：三岳会館

参加者／5名

於：雲原公民館

参加者／22名

キャラバン隊派遣／7名

11月25日 福知山市

於：菟原中公民館

参加者／16名



グーチョキパー運動



血圧測定

於：六人部地区公民館
 参加者／9名
 キャラバン隊派遣／7名
 12月17日 福知山市
 於：野花公会堂
 参加者／20名
 於：鴨野町集会場
 参加者／9名
 キャラバン隊派遣／6名
 2021(令和3)年度 延べ11ヶ所 200名への啓発
 10月27日 福知山市
 於：ミライト中六
 参加者／25名
 キャラバン隊派遣／9名
 11月12日 福知山市
 於：水坂公民館
 参加者／6名
 於：夜久野ふれあいプラザ
 参加者／12名
 キャラバン隊派遣／9名
 11月24日 綾部市・福知山市
 於：あやべ日東精工アリーナ
 参加者／7名
 於：北部保健福祉センター
 参加者／12名
 キャラバン隊派遣／8名
 11月29日 宮津市
 於：宮津市民体育館
 参加者／40名
 キャラバン隊派遣／9名
 12月10日 南丹市
 於：上胡麻区民センター

参加者／17名
 キャラバン隊派遣／9名
 1月17日 和束町・木津川市
 於：老人福祉センター
 参加者／21名
 於：北河原公民館
 参加者／22名
 キャラバン隊派遣／9名
 2月1日 笠置町・南山城村
 於：つむぎてらす
 参加者／15名
 於：保健福祉センター
 参加者／23名
 キャラバン隊派遣／5名
 2022(令和4)年度 延べ15ヶ所 247名への啓発
 8月30日 舞鶴市
 於：舞鶴市南公民館
 参加者／12名
 キャラバン隊派遣／11名
 9月20日 福知山市
 於：野花公会堂
 参加者／15名
 於：梅谷公民館
 参加者／19名
 キャラバン隊派遣／10名
 9月29日 福知山市・綾部市
 於：新町公民館
 参加者／26名
 於：東八田公民館
 参加者／16名
 キャラバン隊派遣／10名
 10月5日 与謝野町・宮津市



腰痛予防体操



スクワット

- | | | |
|--------|--|--|
| | <p>於：加悦地区公民館
参加者／10名
於：府中地区公民館
参加者／22名
キャラバン隊派遣／10名</p> | <p>9月15日 福知山市
於：野笹公民館
参加者／12名
於：川口公民館
参加者／23名
キャラバン隊派遣／11名</p> |
| 10月26日 | <p>福知山市
於：ミライト中六
参加者／14名
キャラバン隊派遣／7名</p> | <p>9月28日 福知山市
於：かしの木台ホール
参加者／15名
於：奥榎原公会堂
参加者／20名
キャラバン隊派遣／11名</p> |
| 11月25日 | <p>福知山市
於：六人部地区公民館
参加者／7名
於：大池坂成仁集会場
参加者／20名
キャラバン隊派遣／11名</p> | <p>10月25日 福知山市・綾部市
於：ミライト中六
参加者／22名
於：あやべ日東精工アリーナ
参加者／20名
キャラバン隊派遣／10名</p> |
| 12月8日 | <p>福知山市
於：前田区公民館（午前）
参加者／15名
於：前田区公民館（午後）
参加者／10名
キャラバン隊派遣／12名</p> | <p>11月2日 京丹波町・南丹市
於：京丹波町役場
参加者／27名
於：生畑区生活改善センター
参加者／18名
キャラバン隊派遣／10名</p> |
| 2月2日 | <p>和束町・笠置町
於：和束町老人福祉センター
参加者／39名
於：つむぎてらす
参加者／6名
キャラバン隊派遣／8名</p> | <p>11月28日 綾部市・福知山市
於：阿良須公民館
参加者／13名
於：志賀郷公民館
参加者／24名
キャラバン隊派遣／11名</p> |
| 2月17日 | <p>南山城村
於：やまなみホール
参加者／16名
キャラバン隊派遣／8名</p> | <p>12月7日 福知山市
於：川北公民館</p> |

2023(令和5)年度 延べ13ヶ所 248名への啓発



嚙下体操

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 参加者／23名
キャラバン隊派遣／11名 | キャラバン隊派遣／12名 |
| 1月30日 笠置町 | 11月13日 福知山市 |
| 於：つむぎてらす | 於：蓼原公会堂 |
| 参加者／10名 | 参加者／15名 |
| キャラバン隊派遣／10名 | 於：三俣生活改善センター |
| 2月14日 南山城村 | 参加者／35名 |
| 於：月ヶ瀬ニュータウンいきいき元気広場 | キャラバン隊派遣／12名 |
| 参加者／21名 | 11月22日 福知山市 |
| キャラバン隊派遣／11名 | 於：三岳会館 |
| 2024(令和6)年度 延べ14ヶ所 264名への啓発 | 参加者／12名 |
| 9月19日 福知山市 | 於：北陵地域公民館 |
| 於：川合集落センター | 参加者／11名 |
| 参加者／20名 | キャラバン隊派遣／11名 |
| 於：友淵会館 | 12月11日 綾部市 |
| 参加者／13名 | 於：東八田公民館 |
| キャラバン隊派遣／12名 | 参加者／25名 |
| 10月8日 福知山市 | キャラバン隊派遣／10名 |
| 於：奥野部公会堂 | 2月6日 笠置町・南山城村 |
| 参加者／20名 | 於：つむぎてらす |
| 於：談公会堂 | 参加者／14名 |
| 参加者／15名 | 於：童仙房公民館 |
| キャラバン隊派遣／12名 | 参加者／13名 |
| 10月17日 与謝野町 | キャラバン隊派遣／12名 |
| 於：岩滝保健センター | |
| 参加者／33名 | |
| キャラバン隊派遣／5名 | |
| 10月30日 京丹波町 | |
| 於：実勢区公民館 | |
| 参加者／11名 | |
| 於：妙楽寺公民館 | |
| 参加者／21名 | |
- ◆DVDの伝達講習実績
- | | |
|-------------|-----|
| 2020(令和2)年度 | 21名 |
| 2021(令和3)年度 | 58名 |
| 2022(令和4)年度 | 27名 |
| 2023(令和5)年度 | 29名 |
| 2024(令和6)年度 | 24名 |



病院認知症対応力向上研修集合研修



病院認知症対応力向上研修集合研修
(Web)

◆オンライン啓発活動実績

2021(令和3)年度

1月25日

キャラバン隊派遣／7名 参加者／2名

2月9日

キャラバン隊派遣／7名 参加者／3名

2月21日

キャラバン隊派遣／7名 参加者／7名

2022(令和4)年度

12月13日

キャラバン隊派遣／7名 参加者／3名

1月27日

キャラバン隊派遣／7名 参加者／5名

2月20日

キャラバン隊派遣／6名 参加者／4名

2023(令和5)年度

12月18日

キャラバン隊派遣／7名 参加者／6名

また、2018（平成30）年度には、2018年度から2023年度までの京都府の認知症対策の指針として「新・京都式オレンジプラン」が策定され、2024（令和6）年度には、2024年度から2029年度までの同指針として「第3次・京都式オレンジプラン」が策定されたが、同計画の「すべての人が認知症を正しく理解し適切に対応できる環境づくり」の課題に対し、2018（平成30）年度より、集合研修・訪問研修に加え、過去に訪問研修を実施した病院に対するフォローアップ研修や、病院の医療従事者が地域の介護関係者の認知症ケアに対する考え方を学ぶとともに、医療・介護関係者同士の連携強化を図るための研修を新たに実施している。2020（令和2）年度からは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインを活用して研修を実施している。

なお、病院認知症対応力向上事業検討委員会を設置し、各種研修事業をより効果的に実施できるよう、認知症サポート医や認知症看護認定看護師等の認知症対応に造詣が深い多職種で検討を行っている。

病院認知症対応力向上事業

認知症高齢者の今後ますますの増加が予測される中で、京都府における2013（平成25）年度から2017（平成29）年度までの認知症高齢者対策の指針として、2013（平成25）年に「京都式オレンジプラン」が策定された。同計画における「一般病院に入院してもとぎれずに認知症治療が受けられる体制の充実」という課題に対し、当協会では2013（平成25）年度から京都府より、2016（平成28）年度からは京都市からも委託を受け、病院の全職種が認知症患者・家族への対応の基本的知識やスキル等を身につけることを目的とした、病院認知症対応力向上研修（集合研修・訪問研修）を実施している。

◆病院認知症対応力向上研修

【集合研修】

認知症専門医（認知症サポート医）1名と看護師や介護支援専門員・精神保健福祉士等2名の計3名が講師となり、厚生労働省の定めるカリキュラムに基づく講義（認知症に関する知識、認知症患者への対応、医療・介護、多職種連携の基礎知識等）と、演習（合併症を有する認知症患者の退院支援やBPSDの強い患者への対応等に関する事例を用いたグループワーク）を合わせた180分の研修をオンライン（Zoom）で実施。研修の修了者には京都府より修了証が交付される。

2020(令和2)年度 (Web開催)

開催日	講師	受講者数
9月25日	澤田親男 (北山病院院長・認知症サポート医) 坂井加津美 (北山病院看護介護部長・看護師) 矢田部信行 (いわくら病院地域連携室長・認知症サポート医)	26
10月5日	松岡照之 (京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学講師・認知症サポート医) 坂井加津美 川添チエミ (嵯峨野病院居宅介護支援事業所福王子在宅事業部在宅管理者・主任介護支援専門員)	38
10月30日	西村伊三男 (川越病院副院長・認知症サポート医) 山田亜由美 (京都民医連中央病院看護師長・認知症看護認定看護師) 山出健博 (長岡病院心理課主任補佐・臨床心理士)	61
11月11日	西村伊三男、川瀬美奈子 (川越病院・看護師) 山田みずほ (洛和会東寺南病院リハビリテーション部主席係長・作業療法士)	62
11月27日	西村幸秀 (京都九条病院介護事業部長統括医師・認知症サポート医) 山田亜由美、矢田部信行	53
12月9日	澤田親男、坂井加津美、山田みずほ	59
12月16日	西村幸秀、山田亜由美、川添チエミ	45

2021(令和3)年度 (Web開催)

開催日	講師	受講者数
10月4日	澤田親男、坂井加津美、川添チエミ	18
10月26日	西村幸秀、辰巳弥生、山田みずほ	31
11月8日	松岡照之、坂井加津美、矢田部信行	51
12月6日	松岡照之、坂井加津美、矢田部信行	51
12月24日	西村伊三男、辰巳弥生、山出健博	41
1月7日	澤田親男、坂井加津美、山出健博	39
2月8日	西村伊三男、辰巳弥生、川添チエミ	41



京都市訪問研修 1 日目 (Web)



京都市訪問研修 2 日目 (Web)

2022(令和4)年度 (Web開催)

開催日	講師	受講者数
10月11日	澤田親男、坂井加津美、井上 基 (北山病院相談室部長・精神保健福祉士)	12
11月30日	西村伊三男、坂井加津美、矢田部信行	27
12月1日	松岡照之、辰巳弥生、山田みずほ	20
12月12日	西村幸秀、坂井加津美、山出健博	20
1月23日	西村伊三男、辰巳弥生、川添チエミ	31
1月31日	澤田親男、坂井加津美、山田みずほ	21
2月6日	松岡照之、辰巳弥生、山出健博	28

2023(令和5)年度 (Web開催)

開催日	講師	受講者数
10月27日	大矢 希 (京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学病院助教・認知症サポート医) 辰巳弥生 若井貴史 (長岡病院心理課係長・臨床心理士)	8
11月29日	澤田親男、坂井加津美、山田みずほ	31
12月22日	西村伊三男、辰巳弥生、若井貴史	39
1月24日	大矢 希、川瀬美奈子、矢田部信行	29
2月1日	西村幸秀、坂井加津美、川添チエミ	32

2023(令和6)年度 (Web開催)

開催日	講師	受講者数
10月28日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	12
12月5日	西村幸秀、坂井加津美、山田みずほ	35
12月20日	西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美	35
1月22日	西村伊三男、辰巳弥生、川添チエミ	49
2月3日	大矢 希、辰巳弥生、矢田部信行	29

【訪問研修】

認知症専門医（認知症サポート医）と看護師、介護支援専門員・臨床心理士等の計3名で構成されたチームが、京都市内の病院に対して、認知症対応力向上を図るための研修を個別に行う。集合研修と同様の厚生労働省の定めるカリキュラムに

基づく講義と事例検討等の研修を2回に分けてオンラインで実施し、研修の修了者に対して京都市より修了証が交付される。講義について、2020(令和2)年度から2023(令和5)年度は動画配信とZoomのライブ配信を併用して実施し、2024(令和6)年度はZoomのライブ配信の形式を中心に実施した。

2020(令和2)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
賀茂病院	11月27日 ～1月18日	松岡照之、山田亜由美、山田みずほ	41	1月25日	同左	12
脳神経リハビリ 北大路病院	11月27日 ～1月18日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	8	2月26日	同左	8
洛和会丸太町病院	12月9日 ～1月25日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	14	2月1日	同左	14
しまばら病院	11月27日 ～1月21日	松岡照之、川瀬美奈子、矢田部信行	16	1月28日	同左	14
大島病院	11月27日 ～2月12日	西村幸秀、山田亜由美、山田みずほ	11	2月19日	同左	14
桃仁会病院	11月27日 ～3月2日	西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美	16	3月9日	同左	17

2021(令和3)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
京都近衛 リハビリテーション病院	11月25日 ～1月7日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	39	1月14日	同左	22
河端病院	11月25日 ～1月19日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	9	1月26日	同左	9
京都回生病院	11月26日 ～1月13日	松岡照之、辰巳弥生、山出健博	24	1月20日	同左	23
三菱京都病院	1月11日 ～2月22日	西村幸秀、川瀬美奈子、矢田部信行	12	1月28日	同左	11
洛西シミズ病院	11月25日 ～1月18日	西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美	18	3月25日	同左	15
吉川病院	1月11日 ～3月3日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	15	3月10日	同左	11

2022(令和4)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
富田病院	1月11日 ～2月9日	西村幸秀、辰巳弥生、山田みずほ	15	2月16日	同左	14

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
洛和会東寺南病院	11月26日 ～1月13日	松岡照之、辰巳弥生、矢田部信行	8	2月27日	同左	8
京都武田病院	1月11日 ～2月22日	西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美	18	3月2日	同左	18
原田病院	1月11日 ～2月27日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	8	3月6日	同左	8
シミズ病院	1月11日 ～3月1日	西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美	23	3月10日	同左	16

2023(令和5)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
武田病院	11月1日 ～12月1日	大矢 希、辰巳弥生、若井貴史	24	12月19日	同左	21
愛寿会同仁病院	12月11日 ～2月7日	西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美	11	2月21日	同左	11
吉祥院病院	12月11日 ～2月9日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	14	2月19日	同左	12
洛和会音羽 リハビリテーション病院	12月11日 ～2月19日	西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美	15	2月28日	同左	16
蘇生会総合病院	12月11日 ～1月30日	西村幸秀、坂井加津美、矢田部信行	10	2月9日	同左	10
京都桂病院	10月23日 ～11月27日	大矢 希、辰巳弥生、矢田部信行	14	12月6日	同左	13

2024(令和6)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
京都九条病院	1月28日	西村伊三男、辰巳弥生、川添チエミ	25	2月13日	同左	23
医仁会武田総合病院	1月29日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	11	2月26日	同左	11
京都民医連中央病院	2月26日	西村幸秀、辰巳弥生、矢田部信行	12	2月26日	同左	12
京都民医連 あすかい病院	2月13日	西村幸秀、清水ちよみ（西山病院 認知症治療棟棟師長・精神科認定 看護師） 木下未来	17	2月13日	同左	17



訪問研修フォローアップ1日目 (Web)



訪問研修フォローアップ2日目 (Web)

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
稲荷山武田病院	2月28日	西村伊三男、西岡さおり、 矢田部信行	11	3月13日	同左	8
京都下鴨病院	1月28日 ～2月20日	西村伊三男、川瀬美奈子、 西村睦美	23	3月14日 ～3月21日	同左	23

【訪問研修フォローアップ】

各病院とも1日目は認知症対応に関する個別の課題等を抽出するためのヒアリングやグループワーク等を実施し、2日目は1日目で把握した課題等を踏まえた病院ごとの個別具体的な内容（病院での実際の困難事例を用いたグループディスカッ

ションや、講師の施設で使用しているマニュアルの活用方法、認知症患者に対するリハビリテーションや食事における効果的な対応方法の講義等）の研修を行い、病院の更なる認知症対応力向上を図っている。

2020(令和2)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
新河端病院	1月12日	西村伊三男、山田亜由美、 山田みずほ	10	3月5日 ～3月12日	同左	24
久御山南病院	1月20日	西村幸秀、辰巳弥生、矢田部信行	4	3月5日 ～3月12日	同左	30
京都八幡病院	1月25日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	8	3月12日 ～3月19日	同左	57

2021(令和3)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
京都田辺中央病院	1月6日	松岡照之、辰巳弥生、矢田部信行	32	3月9日	同左	38
京丹後市立久美浜病院	2月22日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	18	3月23日	同左	23
長岡京病院	2月10日	西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美	10	3月25日 ～3月29日	同左	10

2022(令和4)年度

病院名	1日目	講師	受講者数	2日目	講師	受講者数
六地藏総合病院	1月20日	西村伊三男、川瀬美奈子、西村睦美	5	3月8日 ～3月15日	同左	5



認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修 (Web)

病院名	1 日目	講師	受講者数	2 日目	講師	受講者数
八幡中央病院	2月22日	西村幸秀、辰巳弥生、矢田部信行	16	3月14日	同左	10
園部病院	2月28日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	3	3月22日 ～3月28日	同左	87

2023(令和5)年度

病院名	1 日目	講師	受講者数	2 日目	講師	受講者数
京都ルネス病院	8月29日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	14	11月14日	同左	14
みのやま病院	8月31日	西村幸秀、川瀬美奈子、矢田部信行	3	10月27日	同左	17
亀岡市立病院	9月8日	大矢 希、西岡さおり（綾部ルネス病院認知症看護認定看護師） 若井貴史	18	11月24日	同左	20

2024(令和6)年度

病院名	1 日目	講師	受講者数	2 日目	講師	受講者数
京都きづ川病院	11月26日	西村伊三男、坂井加津美、 矢田部信行	14	1月16日	同左	14
綾部ルネス病院	11月28日	西村幸秀、川瀬美奈子、木下未来（西山病院医療福祉相談室長・精神保健福祉士）	22	1月21日	同左	19
精華町 国民健康保険病院	1月28日	澤田親男、坂井加津美、井上 基	17	2月28日	同左	22

【認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修】

病院関係者のみならず介護サービスの関係者等も交えて研修会を開催している。研修会の開催に向けては、事前に打ち合わせ会議を実施し、当協会の検討委員が、地域の病院や介護サービスの関係者、保健所の認知症施策担当者等にヒアリングを行い、地域における認知症患者の入退院時等の医療・介護連携における課題等を把握し、把握した課題等を踏まえて、研修会の内容を決定している。研修会では、地域において病院と介護関係者が

連携して認知症高齢者を支援した事例について、当該事例にかかわった病院・介護関係者からの報告、認知症への対応に関して、病院、介護サービス事業所、行政機関それぞれの立場で日頃より課題と感じていることや、他の職種や事業所に対して期待すること等について活発に意見交換を行い、地域全体で早期より認知症の方を支援するとともに、サービスを切れ目なく提供する体制を構築するべく、医療・介護関係者の共通認識や相互の連携をより深める場となっている。



認知症対応に関わる
医療・介護連携強化研修

なお、2022(令和4)年度まではオンラインで研修を実施していたが、2023(令和5)年度からは、顔のみえる関係づくりをより推進するべく会場で

開催するとともに、すべての圏域で研修を実施したことから、過去に開催した地域で再度開催している。

2020(令和2)年度

開催地域	研修会 開催日・場所	講師・ファシリテーター	受講者数
※山城南圏域 (木津川市、 相楽郡笠置町、 和束町、精華 町、南山城村)	12月23日 Web	【講師】 岡田典子(精華町北部地域包括支援センター看護師) 緒方法子(学研都市病院病棟看護師長・看護師) 村上晶之(和束町在宅介護支援センターなのはな管理者・主任介護支援専門員・社会福祉士) 【ファシリテーター】 矢田部信行、山田亜由美	32
南丹圏域 (亀岡市、南 丹市、船井郡 京丹波町)	3月11日 Web	【講師】 山田顕充(南丹地域包括支援センター美山事務所係長・社会福祉士) 平井恭子(南丹地域包括支援センター八木事務所係長・社会福祉士) 岡田麻利子(亀岡シミズ病院・亀岡市つつじヶ丘地域包括支援センター保健師) 松村謙吾(亀岡シミズ病院地域医療連携室・精神保健福祉士) 長内みずき(ほほえみかぐら居宅介護支援事業所・介護支援専門員) 【ファシリテーター】 川添チエミ、坂井加津美	28

※山城南圏域における研修は令和元年度に実施予定だったが、コロナの影響で中止となり、令和2年度に繰り越して開催したため、打ち合わせのみ令和元年度に開催済。

2021(令和3)年度

開催地域	研修会 開催日・場所	講師・ファシリテーター	受講者数
乙訓圏域 (長岡京市、 向日市、乙訓 郡大山崎町)	3月5日 Web	【講師】 海老原藍(長岡京市東地域包括支援センター主任・主任介護支援専門員) 中林三郎(長岡京市東地域包括支援センター・社会福祉士) 南本宜子(済生会京都府病院福祉相談室長・医療ソーシャルワーカー、 済生会京都府病院居宅介護支援事業所管理者・主任介護支援専門員) 【ファシリテーター】 西村幸秀、矢田部信行、辰巳弥生	42
舞鶴市域	3月7日 Web	【講師】 山本小百合(舞鶴市認知症初期集中支援チームコーディネーター、 東舞鶴医誠会病院地域医療連携室主任・精神保健福祉士) 秋保安江(在宅介護支援センター真愛の家・主任介護支援専門員) 【ファシリテーター】 川添チエミ、坂井加津美	19

2022(令和4)年度

開催地域	研修会 開催日・場所	講師・ファシリテーター	受講者数
宮津市・与謝 郡伊根町・ 与謝野町域	3月11日 Web	【講師】 向垣有美子(宮津市健康福祉部健康介護課介護予防係主査・宮津市 地域包括支援センター保健師) 梶恵満寿美(宮津武田病院地域医療連携室・社会福祉士) 横川美香(宮津武田病院副看護師長・看護師) 中垣直美(夕風の里居宅介護支援事業所・主任介護支援専門員) 【ファシリテーター】 川添チエミ、坂井加津美	22

開催地域	研修会 開催日・場所	講師・ファシリテーター	受講者数
城陽市・久世 郡久御山町域	3月16日 Web	【講師】 園部美香（城陽市中部地域包括支援センター主任・保健師） 井上桂子（京都岡本記念病院認知症看護認定看護師） 植村早織（ケアプランセンターリエゾン久御山ひしの里管理者・主任介護支援専門員） 【ファシリテーター】 矢田部信行、辰巳弥生	23

2023(令和5)年度

開催地域	研修会 開催日・場所	講師・ファシリテーター	受講者数
福知山市域	2月23日 ホテル ロイヤルヒル 福知山&スパ	【講師】 上原亜弥（福知山市福祉保健部地域包括ケア推進課連携推進係・保健師） 佐藤弓子（京都ルネス病院地域医療連携室・医療ソーシャルワーカー・福富士会居宅介護支援事業所管理者・主任介護支援専門員） 【ファシリテーター】 川添チエミ、坂井加津美、山田みずほ	34
宇治市域	3月12日 宇治市 産業会館	【講師】 榊村雅文（京都認知症総合センターカフェほうおう相談員・ヴィラ鳳凰居宅介護支援事業所ケアマネジャー） 田之口智子（宇治おうばく病院地域医療連携室・精神保健福祉士） 杉村洋子（宇治病院看護部長） 【ファシリテーター】 矢田部信行、川瀬美奈子	24

開催地域	研修会 開催日・場所	講師・ファシリテーター	受講者数
綴喜地域 (京田辺市・ 八幡市・綴喜 郡井手町・ 宇治田原町)	3月15日 Web	【講師】 菅家示帆（八幡中央病院患者サポートセンター・社会福祉士） 木村敏子（京都田辺中央病院居宅介護支援センター管理者・主任介護支援専門員） 浦添博国（京都田辺中央病院居宅介護支援センター・主任介護支援専門員） 【ファシリテーター】 井上 基、坂井加津美	12

2024(令和6)年度

開催地域	研修会 開催日・場所	講師・ファシリテーター	受講者数
丹後圏域 (京丹後市、 宮津市、与謝 郡与謝野町、 伊根町)	3月10日 Web	【講師】 佐藤拓真（京丹後市地域包括支援センターあみの・京丹後市認知症初期集中支援チーム・主任介護支援専門員） 梶恵満寿美、武縄ルミ（京都府立医科大学附属北部医療センター地域医療連携室看護師長） 中垣直美、谷口寛子（ヘルパーステーションタ風の里サービス提供責任者） 【ファシリテーター】 川添チエミ、坂井加津美、山田みずほ	31
山城南圏域(木 津川市、相楽 郡笠置町、和 束町、精華町、 南山城村)	3月11日 Web	【講師】 柳澤 衛（柳沢活道ヶ丘診療所院長・多職種連携ネットワーク「きづがわねっと」事務局長・認知症サポート医） 鶴飼良太（学研都市病院副看護師長） 村上晶之 【ファシリテーター】 矢田部信行、辰巳弥生	20



第5回病院看護師のための認知症ケア講座

◆認知症対応力向上研修受講後の取組・成果に関するアンケート調査の実施

各年度、研修受講後の院内での取組や成果に関するアンケート調査を前年度の集合研修に特に参加者の多かった病院及び前年度に訪問研修を行った病院を対象に実施した。いずれの調査においても、受講前に比べて認知症の方への対応や理解が進み、認知症の方の入院受け入れや多職種連携の意識が高まっていることが確認できる結果となった。

◆病院看護師のための認知症ケア講座

病院において身体疾患を有する認知症患者への対応力の向上が求められている中、2016(平成28)年度診療報酬改定で「認知症ケア加算」が新設され、病院における認知症ケアの向上への取り組みが評価された。特に看護師は認知症ケアの要であり、認知症患者のアセスメントや看護方法等の知識等の習得により資質向上を図ることを目的として京都私立病院協会と京都府慢性期医療協会の共催により開催した。なお、本講座は厚生労働省から診療報酬の認知症ケア加算2・3の施設基準の該当研修として認められている。

2020(令和2)年度(第5回)

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
9月14日	からすま 京都ホテル	京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—	真下信男 (京都府健康福祉部医療課参事)	58名 (58病院)
		認知症の原因疾患と病態・治療	澤田親男	
		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術	井上桂子 (京都岡本記念病院認知症看護認定看護師)	
9月15日	同上	コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法	山田亜由美	
		行動・心理症状(BPSD)、せん妄の予防と対応法	辰巳弥生	
		認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	松岡照之	



第6回病院看護師のための認知症ケア講座



第7回病院看護師のための認知症ケア講座

2021(令和3)年度(第6回)

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
12月8日	Web	京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)についてーオール京都体制による地域包括ケアシステムの構築ー	真下信男 (京都府健康福祉部医療課参事)	31名 (31病院)
		認知症の原因疾患と病態・治療	澤田親男	
		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術	井上桂子 (京都岡本記念病院認知症看護認定看護師)	
12月9日	同上	コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法	山田亜由美	
		行動・心理症状(BPSD)、せん妄の予防と対応法	辰巳弥生	
		認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	松岡照之	

2022(令和4)年度(第7回)

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
10月17日	ラポール京都	京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)についてーオール京都体制による地域包括ケアシステムの構築ー	松尾治樹 (京都府健康福祉部医療課参事)	81名 (44病院)
		認知症の原因疾患と病態・治療	澤田親男	
		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術	井上桂子 (京都岡本記念病院認知症看護認定看護師)	
10月18日	同上	コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法	山田亜由美	
		行動・心理症状(BPSD)、せん妄の予防と対応法	辰巳弥生	
		認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	松岡照之	



第8回病院看護師のための認知症ケア講座



第9回病院看護師のための認知症ケア講座

2023(令和5)年度(第8回)

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
10月30日	ラボール京都	京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—	松尾治樹 (京都府健康福祉部医療課参事)	128名 (60病院)
		認知症の原因疾患と病態・治療	澤田親男	
		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術	井上桂子 (京都岡本記念病院認知症看護認定看護師)	
10月31日	同上	コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法	山田亜由美	
		行動・心理症状(BPSD)、せん妄の予防と対応法	辰巳弥生	
		認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	大矢 希	

2024(令和6)年度(第9回)

開催日	場所	テーマ	講師	修了者
11月25日	ラボール京都	地域医療構想について	吉田光宏 (京都府健康福祉部医療課参事)	146名 (54病院)
		認知症の原因疾患と病態・治療	澤田親男	
		入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術	井上桂子 (京都岡本記念病院認知症看護認定看護師)	
11月26日	同上	コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法	山田亜由美	
		行動・心理症状(BPSD)、せん妄の予防と対応法	辰巳弥生	
		認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援	大矢 希	

病院地域包括ケアシステム強化事業

地域医療介護総合確保基金の対象事業として、地域における病病、病診、医療・介護、多職種連携の強化や、医療・介護に関する様々な知識やスキルを持ち、幅広い視点で地域包括ケアを担うことのできる病院関係者を育成することを目的に、医療や介護

の様々な現場で活躍する多職種による講義や、多施設・多職種で行う実践的なグループディスカッション等を盛り込んだ研修を実施している。研修は、病院や介護サービス事業所など様々な現場で従事した経験のある多職種で構成される検討委員会で企画・検討を行っている。



地域連携強化推進研修 (Web)

◆地域連携強化推進研修

病院の地域連携担当者等と、病院以外の介護保険施設・居宅サービス事業所等の関係者が一同に会し、活発な意見交換等の実施により、地域包括ケアシステムの推進に向けた共通認識を深め、円滑な医療・介護連携及び病病・病診連携を図ることを目的に、3日間シリーズの標記研修を、前期と後期の2クールずつ開催した。

2020(令和2)年度

修了者/42名

1日目 11月9日 Web

テーマ/「入退院時の医療・介護連携において必要な基本的事項等について」

講師/①守上佳樹(よしき往診クリニック院長)

②柳澤衛氏(柳沢活道ヶ丘診療所院長)

2日目 11月16日 Web

テーマ/「臨床倫理4分割法を用いたグループワーク等(退院時カンファレンスを模した実践的な内容等)」

講師/川島篤志(市立福知山市民病院総合内科医長)

3日目 12月19日 Web

テーマ/「入退院時の連携に関し、自施設の状況や自らの職種の立場で行う取組等についてディスカッション」

講師/病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

後期 修了者/20名

1日目 1月18日 2日目 2月25日

3日目 3月13日

※すべてWeb開催

2021(令和3)年度

修了者/42名

1日目 10月21日 Web

テーマ/「入退院時の医療・介護連携において必要な基本的事項等について」

講師/①守上佳樹(よしき往診クリニック院長)

②柳澤衛氏(柳沢活道ヶ丘診療所院長)

2日目 11月26日 Web

テーマ/「臨床倫理4分割法を用いたグループワーク等(退院時カンファレンスを模した実践的な内容等)」

講師/川島篤志(市立福知山市民病院総合内科医長)

3日目 12月17日 Web

テーマ/「入退院時の連携に関し、自施設の状況や自らの職種の立場で行う取組等についてディスカッション」

講師/病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

後期 修了者/25名

1日目 1月19日 2日目 2月7日

3日目 3月3日

※すべてWeb開催

2022(令和4)年度

修了者/38名

1日目 9月28日 Web

テーマ/「入退院時の医療・介護連携において必要な基本的事項等について」

講師/①守上佳樹(よしき往診クリニック院長)

②柳澤衛氏(柳沢活道ヶ丘診療所院長)

2日目 10月20日 Web

テーマ／「臨床倫理4分割法を用いたグループワーク等（退院時カンファレンスを模した実践的な内容等）」

講師／川島篤志（市立福知山市民病院総合内科医長）

3日目 12月14日 Web

テーマ／「入退院時の連携に関し、自施設の状況や自らの職種の立場で行う取組等についてディスカッション」

講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

後期 修了者／19名

1日目 12月14日 2日目 1月16日

3日目 2月9日

※すべてWeb開催

2023(令和5)年度

修了者／37名

1日目 10月10日 Web

テーマ／「入退院時の医療・介護連携において必要な基本的事項等について」

講師／①市田哲郎（医療法人鴨葵会市田医院院長）

②中澤美穂子（京都府丹後保健所保健課地域包括支援係技師）

早川ひとみ（京都府丹後保健所保健課地域包括支援係技師）

2日目 11月8日 Web

テーマ「在宅療養あんしん病院登録システムの概要説明」

講師／小川寛太（京都地域包括ケア推進機構事務局）

テーマ「在宅療養あんしん病院登録システム等を活用した入退院支援の状況について」

講師／長嶺美香（京都民医連中央病院地域医療連携課）

田中善啓（田中医院院長）

3日目 12月4日 Web

テーマ／「入退院時の連携に関し、自施設の状況や自らの職種の立場で行う取組等についてディスカッション」

講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

後期 修了者／39名

1日目 12月11日 2日目 1月24日

3日目 2月19日

※すべてWeb開催

2024(令和6)年度

修了者／31名

1日目 10月21日 Web

テーマ／「入退院時の医療・介護連携において必要な基本的事項等について」

講師／①市田哲郎（医療法人鴨葵会市田医院院長）

②早川ひとみ（京都府丹後保健所保健課地域包括支援係技師）

角正菜月（京都府丹後保健所保健課地域包括支援係技師）

2日目 11月29日 Web

テーマ「令和6年度診療報酬改定・介護報酬改定について（入退院支援に関する事項について）」

講師／甲田由美子（京都民医連中央病院事務次長）



地域包括ケア推進人材育成研修 (Web)

テーマ「在宅療養あんしん病院登録システムの概要説明」

講師／津舟亜希子（京都地域包括ケア推進機構事務局・保健師）

テーマ「在宅療養あんしん病院登録システム等を活用した入退院支援の状況について」

講師／久須窪充仁（堀川病院相談室室長）
廣原容子（堀川病院地域医療連携室・入退院支援部師長）

3日目 2月18日 Web

テーマ／「入退院時の連携に関し、自施設の状況や自らの職種の立場で行う取組等についてディスカッション」

講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

後期 修了者／34名

1日目 12月24日 2日目 1月20日

3日目 2月18日

※すべてWeb開催

◆地域包括ケア推進人材育成研修

地域包括ケアの推進に向けて病院以外の各職種や関係機関が行っている取り組みを含めた様々な医療・介護提供体制等について、病院以外の関係者を交えた講義や実践的なグループディスカッション等を通じて理解し、医療・介護の幅広い知識・スキルをもって地域包括ケアシステムの推進により貢献できる病院職員を育成するための6回シリーズの研修を実施。

2020(令和2)年度

修了者／54名

①11月2日 Web

1) テーマ／「地域包括ケアシステムの推進、病床

機能分化に必要な病院の役割について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」

講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

2) テーマ／「在宅療養あんしん病院登録システム等を活用した入退院支援の状況について」

講師／小川寛太（京都地域包括ケア推進機構事務局）

豊田敦子（京丹後市立弥栄病院地域医療連携室長）

高杉華晋（洛陽病院地域医療連携室長）

齋藤秀朗（上高野デイサービスセンターケアマネジャー）

3) テーマ／「地域における入退院支援の現状・課題やシステム活用状況等の情報交換」

講師（ファシリテーター）／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

②11月21日 Web

テーマ／「アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について」

講師／田中 誠（たなか往診クリニック理事長・院長）

③12月3日 Web

テーマ／「地域包括ケアシステム等の推進に向けた取り組みについて（医療ソーシャルワーカーの立場から）」

講師／南本宜子（済生会京都府病院福祉相談室長）

④1月7日 Web

テーマ／「精神疾患の理解と支援方法について」

講師／矢田部信行（いわくら病院地域連携室

長・精神保健福祉士)

⑤2月6日 Web

1) テーマ/「在宅生活を支援するための介護保険制度の活用(概論)」

講師/川添チエミ(一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育研修担当部長)

2) テーマ「在宅復帰に向けて多職種でかかわる家屋訪問等に関する事例検討等」

講師/病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

3) テーマ/家屋訪問に関する情報提供(各職種の立場から)

講師/甲田由美子(京都民医連中央病院事務次長)

大島恭子(武田病院患者サポートセンター副センター長)

松本恵生氏(京都市岩倉地域包括支援センターセンター長)

日沖義治氏(京都博愛会病院リハビリテーション科長)

柴田拓哉氏(京都久野病院リハビリテーション課長)

⑥3月8日 Web

1) テーマ/「認知症のある患者等の意思決定支援について」

講師/長谷川美智子(京都民医連中央病院看護師長・老人看護専門看護師)

2) テーマ「地域の様々な医療・介護に関する社会資源の有効活用の事例検討」

「地域での認知症への取組の紹介」

講師/病院地域包括ケアシステム強化事業検

討委員

2021(令和3)年度

修了者/55名

①11月2日 Web

1) テーマ/「地域包括ケアシステムの推進、病床機能分化に必要な病院の役割について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」

講師/真下信男(京都府健康福祉部医療課参事)

2) テーマ/「在宅療養あんしん病院登録システム等を活用した入退院支援の状況について」

講師/小川寛太(京都地域包括ケア推進機構事務局)

豊田敦子(京丹後市立弥栄病院地域医療連携室長)

森井るり子(市立福知山市民病院地域医療連携室次長・医療福祉相談係長)

坪井俊夫(なぎ辻病院事務次長)

3) テーマ/「地域における入退院支援の現状・課題やシステム活用状況等の情報交換」

講師(ファシリテーター)/病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

②11月15日 Web

1) テーマ/「アドバンス・ケア・プランニング(人生会議)について」

講師/田中 誠(たなか往診クリニック理事長・院長)

2) テーマ/「医療・介護従事者にとってのACP(介入視点・タイミング)」

講師/甲田由美子(京都民医連中央病院事務次長)

- ③12月20日 Web
 テーマ／「地域包括ケアシステム等の推進に向けた取り組みについて（医療ソーシャルワーカーの立場から）」
 講師／南本宜子（済生会京都府病院福祉相談室長）
- ④1月29日 Web
 テーマ／「精神疾患の理解と支援方法について」
 講師／矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）
 向井千賀子（いわくら病院地域連携室）
 葛原規美代（いわくら病院地域連携室）
 常盤真帆（いわくら病院地域連携室）
 安河内順子（いわくら病院地域連携室）
- ⑤2月5日 Web
 1）テーマ／「介護保険制度の概要、適切なケアマネジメント手法の活用、介護サービスの実際等」
 講師／川添チエミ（一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長）
 2）テーマ／「オンラインでの退院前カンファレンスの模擬体験等（演習）」
 講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員
- ⑥3月17日 Web
 1）テーマ／「認知症患者等の意思決定支援等について」
 講師／長谷川美智子（京都民医連中央病院副看護部長・老人看護専門看護師）
 2）テーマ／「認知症とともに生きる社会づくりについて～認知症の方ご本人から学ぶ（対談）」
 講師／下坂 厚（京都市西院老人デイサービスセンター介護職員）
 松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター長）
- 3）テーマ／「認知症とともに生きる社会の実現に向けた検討」
 講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員
- 2022(令和4)年度
 修了者／39名
- ①9月30日 Web
 1）テーマ／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」
 講師／松尾治樹（京都府健康福祉部医療課参事）
 2）テーマ／「在宅療養あんしん病院登録システム等を活用した入退院支援の状況について」
 講師／小川寛太（京都地域包括ケア推進機構事務局）
 村上紀恵（京都民医連中央病院地域医療連携課）
 新井妙子氏（訪問看護ステーションさいきょう管理者）
 3）テーマ／「地域における入退院支援の現状・課題やシステム活用状況等の情報交換」
 講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員
- ②10月31日 Web
 1）テーマ／「地域包括ケアにおけるアドバンス・ケア・プランニング（人生会議）」
 講師／田中 誠（たなか往診クリニック理事）

- 長・院長)
- 2) テーマ／「医療・介護従事者にとってのACP (介入視点・タイミング)」
- 講師／甲田由美子 (京都民医連中央病院事務次長)

- ③11月28日 Web
- テーマ／「地域包括ケアシステム等の推進に向けた取り組みについて (医療ソーシャルワーカーの立場から)」
- 講師／南本宜子 (済生会京都府病院福祉相談室長)

- ④12月23日 Web
- テーマ／「精神疾患の理解と支援方法について」
- 講師／矢田部信行 (いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士)
- 向井千賀子 (いわくら病院地域連携室・精神保健福祉士)
- 葛原規美代 (いわくら病院地域連携室・精神保健福祉士)
- 常盤真帆 (いわくら病院地域連携室・精神保健福祉士)
- 丁 春燁 (いわくら病院地域連携室・精神保健福祉士)

- ⑤1月14日 Web
- 1) テーマ／「適切なケアマネジメント手法等について」
- 講師／川添チエミ (一般財団法人仁風会財団本部介護保険・企画・教育・研修担当部長)
- 2) テーマ／「オンラインでの退院前カンファレンスの模擬体験等 (演習)」
- 講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検

- 討委員
- ⑥2月14日 Web
- 1) テーマ／「認知症患者等の意思決定支援等について」
- 講師／長谷川美智子 (京都民医連中央病院副看護部長・老人看護専門看護師)
- 2) テーマ／「認知症とともに生きる社会づくりについて～認知症の方ご本人から学ぶ (対談)」
- 講師／下坂 厚 (京都市西院老人デイサービスセンター介護職員)
- 松本恵生 (京都市岩倉地域包括支援センター長)
- 3) テーマ／「認知症とともに生きる社会の実現に向けた検討」
- 講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

2023(令和5)年度

修了者／32名

- ①10月5日 Web
- 1) テーマ／「適切なケアマネジメント手法～多職種協働のツールとしての活用」
- 講師／川添チエミ (嵯峨野病院居宅介護支援事業所福王子在宅事業部在宅 管理者)
- 2) テーマ／「摂食・嚥下について～言語聴覚士の立場から～」
- 講師／大橋倫子 (京都久野病院リハビリテーション課)
- 3) テーマ／「摂食・嚥下について (管理栄養士の立場から) 食べることと栄養確保を考える」
- 講師／樹山敏子 (京都訪問栄養士ネット代表)

②11月20日 Web

1) テーマ／「あらためてアドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について考えてみる」

講師／田中 誠（たなか往診クリニック理事長・院長）

2) テーマ／「医療・介護従事者にとってのACP（介入視点・タイミング）」

講師／甲田由美子（京都民医連中央病院事務次長）

③12月14日 Web

テーマ／「地域包括ケアシステム等の推進に向けた取り組みについて（医療ソーシャルワーカーの立場から）」

講師／南本宜子（済生会京都府病院福祉相談室参与）

④1月10日 Web

テーマ／「精神疾患の理解と支援方法について」

講師／矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）

須堯麗子（いわくら病院精神保健福祉士）

山根美由希（いわくら病院精神保健福祉士）

安河内順子（いわくら病院精神保健福祉士）

葛原規実代（いわくら病院精神保健福祉士）

⑤2月22日 Web

1) テーマ／「認知症のある患者等の意思決定支援等について」

講師／長谷川美智子（京都民医連中央病院副

看護部長・老人看護専門看護師）

2) テーマ／「認知症と“ともに”生きる社会へ～認知症になった私から貴方へ（対談）」

講師／鈴木貴美江（京都府認知症応援大使・全国認知症希望大使）

鈴木祐三子（上記講師の長女）

松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター・主任介護支援専門員）

3) テーマ／「認知症とともに生きる社会の実現に向けた検討」

講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

⑥3月11日 Web

テーマ「地域包括ケアシステムの推進に向けた総合的な事例検討等」

講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

2024(令和6)年度

修了者／29名

①10月3日 Web

1) テーマ／「適切なケアマネジメント手法～多職種協働のツールとしての活用」

講師／川添チエミ（嵯峨野病院居宅介護支援事業所福王子在宅事業部在宅 管理者）

2) テーマ／「摂食・嚥下について～言語聴覚士の立場から～」

講師／大橋倫子（京都久野病院リハビリテーション課）

3) テーマ／「摂食・嚥下について（管理栄養士の立場から）食べることと栄養確保を考える」



地域連携室等窓口情報ページ

講師／樹山敏子（京都訪問栄養士ネット代表）

②11月5日 Web

1) テーマ／「アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について」

講師／田中 誠（たなか往診クリニック理事長・院長）

2) テーマ／「意思決定支援への介入時期等について」

講師／長谷川美智子（京都民医連中央病院副看護部長）

③12月9日 Web

1) テーマ／「地域包括ケアシステム等の推進に向けた取り組みについて（医療ソーシャルワーカーの立場から）」

講師／南本宜子（済生会京都府病院福祉相談室参与）

2) テーマ／「ヤングケアラーに係る支援等について」

講師／朝田健太（京都市東山地域包括支援センター・社会福祉士）

④1月9日 Web

1) テーマ／「精神疾患の理解と支援方法について」

講師／矢田部信行（いわくら病院地域連携室長・精神保健福祉士）

2) テーマ／「在宅医療・介護連携支援センターの取組について」

講師／村上成美（京都市北区・上京区在宅医療・介護連携支援センターセンター長）

⑤2月4日 Web

2) テーマ／「新オレンジプランやアイメッセージについて」

講師／西村幸秀（西山病院院長・認知症サポ

ート医）

2) テーマ／「認知症とともに生きる社会づくりについて～認知症の方ご本人から学ぶ～（対談）」

講師／吉田哲久（京都府認知症応援大使）
吉田富代（上記講師の妻）

松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター・主任介護支援専門員）

3) テーマ／「認知症とともに生きる社会の実現に向けた検討」

講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

⑥3月4日 Web

テーマ／「地域包括ケアシステムの推進に向けた総合的な事例検討等」

講師／病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員

◆京都市内病院地域連携室窓口一覧名簿の運営

円滑な入退院時の調整や、病病、病診、医療・介護連携を強化するためのツールとして、2015（平成27）年度の「在宅医療・介護連携体制支援事業」で上記名簿閲覧サイトを設置し、継続して運営を行っている。

<https://www.khosp.or.jp/hospitals/users/>

地域連携型在宅医療支援病院事業

病院が訪問診療を行うことを目的として、院外関係者も含めた病診連携、病介連携を円滑に行なうための多職種研修を実施した京都市以外に所在する会員病院に対し、京都府その研修に要する経費の一部

を補助する「地域連携型在宅医療支援病院事業」を2018（平成30）年度に策定し、事業実施について当協会が受託している。

当事業では、2025（令和7）年に向けて、在宅医療の需要は「高齢化の進展」や「地域医療構想による病床の機能分化・連携」等により大きく増加する見込みであることから、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、市外会員病院における在宅医療の充実に向け、地域の専門職との連携体制の構築に向けて支援を行っている。

◆事業実績

2020(令和2)年度対象施設	4施設
2021(令和3)年度対象施設	4施設
2022(令和4)年度対象施設	4施設
2023(令和5)年度対象施設	6施設
2024(令和6)年度対象施設	6施設

14 京都病院学会の開催

京都病院学会は当協会の学術研修事業のひとつで、京都府内の病院のすべての職種が臨床での成果等を発表する学会として、1965（昭和40）年に「京都地方病院学会」の学会名称で発足した。以降毎年開催しており、1977（昭和52）年の第13回からは京都府病院協会との共催となり、「京都病院学会」と改称された。

本学会は、京都府内のほぼすべての病院に勤務する医師、看護師などの資格職だけでなく、それ以外の全職種の人々が参加でき、演題発表を行うことができる極めて特徴的な学会といえる。また、当協会と京都府病院協会役員を始めとした各協会の会員病院から選出した委員で企画運営を行い、いわば手作りで学会を運営してきていることも特徴的である。毎年各部門からの数多くの演題発表があり、その時々学会テーマを決め医療情勢に基づいたトピックスを取り入れた数々の講演やシンポジウム、著名人を招聘した講演を開催している。多職種が参加できるこの「京都病院学会」は、府内の医療機関全体の知識の向上や研鑽に寄与する学会となっている。

2020年（第55回）からは新型コロナウイルス感染症拡大のためWeb開催を取り入れたり、2021年（第56回）からは一部ハイブリッド開催やオンデマンド配信を行うことでより多くの参加者がコロナ禍でも参加できるように工夫した。チーム医療の概念が叫ばれて久しいところ、病院の全職種が参加するこの学会は、各医療機関内のみならず、京都府全体として府内の医療を守り維持する全医療機関にとって、変化する医療情勢の中でより一層意義が高くなっていると考えられる。

（副会長 真鍋由美）

京都病院学会

京都病院学会は、学術研究の場として1965（昭和40）年に初めて開催されて以降、毎年その内容、規模ともに発展、拡大しながら回を重ねている。当協会と京都府病院協会との共催で開催され、両会から選出された役員で構成する理事会、職能別に両会及び関係団体から派遣された委員で構成する実行委員会が企画・運営を担当している。

本学会は両会に加盟する病院の医療従事者が日常の医療活動のなかで臨床現場の研究成果や身近な問題なども取り上げて発表しあう場として、また、病院間、職種間の垣根を取り払って交流できる貴重な場として内外ともに高い評価を得ている。毎年、京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会か

らも後援を受けている。また、各部門の演題発表のほか、学会のテーマについて各部門の発表者が一同に会する要望演題の発表やシンポジウム、さらには専門家や著名人を招いて基調講演や特別講演が行われている。

第55回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点のためWeb開催とし、第56回からは開催初日に会場にて講演および一部の演題発表・シンポジウムをライブ配信し、期間中は京都病院学会のホームページより動画配信にて公開した。

第55回 2020（令和2）年

公開期間／6月14日9時～7月12日17時

開催形式／動画配信

全体テーマ「“令和”時代病院の進むべき道～地



要望演題討論（第56回：メルパルク京都）



基調講演（第57回：京都リサーチパーク）



第58回抄録

域共生社会の実現に向けて～

学会長／清水鴻一郎（京都リハビリテーション病院理事長）

基調講演「社会保障改革の展望と地域共生社会～2040年を見据えて～」

講師／鈴木俊彦（厚生労働事務次官）

特別講演「リハビリテーション医学の今と未来」

講師／大高洋平（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学Ⅰ講座主任教授）

参加（登録）者総数／1,440名

第56回 2021(令和3)年

公開期間／10月24日9時～11月28日17時

開催形式／開催初日はライブ配信（会場：メルパルク京都）、その後期間中Web開催

全体テーマ「WITHコロナ、愛と誠と夢のある病院づくり」

学会長／池田栄人（京都第一赤十字病院院長）

基調講演【会長講演】「WITHコロナ、愛と誠と夢のある病院づくり」

講師／池田栄人（京都第一赤十字病院院長）

特別講演「COVID-19との対峙、～最新の情報から学ぶ～」

講師／館田一博（日本感染症学会前理事長・東邦大学医学部教授）

参加（登録）者総数／1,053名

第57回 2022(令和4)年

公開期間／11月13日9時～12月11日17時

開催形式／開催初日はライブ配信（会場：京都リサーチパーク）、その後期間中Web開催

全体テーマ「人生100年時代を健康に生き抜く『健

康長寿社会』の実現に向けて」

学会長／藤澤明生（賀茂病院理事長）

基調講演「『AgingControl』老化について考える」

講師／山田秀和（近畿大学客員教授）

特別講演「医療安全施策の動向」

講師／栗原 健（厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室医療安全対策専門官）

参加（登録）者総数／1,207名

第58回 2023(令和5)年

公開期間／10月29日9時～11月26日17時

開催形式／開催初日はライブ配信（会場：池坊短期大学）、その後期間中Web開催

全体テーマ「アフターコロナ 今後の地域医療体制そしてACPの重要性」

学会長／若園吉裕（京都桂病院院長）

基調講演「ACPを目指す取り組みと落とし穴」

講師／池永昌之（淀川キリスト教病院緩和医療内科主任部長）

特別講演「医師の働き方改革に伴う地域医療体制」

講師／城守国斗（日本医師会常任理事・医療法人三幸会理事長）

参加（登録）者総数／1,284名

第59回 2024(令和6)年

※「第65回全日本病院学会in京都」実施のため開催延期

15 教育・研修活動

当協会では従来より、各職種に対する様々な教育・研修活動を行っている。各職種の基礎的な教育研修から、中堅、幹部職員向けのもの、また将来の病院管理者育成のための研修まで、様々な分野から専門家を講師に迎えて開催している。また、これらの教育、研修活動は当協会担当役員、事務局を中心に各会員病院から専門分野の委員を選出して企画、開催を行っている。

医療・介護・福祉を取り巻く環境は年々厳しさを増す一方で、いよいよ2025年問題と言われる時代に突入した。今後直面する労働力不足に対しては医療・介護・福祉業界とてそれを避けられるはずもなく、持続可能な体制を築くには業務の効率化と生産性向上が不可欠である。もちろん医療・介護・福祉業界に一人でも多くの方が魅力を感じ、就業してもらう事を期待したいところではあるが、まずやるべき事は、DXの促進、AI技術の導入などによる効率化を図り、何より現場で働く医療従事者一人ひとりが最大限の能力を発揮できる環境を整えること、いわゆる生産性向上を実践することが急務である。また、各職員が専門的な知識や技術を高めるだけでなく、多職種協働を強化することも重要である。

チーム医療の実践により、各医療機関全体の力を向上させ、ひいては京都府の医療全体の質を高めることにつながる。そのためには、医療従事者が継続的に学び、スキルを向上させる機会を提供することが不可欠である。当協会がこれまで行ってきた教育・研修活動はまさにその機会を提供するものである。

コロナ禍を経て、教育研修の形式や内容も変化してきた。従来の対面研修に加え、オンライン研修の活用が進み、時間や場所の制約を超えた学習の機会が広がっている。今後も時代の変化に適應しながら、新たな視点を取り入れ、より柔軟で魅力的な学びの場を提供することに努めていきたい。

(副会長 真鍋由美)

教育研修基礎コース

当コースは会員医療機関の新入職員に対する接遇・対応能力の向上を目的に、1965（昭和40）年より開催している。医療に携わる者としての基本的知識と心得を修得し、一日も早く医療機関における組織人としての自覚を持つことを目的としたこの研修会も、現在では会員施設に定着し、毎年多数の参加を得ている。接遇・対応の基本を学ぶ講義に加え、参加者によるグループワークも盛り込まれ、実践的な技術の習得のほか、参加者同士のコミュニケーションが

図れる内容となっており、また会員施設職員同士のつながりをつくるきっかけの場にもなっている。

2020(令和2)年5月21日 動画撮影

5月27日～6月6日 動画配信

講師／櫻井悦子（研修オフィスSAKURA代表）

2021(令和3)年5月21日 動画撮影

6月1日～6月14日 動画配信

講師／櫻井悦子（研修オフィスSAKURA代表）



教育研修基礎コース



看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）



看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）

2022(令和4)年5月18日 動画撮影

5月31日～6月13日 動画配信

講師／櫻井悦子（研修オフィスSAKURA代表）

2023(令和5)年度5月19日 動画撮影

5月30日～6月12日 動画配信

講師／櫻井悦子（研修オフィスSAKURA代表）

2024(令和6)年度

5月28日・5月29日・6月18日 登録会館

講師／櫻井悦子（研修オフィスSAKURA代表）

中堅幹部職員研修

事務長会のメンバーで構成された中堅幹部職員研修会プロジェクトチームが企画立案し、病院内各部門の中堅幹部職員を対象に隔年2月に開催している。本研修会は中堅幹部としての資質の向上、病院経営に関する知識の充実、病院の経営方針に基づいた業務の遂行、部下の育成・指導というリーダーとしての自覚の促進を目的とし、また参加者相互の親睦を深めるため、1泊2日を原則として実施しているが、開催年度に当たる2021（令和3）年度と2023（令和5）年度は新型コロナウイルス感染症の状況を勘案して開催を見送り、本研修に代わる研修会として、2021（令和3）年度から事務職のためのマネジメント研修プロジェクトチームを発足し、開催している。（事務長会の頁に詳記）

2021(令和3)年度

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2023(令和5)年度

*新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

看護卒後教育

看護部門における卒後教育は、看護部長会教育委員会で企画、運営されている。現在の活動としては、看護主任・臨床指導者を対象とした「看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）」、看護師長を対象とした「看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）」、その他、看護卒後教育の一環として、卒後3年目の看護職員対象コースと中堅看護師対象コースの「看護リーダーシップ研修」や准看護師を対象とした「准看護師研修」、看護補助者を対象とした「看護補助者研修」（※令和5年度より医療従事者確保強化事業の看護補助者確保推進事業として実施）、新人看護師にシミュレーション研修を行う「看護新人研修」、アセスメントに焦点をあてた「看護過程研修」等、役職や経験年数に合わせた多くの研修を開催した。また毎年各研修プログラムに即した目的を設定の上、プログラムの見直しを行うことで、より充実した研修とし、大きな成果を挙げている。

2020（令和2）年度からは新型コロナウイルス感染症の影響により研修ごとに開催形式や参加人数等の検討を行い、コロナ禍でも看護職の知識や質の向上及び人材育成に努めた。

◆看護中間管理者研修

Ⅰ（主任コース）・Ⅱ（師長コース）

主任コースは4月から翌年2月までの計11回、師長コースは9月から翌年3月まで間で計10回開催している。9時30分から16時まで講義し、その後30分



看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）開講式



看護中間管理者研修Ⅱ（師長コース）修了式

間グループ討議を行っている。

受講者全員に毎回レポートを提出してもらい、講義を振り返ると共に、より理解を深めるようにしている。また、このレポートから毎回1名を教育委員が選出し、京都私立病院報に掲載している。

主任コースでは最終回を研修成果発表会とし、自己の能力向上、今後の実践課題について受講生ひとりひとりが発表している。師長コースでは受講1年後に看護管理実践報告会を開催し自己の看護管理実践能力のレベルアップを図っている。

◆看護中間管理者研修Ⅰ（主任コース）

2020(令和2)年度

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2021(令和3)年度 修了者25名

(第1回～4回) 登録会館、(第5回～11回) Web

第1回 4月23日

「看護の動向」

講師／長谷川寿子（京都博愛会病院看護部長）

「いのちへの問いかけ」

講師／西沢いづみ（立命館大学生存学研究中心客員研究員）

第2回 5月25日

「看護管理概論～看護実践の組織化」

講師／矢田貴子（堀川病院看護部長）

第3回 6月29日

「医療安全」

講師／岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長）

第4回 7月28日

「コーチング・セルフサポートコーチング」

講師／清野健太郎（PureField代表）

第5回 12月20日

「看護研究」

※新型コロナウイルス感染防止のため延期

講師／星野明子（大阪成蹊大学教授）

第6回 9月16日

「リフレクション」

講師／池西悦子（大阪医科薬科大学看護学部教授）

第7回 10月29日「看護倫理①」

第8回 11月30日「看護倫理②」

講師／真継和子（大阪医科薬科大学看護学部教授）

第9回 12月8日

「看護管理各論」

講師／田中雅子（川越病院看護部長）

第10回 1月24日

「グループ・ダイナミックスの理論と方法～災害ボランティアの視点を交えて」

講師／渥美公秀（大阪大学大学院人間科学研究科教授）

第11回 2月2日

「研修成果発表会」

※以下前年度と講師が異なる研修のみ記載

2022(令和4)年度 (Web) 修了者40名

第1回 「看護の動向」

講師／南 京子（新京都南病院看護部長）

第10回 「グループ・ダイナミックスの理論と方法～災害ボランティアの視点を交えて」

講師／宮本 匠（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

2023(令和5)年度(Web) 修了者31名

第2回 「看護管理概論～看護実践の組織化」
講 師／春日かほる(京都田辺中央病院看護
部長)

2024(令和6)年度 修了者46名

京都経済センター

◆看護中間管理者研修Ⅱ(師長コース)

2020(令和2)年度

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

※令和元年度第10回(延期分)

第10回 8月6日 メルパルク京都

「看護倫理」

講 師／矢田貴子(堀川病院看護部長)

2021(令和3)年度(Web) 修了者/22名

第1回 9月6日

「中間管理者としての看護の動向」

講 師／南 京子(新京都南病院看護部長)

第2回 9月29日

「看護管理概論」

講 師／浦野貴子(洛西シミズ病院看護部長)

第3回 10月8日

「医療安全」

講 師／岡田依子(京都桂病院医療安全管理
室室長)

第4回 10月18日

「看護サービス」

講 師／豊田久美子(京都看護大学学長)

第5回 10月28日

「師長のリーダーシップ」

講 師／大島敏子(NPO法人看護職キャリ
アサポートフリースタッフの会

会長)

第6回 11月22日

「看護組織論」

講 師／谷口文代(京都桂病院看護部長)

第7回 12月6日

「目標管理」

講 師／小河陽子(京都きづ川病院看護部長)

第8回 12月17日

「看護管理各論」

講 師／上山さゆみ(京都リハビリテーショ
ン病院看護部長)

第9回 1月20日

「医療情勢と病院運営」

講 師／山田正明(堀川病院看護部長)

第10回 2月14日

「看護倫理」

講 師／矢田貴子(堀川病院看護部長)

※以下前年度と講師及び講師所属が異なる研修の
み記載

2022(令和4)年度(Web) 修了者26名

第4回 「看護サービス」

講 師／長谷川寿子(京都博愛会病院看護部
長)

第5回 「師長のリーダーシップ」

講 師／内藤知佐子(愛媛大学医学部附属病
院総合臨床研修センター助教)

2023(令和5)年度 修了者27名

京都私立病院協会会議室

第1回 「中間管理者としての看護の動向」

講 師／小河陽子(京都きづ川病院看護部長)

第2回 「看護管理概論」



看護リーダーシップ研修（卒後3年目限定）

講師／浦野貴子（亀岡シミズ病院看護部長）

第3回 「医療安全」

講師／岡田依子（京都桂病院医療安全管理室室長・看護副部長）

第10回 「看護倫理」

講師／宮脇裕子（医仁会武田総合病院臨床倫理認定士）

山本美紀（医仁会武田総合病院看護部長）

2024(令和6)年度 修了者25名

京都私立病院協会会議室

第8回 「看護管理各論」

講師／元生早苗氏（八幡中央病院看護部長）

第10回 「看護倫理」

講師／宮脇裕子（医仁会武田総合病院上級臨床倫理認定士）

◆看護リーダーシップ研修

2020(令和2)年度

卒後3年目限定コース

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

中堅コース

7月27日動画撮影

8月21日～8月27日動画配信

講師／内藤知佐子（京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻臨床看護学講座生活習慣病看護学分野研究員）

説明／「地域医療構想—医療従事者として知っておきたいポイント—」(事務局)

2021(令和3)年度

卒後3年目限定コース

7月2日・7月16日（各日）登録会館

講師／春日かほる（京都田辺中央病院看護部長）

説明／「地域医療構想について—医療従事者として知っておきたいポイント—」(事務局)

中堅コース

7月27日動画撮影

8月20日～8月26日動画配信

※前年度と講師同じ

説明／「地域医療構想の最近の動向について」(事務局)

2022(令和4)年度

卒後3年目限定コース（Web）

9月16日・9月22日（各日）登録会館

※前年度と講師同じ

説明／「地域医療構想について—医療従事者として知っておきたいポイント—」(事務局)

中堅コース

8月23日～8月29日動画配信

講師／内藤知佐子（愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター助教）

資料提供／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」

2023(令和5)年度

卒後3年目限定コース

9月13日・9月21日（各日）京都経済センター

※前年度と講師同じ

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）—最近の動向について—」(事務局)



准看護師研修



看護補助者研修（春）



看護補助者研修（秋）

務局)

中堅コース

8月22日～8月28日動画配信

※前年度と講師同じ

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）—最近の動向について—」（事務局）

2024(令和6)年度

卒後3年目限定コース

9月3日・9月5日（各日） 京都経済センター

※前年度と講師同じ

説明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」（事務局）

中堅コース

8月20日～8月26日動画配信

※前年度と講師同じ

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

◆准看護師研修

2020(令和2)年度

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2021(令和3)年度

6月28日・7月6日動画撮影

8月4日～8月10日動画配信

テーマ／「認知症のある高齢者への看護」

講師／大塚恒子（一般財団法人仁明会精神衛生研究所副所長）

テーマ／「知っておきたい看護の動向」（地域包括ケアの推進についてを含む）

講師／福島朋樹（新河端病院看護部長）

2022(令和4)年度

6月28日・7月6日動画撮影

8月4日～8月10日動画配信

テーマ／「認知症のある高齢者への看護」

講師／大塚恒子（一般財団法人仁明会精神衛生研究所副所長）

テーマ／「知っておきたい看護の動向」（地域包括ケアの推進についてを含む）

講師／福島朋樹（新河端病院看護部長）

2023(令和5)年度

7月1日・7月7日動画撮影

8月3日～8月9日動画配信

テーマ／「改めて学ぼう、認知症～理解とその一歩～」

講師／大塚恒子（仁明会看護部長）

テーマ／「知っておきたい看護の動向～地域医療構想と看護師の処遇改善について～」

講師／福島朋樹（新河端病院看護部長）

2024(令和6)年度

8月26日 京都私立病院協会会議室

テーマ／「放射線の基礎とその業務について～画像をまじえて～」

講師／森 吉修（京都桂病院放射線技術科科長）

※前年度とテーマ・講師同じ

◆看護補助者研修

2020(令和2)年度

春開催 4月20日動画撮影

4月27日～5月22日動画配信

テーマ／①「接遇について」



看護新人研修



看護新人研修（教育担当者向け）

②「看護補助者が知っておきたい感染防止対策～患者さんを守る・自分を守る～」

講師／①山崎真奈美（西京都病院看護部長）

②谷口文代（京都桂病院看護部長・感染管理認定看護師）

説明／「地域医療構想—2025年の超高齢社会に対応した地域の医療・介護の提供体制づくりをめざして—」（事務局）

秋開催 10月13日～10月19日動画配信

※春開催とテーマ・講師・説明同様

2021（令和3）年度

春開催 4月5日・4月12日動画撮影

4月21日～4月27日動画配信

※前年度とテーマ・講師同様

説明／「地域医療構想について—医療従事者として知っておきたいポイント—」（事務局）

秋開催 9月14日・9月17日動画撮影

10月13日～10月19日動画配信

※春開催とテーマ・講師・説明同様

2022（令和4）年度

春開催 4月1日・4月12日動画撮影

4月22日～4月28日動画配信

テーマ／①「悩み解消、職場の人間関係とコミュニケーション—あなたは医療チームの大切な一員です—」

②「看護補助者が知っておくべき医療安全のきほん」

講師／①清野健太郎（ピュアフィールド代表）

②岡田依子（京都桂病院医療安全室室長）

説明／「地域医療構想について—医療従事

者として知っておきたいポイント—」（事務局）

秋開催 10月12日～10月18日動画配信

※春開催とテーマ・講師・説明同様

2023（令和5）年度

春開催 4月3日・4月21日動画撮影

4月21日～4月27日動画配信

テーマ／①「自分を大切にしながらも、他者への配慮もするコミュニケーション～アサーティブコミュニケーションの視点から～」

②「医療の現場を支える看護補助者のための「感染防止対策」

講師／①清野健太郎（ピュアフィールド代表）

②谷口文代（京都桂病院看護部長）

秋開催 10月11日～10月17日動画配信

※春開催とテーマ・講師・説明同様

2024（令和6）年度

春開催 4月23日 京都経済センター

テーマ／①「しなやかな心を養うアサーティブコミュニケーション」

②※前年度と同様

※①②前年度秋開催と同様

秋開催 10月17日 京都経済センター

テーマ／①※春開催と同様

②「看護補助者を対象とした、食事介助の基礎知識」

講師／①※春開催と同様

②石田智子（医仁会武田総合病院摂食嚥下障害看護認定看護師）



看護過程研修（初級編）

◆看護新人研修

2020(令和2)年度

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2021(令和3)年度

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2022(令和4)年度

※新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

2023(令和5)年度

8月19日 京都保健衛生専門学校

テーマ／「多重課題：シミュレーション研修」

「フィジカルアセスメント講義」

「新人交流会」

講師／看護部長会教育委員他

資料提供／「地域医療構想—2025年の超高齢社会に対応した地域の医療・介護の提供体制づくりを目指して」

2024(令和6)年度

7月25日 京都私立病院協会会議室

テーマ／「新人看護師教育担当者研修」

講師／谷本千亜紀（京都保健衛生専門学校看護学科三年課程副校長兼教務部長）

11月30日 京都保健衛生専門学校

テーマ／「多重課題：シミュレーション研修」

「フィジカルアセスメント講義」

「新人交流会」

講師／看護部長会教育委員他

資料提供／「地域医療構想について」

◆看護過程研修(初級・応用編)

2020(令和2)年度

初級編 9月1日 登録会館

テーマ／「看護過程（5つの段階）とSOAP

を理解する」

講師／阿形奈津子（京都中央看護保健大学校看護学科長）

説明／「地域医療構想—医療従事者として知っておきたいポイント—」(事務局)

応用編 10月1日 登録会館

テーマ／「事例に基づき、看護診断を用いて看護過程のプロセスを理解し、自己のアセスメント

講師／谷本千亜紀（京都保健衛生専門学校看護学科教務部長）

説明／「地域医療構想—医療従事者として知っておきたいポイント—」(事務局)

2021(令和3)年度

初級編 10月15日 Web

※前年度とテーマ・講師同様

説明／「地域医療構想の最近の動向について」(事務局)

応用編 11月11日 Web

※前年度とテーマ・講師同様

説明／「地域医療構想について～京都府の新型コロナ医療提供体制を踏まえて～」(事務局)

2022(令和4)年度

初級編 10月14日 Web

※前年度とテーマ同様

講師／阿形奈津子（京都中央看護保健大学校副校長看護学科学科長兼務）

説明／「地域医療構想について—医療従事者として知っておきたいポイント—」(事務局)

応用編 11月15日 Web



看護管理実践報告会



看護管理実践報告会 (Web)



看護研究研修

※前年度とテーマ・講師同様

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）—最近の動向について—」（事務局）

2023(令和5)年度

初級編 10月19日 Web

※前年度とテーマ・講師同様

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）—最近の動向について—」（事務局）

応用編 11月14日 Web

※前年度とテーマ同様

講師／谷本千亜紀（京都保健衛生専門学校副学校長兼看護学科教務部長）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

2024(令和6)年度

初級編 10月8日 Web

※前年度とテーマ・講師同様

説明／「地域医療構想について—2040年に向けた「新たな地域医療構想」—」（事務局）

応用編 11月5日 Web

※前年度とテーマ・講師同様

説明／「地域医療構想について—2040年に向けた「新たな地域医療構想」—」（事務局）

◆看護管理実践報告会(フォローアップ研修)

2021(令和3)年度

2月28日 Web

説明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都

体制による地域包括ケアシステムの構築—」（事務局）

2022(令和4)年度

1月31日 Web

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）—最近の動向について—」（事務局）

2023(令和5)年度

1月31日 京都私立病院協会会議室

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

2024(令和6)年度

1月31日 京都私立病院協会会議室

説明／「地域医療構想について—2040年に向けた「新たな地域医療構想」—」（事務局）

◆看護研究研修

2020(令和2)年度

9月10日 登録会館

テーマ／「看護研究に活かすクリティーク」

講師／豊田久美子（京都看護大学学長）

説明／「地域医療構想について—医療従事者として知っておきたいポイント—」（事務局）

2021(令和3)年度

9月14日 Web

※前年度とテーマ・講師同じ

説明／「地域医療構想の最近の動向について」（事務局）

2022(令和4)年度

6月8日 Web

※前年度とテーマ同じ



保健医療管理士認定式



保健医療管理者養成講座入講式



講師／中島優子（京都看護大学特任教授）
説明／「地域医療構想について—医療従事者として知っておきたいポイント—」（事務局）

2023(令和5)年度

6月8日 Web

※前年度とテーマ・講師同じ

説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）—京都府の人口・患者動態から—」（事務局）

2024(令和6)年度

6月17日 京都私立病院協会会議室

※前年度と講師同じ

テーマ／「看護研究のいろは」
説明／「地域医療構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」（事務局）

保健医療管理者養成講座

病院管理の重責を担う管理職の経営・管理の技法の向上が強く求められるとともに、量的な充実も必要となってきている。その一方で、わが国では医療機関管理者の養成機関が少なく、特に働きながら学べる場が不足していることが現実である。

当協会では、会員病院の職員を対象とした経営管理に必要な基礎知識の習得と実践に役立つ応用能力を養う教育を継続実施することを目的に運営委員会を設け、大学教授のほか各分野における専門家を講師に迎え、専門的・実践的な講座を実施している。講座を開講して34年目を迎えた現在、684名が修了

の認定を受けている。また、保健医療管理士の認定基準に則り自院から推薦された修講生には、当協会の創立記念式典で執り行われる授与式にて保健医療管理士の認定証を授与している。

2020（令和2）年度からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のために動画配信・Zoomによるリモート参加も可能とした。

〈カリキュラム〉

基礎／医療経済学、医療経営学、保健医療関連法規、保健医療政策、介護保険制度、社会保障、社会福祉、医学（療）概論、情報管理、パソコン・統計学

経営（病院）管理／病院経営、病院組織、人事管理、財務管理、経営分析、医療紛争、リスクマネジメント、コーチング、医療物品管理、災害リスクマネジメント

ヘルスケア管理／医療管理（総論・各論）

建築・設備／医療施設の建築・設備、医療施設

特別講座／医療をめぐる諸問題（4講座程度実施）

〈受講要綱〉

修業年限／1年 講義時間／水曜日（18：00～21：10）・土曜日（15：00～18：10）

応募資格／医療・福祉の経営・管理に関心のある者
出願書類／願書・推薦書

負担金／年間50,000円

※2020年～2024年は京都府地域医療介護総合確保基金の対象のため受講料は無料。

受講会場／京都私立病院協会会議室

2020(令和2)年度

①第30期生入講式 ※新型コロナウイルス感染



保健医療管理者養成講座終講式



保健医療管理者養成講座祝賀パーティ

症の影響により開催中止

- ②保健医療管理士認定式 11月6日 京都府民総合交流プラザ京都テルサ
第29期生23名に保健医療管理士の認定証が授与。
- ③認定委員会 3月3日 第30期受講生27名の修了が認定。
- ④終講式 3月27日 ANAクラウンプラザホテル

2021(令和3)年度

- ①第31期生入講式 4月10日 京都経済センター 入講生22名
入講記念特別講座「地域完結型医療あるいは病院都市」
講師：糸井利幸（聖ヨゼフ医療福祉センター院長）
- ②保健医療管理士認定式 11月30日 京都ホテルオークラ
第30期生25名に保健医療管理士の認定証を授与。
- ③認定委員会 3月2日 京都私立病院協会会議室
第31期受講生22名の修了が認定。
- ⑤終講式 3月26日 ホテル日航プリンセス京都

2022(令和4)年度

- ①第32期生入講式 4月9日
京都私立病院協会会議室 入講生27名
入講記念特別講座「新型コロナウイルス感染症に対する対応と今後の地域医療について」
講師：長谷川 学（京都府健康福祉部部長）
- ②保健医療管理士認定式 11月18日 京都ホテルオークラ

第31期生22名に保健医療管理士の認定証を授与。

- ③認定委員会 3月1日 京都私立病院協会会議室
第32期受講生27名の修了を認定。
- ④終講式 3月25日 ANAクラウンプラザホテル京都

2023(令和5)年度

- ①第33期生入講式 4月8日 京都私立病院協会会議室 入講生25名
入講記念特別講座「京都私立病院協会の活動について」
講師：富士原正人（京都ルネス病院理事長・京都私立病院協会副会長）
- ②保健医療管理士認定式 11月17日 京都ホテルオークラ
第32期生27名に保健医療管理士の認定証を授与。
- ③認定委員会 3月6日 京都私立病院協会会議室
第33期受講生24名の修了を認定。
- ④終講式 3月23日 ホテル日航プリンセス京都

2024(令和6)年度

- ①第34期生入講式 4月13日 京都私立病院協会会議室 入講生25名
入講記念特別講座 ※前年度テーマ・講師同様
- ②保健医療管理士認定式 11月15日 京都ホテルオークラ
第33期生23名に保健医療管理士の認定証を授与。
- ③認定委員会 3月5日 京都私立病院協会会議室



令和7年度以降の 初期臨床研修 定員数に関する要望

第34期受講生25名の修了を認定。

④終講式 3月22日 ホテル日航プリンセス京都

医師臨床研修・専門医制度

京都府全体の医師数は、全国と比べて多い状況であるが、医療圏ごとでは京都・乙訓医療圏のみ全国平均を上回る一方、それ以外の医療圏は全国平均以下となっており、地域偏在がみられる。2019（令和元）年度からの医師の性・年齢別による労働量や住民の性・年齢構成等による医療需要の要素が考慮された国の医師偏在指標では、京都・乙訓圏域が医師多数区域、丹後、山城南医療圏が医師少数区域、中丹、南丹山城北医療圏がどちらでもない区域とされていたが、2023（令和5）年に公表された指標では、南丹医療圏が新たに医師少数区域となった。

診療科では、人口10万人対医師数で、内科、産婦人科、外科、放射線科、皮膚科、麻酔科、病理診断科の7基本診療科において、京都・乙訓医療圏以外の医療圏で全国平均を大きく下回っている。

2004（平成16）年度から開始された医師臨床研修制度により、全国的に大学附属病院で研修する医師が減少する一方で、都市部の病院で研修を受ける医師が増加しており、さらに、2009（平成21）年度から開始された都道府県定員上限制限の下、京都府内の臨床研修医の採用数が減少している。こうした状況の中、2025（令和7）年度以降の初期臨床研修定員数に関し、最小募集定員が2名の臨床研修病院を1名減で調整する意見や提案が出されたことに対し、地域に密着した医療を実践し研修医一人ひとりにきめ細かな指導を行ってきた民間病院を中心とする臨

床研修病院の有用性が十分に考慮され、2名の定員が維持されるよう当協会から京都府知事に要望した。

2024（令和6）年度からの医師の時間外・休日労働上限規制をはじめとする医師の働き方改革を踏まえた医師確保も重要となっており、医師確保対策、医師臨床研修制度や専門医制度等、地域偏在や診療科偏在の解消、民間病院の医師不足の改善につながる制度となるよう、引き続き国や京都府に要望、提案を行うこととしている。

16 病院経営に関する取り組み

現在、社会は少子高齢化や著しい人口減少などの変化を経験しています。これに伴い、病院の環境も大きく変わってきました。団塊の世代が75歳以上になる2025年を遂に迎え、地域医療構想の実現に向けた取り組みが急ピッチで進められています。

私たち京都私立病院協会では、会員病院の経営をサポートするために、様々な各種補助金制度の紹介や斡旋に取り組んでいます。民間病院に対する国庫補助制度は、医療施設等施設設備整備事業を中心に、時代にあったタイムリーな政策に応じて新たな制度を設けたり、補助要件を変更したり、メニューもかなり多様化してきました。会員病院のニーズに合致する制度についてはできるだけ獲得できるよう行政との連携強化を常に心がけています。

これにより、優秀な医師の確保が可能となり、地域の出産に対する安心感が高まりました。この他にも救急医療提供体制整備促進事業費補助金や在宅医療推進基盤整備事業など、さまざまな補助金制度においても、会員病院の支援に取り組んでいます。

さらに、病院職員の方々への支援にも力を入れています。京都中央信用金庫との提携により、病院職員向けローンなどを特典付きで斡旋しています。金利優遇や保証人不要といった特典は、病院職員の方々が将来の不安を抱えずに働けるようにするための取り組みです。

京都私立病院協会は、会員病院の成長と地域医療の発展に貢献するために、さまざまな取り組みを積極的に進めてまいります。今後も会員病院の経営をサポートするためにより効果的な補助金制度や支援策を提案し、地域の方々の健康と幸福に寄与してまいります。

(副会長 藤澤明生)

民間病院に対する各種補助制度 及び融資制度

民間病院に対する国庫補助制度は、医療施設等施設設備整備事業を中心に、時代にあったタイムリーな政策に応じて新たな制度を設けたり、補助要件を変更したり、メニューも多様化してきた。

当協会は常に会員病院のニーズに合致する制度はできるだけ獲得できるよう行政との連携強化を心がけた。

2019(令和元)年

- 1 産科医等確保支援事業費：11病院 31,961千円
- 2 救急医療提供体制整備促進事業費補助金（救急

担当医師・看護師への研修補助）：

- 22病院 6,737千円
- 3 院内保育運営費補助金：51病院 164,356千円※
- 4 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：14病院 5,559千円
- 5 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：4病院 29,084千円
- 6 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：134病院 17,538千円
- 7 在宅医療推進基盤整備事業：31病院 31,338千円
- 8 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：11病院 211,824千円

- 9 医療施設等施設設備整備費補助金：
7病院 426,005千円
(スプリンクラー 5病院 235,955千円、人工
呼吸器非常用電源 2病院 586千円)

2020(令和2)年

- 1 産科医等確保支援事業費：12病院 33,136千円
2 救急医療提供体制整備促進事業費補助金(救急
担当医師・看護師への研修補助)：
25病院 6,912千円
3 院内保育運営費補助金：37病院 130,016千円
4 救急救命士病院実習受入促進事業費補助金：
16病院 5,240千円
5 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
12病院 67,537千円
6 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
134病院 17,728千円
7 在宅医療推進基盤整備事業：22病院 20,983千円
8 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：
6病院 71,434千円
9 医療施設等施設設備整備費補助金：
3病院 259,047千円

2021(令和3)年

- 1 産科医等確保支援事業費：12病院 33,580千円
2 高齢化社会に対応した救急医療体制充実事業費
補助金(救急担当医師・看護師への研修補助)：
25病院 6,101千円
3 院内保育運営費補助金：35病院 131,039千円
4 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
12病院 67,805千円
5 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
133病院 17,539千円
6 在宅医療推進基盤整備事業：19病院 19,266千円

- 7 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：
4病院 51,976千円

- 8 医療施設等施設設備整備費補助金：
1病院 23,650千円

- 9 医師の労働時間短縮体制整備事業：
5病院 106,099千円

2022(令和4)年

- 1 産科医等確保支援事業費：12病院 32,783千円
2 高齢化社会に対応した救急医療体制充実事業費
補助金(救急担当医師・看護師への研修補助)：
24病院 5,731千円
3 院内保育運営費補助金：34病院 117,751千円
4 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
12病院 67,570千円
5 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
134病院 17,568千円
6 在宅医療推進基盤整備事業：25病院 24,071千円
7 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：
6病院 343,266千円

- 8 医療施設等施設設備整備費補助金：
1病院 4,988千円

- 9 医師の労働時間短縮体制整備事業：
4病院 122,701千円

- 10 医療提供体制施設整備交付金：
1病院 25,696千円

- 11 医療施設運営費等補助金(医療施設耐震化促進
事業)：1病院 3,733千円

2023(令和5)年

- 1 産科医等確保支援事業費：12病院 34,673千円
2 高齢化社会に対応した救急医療体制充実事業費
補助金(救急担当医師・看護師への研修補助)：
27病院 7,054千円

- | | |
|---|--|
| 3 院内保育運営費補助金：42病院 137,745千円 | 5 病院 75,398千円 |
| 4 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
4病院 29,062千円 | 10 医療提供体制施設整備交付金：
1病院 176,256千円 |
| 5 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
134病院 17,649千円 | 11 女性医師等就労支援事業補助金：
22病院 82,546千円 |
| 6 在宅医療推進基盤整備事業：25病院 22,283千円 | 12 医療機関物価高騰対策事業費（食材費支援）：
130病院 70,496千円 |
| 7 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：
4病院 195,199千円 | |
| 8 医療施設等施設設備整備費補助金：
2病院 46,012千円 | |
| 9 医師の労働時間短縮体制整備事業：
6病院 165,322千円 | |
| 10 医療提供体制施設整備交付金：
1病院 176,256千円 | |

(*全て交付決定額ベース)

2024(令和6)年度

- 1 産科医等確保支援事業費：12病院 32,563千円
- 2 高齢化社会に対応した救急医療体制充実事業費補助金
(救急担当医師・看護師への研修補助)：
27病院 7,054千円
- 3 院内保育運営費補助金：30病院 97,033千円
- 4 小児救急医療体制強化支援事業費補助金：
4病院 29,062千円
- 5 京都府在宅療養あんしん病院支援事業：
133病院 17,557千円
- 6 在宅医療推進基盤整備事業：18病院 13,500千円
- 7 京都府地域医療機能強化特別事業費補助金：
1病院 5,500千円
- 8 医療施設等施設設備整備費補助金：
2病院 46,012千円
- 9 医師の労働時間短縮体制整備事業：

京都府救急告示病院等運転資金融資制度は、府内の中小病院の救急告示および病院群輪番制参加病院などに対して、年末年始における要員確保などに必要な資金を融資する制度である。

現在では、融資限度額が8,000万円（1法人で複数病院を有する場合は1億2,000万円）、期間は3年以内（据置6ヶ月以内）、利率は年1.7%で実施されているが、信用保証協会による保証が必要であることから年々利用が減少している。

◆職員ローン

病院職員向けローンとして京都中央信用金庫と締結し、当協会の会員施設職員に対し金利優遇があり、保証人が要らないため利用されている。

17

病院管理に関する取り組み

病院管理における取り組みは、環境問題委員会、病院機能向上委員会、そして2022年に新設された情報セキュリティ向上対策事業検討委員会が主導して行われています。

環境問題委員会は、入院環境整備委員会と感染性廃棄物処理問題委員会が統合し、幅広い環境問題に取り組むために設立されました。当初は院内環境問題委員会として始まりましたが、現在は環境問題委員会として活動しています。この委員会は、禁煙推進や廃棄物処理、リサイクルなど、地球環境に関する情報を収集し、会員施設に提供しています。特に禁煙活動に力を入れており、禁煙キャンペーンやアンケート、敷地内禁煙の状況調査などを積極的に実施しています。また、京都禁煙推進研究会の事業も後援しており、禁煙活動を通じて職員や患者さんの健康増進に取り組んでいます。さらに、会員施設が積極的に環境問題に関心を寄せ、環境活動に取り組むための研修会や調査・研究など幅広いテーマでの活動を展開しています。

一方、病院機能向上委員会は、医療の質の向上に取り組んでいます。医療機能評価事業に関する情報提供に加えて、日本医療機能評価機構との連携も強化しています。特に、下部尿路機能障害を有する入院患者さんの排尿機能回復を促す取り組みを行っており、毎年医師や看護師を対象にした講座を開催し、在宅復帰後の療養生活の向上や介護者の負担軽減に貢献しています。

また、新たに設けられた情報セキュリティ向上対策事業検討委員会では、医療DX推進と情報セキュリティ強化の両面に取り組んでいます。医療DXによる情報の適切な管理と共有は、医療の効率化やサービスの品質向上につながりますが、一方でサイバー攻撃のリスクも隠れています。そのため、情報セキュリティを強化することも非常に重要です。

京都私立病院協会では、今後も病院医療の向上と社会の福祉増進ニーズに応えるため、積極的な活動を継続してまいります。

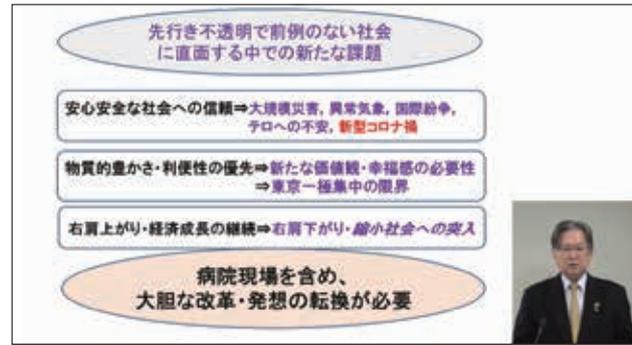
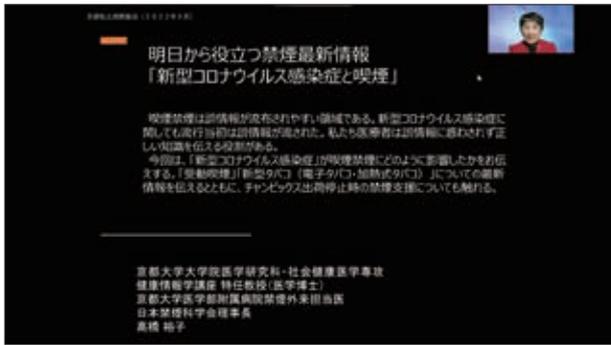
(副会長 藤澤明生)

環境問題委員会

当委員会は2003（平成15）年に入院環境整備委員会と感染性廃棄物処理問題委員会が統合され、環境問題全般を広く取扱うことを目的に設置された。この間、院内環境問題委員会などへの名称変更を経て、現在は環境問題委員会の名称で活動を行っており、禁煙推進などの院内環境問題や廃棄物処理、リサイクルなど地球環境問題まで幅広く情報収集を行い、会員施設への情報提供に努めている。

また、当協会の創立40周年記念事業の一つとして禁煙キャンペーンを開始して以来、継続的な禁煙活動を行っており、禁煙の取り組みに関するアンケートや敷地内禁煙の状況調査を実施するほか、禁煙推進活動の周知・啓発、当協会も加盟している京都禁煙推進研究会の各種事業への後援も継続しており、禁煙活動を通して職員および患者の健康増進を図れるよう取り組んでいる。

環境問題への対応については地球規模での課題となっている中、会員施設が環境保全活動に対して関



環境問題委員会研修会

心を持ち積極的に取り組んでいくことができるよう、今後も必要な事案を取り上げ、日常業務に資する幅広いテーマで研修会や調査・研究等を実施していく。

◆主な活動

2021(令和3)年度

環境問題委員会研修会

3月9日～3月23日動画配信

- テーマ／「新型コロナウイルス感染症と喫煙」
- 講師／高橋裕子（京都大学大学院医学研究科 社会健康医学専攻健康情報学講座特任教授・日本禁煙科学会理事長）
- 説明／「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」
- 講師／真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

2022(令和4)年度

環境問題委員会研修会

2月28日動画撮影

3月9日～3月23日動画配信

- テーマ／「ウィズコロナ時代の差別化戦略 ～病院におけるSDGsとレジリエンスの融合～」
- 講師／藤田裕之（レジリエント・シティ京都市統括監、京都市国際交流会館館長、元京都市副市長）
- 説明／「地域医療構想（京都府地域包括ケア構想）—京都府の人口・患者動態から—」（事務局）

2023(令和5)年度

環境問題委員会研修会

2月26日～3月18日動画配信

- テーマ／「くし・ブラシのリユース連携事業—循環型社会実現への連携—」
- 講師／杉本浩規（洛和会音羽病院総務部主席課長）

説明／「地域医療構想と医療DX」（事務局）

2024(令和6)年度

環境問題委員会研修会

3月7日～3月24日動画配信

- テーマ／「新型タバコの傾向と対策」
- 講師／栗岡成人（タバコフリー京都理事、京都博愛会病院内科部長・顧問）
- 説明／「地域医療構想について—2040年に向けた「新たな地域医療構想」—」（事務局）

病院機能向上委員会

会員病院の医療機能の質の向上を目指し1996（平成8）年に当委員会が設置された。

医療機能評価事業に関する会員への情報提供や随時問い合わせに対応しているほか、公益財団法人日本医療機能評価機構と連携を取り合いながらの活動を行っている。

2016（平成28）年度以降は、入院中の下部尿路機能障害を有する方に対して多職種協働で排尿機能回復を図り、在宅復帰後の療養生活の向上、介護者の負担軽減に繋げるべく、医師・看護師を対象にした「排尿機能回復のための治療とケア講座」を毎年開催している。

2025（令和7）年3月現在、会員の認定状況は35施設となっている。



令和2年度排尿機能回復のための治療とケア講座



令和3年度排尿機能回復のための治療とケア講座

◆主な活動

2020(令和2)年度

・令和2年度排尿機能回復のための治療とケア講座
10月1日・2日・3日

- テーマ／1)「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」
- 2)「尿路機能障害の病態と診断」・「尿路機能障害の治療」
- 3)「尿路機能障害の予防とケア」
- 4)「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」
「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例（演習含む）」
- 5)「排尿日誌による評価（演習含む）」
「エコー（残尿測定器）を用いた残尿の測定の実際（演習含む）」
- 6)「排尿ケアの事例検討（演習含む）」
「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法（演習含む）」
- 7)「排泄自立のためのリハビリテーション（排尿誘導・骨盤底筋訓練等演習含む）」
- 8)「自己導尿の指導方法（演習含む）」

- 講師／1) 真下信男（京都府健康福祉部医療課 参事）
- 2) 上田陽彦（賀茂病院院長）
- 3) 朴 英寿（京都田辺中央病院泌尿器科部長）
- 4) 上田朋宏（泌尿器科上田クリニック 院長・NPO法人快適な排尿をめざ

す全国ネットの会理事長）

- 5) 布留川美帆子（京都民医連中央病院 看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師）
- 6) 山口昌子（NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事）
山下和典（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都・作業療法士、NPO法人認知症排泄支援の会 理事・事務局長）
- 7) 西村卓也（泉佐野優人会病院リハビリテーション部課長・理学療法士）
- 8) 加藤昌子（京都駅前武田クリニック 看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師）

修了者／医師3名、看護師40名

2021(令和3)年度

・令和3年度排尿機能回復のための治療とケア講座
10月28日・29日・30日

- テーマ／1)「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」
- 2)「尿路機能障害の病態と診断」・「尿路機能障害の治療」
- 3)「尿路機能障害の予防とケア」
- 4)「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」
「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例（演習含む）」
- 5)「排尿日誌による評価（演習含む）」
「エコー（残尿測定器）を用いた残



令和4年度排尿機能回復のための治療とケア講座



令和5年度排尿機能回復のための治療とケア講座

尿の測定の実際（演習含む）」

6) 「排尿ケアの事例検討（演習含む）」
「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法（演習含む）」

7) 「排泄自立のためのリハビリテーション（排尿誘導・骨盤底筋訓練等演習含む）」

8) 「自己導尿の指導方法（演習含む）」

講師／1) 真下信男（京都府健康福祉部医療課参事）

2) 上田陽彦（賀茂病院院長）

3) 朴 英寿（京都田辺中央病院泌尿器科部長）

4) 上田朋宏（泌尿器科上田クリニック院長・NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事長）

5) 細野恵理（三菱京都病院・皮膚・排泄ケア認定看護師）

6) 山口昌子（医療法人恭昭会彦根中央病院・看護師、NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事）

山下和典（メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都・作業療法士、NPO法人認知症排泄支援の会理事・事務局長）

7) 田山大介（西宮回生病院リハビリテーション部主任・作業療法士）

8) 加藤昌子（十条武田リハビリテーション病院血液透析センター看護師長・皮膚・排泄ケア認定看護師）

修了者／医師2名、看護師29名

2022(令和4)年度

・令和4年度排尿機能回復のための治療とケア講座
11月24日・25日・26日

テーマ／1) 「京都府地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」

2) 「尿路機能障害の病態と診断」・「尿路機能障害の治療」

3) 「尿路機能障害の予防とケア」

4) 「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」

「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例（演習含む）」

5) 「排尿日誌による評価（演習含む）」
「エコー（残尿測定器）を用いた残尿の測定の実際（演習含む）」

6) 「排尿ケアの事例検討（演習含む）」
「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法（演習含む）」

7) 「排泄自立のためのリハビリテーション（排尿誘導・骨盤底筋訓練等演習含む）」

8) 「自己導尿の指導方法（演習含む）」

講師／1) 松尾治樹（京都府健康福祉部医療課参事）

2) 上田陽彦（賀茂病院院長）

3) 萩原暢久（京都田辺中央病院人工透析内科部長）

4) 上田朋宏（泌尿器科上田クリニック院長・NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事長）



令和6年度排尿機能回復のための治療とケア講座

- 5) 細野恵理 (三菱京都病院・皮膚・排泄ケア認定看護師)
- 6) 山口昌子 (NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事)
山下和典 (メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都・作業療法士、NPO法人認知症排泄支援の会理事・事務局長)
- 7) 田山大介 (西宮回生病院リハビリテーション部係長・作業療法士)
- 8) 加藤昌子 (十条武田リハビリテーション病院外来血液透析センター看護師長・皮膚・排泄ケア認定看護師)

修了者/医師1名、看護師48名

2023(令和5)年度

・令和5年度排尿機能回復のための治療とケア講座
11月13日・14日・15日

テーマ/1)「京都府地域包括ケア構想(地域医療ビジョン)について—オール京都体制による地域包括ケアシステムの構築—」

- 2)「尿路機能障害の病態と診断」・「尿路機能障害の治療」
- 3)「尿路機能障害の予防とケア」
- 4)「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」
「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例(演習含む)」
- 5)「排尿日誌による評価(演習含む)」
「エコー(残尿測定器)を用いた残尿の測定の実践(演習含む)」
- 6)「排尿ケアの事例検討(演習含む)」

「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法(演習含む)」

- 7)「排泄自立のためのリハビリテーション(排尿誘導・骨盤底筋訓練等演習含む)」
 - 8)「自己導尿の指導方法(演習含む)」
- 講師/1)松尾治樹(京都府健康福祉部医療課参事)

- 2)上田陽彦(賀茂病院院長)
- 3)長野優太(京都田辺中央病院泌尿器科)
- 4)上田朋宏(泌尿器科上田クリニック院長・NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事長)

- 5)細野恵理(三菱京都病院・皮膚・排泄ケア認定看護師)
- 6)山口昌子(NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事)
山下和典(メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都・作業療法士、NPO法人Life is Beautiful理事長)
- 7)田山大介(西宮回生病院リハビリテーション部係長・作業療法士)
- 8)加藤昌子(十条武田リハビリテーション病院外来血液透析センター看護師長・皮膚・排泄ケア認定看護師)

修了者/医師4名、看護師58名

2024(令和6)年度

・令和6年度排尿機能回復のための治療とケア講座
11月7日・8日・9日

テーマ/1)「地域医療構想について」

- 2)「尿路機能障害の病態と診断」・「尿



情報セキュリティセミナー「医療機関が押さえておくべき医療情報セキュリティの基礎」



医療情報システムの安全管理に関するガイドライン解説セミナー

路機能障害の治療」

- 3) 「尿路機能障害の予防とケア」
- 4) 「尿路留置カテーテルの抜去に向けた取り組み」
「排尿ケアチームの役割と自立に向けた実践例（演習含む）」
- 5) 「排尿日誌による評価（演習含む）」
「エコー（残尿測定器）を用いた残尿の測定の実例（演習含む）」
- 6) 「排尿ケアの事例検討（演習含む）」
「排泄器具と排泄関連福祉用具の適切な使用方法（演習含む）」
- 7) 「排泄自立のためのリハビリテーション・（排尿誘導、骨盤底筋訓練等演習含む）」
- 8) 「自己導尿の指導方法（演習含む）」

講師／1) 吉田光宏（京都府健康福祉部医療課参事）

- 2) 上田陽彦（賀茂病院院長）
- 3) 長野優太（京都田辺中央病院泌尿器科）
- 4) 上田朋宏（泌尿器科上田クリニック院長・NPO法人快適な排尿をめざす全国ネットの会理事長）
- 5) 光嶋早苗（宇治徳洲会病院看護副主任皮膚・排泄ケア認定看護師）
- 6) 山口昌子（こむぎ訪問看護ステーション管理者・看護師）
山下和典（訪問看護ステーションにしお代表取締役CEO・作業療法士）
- 7) 田山大介（西宮回生病院リハビリテーション部係長・作業療法士）

- 8) 加藤昌子（十条訪問看護ステーション看護師長、皮膚・排泄ケア認定看護師）

修了者／医師2名、看護師77名

情報セキュリティ向上対策事業検討委員会

超高齢社会に対応するため、デジタル技術を活用して保健・医療・介護のサービスや業務のプロセスを革新する取り組みが国をあげて進められている。全国医療情報プラットフォームの創設、電子カルテ情報の標準化、オンライン資格確認システム・電子処方箋の導入など、医療DXを推進することで、医療従事者の負担軽減や業務の効率化、患者に提供するサービスの質向上などの実現を目指すとされている。

医療DXにより、インターネットを通じて情報やデータの管理・共有ができるようになる一方、医療機関へのサイバー攻撃で基幹システムに支障が生じれば患者の命と健康が脅かされ、患者の個人情報も漏洩するリスクも潜んでおり、医療DXの推進と情報セキュリティ強化は一体的に進めなければならない重要課題となっている。これに対し、当協会では2022（令和4）年度から「情報セキュリティ向上対策事業検討委員会」を設置し、会員におけるサイバーセキュリティ対策向上のための取り組みを行っている。

◆セミナー

2022（令和4）年12月15日

からすま京都ホテル（Web併用）

テーマ／①「医療機関が押さえておくべき医療情報セキュリティの基礎」



サイバー攻撃対処訓練



情報セキュリティ
対策専門家派遣事業



情報セキュリティ
向上対策事業補助金



啓発ポスター

- ②「ランサムウェア被害の増大に係る
注意喚起」

「ネットワーク機器の点検のお願い」

講師／①黒田知宏（京都大学医学部附属病院
教授・医療情報企画部長・病院長補
佐）

- ②京都府警察本部生活安全部サイバー
犯罪対策課

2023(令和5)年1月19日

からすま京都ホテル（Web併用）

テーマ／①「対策急務！医療機関に相次ぐサイ
バー被害～半田病院の経験に学ぶ、
サイバーセキュリティ対策～」

- ②「ランサムウェア被害の増大に係る
注意喚起」

「ネットワーク機器の点検のお願い」

講師／①須藤泰史（徳島県つるぎ町立半田病
院・つるぎ町病院事業管理者）

- ②京都府警察本部生活安全部サイバー
犯罪対策課

2023(令和5)年9月14日・11月29日

京都経済センター

テーマ／「医療情報システムの安全管理に関す
るガイドラインの勘どころ～医療機
関に求められるセキュリティ対策を
解説～」

講師／平井健二（サイバーコマンド株式会社
情報処理安全確保支援士・ネットワ
ークスペシャリスト）

説明／「地域医療構想について」（事務局）

*各日同内容で開催

2024(令和6)年10月23日

京都経済センター

テーマ／①「病院サイバーインシデントから考
えるセキュリティ対策上の課題」

- ②「病院におけるサイバー攻撃に備え
るIT-BCP対策の策定と実装・運
用の実際」

講師／①松山征嗣（一般社団法人医療サイバ
ーセキュリティ協議会常任理事）

- ②鳥飼幸太（群馬大学医学部附属病院
システム統合センター副センター長）

説明／「地域医療構想について—2040年に向
けた新たな地域医療構想—」（事務局）

◆情報セキュリティ対策専門家派遣事業

2022(令和4)年度

内容／情報セキュリティの専門家による対策す
べき課題の見える化と対策向上に向けた
助言

期間／2022(令和4)年12月～2023(令和5)年2月

派遣した専門家／大久保茂人（プラスエス代表・
情報処理安全確保支援士）

派遣実績／16病院（1病院につき2回派遣）

2023(令和5)年度

期間／2023(令和5)年4月～2024(令和6)年2月

派遣実績／24病院（1病院につき2回派遣）

*内容・派遣した専門家は上記と同じ

◆情報セキュリティ向上対策事業補助金

内容／不正アクセス防止、ウイルス感染対策な
ど、必要な機器・サービス・システム等
の導入に要する費用の一部を補助



医療情報システム管理者育成講座



京都府医療機関等サイバーセキュリティ共同対処協定

補助対象期間／2022（令和4）年6月1日～
2023（令和5）年2月28日
補助金交付病院数／40病院
補助総額／20,952千円

◆情報セキュリティ対策に係る医療従事者への啓発
用ポスターの作成・配布

配布／2024（令和4）年10月14日
作成枚数／1,500枚（ポスターのPDFは当協会ホームページ上で提供）

◆サイバー攻撃対処訓練

2023（令和5）年10月24日・2024（令和6）年2月15日
テーマ／①「サイバー犯罪の現状と対策」
②「サイバー攻撃対処訓練」

講師／①吉岡竜之介（京都府警察本部サイバーセンターサイバー企画課警部）
小田晃義（近畿管区警察局京都府情報通信部情報技術解析課係長）
②1回目 尾上 拓（京都府下京警察署警備課主任）
早藤雅明（同上）
2回目 内藤翔二郎（京都府警察本部サイバー攻撃対策隊警部補）
尾上 拓（京都府下京警察署警備課
巡查部長）

説明／「2024年診療報酬改定と医療DX」（事務局）

* 各日同内容で開催

◆令和6年度病院における医療情報システムに関する調査

回答／97病院（対象135病院中：回答率71.8%）

◆医療情報システム管理者育成講座

* 勤務医勤務環境改善体制整備事業の頁に詳記

◆京都府医療機関等サイバーセキュリティ共同対処協定の締結

2024（令和6）年5月15日

目的／サイバー空間の脅威への対処能力の強化を図る

締結者／当協会、京都府警察、京都府医師会、京都府病院協会

18 税制問題への取り組み

2019年10月より消費税が8%から10%に引き上げられました。前回の消費税引き上げ時に生じた補てん不足から、今回は5%までさかのぼり総合的に見直し、病院機能群ごとに不足なく補てんしたとされました。

しかし、補てん点数の算定根拠は明確にはせれておらず、正しく検証はできません。やはり、個々の病院では、補てんされる消費税はバラツキが生じてしまい、保険点数での補てん対応は限界であると思われます。今後、私立病院協会は以前より掲げていた消費税原則課税を訴え、要望を行っていきたいと思います。

(副会長 小森直之)

税 制

医療機関に関わる税の問題で、とりわけ社会保険診療への消費税が非課税であることで生じている控除対象外消費税は、病院の経営を圧迫し、病院の建物の増改築・修繕、新たな医療機器や設備の導入を妨げ、病院医療の向上に大きな支障をきたしている。

2019（令和元）年10月から消費税率が10%に引き上げられ、現行の診療報酬上での補填では、点数算定の状況や設備・物品等の購入状況が異なるため、過不足なく補うことは不可能であり、当協会では仕入税額控除が可能で、かつ患者負担のない制度への改正を求めている。但し、消費税問題は、課税に転換した場合、診療報酬で補てんされている部分が減額される可能性もあり、当協会では引き続き情報収集・分析を行うとともに、中央病院団体とも連携しながらこの問題に対応していくこととしている。

また「社会保険診療報酬に係る事業税の非課税措置」、「医療法人の社会保険診療報酬以外の部分に係る事業税の軽減措置」及び「社会保険診療報酬の所得計算の特例措置」の制度は存続することとなり、2024（令和6）年3月末で期限が到来する「地域医療構想実現に向けた税制措置（不動産取得税の2分の1軽減）」も、2026（令和8）年3月末まで2年延長されることとなったが、そのうち社会保険診療報酬に係る事業税非課税、医療法人の自由診療等に

係る事業税の軽減税率は、税負担の公平性を図る観点や、地域医療の確保を図る観点からそのあり方について検討することが明記され、今後の動向に注意を要する。

この間、新型コロナウイルス感染症により、感染対策を行いながら地域医療の維持に努めている医療機関の経営は厳しい状況に晒されたことから、当協会では新型コロナウイルス感染症対策に係る税制上の支援措置の新設・期間延長を、中央の病院団体を通じて国に求め続けた。

そして新たに新興感染症への対応に関する税制措置（「流行初期医療確保措置に係る収入に対する事業税非課税措置等」及び「救急医療等確保事業への新興感染症対応の追加に伴う社会医療法人に対する法人税非課税措置の対象の拡充等」）が講じられることになった。

また認定医療法人に対する相続税・贈与税の納税猶予等に関する特例措置が2023（令和5）年9月末から2026（令和8）年12月末まで延長されるとともに、特例を受けるための移行期限を移行計画認定から「3年以内」を「5年以内」に緩和されることとなった。

このほか、医師及び医療従事者の労働時間短縮に資する機器等の特別償却制度、地域医療構想の実現に向けた病床再編等のために取得した建物等に関する特別償却制度、高額な医療用機器を取得した場合

の特別償却制度（但し、対象となる医療用機器は見直し）についても、2023（令和5）年3月末までの適用期限が2年延長されることになった。

賃上げ促進税制においては、これまで減税対象の賃上げ額から除外される取り扱いであった診療報酬の「看護職員処遇改善評価料」や、介護報酬の「介護職員処遇改善加算」を財源とする賃上げ額、2024（令和6）年診療報酬改定の賃上げに係る診療報酬項目も減税措置の対象となった。

そのほかの医療に関わる税制についても地域医療の確保の観点から重要であり、当協会では医療機関における税の問題について引き続き情報収集や在り方の検討を行い、必要に応じて改善要望や対応を行っていくこととしている。

19 福利厚生活動

会員病院で働く職員の福利厚生活動として野球、バレーボール、フットサル、ゴルフの大会を開催している。運動不足になりがちな病院職員の健康維持に役立つほか病院間の親睦と交流にも貢献している。どの大会も多くのチームが参加する大会となり準備運営に実行委員会を設置し、会員施設から派遣された実行委員が集まって計画実行している。2020年にコロナ禍が始まって以来、バレーボールは4年間、野球・フットサルは3年間、ゴルフは1年間集合イベントは中止となった。現在では其々再開されており、毎年恒例の協会主催のスポーツイベントは4大会となっている。これらの大会の運営費は京都府病院協同組合、株式会社公益社、株式会社セレマの協賛を得て大会が実施できている。

(副会長 富士原正人)

京都府知事杯争奪 病院対抗野球大会

京都私立病院協会の設立主旨の大きな柱のひとつに会員病院とそこで働く職員相互の親睦・福利厚生活動があげられる。その中で病院対抗野球大会は当協会が設立された翌年から開催され、まさに協会の歴史とともに歩んできたと言える。近年は健康志向の高まりによるスポーツ参加人口の増加等により、グラウンドの確保が課題となっている一方で、大会参加チーム数は減少しているため、今後さらに大会を盛り上げていけるよう役員・実行委員とともに検討を重ねている。大会の会場は、主に京都府立府民スポーツ広場（みどりが丘）グラウンド、京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）グラウンド、京都市横大路グラウンド等を使用した。

第56回 2020(令和2)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

第57回 2021(令和3)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

第58回 2022(令和4)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

第59回 2023(令和5)年 参加26チーム

優勝/京都田辺中央病院・京都田辺記念病院

準優勝/京都岡本記念病院

三位/京都桂病院、洛和会丸太町病院

第60回 2024(令和6)年 参加31チーム

優勝/京都協立病院

準優勝/京都田辺中央病院・京都田辺記念病院・同志社山手病院

三位/十条武田リハビリテーション病院、園部病院

京都府知事争杯争奪 病院対抗バレーボール大会

(旧・病院対抗女子バレーボール大会)

京都私立病院協会の福利厚生活動のひとつであり、会員病院に勤務する全職員を対象に開催されている。

2020(令和2)年から2023(令和5)年まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としていたが、2024(令和6)年に再開した。

実行委員会で大会の開催内容について検討を行い、審判員をはじめ関係者各位の協力により開催し、参加チーム同士のレベルの高い試合が展開され、盛り上がりを見せた。大会の会場は、太陽が丘体育館、かたおかアリーナ京都(京都市体育館)を使用した。



京都府知事杯争奪病院対抗野球大会



京都府知事杯争奪病院対抗
バレーボール大会 試合風景



会長杯争奪病院対抗フットサル大会

2020(令和2)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
開催中止

2021(令和3)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
開催中止

2022(令和4)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
開催中止

2023(令和5)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
開催中止

第43回 2024(令和6)年 参加19チーム

優 勝/宇治徳洲会病院
準優勝/京都岡本記念病院
三 位/足立病院A、洛和会音羽病院

2021(令和3)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
開催中止

2022(令和4)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
開催中止

第15回 2023(令和5)年 参加36チーム

優 勝/京都博愛会病院
準優勝/京都田辺中央病院A
第三位/洛西シミズ病院

第16回 2024(令和6)年 参加38チーム

優 勝/京都桂病院A
準優勝/八幡中央病院
第三位/医仁会武田総合病院

京都私立病院協会会長杯争奪 病院対抗フットサル大会

病院対抗フットサル大会は野球、バレーボール大会に次ぐ3番目の福利厚生事業として2006(平成18)年にスタートした。会場はサンガフットサルパーク(城陽市)のグラウンドを使用して、2日間の開催で実施している。2020(令和2)年から2022(令和4)年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としていたが、2023(令和5)年より再開され実施している。

2020(令和2)年

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため
開催中止

京都私立病院協会会長杯争奪 会員親睦ゴルフコンペ

2009(平成21)年度より当協会全体会議翌日の恒例行事として開催することとなった会員相互の親睦を目的としたゴルフコンペは、2013(平成25)年度からは当協会の厚生事業として正式に位置づけて毎年11月3日に開催している。競技方法は、第8回と第11回大会はダブルペリア方式、第9回と第10回大会はハンディキャップインデックスを取得している場合はコースハンディキャップ計算から算出したハンディキャップを適用し、ハンディキャップのない場合はダブルペリア方式とした。各組に様々な会員施設の職員・職種が入る組み合わせでプレーすることにより、会員施設同士が一層の親睦を深めている。ホールアウト後は、参加者同士で一日のプレーを振り返りながらの表彰式を行い、順位賞やニアピン賞・



会長杯争奪会員親睦ゴルフコンペ
プレー写真



会長杯争奪会員親睦ゴルフコンペ
集合写真



会長杯争奪会員親睦ゴルフコンペ
表彰式

ドラコン賞などの特別賞が贈呈され、毎回大いに盛り上がる大会となっている。

本大会は、第2回大会より実行委員会を設置し、当協会役員・事務長会から選出された委員構成で企画・運営を行っている。

*2020(令和2)年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

第8回

2021(令和3)年11月3日 参加31名(15病院)

個人戦

- 優勝/木村正彦(武田病院グループ本部)
- 準優勝/吉川博康(明治国際医療大学附属病院)
- 第三位/斉藤 徹(京都ルネス病院)

*新型コロナウイルス感染症防止の一環として表彰式を短時間で行うためチーム戦はなし。

第9回

2022(令和4)年11月3日 参加28名(16病院)

個人戦

- 優勝/富士原正人(京都ルネス病院)
- 準優勝/笠次敏彦(園部病院)
- 第三位/松本泰郎(京都下鴨病院)

*新型コロナウイルス感染症防止の一環として表彰式を短時間で行うためチーム戦はなし。

第10回

2023(令和5)年11月3日 参加25名(12病院)

個人戦

- 優勝/吉川博康(明治国際医療大学附属病院)
- 準優勝/大藪秀昭(明治国際医療大学附属病院)
- 第三位/寺内欣也(京都久野病院)

チーム戦(6チーム)

- 優勝/明治国際医療大学附属病院
- 準優勝/三菱京都病院

第三位/武田病院グループ

第11回

2024(令和6)年11月3日 参加31名(11病院)

個人戦

- 優勝/渡邊 久(渡辺病院)
- 準優勝/中川格人(渡辺病院)
- 第三位/神田直樹(京都久野病院)

チーム戦(9チーム)

- 優勝/渡辺病院
- 準優勝/明治国際医療大学附属病院
- 第三位/三菱京都病院

20 事務局体制

2020（令和2）年4月時点の当協会事務局体制は、津崎桂子事務局長、竹内誠課長、神田悦子、山口峻平、臂谷亮輔、松本結佳、吾郷晋一、田中大貴、渋谷藍子の常勤職員9名と山本有希、飴谷かおりの派遣職員2名の計11名体制であった。

常勤職員の動向としては、2023年（令和5）4月より竹内誠が事務次長に、神田悦子、臂谷亮輔、吾郷晋一の3名が主幹に昇格し、2024年（令和6）4月より松本結佳が主任に昇格した。

また2024（令和6）年5月より約1年間、田中大貴が男性初の育児休暇を取得した。

非常勤職員の動向としては、2020（令和2）年4月時点で派遣職員として山本有希、飴谷かおりの2名体制であったが、2020（令和2）年6月末日付けで山本有希が契約満了により終了。

2021（令和3）年度より新型コロナウイルス感染症への対応のため、京都市より新型コロナワクチン集団接種事業、京都府より新型コロナ宿泊療養施設事業を受託したことによる要員として、市川尚美、目方和美、武田葵、宇野依子、川原香織の5名を派遣職員として採用したが、事業の終了とともにそれぞれの契約期間の満了により終了した。

2024年（令和6）年1月5日付けで新たに派遣職員として鈴木篤世、2月1日付けで大津恵子を採用し、2024年（令和6）年3月末日付けで飴谷かおりが契約期間満了で終了。

また常勤職員の田中大貴の育児休暇による代替要員として、2024年（令和6）年4月1日付けで松村留美を採用したが、短期での契約期間が満了したため終了し、7月1日付けで工藤妙恵を採用した。

2025年（令和7）年4月時点の事務局体制は、津崎桂子事務局長、竹内誠事務次長、神田悦子、山口峻平、臂谷亮輔、松本結佳、吾郷晋一、（田中大貴：育児休暇中）、渋谷藍子の常勤職員8名及び鈴木篤世、大津恵子、南奈緒の派遣職員3名のあわせて11名の職員体制で事務局業務にあたった。

また関係団体の京都保健専門学校、京都府病院協同組合、京都府病院企業年金基金、京都中央看護保健専門学校の職員をあわせると、総勢90名ほどの体制で各団体の運営にあたった。5団体全職員で組織している共済会「銀の会」、親睦会「銅の会」では、各団体より職員を派遣し2年任期で共済会の役員を務め、各団体からの補助と職員の拠出金で運営されている。

各関係団体の役員には私病協の執行部からの役員派遣を行うとともに、各団体の事務局責任者が私病協理事会に出席するなど相互の業務の理解が深まるよう運営が行われている。

5団体の職員の賃金や労働条件については、人事評価制度を活用した独自の賃金体系を活用し、各団体の業務の違いによる制約はあるが、基本的には共通体系で運用されており、2023年（令和5）年度からは新たな賃金制度に基づく運用が開始された。

また関係団体間の人事交流をより円滑に行うべく就業規則をはじめとする各種規程等の統一も図っている。

事務局責任者が必要に応じて会議を開催し、各種規程の整備を行うなど、関係団体が密接に連携しあい各団体相互に円滑な運営を行ってきた。



本校は昭和39年4月堀川高等看護学院として設立され令和6年60周年となった。長い歴史の中でレギュラーコースの看護師を1,602人、臨床検査技師を2,846人、臨床工学技士を512人輩出してきた。また、平成21年に進学コースを閉科したが卒業生は1,972人おり、現在は各施設の管理職として活躍している。京都私立病院協会の全面的なバックアップの基、伝統と実績のある学校として、学校運営を行ってきた。

今後も「実践力のある医療人の育成」を目標に、本校に入学し卒業していく学生を育成することを目指したい。

高等学校等卒業者の、2024年度の大学進学率が59.1%に達し過去最高を更新した。大学生の就職率も98.1%であり、大学卒業後の受験生が減少している。高校生も毎年減少し、受験生確保については大きな課題である。

◎ 学校法人役員

2021年3月5日から2023年3月4日までが13期の役員となる。理事長は富田哲也理事、学校長は、黒岩敏彦先生であった。2023年3月5日から14期役員となった。2024年6月1日より河田了先生が校長に就任した。

学校法人役員・評議員の改選（2024.6）

理事長	富田 哲也（富田病院）
理事長代理	清水 鴻一郎（京都伏見しみず病院）
理事（校長）	河田 了（京都保健衛生専門学校）
理事	岡田 純 （脳神経リハビリ北大路病院）
理事	小森 直之（なぎ辻病院）
理事	武田 隆久（武田病院）
理事	藤澤 明生（賀茂病院）
理事	真鍋 由美（八幡中央病院）

常務理事	豊福 淳之（京都保健衛生専門学校）
理事	磯田 典子（京都保健衛生専門学校）
監事	吉川 順介（吉川病院）
監事	高松 晃司（京都成蹊法律事務所）

●設備の更新について

設備の更新について順次実施している。

2020年度は、視聴覚室のプロジェクターの追加設置、臨床検査学科実験室のモニターテレビの設置を実施した。2021年度は、学生教室の北館及び、南館全館の無線LAN設備の更新を行った。2020年度から2022年度にかけては、南館空調機の保全工事を行った。2024年度は、電話機交換・電話交換設備の更新を実施した。

●学生募集活動について

高校生卒業生数は2020年は1,041,827人で2024年は925,339人となっている。この5年間で10万人以上減少した。そのような中、できるだけ受験生を多く集めて良い人材を入学させるよう努力しているが、2024年度生は定員が満たず苦しい入試となった。看護学科三年課程は高校推薦の指定校を2024年に8校増やし28校、臨床検査学科は2020年の137校から、閉校により2校減少し現在135校が指定校となっている。

入試方法では看護学科においてもAO入試を導入し、第二臨床検査学科では社会人入試を導入し受験しやすくしている。

受験生確保に向けHPのリニューアル、SNSなどでの発信、学校情報サイトを活用した学生募集などを実施している。

●崇城大学生物生命学部生物生命学科（熊本県）との連携校について

崇城大学と本校臨床工学技士専攻科との指定校推薦の連携は、2015年に連携教育協力協定を締結して以来、推薦枠は5名から10名までで崇城大学4年生が本校とのダブルスクールで学んでいる。2025年度生は10名の推薦があった。

2025年度より、臨床工学技士専攻科が新カリキュ

ラムとなる事、崇城大学の対象学科名の変更等から、連携教育協定を改定し再締結を行った。

●新カリキュラムへの取り組み

看護師学校養成所・臨床検査技師学校養成所指定規則の一部改正に伴い、カリキュラム変更が2021年4月1日から施行されることとなり、学則変更の承認申請を行った。2022年度の入学生から新カリキュラムの適用となった。

臨床工学技士専攻科は、新カリキュラムに対応する国家試験が2025年度から施行されることから、修業年限1年以上の課程については2025年度入学生から適用されるため、2024年9月に申請を行った。

●各学科の実習病院追加について

看護学科三年課程は120人の学生を、臨床検査学科は第一臨床検査学科と第二臨床検査学科の学生の臨地実習を組んでいくに当たり、実習病院の追加申請を行った。看護学科三年課程は新たに、2022年に京都桂病院を、2023年には京都九条病院と京都博愛会病院を申請した。

臨床検査学科は新カリキュラムへの変更に伴い、2023年に亀岡市立病院、京都済生会病院、蘇生会総合病院、京都田辺中央病院、西陣病院、洛和会丸太町病院、シミズ病院を申請した。

●高等教育の修学支援制度について

2020年4月より高等教育の修学支援制度がスタートした。本校は対象校となり、2020年4月入学生より入学金及び授業料の減免と、日本学生支援機構給付型奨学金が受けられている。

2024年度は、入学金及び授業料の減免では新たに減免区分が追加された。前期については、看護学科で14名、第一臨床検査学科、第二臨床検査学科合わせて14名の学生が利用した。

■ 京都府病院協同組合



2019年から始まった新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、クラスターへの対応、また自身の罹患リスクもあり、感染対策の強化という点において、医療従事者に多大な業務と心理的負担を強いることとなりました。医療機関の経営面においても外出自粛による受診控えによる収入減少となり、コロナ関連の補助金でつないできましたが、感染症法上の取扱いが5類に移行した現在、補助金もなくなり、アフターコロナの経営体制への切替が急務となっています。

続く、2022年2月にはロシアがウクライナへ軍事侵攻し、世界的な社会情勢を大きく変貌させ、エネルギー価格や、食糧価格が高騰し、世界に影響を与え続けています。日本においては、円安を加速させることになり、物価高騰に拍車がかかり、医療機関に大きな負担を強いています。

物価高騰や人件費の急激な上昇が続くなか、価格転嫁できない医療機関の経営は危機に瀕しています。早急な国の財政支援、診療報酬体制の見直しが求め

られています。

当組合では購買事業を中心に、レンタル事業、委託事業、保険事業を展開し、厳しい社会情勢が続くなか、組合員病院施設に寄り添い、幅広くご利用いただいております。安定した事業を展開していくことが出来ました。これも偏に組合員各位のご支援とご協力によるものと感謝致します。

今後ともより良い医療と介護のために、京都府の私立病院をサポートするスローガンを掲げて邁進してまいります。

また、当組合は、2023年に創立55周年を迎え、周年事業として創立記念式典とともに「秋の夜長IN映画村2023」を開催いたしました。歴史ある時代劇のセットをライトアップするなか、夜の一時を組合員病院施設の皆さまに楽しんでいただく事が出来ました。

🕒 5年間の主な動き

2020（令和2）年5月 第53回通常総会
 於：ホテル日航プリンセス
 京都

8月 医療メディエーター養成研
 修会
 於：京都府医師会
 （京都府医師会主催）

12月 医療安全講習会 動画開催
 （京都府医師会共催）

2021（令和3）年5月 第54回通常総会
 於：リーガロイヤルホテル
 京都

2022（令和4）年1月 医療安全講習会 Web開催
 （京都府医師会共催）

5月 第55回通常総会
 於：リーガロイヤルホテル
 京都

9月 医療メディエーター養成研
 修会
 於：京都府医師会
 （京都府医師会主催）

10月 医療安全講習会 Web開催
 （京都府医師会・有限会社
 ケーエムエー共催）

2023（令和5）年5月 第56回通常総会
 於：ホテル日航プリンセス
 京都

7月 医療メディエーター養成研
 修会
 於：京都府医師会

10月 医療系廃棄物中間処分場・
 最終処分場見学会
 （京都私立病院協会共催）
 於：光アスコン・大阪湾広域
 臨海環境整備センター

11月 京都府病院協同組合創立55
 周年記念式典
 創立55周年記念事業「秋の

夜長IN映画村2023」
 於：京都太秦映画村

2024（令和6）年1月 新春懇親会
 於：リーガロイヤルホテル
 京都

3月 医療安全講習会 Web開催
 （京都府医師会・有限会社
 ケーエムエー共催）

5月 第57回通常総会
 於：ザ・サウザンド京都

6月 医療メディエーター養成研
 修会（導入編） Web開催

7月 医療メディエーター養成研
 修会（基礎編）
 於：京都府医師会

10月 医療系廃棄物中間処分場・
 最終処分場見学会（1）
 （京都私立病院協会共催）
 於：光アスコン・瑞穂環境
 保全センター
 医療系廃棄物中間処分場・
 最終処分場見学会（2）
 （京都私立病院協会共催）
 於：光アスコン・大阪湾広域
 臨海環境整備センター

2025（令和7）年1月 新春懇親会
 於：リーガロイヤルホテル
 京都

3月 医療安全講習会 Web開催

3月 組合員数 129



“ゆとりある老後”と
“業界の発展”は
共通の願い！
基金加入で
『ゆとり』をプラス！

京都府病院厚生年金基金は、一般社団法人京都私立病院協会を設立母体として昭和55年11月1日に設立されました。当基金は、平成28年9月1日付で厚生労働大臣より認可をいただき、厚生年金基金制度を代行返上・確定給付企業年金制度へ移行し、京都府病院企業年金基金となりました。

現在、企業年金基金の年金経理において、29億円の別途積立金（剰余金の累計）を留保し、健全な財政状況を継続しております。

また、確定給付企業年金制度のガバナンスに係る法改正に伴い、令和2年3月期から「財務諸表ならびに財務情報等」に対し、有限責任あずさ監査法人を業務実施者として「公認会計士による合意した手続き（Agreed upon procedures：AUP）」を実施し、監査の充実を図っております。

🕒 5年間の主な出来事

2020（令和2）年3月 令和2年3月31日を計算基準日とする初回財政再計算法改正に伴い新財政運営基準へ移行

2020（令和2）年7月 代議員定数および理事定数を変更

2020（令和2）年9月 第3期 役員および代議員改選

2021（令和3）年1月 掛金収納代行サービスの利用開始

2021（令和3）年2月 事務所移転 日本生命四条ビル
→ No.60京都烏丸万寿寺ビル（現ビル）

2022（令和4）年3月 令和4年3月31日を計算基準日とする年金ALM分析計算（年金負債の将来推計）

2022（令和4）年5月 第51回 全国病院等企業年金基金連絡協議会 京都開催

2022（令和4）年9月 第4期 役員および代議員改選

2024（令和6）年9月 第5期 役員および代議員改選

2025（令和7）年3月 令和7年3月31日を計算基準日とする第2回財政再計算

⑤ 第5期 役員および代議員

選定	氏名	所属事業所の名称
理事長	清水鴻一郎	医療法人 清水会
理事長代理	富士原正人	医療法人 福富士会京都ルネス病院
理事	武田 隆久	医療法人 医仁会武田総合病院
理事	中野 種樹	一般財団法人 長岡記念財団
常務理事	関本 充治	京都府病院企業年金基金
監事	藤澤 明生	医療法人 明生会賀茂病院
代議員	吉川 順介	医療法人社団 貴順会吉川病院
代議員	中野 博美	医療法人 啓信会京都きづ川病院
代議員	明石 純	医療法人 愛友会
代議員	山田 正明	社会医療法人 西陣健康会堀川病院
代議員	小坪 俊昭	社会医療法人 岡本病院（財団）京都岡本記念病院

互選	氏名	所属事業所の名称
理事	矢野 裕典	医療法人社団 洛和会
理事	大橋 博行	医療法人財団 医道会
理事	林 起予則	社会医療法人 健康会京都南病院
理事	真鍋雄一郎	医療法人社団 医聖会
理事	八木 利之	医療法人社団 洛和会
監事	津崎 桂子	一般社団法人 京都私立病院協会
代議員	山本 昌孝	医療法人 寿尚会洛陽病院
代議員	河瀬 雅彦	医療法人社団 洛和会
代議員	阿部 二郎	医療法人 医仁会武田総合病院
代議員	松村 浩史	京都府病院協同組合
代議員	出野 順	学校法人 京都中央看護師養成事業団

敬称略（役職ごと、順不同）

⑥ 5年間の諸数値推移（9月末時点）

年	加入事業所数	加入者数 (人)	標準年金 受給者数(人)	基本上乗せ年金 受給者数(人)	年金資産 (億円)
2020（令和2）	72	16,605	2,218	3,858	254
2021（令和3）	71	16,795	2,302	3,291	264
2022（令和4）	71	16,890	2,360	3,219	244
2023（令和5）	71	16,852	2,412	3,161	249
2024（令和6）	72	16,905	2,457	3,095	247

■ (専)京都中央看護保健大学校

～ 新たな時代に向かって ～



🕒 新型コロナウイルス感染症への対策

2020年（令和2年）からの5年間は、新型コロナウイルス感染症への対応に終始した5年間であった。2020年4月の「新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する法律」に基づく緊急事態宣言が発出されて以降、複数回にわたる宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用などによって入学式の中止や登校の自粛、オンライン授業の実施や臨地実習の学内実習への切り替えといったこれまでに経験したことのない対応を余儀なくされることとなった。

2023年5月に感染症法上の位置付けが変更された後も感染は終息することなく、現在も感染者が出る度に代替授業や代替実習などの調整が続いている。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大はマイナスの要素ばかりではなかった。オンライン授業を行うために整備した校内無線LANは、ICT教育の導入の引き金になり、対面授業と同等以上の教育効果を目指したオンライン授業は、教員の教育方法の幅を広げることになった。「ピンチはチャンス！」として取り組んだことが、新たな一歩を踏み出すことに繋がったと言える。

🕒 第5次改正カリキュラムへの対応

保健師助産師看護師学校養成所指定規則が一部改正され、第5次改正カリキュラムが2022年度（令和4年度）入学生から適用されることとなった。適用の数年前から、改正内容に合わせた新たなカリキュラムの編成のために議論を続け、最終的に看護学科124単位、看護保健学科128単位の独自性のあるカリキュラムを作り上げた。第40期生からこのカリキュラムで教育を行っており、2025年度（令和7年度）に完成年度を迎える。

🕒 ICT教育への転換

コロナ禍において急速に導入が進んだICT教育は、2023年（令和5年）2月には全国の高校の88.6%が実施しているとの調査結果が出された。（旺文社「全国の高等学校におけるICT活用実態調査」による）

こうした教育を受けた世代が入学してくることや、少しでも早くICT教育を実施して他の看護学校との差別化を図ることなどを理由として、2023年度（令和5年度）に入学した第41期生からiPadと電子テキストを活用したICT教育に切り替えた。切り替

えにあたっては既設の設備に加えてICT教育を運用するための教育システムを導入し、ペーパーレスを含めて徐々に教育のデジタル化を進めている。

◎ 学生募集

18歳人口の減少や高校生の大学志向の高まり、看護職者を目指す生徒の減少などによって看護学校の受験者数は全国的に減少傾向にある。

本校においても年々受験者が減少しているが、2024年度（令和6年度）入学生は開校以来初めて入学定員を充足させることができなかった。この世代の18歳人口は、前年度の数字を下回った1992年度（平成4年度）以降最少の人数であり、統計上、さらに減少していくことが推測されている。今以上に入学生を確保することが困難になるため、早急な対策が必要である。

◎ 新たな時代に向かって

この5年間に京都桂看護専門学校が閉校し、舞鶴医療センター附属看護学校と京都府医師会看護専門学校が学生募集の停止を発表した。後者の2校は在校生が卒業した時点で閉校する。

学生募集を取り巻く環境は今後ますます厳しくなり、長年にわたって京都の地域医療を支える看護職者を輩出してきた本校としても、この大きな波を乗り越えることは並大抵のことではないと考えられる。

しかし、一方では超高齢化社会のなかで医療が担う役割はさらに大きくなり、看護職者の必要性や重要性も一層高まっていくと考えられる。それだけに、これからの医療を支える人材を育成する本校がその歩みを止めるわけにはいかず、あらゆる方向性を探りながら学校の存続を目指していかなければならない。その過程には、一般社団法人京都私立病院協会をはじめ京都の地域医療を支える関係各位からのご協力が不可欠であり、そのお力を借りながら次の5年に向けて歩みを進めていきたい。

◎ 5年間の主な出来事

2020年（令和2年）

3月 第34期卒業（83人）

4月 第38期生入学（82人）

4月 第38期生入学式の開催中止

4月 「新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する法律」に基づく緊急事態宣言の発出に伴う登校の自粛

5月 「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止マニュアル」の作成

5月 校内無線LAN（WiFi）の整備

6月 オンライン授業の開始

9月 「大学等における修学の支援に関する法律」第7条第2項に基づく確認の通知（国の修学支援新制度の要件を満たしていることの通知）

2021年（令和3年）

3月 第35期卒業（82人）

4月 「新型コロナウイルス感染症の感染レベルに対応した行動指針」の策定

4月 第39期生入学（87人）

9月 煉瓦堀の撤去と新堀の設置工事の完了

2022年（令和4年）

3月 第36期卒業（76人）

4月 第5次改正カリキュラムに応じた学則の改正

4月 第40期生入学（83人）

8月 開校40周年記念事業（第1看護実習室の改修工事完了・実習教材の更新）

2023年（令和5年）

2月 開校40周年記念誌「40年のあゆみ」の発刊

3月 第37期卒業（82人）

4月 第41期生入学（88人）

4月 ICT教育の導入（第41期生～）

2024年（令和6年）

2月 開校40周年記念継続事業（屋上防水工事・外壁改修工事の完了）

3月 第38期卒業（71人）

4月 開校40周年記念継続事業（玄関ホール改修工事の完了）

4月 第42期生入学（76人）

年 表

年次	協会のあゆみ	医療界と社会の主なできごと	
2020 (令和2)	4月	<ul style="list-style-type: none"> 西脇隆俊京都府知事・門川大作京都市長に新型コロナウイルス感染症影響下における病院機能維持に向けた緊急要望 門川大作京都市長に新型コロナウイルスの感染拡大等による要介護認定に関する要望 	4月 <ul style="list-style-type: none"> 2020年度診療報酬改定。改定率+0.55%、うち0.08%は救急病院における勤務医の働き方改革への特例的な対応 京都府が緊急事態宣言（4/16～5/21）
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 第55回京都病院学会（学会長：清水鴻一郎）をWEB開催（6/14～7/12） 藤田都司氏（医療法人三幸会）が精神科看護業務功労者厚生労働大臣表彰を受賞（当協会推薦） 	
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 西脇隆俊京都府知事・門川大作京都市長に新型コロナウイルスの影響下における民間病院への支援に関し要望 	7月 <ul style="list-style-type: none"> 政府が新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「新型コロナウイルス感染症対策分科会」の設置を公表 熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で集中豪雨が発生（令和2年7月豪雨）。死者86人、負傷者82人
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度の京都府・京都市予算編成に際し、西脇隆俊京都府知事・門川大作京都市長に要望 2021年度介護報酬改定に関する要望書を田村憲久厚生労働大臣に提出 	9月 <ul style="list-style-type: none"> 第4次安倍晋三内閣が終了し、菅義偉内閣が発足。厚生労働大臣に田村憲久氏が就任
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 創立56周年記念式典を開催、289名の優良職員・永年勤続職員を表彰、第29期保健医療管理者養成講座終講生23名を保健医療管理士に認定 	
	12月	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に関し、西脇隆俊京都府知事・門川大作京都市長に緊急提言 過去に経験あるいは未経験の看護補助者の就業推進制度「きらめく★看護補助者ネット」を開始。講習会の開催等により病院の看護補助者の確保を推進 	
2021 (令和3)	2月	<ul style="list-style-type: none"> 岡田純氏（元副会長・脳神経リハビリ北大路病院理事長）が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞（当協会推薦） 京都府からの委託により、病院清掃会社の清掃業務担当者を対象とした「病院清掃における新型コロナウイルス感染防止対策研修会」を開催（2/2・3/9） 	1月 <ul style="list-style-type: none"> 京都府が緊急事態宣言（1/14～2/28） アメリカ合衆国大統領にジョー・バイデン氏が就任 2月 <ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザ対策特別措置法が改正。「まん延防止措置等重点措置」が創設 福島県沖地震が発生。宮城県と福島県で最大震度6強を観測。死者3人、負傷者186人
	4月		4月 <ul style="list-style-type: none"> 2021年度介護報酬改定。改定率+0.70%（うち0.05%は新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価） 京都府まん延防止等重点措置（4/12～4/24） 京都府が緊急事態宣言（4/25～6/20） 第8期介護保険事業計画が開始。京都府は「第9次京都府高齢者健康福祉計画」（2021年度～2023年度）が開始、京都市は「第8期京都市民長寿すこやかプラン」（2021年度～2023年度）が開始
	5月	<ul style="list-style-type: none"> 自由民主党京都府議会議員団に新型コロナウイルス感染症への対応に係る要望 一般社団法人として第5期となる当協会役員体制が発足（会長 清水鴻一郎） 	

年次	協会のあゆみ	医療界と社会の主なできごと	
2021 (令和3)	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市からの委託により、京都市新型コロナワクチン集団接種会場への医師・薬剤師・看護師の派遣を開始（6/9～2023年10/29） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月 ・京都府まん延防止等重点措置（6/21～7/11） 7月 ・静岡県熱海市伊豆山で土石流災害が発生（熱海市伊豆山土石流災害）死者28人、負傷者3人 ・第32回夏季オリンピック（東京オリンピック）開催（7/23～8/8） 8月 ・京都府まん延防止等重点措置（8/2～8/19） ・西日本を中心とした大雨による被害発生。死者13人、負傷者17人 ・京都府が緊急事態宣言（8/20～9/30） ・第16回夏季パラリンピック（東京パラリンピック）開催（8/24～9/5） 9月 ・「デジタル庁」が発足 10月 ・改正医療法で診療放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士・救急救命士の業務範囲が拡大 ・菅義偉内閣が終了し、岸田文雄内閣が発足。厚生労働大臣に後藤茂之氏が就任 ・オンライン資格確認等システムの本格運用開始 11月 ・第2次岸田内閣が発足。後藤厚生労働大臣が再任
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府からの委託により、京都府の新型コロナ宿泊療養施設に24時間体制での看護師の派遣を開始（9/1～2023年3/31） ・富士原正人氏（副会長・京都ルネス病院理事長）が救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞（当協会推薦） 	
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対応について、西脇隆俊京都府知事と当協会役員で意見交換 ・2022年度の京都府・京都市予算編成に際し、西脇隆俊京都府知事・門川大作京都市長に要望 ・令和3年度京都市自治記念日表彰で当協会が「新型コロナウイルス感染症対策特別表彰」を受賞 ・第56回京都病院学会（学会長：池田栄人・京都第一赤十字病院院長）を開催（一般演題は動画配信10/24～11/28） 	
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・創立57周年記念式典を開催、330名の優良職員・永年勤続職員を表彰、第30期保健医療管理者養成講座終講生25名を保健医療管理士に認定 	
2022 (令和4)	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・石丸庸介氏（副会長・京都田辺中央病院理事長）が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞（当協会推薦） ・栄養管理帳票マニュアル（2021年度版）を発行 	<ul style="list-style-type: none"> 1月 ・京都府まん延防止等重点措置（1/27～3/21） 2月 ・ロシアがウクライナへの侵攻を開始 3月 ・福島県沖地震が発生し、宮城県と福島県で震度6強。死者4人、負傷者248人 4月 ・2022年度診療報酬改定。改定率+0.43%、うち、看護の処遇改善のための特例的な対応+0.20%、リフィル処方箋の導入・活用による効率化△10%等 5月 ・新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関し、西脇隆俊京都府知事・門川大作京都市長に要望 7月 ・安倍晋三元首相が奈良市で銃撃され死亡 ・世界保健機関（WHO）が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言したサル痘が国内で初確認 8月 ・岸田内閣第1次改造内閣が発足。厚生労働大臣に加藤勝信氏が就任
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の公費入院患者の請求に関し、西脇隆俊京都府知事・門川大作京都市長に要望 	
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション帳票マニュアル（2022年8月版）を発行 	
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・川俣 潔氏（京都田辺中央病院周産期診療センター長兼産婦人科部長）が産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞（当協会推薦） ・情報セキュリティ向上対策事業検討委員会を設置。セミナーの開催、専門家派遣によるセキュリティ診断、セキュリティ対策経費補助を実施 	

年次	協会のあゆみ	医療界と社会の主なできごと
2022 (令和4)	<p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年度の京都府予算編成に際し、西脇隆俊京都府知事に要望 ・民間病院における光熱費（電気・ガス・燃料）及び食材費等に関し、西脇隆俊京都府知事に緊急要望 <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第57回京都病院学会（学会長：藤澤明生・賀茂病院理事長）を開催（一般演題は動画配信11/13～12/11） ・創立58周年記念式典を開催、330名の優良職員・永年勤続職員を表彰、第31期保健医療管理者養成講座終講生22名を保健医療管理士に認定 ・2023年度の京都市予算編成に際し、門川大作京都市長に要望 ・民間病院における光熱費（電気・ガス・燃料）及び食材費等に関し、門川大作京都市長に緊急要望 	<p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣総理大臣を本部長とする「医療DX推進本部」が設置
2023 (令和5)	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策マニュアル（2023年1月版）を発行 <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑典男氏（理事・長岡病院院長）が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受賞（当協会推薦） <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢田貴子氏（堀川病院看護部長）が優良看護職員厚生労働大臣表彰を受賞（当協会推薦） ・一般社団法人として第6期となる当協会役員体制が発足（会長 清水鴻一郎） <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当協会の幹事で「令和5年度近畿病院団体連合会第1回委員会」を開催。情報セキュリティ対策、物価高騰について協議 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿病院団体連合会委員長名（清水鴻一郎）で武見敬三厚生労働大臣にサイバーセキュリティに対する病院への支援を要望 <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度の京都府予算編成に際し、西脇隆俊京都府知事に要望 ・第58回京都病院学会（学会長：若園吉裕・京都桂病院院長）を開催（一般演題は動画配信10/29～11/26） <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度の京都市予算編成に際し、門川大作京都市長に要望 ・創立59周年記念式典を開催、446名の優良職員・永年勤続職員を表彰、第32期保健医療管理者養成講座終講生27名を保健医療管理士に認定 	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子処方箋の運用開始 <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン資格確認導入の原則義務化 ・「こども家庭庁」が発足 <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界保健機関（WHO）が新型コロナウイルス感染症をめぐる緊急事態宣言の終了を発表。新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類に移行 ・先進7か国首脳会議（G7広島サミット）開催（5/19～5/21） <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療DX推進本部が2030年へ向けた医療DXの推進に関する工程表を発表 ・マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたマイナンバー法等改正案が可決、成立。 <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府が外来受診の際に紹介状が必要となる「紹介受診重点医療機関」を公表 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政府が感染症危機対応の司令塔となる「内閣感染症危機管理統括庁」を設置 <p>・岸田内閣第2次改造内閣が発足。厚生労働大臣に武見敬三氏が就任</p>
2024 (令和6)	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗菌薬適正使用マニュアル（2024年1月版）を発行 <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度以降の初期臨床研修定員数に関し、西脇隆俊京都府知事に緊急要望 ・当協会の幹事で「令和5年度近畿病院団体連合会第2回委員会」を開催。2024年診療報酬改定を協議、西脇隆俊京都府知事が講演 	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震が発生。輪島市と羽咋郡志賀町で最大震度7。死者462人、負傷者1,300人以上

年次	協会のあゆみ	医療界と社会の主なできごと
2024 (令和6)	<p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> 当協会・京都府医師会・京都府病院協会・京都府警察の4者による「サイバーセキュリティ共同対処協定」を締結 <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 京都市域病院群輪番制病院運営事業補助に関し、松井孝治京都市長に要望 河端博也氏（理事・河端病院理事長）が救急医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞（当協会推薦） 佐川典正氏（洛和会音羽病院総合女性医学健康センター参与）が産科医療功労者厚生労働大臣表彰を受賞（当協会推薦） 創立60周年記念事業の一環として「第65回全日本病院学会in京都」を開催 <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年度の京都府予算編成に際し、西脇隆俊京都府知事に要望 リハビリテーション帳票マニュアル（2024年10月版）を発行 <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 2024年度の京都市予算編成に際し、門川大作京都市長に要望 創立60周年記念式典を開催、47名の特別功労者及び358名の優良職員・永年勤続職員を表彰、第33期保健医療管理者養成講座終講生23名を保健医療管理士に認定 	<p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省が「新たな地域医療構想等に関する検討会」の初会合を開催。人口減少や高齢化が進んだ2040年ごろを見据え、地域の医療提供体制についての議論を開始 「介護療養型医療施設」が3月31日をもって廃止。介護保険制度施行後24年で廃止 <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の時間外労働に対する上限規制が開始 2024年度介護報酬改定。改定率+1.59%、うち介護職員の処遇改善分が+0.98%。（訪問看護、訪問リハ、居宅療養管理指導、通所リハは6月施行） 第8次医療計画が開始。京都府は「京都府保健医療計画」（2024年度～2029年度）並びに関連計画が開始 第9期介護保険事業計画が開始。京都府は「第10次京都府高齢者健康福祉計画」（2024年度～2026年度）が開始、京都市は「第9期京都市民長寿すこやかプラン」が開始（2024年度～2026年度） <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> 2024年度診療報酬改定。改定率+0.88%、うち、40歳未満勤務医等の賃上げ+0.28%、看護職員・病院薬剤師等のベア実施のための特例的対応+0.61%、入院時の食費基準額の引き上げ（1食当たり30円）対応+0.06%、生活習慣病等の管理料、処方箋料等の再編等の効率化・適正化▲0.25% <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> 政府が新たな「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」を決定。2013年の策定以来初の抜本的な改定を行い、新型コロナ対応で課題となった項目を中心に記載を充実 <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 「外来機能報告制度」が開始 <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸田内閣が終了し、石破茂内閣が発足。厚生労働大臣に福岡資麿氏が就任 第2次石破内閣が発足。福岡厚生労働大臣が再任 <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康保険証の新規発行終了。マイナ保険証の利用が基本となる
2025 (令和7)	<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 清水鴻一郎会長・西脇隆俊京都府知事・松井孝治京都市長の3者で創立60周年記念座談会を開催（3/15京都新聞紙面に掲載） <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 当協会ホームページがリニューアル 	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国大統領にドナルド・トランプ氏が就任

京都私立病院協会 役員の変遷と業務分担

2020(令和2)年度		2021(令和3)年度～2022(令和4)年度	
会 長	清水鴻一郎(京都リハビリテーション病院)	会 長	清水鴻一郎(京都リハビリテーション病院)
副会長	久野成人(京都久野病院) 富士原正人(京都ルネス病院) 武田隆久(武田病院グループ) 富田哲也(富田病院) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路病院)(～2020.5) 小森直之(なぎ辻病院) 石丸庸介(田辺中央病院) 藤澤明生(賀茂病院)	副会長	久野成人(京都久野病院) 富士原正人(京都ルネス病院) 武田隆久(武田病院グループ) 富田哲也(富田病院) 小森直之(なぎ辻病院) 石丸庸介(京都田辺中央病院) 藤澤明生(賀茂病院) 真鍋由美(八幡中央病院)(幹事～2021.5、2021.6～)
理 事	畑 典男(長岡病院) 近藤泰正(堀川病院) 菅 知行(愛生会山科病院) 茨木孝二(亀岡病院)	理 事	茨木孝二(亀岡病院) 菅 知行(愛生会山科病院)(～2021.5) 近藤泰正(堀川病院) 畑 典男(長岡病院) 清水 聡(京都南病院)(幹事～2021.05、2021.6～) 清水 聡(京都南西病院)(幹事～2021.05、理事2021.06～2021.7) 清水史記(シミズ病院)(幹事～2021.05、2021.6～)
幹 事	清水 聡(京都南病院) 清水 聡(京都南西病院) 清水史記(シミズ病院) 明石 純(明石病院) 市場真澄(いわくら病院) 真鍋由美(八幡中央病院) 仲田昌司(三菱京都病院) 武田敏也(京都武田病院)	幹 事	赤木 博(なごみの里病院)(2021.6～) 明石 純(明石病院) 市場真澄(いわくら病院) 菊地三弥(千春会病院)(2021.6～) 兄玉直俊(京都近衛リハビリテーション病院)(2021.6～) 武田敏也(京都武田病院) 仲田昌司(三菱京都病院)
監 事	大槻秋司(亀岡病院) 清水 紘(嵯峨野病院) 高松晃司(京都成蹊法律事務所)	監 事	大槻秋司(亀岡病院) 清水 紘(嵯峨野病院) 高松晃司(京都成蹊法律事務所)(～2021.5) 津田政典(京都成蹊法律事務所)(2021.6～)
<p>〈政策委員会〉清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 岡田(～2020.5) 小森 石丸 藤澤 〈渉外・交渉〉清水鴻 久野 富士原 武田 〈総務部〉◎武田隆 ○小森 地区別組織/京都市域—武田隆 北部地区—富士原 南部地区—石丸 職種・職務別組織/事務長会—茨木 市場 仲田 看護部長会—石丸 藤澤 薬剤師部会—畑 放射線技師部会—菅 臨床検査部会—武田敏 栄養士部会—畑 リハビリテーション部会—岡田(～2020.5) 清水史(2020.7～) 臨床工学技士部会—武田敏 部会連携会議—明石 茨木 メディワークセンター—事業運営委員会/畑 市場 仲田 近畿病院団体連合会/委員会—清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 岡田(～2020.5) 小森 石丸 藤澤 事務長会—茨木 市場 仲田 四病院団体協議会/武田隆 小森 〈地域医療部〉◎武田隆 ○富田 地域医療構想検討委員会/清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 岡田(～2020.5) 小森 石丸 藤澤 救急医療検討委員会/武田隆 富士原 清水聡 清水史 二次病院群輪番制/京都市域—清水史 山城北—石丸 感染症対策委員会/清水聡 清水史 医療安全対策委員会/小森 武田隆 医療事故調査制度/富士原 在宅療養あんしん病院登録システム/久野 富士原 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会/富士原 武田隆 岡田(～2020.5) 病院認知症対応力向上事業/武田隆 富田 近藤 畑 看護人材早期復帰支援事業検討委員会/富士原 武田隆 茨木 看護職確保プロジェクトチーム/茨木 離職看護師能力再開発事業/石丸 藤澤 京都府医療勤務環境改善支援センター/清水鴻 石丸 清水聡 清水史 真鍋 医療労務管理支援事業/清水鴻 石丸 清水聡 清水史 真鍋 医療従事者キャリア向上事業/清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 岡田(～2020.5) 小森 石丸 医療従事者勤務環境改善体制整備事業/武田隆 仲田 医療従事者確保強化事業/畑 茨木 病院地域包括ケアシステム強化事業/久野 近藤 地域連携型在宅医療支援病院事業/石丸 武田隆 富士原 〈保険部〉◎久野 ○富士原 診療報酬委員会/富士原 仲田 介護保険委員会/久野 清水聡 近藤 茨木 介護サービス第三者評価事業/久野 清水聡 近藤 京都市新規介護認定調査事業/久野 清水聡 近藤 〈学術研修部〉◎岡田(～2020.5) ◎石丸(2020.6～) ○石丸(～2020.5) ○藤澤(2020.6～) 京都病院学会理事会/清水鴻 岡田(～2020.5) 小森 石丸 藤澤 近藤 清水聡 清水聡(2020.12～) 清水史(2020.12～) 看護卒後教育/石丸 藤澤 幹部教育(中堅幹部職員研修)/茨木 市場 初級教育(教育研修基礎コース)/清水聡 真鍋 菅 北部地区:富士原 保健医療管理者養成講座運営委員会/岡田(～2020.5) 石丸(2020.6～) 清水史 真鍋 医師臨床研修/武田隆 清水聡 〈経営管理部〉◎藤澤 環境問題委員会/藤澤 市場 明石 病院機能向上委員会/富士原 武田隆 明石 税制・補助金/小森 武田隆 明石 〈厚生部〉◎富士原 ○真鍋 京都私立病院報編集委員会/近藤 野球大会実行委員会/市場 バレーボール大会実行委員会/真鍋 フットサル大会実行委員会/武田 会員親睦ゴルフコンペ/富士原 茨木</p>		<p>〈政策委員会〉清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 小森 石丸 藤澤 真鍋(2021.6～) 〈渉外・交渉〉清水鴻 久野 富士原 武田隆 〈総務部〉◎武田隆 ○小森 地区別組織/京都市域—武田隆 北部地区—富士原 南部地区—石丸 職種・職務別組織/事務長会—茨木 市場 仲田 看護部長会—石丸 藤澤 薬剤師部会—畑 放射線技師部会—菅(～2021.5) 菊地(2021.6～) 臨床検査部会—武田敏 栄養士部会—畑(～2021.5) 兄玉(2021.6～) リハビリテーション部会—清水史(～2021.5) 兄玉(2021.6～) 臨床工学技士部会—武田敏 部会連携会議—明石 茨木 メディワークセンター—事業運営委員会/畑 市場 仲田 近畿病院団体連合会/委員会—清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 小森 石丸 藤澤 真鍋(2021.6～) 事務長会—茨木 市場 仲田 四病院団体協議会/武田隆 小森 〈地域医療部〉◎武田隆 ○富田 地域医療構想検討委員会/清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 小森 石丸 藤澤 真鍋(2021.6～) 救急医療検討委員会/武田隆 富士原 清水聡 清水史 二次病院群輪番制/京都市域—清水史 山城北—石丸 感染症対策委員会/清水聡 清水史 菊地(2021.6～) 医療安全対策委員会/小森 武田隆 医療事故調査制度/富士原 小森 在宅療養あんしん病院登録システム/久野 富士原 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会/富士原 武田隆 兄玉(2021.6～) 病院認知症対応力向上事業/武田隆 富田 近藤 畑 看護人材早期復帰支援事業検討委員会/富士原 武田隆 茨木 看護職確保プロジェクトチーム/茨木 離職看護師能力再開発事業/石丸 藤澤 京都府医療勤務環境改善支援センター/清水鴻 石丸 真鍋 清水聡 清水史 医療労務管理支援事業/清水鴻 石丸 真鍋 清水聡 清水史 医療従事者キャリア向上事業/清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 小森 石丸 藤澤 真鍋(2021.6～) 医療従事者勤務環境改善体制整備事業/武田隆 仲田 医療従事者確保強化事業/畑 茨木 病院地域包括ケアシステム強化事業/久野 近藤 菊地(2021.6～) 地域連携型在宅医療支援病院事業/石丸 武田隆 富士原 〈保険部〉◎久野 ○富士原 診療報酬委員会/富士原 仲田 介護保険委員会/久野 清水聡(～2021.7) 近藤(～2021.5) 茨木 赤木(2021.6～) 菊地(2021.8～) 介護サービス第三者評価事業/久野 清水聡(～2021.7) 近藤(～2021.5) 赤木(2021.6～) 京都市新規介護認定調査事業/久野 清水聡(～2021.7) 近藤(～2021.5) 赤木(2021.6～) 〈学術研修部〉◎石丸 ○藤澤 京都病院学会理事会/清水鴻 小森 石丸 藤澤 真鍋(2022.4～) 近藤 清水聡 清水聡(～2021.7) 清水史 看護卒後教育/石丸 藤澤 幹部教育(中堅幹部職員研修)/茨木 市場 仲田(2021.6～) 初級教育(教育研修基礎コース)/清水聡(～2021.7) 真鍋 菅(～2021.5) 北部地区:富士原 保健医療管理者養成講座運営委員会/石丸 真鍋 清水史 医師臨床研修/武田隆 清水聡 〈経営管理部〉◎藤澤 環境問題委員会/藤澤 市場 明石 病院機能向上委員会/富士原 武田隆(～2021.5) 明石 武田敏(2021.6～) 税制・補助金/小森 武田隆 明石 〈厚生部〉◎富士原 ○真鍋 京都私立病院報編集委員会/近藤 野球大会実行委員会/市場 バレーボール大会実行委員会/真鍋 フットサル大会実行委員会/武田敏 会員親睦ゴルフコンペ/富士原 茨木</p>	

2023(令和5)年度～2024(令和6)年度

会 長	清水鴻一郎(京都リハビリテーション病院)	
副会長	久野成人(京都久野病院) 武田隆久(武田病院グループ) 小森直之(なぎ辻病院) 藤澤明生(賀茂病院)	富士原正人(京都ルネス病院) 富田哲也(富田病院) 石丸庸介(京都田辺中央病院) 真鍋由美(八幡中央病院)
理 事	茨木孝二(亀岡病院) (～2023.5) 清水 聡(京都南病院) 清水史記(シミズ病院) 畑 典男(長岡病院) 赤木 博(なごみの里病院) (幹事～2023.5、2023.6～) 明石 純(明石病院) (幹事～2023.5、2023.6～) 市場真澄(いわくら病院) (幹事～2023.5、2023.6～) 菊地三弥(千春会病院) (～2023.5) 児玉直俊(京都近衛リハビリテーション病院) (幹事～2023.5、2023.6～) 武田敏也(京都武田病院) (幹事～2023.5、2023.6～) 仲田昌司(三菱京都病院) (幹事～2023.5、2023.6～) 海藻 達(京都回生病院) (2023.6～) 河端博也(河端病院) (2023.6～) 清水幹久(脳神経リハビリ北大路病院) (2023.6～) 矢野裕典(洛和会音羽病院) (2023.6～)	
監 事	大槻秩司(亀岡病院) (～2023.5) 清水 紘(嵯峨野病院) 近藤泰正(堀川病院) (理事～2023.5、2023.6～2024.3) 津田政典(京都成蹊法律事務所)	
(政策委員会) 清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 小森 石丸 藤澤 真鍋 (渉外・交渉) 清水鴻 久野 富士原 武田隆 (総務部) ◎武田隆 (～2023.5) ◎石丸 (2023.6～) ○小森 地区別組織/京都市域— 武田隆 北部地区—富士原 南部地区—石丸 職種・職務別組織/事務長会—茨 木 (～2023.5) 市場 仲田 海藻 (2023.6～) 看護部長会—石丸 薬剤師部会—畑 放射線技師部会—菊地 (～2023.5) 河端 (2023.6～) 臨床検査部会—武田敏 栄養 士部会—児玉 リハビリテーション部会—児玉 臨床工学技士部会—武田敏 部 会連携会議—明石 茨木 (～2023.5) 小森 (2023.6～) メディワークセンター事業 運営委員会/畑 市場 仲田 近畿病院団体連合会/委員会—清水鴻 久野 富 士原 武田隆 富田 小森 石丸 藤澤 真鍋 (2021.6～) 事務長会—茨木 (～ 2023.5) 市場 仲田 海藻 (2023.6～) 四病院団体協議会/武田隆 小森 (地域医療部) ◎武田隆 ○富田 地域医療構想検討委員会/清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 小森 石丸 藤澤 真鍋 救急医療検討委員会/武田隆 富士原 清水聡 清水史 河端 (2023.6～) 二次病院群輪番制/京都市域—清水史 山城 北—石丸 感染症対策委員会/清水聡 清水史 菊地 (～2023.5) 医療安全対策 委員会/小森 武田隆 医療事故調査制度/富士原 小森 在宅療養あんしん病 院登録システム/久野 富士原 府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員 会/富士原 武田隆 児玉 病院認知症対応力向上事業/武田隆 富田 近藤 (～ 2023.5) 畑 看護人材早期復帰支援事業検討委員会/富士原 武田隆 (～2023.5) 茨木 (～2023.5) 真鍋 (2023.6～) 海藻 (2023.6～) 看護職確保プロジェクトチ ャーム/茨木 (～2023.5) 海藻 (2023.6～) 離職看護師能力再開発事業/石丸 藤澤 京都府医療勤務環境改善支援センター/清水鴻 石丸 真鍋 清水聡 清水史 医療労務管理支援事業/清水鴻 石丸 真鍋 清水聡 清水史 医療従事者キャ リア向上事業/清水鴻 久野 富士原 武田隆 富田 小森 石丸 藤澤 真鍋 医療従事者勤務環境改善体制整備事業/武田隆 仲田 医療従事者確保強化事業 /畑 茨木 (～2023.5) 市場 (2023.6～) 病院地域包括ケアシステム強化事業/久 野 近藤 (～2023.5) 菊地 (～2023.5) 赤木 (2023.6～) 矢野 (2023.6～) 地域連 携型在宅医療支援病院事業/石丸 武田隆 富士原 (保険部) ◎久野 ○富士原 診療報酬委員会/富士原 仲田 海藻 (2023.6～) 介 護保険委員会/久野 茨木 (～2023.5) 赤木 菊地 (～2023.5) 矢野 (2023.6～) 介護サービス第三者評価事業/久野 赤木 矢野 (2023.6～) 京都市新規介護認 定調査事業/久野 赤木 矢野 (2023.6～) (学術研修部) ◎石丸 (～2023.5) ◎真鍋 (2023.6～) ○藤澤 (～2023.5) ○石丸 (2023.6～) 京都病院学会理事会/清水鴻 (～2023.5) 小森 (～2023.5) 石丸 藤澤 真鍋 近藤 (～2023.5) 清水聡 清水史 赤木 (2023.6～) 矢野 (2023.6～) 看護卒後教育/石丸 藤澤 幹部教育(中堅幹部職員研修)/茨木 (～2023.5) 市 場 仲田 海藻 (2023.6～) 初級教育(教育研修基礎コース)/真鍋 (～2023.5) 北部地区: 富士原 (～2023.5) 仲田 (2023.6～) 市場 (2023.6～) 保健医療管理者養 成講座運営委員会/石丸 真鍋 清水史 清水 幹久 (2023.6～) 医師臨床研修 /武田隆 清水聡 矢野 (2023.6～) (経営管理部) ◎藤澤 ○小森 (2023.6～) 環境問題委員会/藤澤 市場 明石 (～ 2023.5) 武田敏 (2023.6～) 病院機能向上委員会/富士原 明石 武田敏 情報 セキュリティ対策向上事業/児玉 (2023.6～) 税制・補助金/小森 武田隆 (～ 2023.5) 明石 清水 幹久 (2023.6～) (厚生部) ◎富士原 ○真鍋 京都私立病院報編集委員会/近藤 (～2023.5) ◎清水 幹 (2023.6～) 野球大会実行委員会/市場 (～2023.5) 海藻 (2023.6～) バレーボ ール大会実行委員会/真鍋 フットサル大会実行委員会/武田敏 会員親睦グル ヲコンペ/富士原 茨木 (～2023.5)		

関連諸機関・団体への推薦／派遣委員

委員会等の名称	2020(令和2)年度
【京都府関係】	
京都府医療審議会・法人部会	清水鴻一郎
京都府医師等働き方改革検討部会	武田隆久、石丸庸介
京都市域地域医療構想調整会議	清水鴻一郎、久野成人、武田隆久
京都府医療対策協議会	清水鴻一郎
京都府医療対策協議会(山城医療圏代表)	石丸庸介
医師確保ワーキングチーム	久野成人
京都府循環器病対策推進協議会	—
京都府循環器病対策推進協議会脳卒中部会	—
京都府循環器病対策推進協議会心血管疾患部会	—
京都府循環器医療ワーキングチーム	—
京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議	清水鴻一郎
京都府新型コロナウイルス感染症対策協議会	清水鴻一郎、久野成人、武田隆久、 藤澤明生、清水 聡
京都府薬事審議会	—
京都府国民健康保険運営協議会	—
京都府地域医療支援センター運営会議	清水 聡
内科専門研修プログラム関係者会議	—
京都府看護師等確保対策推進協議会	石丸庸介
京都府立看護学校のあり方懇話会	—
京都地域包括ケア推進機構理事会	清水鴻一郎
京都府地域包括ケア構想勉強会	—
在宅療養あんしん病院登録システム運営会議	久野成人、富士原正人
認知症総合対策推進プロジェクト全体会	武田隆久
新・京都市式オレンジプラン推進ワーキング	富田哲也
看取り対策協議会	久野成人
京都府高齢者サービス総合調整推進会議	久野成人
多職種による在宅療養支援部会	武田隆久
京都府死因究明等推進協議会	富士原正人
京都府救急医療懇談会	武田隆久
京都府高度救急業務推進協議会	武田隆久
三次救急医療体制のあり方検討部会	—
京都府の医療機関に勤務する救急救命士に関する委員会	—
京都府高齢者救急医療体制のあり方検討部会	—
京都府救急医療のあり方検討委員会	—
救急要請および在宅医療に対応した救急体制の構築に係る検討会	武田隆久
京都府救急搬送体制のあり方検討委員会	—
京都府周産期医療協議会	石丸庸介
京都府周産期医療体制強化ワーキングチーム検討会議	—
京都府周産期母子医療センター全体会議	石丸庸介
京都府南部精神科救急医療システム連絡調整会議	武田隆久
京都府北部精神科救急医療システム連絡調整会議	武田隆久
京都府災害拠点病院等連絡協議会・京都DMAT 連絡協議会	武田隆久
京都府災害時要配慮者避難支援センター幹事会	武田隆久
京滋ドクターヘリ運航調整委員会	武田隆久
ドクターヘリ症例検討部会	武田隆久
救急安心センターきょうと(＃7119)検証会議	武田隆久
外国人患者受入体制モデル構築事業調整会議	清水 聡
京都府地域リハビリテーション連携推進会議(京都府リハビリテーション部会)	岡田 純(～2020年5月)、武田隆久 (2020年6月～)
京都府リハビリテーション教育センター運営委員会	岡田 純(～2020年5月)、武田隆久 (2020年6月～)
総合リハビリテーション支援拠点施設整備基本計画に係る意見聴取会議	—
京都府北部地域リハビリテーション提供体制充実検討会議	富士原正人
京都府がん対策推進協議会(がん登録部会)	富士原正人
京都府がん医療戦略推進会議	富士原正人
京都府がん医療戦略推進会議・地域連携部会	富士原正人
京都府肝炎対策協議会	富士原正人
京都府糖尿病重症化予防戦略会議	藤澤明生
京都府アレルギー疾患医療連絡協議会	—
京都府感染症対策連携協議会	—
京都府新型インフル等対策行動計画有識者会議	—
京都府ワクチン等確保検討会	清水 聡
エイズ治療拠点病院等連絡会議	清水 聡
京都府難病医療連絡協議会	富田哲也
京都府重度障害者医療助成制度あり方検討会議	—

関連諸機関・団体への推薦／派遣委員

委員会等の名称	2020(令和2)年度
きょうと地域創生府民会議	富田哲也
京都府省エネ対策連絡調整会議	茨木孝二
京都府少子化対策戦略会議	清水鴻一郎
京都府小児慢性疾患児童等対策地域支援協議会	石丸庸介
京都府移行期医療支援体制検討会	—
京都府少子化対策府民会議	石丸庸介
京都府医療的ケア児等支援協議会	石丸庸介
京都府先天性代謝異常等検査検討委員会	石丸庸介
京都府子育て支援医療助成制度あり方検討会議	武田隆久
京都歯と口の健康づくり推進協議会(京都8020運動推進協議会)	富田哲也
京都府自殺対策推進協議会	武田隆久
京都府薬剤師確保協議会	—
後発医薬品安心使用に係る意見交換会	武田隆久
配偶者等からの暴力に関するネットワーク京都会議(代表者会議)	石丸庸介
きょうと婚活支援ネットワーク会議	津崎桂子
京都府婚活マスター	津崎桂子
京都府就業支援・人材確保計画推進会議	津崎桂子
京都地域包括ケア推進機構プロジェクト推進業務に係る意見聴取ステキ女子のからだメンテプロジェクト応援団体会議	津崎桂子
【京都市関係】	
地方独立行政法人京都市立病院機構評価委員会	清水鴻一郎
京北病院が果たす機能の在り方検討会	—
京都市安心救急ネット京都推進会議	清水鴻一郎
京都市救急救命士に関する懇話会	武田隆久
京都市・乙訓メディカルコントロール協議会	京都市／武田隆久、清水史記・乙訓／奥宮清人(新河端病院)
京都市域災害医療連絡協議会	武田隆久
京都市急病診療所運営委員会	菅知行
京都市健康づくり協会	藤澤明生
京都PHR普及・活用に向けた検討会	—
健康長寿のまち・京都市民会議総会	富田哲也
京都市介護認定審査会	稲岡秀陽(京都九条病院)、坂田芳明(愛生会山科病院)、豊川 茂(金井病院)、野中崇大(京都桂病院)、牧野荒太郎(愛寿会同仁病院)、大島恭子(武田病院)、上山さゆみ(京都リハビリテーション病院)、岩田義信(武田病院)、永野裕子(吉川病院)、小澤拓也(伏見桃山総合病院)
【京都府医師会関係】	
救急・災害委員会	富士原正人、武田隆久、清水史記
京都府交通事故医療連絡協議会	武田隆久
学術・生涯教育委員会	近藤泰正
医療安全対策委員会	武田隆久
医療事故対策処理室(外科領域)	富士原正人
医療事故対策処理室(整形外科領域)	勝見泰和(十条武田リハビリテーション病院)
医療事故対策処理室(内科領域)	—
臨床研修のあり方に関する検討委員会	清水 聡
感染症対策委員会	清水 聡
地域ケア委員会	久野成人
京都府リハビリテーション連絡協議会・地域連携バス運営会議	岡田 純(～2020年5月)、富田哲也(2020年6月～)
京都府医療推進協議会代表者会議委員・実行委員	武田隆久
【京都府内医療・介護・福祉関係機関】	
公益社団法人京都府介護支援専門員会特任理事	久野成人
京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構理事会	久野成人(理事、認定・公表委員会委員)
京都府ナースセンター事業運営委員会	石丸庸介
京都府国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会	久野成人
京都府国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会介護医療部会	清水 聡
きょうと介護・福祉ジョブネット幹事会	茨木孝二

関連諸機関・団体への推薦／派遣委員

委員会等の名称	2020(令和2)年度
<p>社会を明るくする運動京都府推進委員会 タバコフリー京都 タバコ対策部会・医療・介護連携部会 京都府歯科医師会地域保健推進プロジェクトチーム会議 京都栄養医療専門学校教育課程編成委員 近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会 ドナルド・マクドナルド・ハウス京都整備資金募金委員会委員</p> <p>【中央病院団体関係】 日本病院会常任理事 日本病院会代議員 全日本病院協会理事 全日本病院協会京都府支部長 全日本病院協会京都府支部副支部長 日本医療法人協会副会長 日本医療法人協会理事 日本医療法人協会支部長</p>	<p>富田哲也 富士原正人 武田隆久 茨木孝二 茨木孝二</p> <p>—</p> <p>武田隆久 清水鴻一郎、久野成人 清水鴻一郎 清水鴻一郎 小森直之、石丸庸介 小森直之 富士原正人 武田隆久</p>

2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	2023(令和5)年度	2024(令和6)年度
富田哲也 富士原正人 武田隆久 茨木孝二 茨木孝二 — 武田隆久 清水鴻一郎、久野成人 清水鴻一郎 清水鴻一郎 小森直之、石丸庸介 小森直之 富士原正人 武田隆久	富田哲也 富士原正人 武田隆久 仲田昌司 茨木孝二 — 武田隆久 清水鴻一郎、久野成人 清水鴻一郎 清水鴻一郎 小森直之、石丸庸介 小森直之 富士原正人 武田隆久	富田哲也 富士原正人 — 仲田昌司 茨木孝二(~2023年5月)、仲田昌司 (2023年6月~) 清水鴻一郎 武田隆久 清水鴻一郎、久野成人 清水鴻一郎 清水鴻一郎 小森直之、石丸庸介 小森直之 富士原正人 武田隆久	富田哲也 富士原正人 — 仲田昌司 仲田昌司 清水鴻一郎 武田隆久 清水鴻一郎、久野成人 清水鴻一郎 清水鴻一郎 小森直之、石丸庸介 小森直之 富士原正人 武田隆久

●事務長会常任委員会 (部会別)

20年度 ◎茨木孝二 (亀岡) 【教育・研修部会】
○山田正明 (堀川) ○宝輪克博 (医仁会武田総合)
荒井達雄 (シミズ) 海藻 達 (京都回生) 末廣
健児 (京都田辺中央) 西海和成 (京都九条) 廣
瀬良太 (洛和会音羽) 藤井本龍弘 (桃仁会) 【総
務・企画部会】○仲田昌司 (三菱京都) ○金岩
孝也 (京都民医連中央) 浅田 淳 (長岡) 池内
研二 (学研都市) 小嶋明彦 (もみじヶ丘 ~20.5)
黒田正博 (京都リハビリテーション) 坂本裕里 (相
馬) 杉浦隆史 (京都南 20.7~) 【調査・研究部会】
○市場真澄 (いわくら) ○中川正之 (なごみの里)
小嶋明彦 (20.6~) 齊藤史雄 (京都南 ~20.6)
篠田浩之 (京都桂) 寺田克己 (京都武田 ~
20.11) 古田智史 (京都博愛会) 山口浩二 (京
都ルネス)

21・22年度 ◎茨木孝二 (亀岡) 【教育・研修部
会】○山田正明 (堀川) ○宝輪克博 (医仁会武
田総合 ~21.5) ○廣瀬良太 (洛和会音羽 21.6~)
麻田博之 (蘇生会総合 21.6~) 荒井達雄 (シミ
ズ ~22.5) 海藻 達 (京都回生) 末廣健児 (京
都田辺中央) 谷口明弘 (洛西ニュータウン 22.6~)
西海和成 (京都九条 ~21.5) 藤井本龍弘 (桃仁
会 ~22.5) 三好智和 (京都九条 22.6~) 【総務・
企画部会】○仲田昌司 (三菱京都) ○金岩孝也 (京
都民医連中央) 浅田 淳 (長岡 ~22.5) 池内研
二 (学研都市) 黒田正博 (京都リハビリテーシ
ョン ~21.5) 坂本裕里 (相馬) 杉浦隆史 (京都
南) 中野 哲 (長岡 22.6~) 山口寛士 (京都リ
ハビリテーション 21.6~) 【調査・研究部会】○
市場真澄 (いわくら) ○中川正之 (なごみの里)
上垣昭宏 (宇治武田 21.6~) 小嶋明彦 (もみじ
ヶ丘) 篠田浩之 (京都桂) 古田智史 (京都博愛
会) 益野秀樹 (京都久野 21.6~) 山口浩二 (京
都ルネス)

23・24年度 ◎茨木孝二 (亀岡 ~23.5) ◎仲田
昌司 (三菱京都 23.6~) 【教育・研修部会】○山
田正明 (堀川) ○廣瀬良太 (洛和会音羽) 麻田
博之 (蘇生会総合) 大西賢治 (西京都 23.6~)
海藻 達 (京都回生 ~23.5) 末廣健児 (京都田
辺中央) 谷口明弘 (洛西ニュータウン・清仁会)

藤田幸久 (亀岡 23.6~) 三好智和 (京都九条 ~
23.1) 【総務・企画部会】○仲田昌司 (~23.5)
○金岩孝也 (京都民医連中央) ○海藻 達 (23.6
~) 池内研二 (医聖会) 坂本裕里 (相馬) 杉
浦隆史 (京都南) 中江文香 (京都リハビリテー
ション 23.6~) 中野 哲 (長岡) 山口寛士 (京
都リハビリテーション ~23.5) 【調査・研究部会】
○市場真澄 (いわくら) ○中川正之 (なごみの里)
上垣昭宏 (宇治武田 21.6~) 小嶋明彦 (もみじ
ヶ丘) 篠田浩之 (京都桂) 伴 卓浩 (富田 23.6
~) 古田智史 (京都博愛会 ~23.5) 益野秀樹 (京
都久野 21.6~) 山口浩二 (京都ルネス)

●看護部長会

20年度【総務委員会】◎矢田貴子 (堀川) 長谷
川寿子 (京都博愛会) 南 京子 (新京都南) 中
島美代子 (京都大原記念 ~20.5) 小河陽子 (京
都きづ川) 松田保子 (伏見岡本) 【教育委員会】
◎長谷川寿子 (京都博愛会) ○中島美代子 (京
都大原記念 ~20.5) ○小河陽子 (京都きづ川)
○春日かほる (京都田辺中央 20.6~) 田中雅子 (川
越) 浦野貴子 (洛西シミズ) 山崎眞奈美 (西京
都) 谷口文代 (京都桂) 堤 恵子 (京都南)
上山さゆみ (京都リハビリテーション) 福島朋
樹 (新河端) 正美津恵 (京都久野) 阿形奈津子
(中央看護) 谷本千亜紀 (保健衛生) 【福利厚生
委員会】◎南 京子 (新京都南) ○松田保子 (伏
見岡本) 桐畑宏子 (西山) 畑田宏美 (シミズ)
井上早苗 (京都武田) 高橋鈴子 (相馬) 木村克
美 (蘇生会総合)

21・22年度【総務委員会】◎南 京子 (新京都南)
長谷川寿子 (京都博愛会 ~21.5) 矢田貴子 (堀
川 ~21.5) 小河陽子 (京都きづ川) 春日かほる
(京都田辺中央) 谷口文代 (京都桂 21.6~) 松
田保子 (伏見岡本 ~21.5) 畑田宏美 (シミズ
21.6~) 桐畑宏子 (西山 21.6~) 【教育委員会】
◎小河陽子 (京都きづ川) ○春日かほる (京都
田辺中央) ○谷口文代 (京都桂) 矢田貴子 (堀
川 21.6~) 長谷川寿子 (京都博愛会) 田中雅子
(川越) 浦野貴子 (洛西シミズ ~22.10) 亀岡シ
ミズ病院 22.11~) 山崎眞奈美 (西京都) 堤
恵子 (京都南) 上山さゆみ (脳神経リハビリ北

大路) 福島朋樹(新河端) 正美津恵(京都久野～21.8) 山本美紀(医仁会武田総合 21.6～) 阿形奈津子(中央看護) 谷本千亜紀(保健衛生) 【福利厚生委員会】◎畑田宏美(シミズ～22.10、洛西ニュータウン22.11～) ○桐畑宏子(西山) 松田保子(伏見岡本～22.5) 井上早苗(京都武田～21.5) 高橋鈴子(相馬～22.5) 木村克美(蘇生会総合～22.5) 谷中淑恵(長岡京 21.6～22.10) 大塚安子(加藤山科 22.6～) 高比良伸子(同志社山手 22.6～) 岩田裕花(伏見岡本 22.6～)

23・24年度【総務委員会】◎小河陽子(京都きづ川) 南京子(新京都南) 矢田貴子(堀川) 春日かほる(京都田辺中央) 谷口文代(京都桂) 畑田宏美(洛西ニュータウン) 桐畑宏子(西山) 【教育委員会】◎矢田貴子(堀川～24.3) ○春日かほる(京都田辺中央 24.4～委員長) ○谷口文代(京都桂) 浦野貴子(亀岡シミズ病院 24.4～副委員長) 長谷川寿子(京都博愛会) 田中雅子(川越) 山崎眞奈美(西京都～23.9) 堤 恵子(京都南) 上山さゆみ(脳神経リハビリ北大路～23.3) 福島朋樹(新河端) 山本美紀(医仁会武田総合) 元生早苗(八幡中央病院 23.6～) 和田めぐみ(西京都 24.1～) 阿形奈津子(中央看護) 谷本千亜紀(保健衛生) 【福利厚生委員会】◎畑田宏美(洛西ニュータウン) ○桐畑宏子(西山) 大塚安子(加藤山科) 高比良伸子(京都田辺中央～24.10) 岩田裕花(伏見岡本) 木元紀美子(京都田辺中央 25.3～)

●薬剤師部会運営委員会

20年度 ◎友沢明德(京都九条) ○橋元 誠(三菱京都) 浅野育子(京都民医連あすかい) 大津山裕美子(洛和会音羽) 佐藤和生(日本パプテスト) 中井登代美(がくさい) 中山太一(蘇生会総合～21.3) 沼田多重(西山病院) 益野秀樹(京都久野～21.3) 馬瀬久宜(医仁会武田) 守谷まさ子(綾部ルネス)

21・22年度 ◎友沢明德(京都九条) ○橋元 誠(三菱京都) 浅野育子(京都民医連あすかい) 大津山裕美子(洛和会音羽) 佐藤和生(日本パプテスト) 中井登代美(がくさい) 沼田多重(西

山病院～21.5) 馬瀬久宜(医仁会武田) 守谷まさ子(綾部ルネス) 下田優作(京都久野病院 21.6～) 藤井 亮(蘇生会総合病院 21.6～)

23・24年度 ◎佐藤和生(日本パプテスト) ○馬瀬久宜(医仁会武田) 友沢明德(京都九条～23.5) 橋元 誠(三菱京都～23.5) 浅野育子(京都民医連あすかい～23.5) 大津山裕美子(洛和会音羽) 中井登代美(がくさい～23.5) 守谷まさ子(綾部ルネス～23.5) 下田優作(京都久野病院) 藤井 亮(蘇生会総合病院) 表 忍(三菱京都 23.6～) 金森諭希(綾部ルネス 23.6～24.5) 國永智昭(京都九条 23.6～) 小関敦視(八幡中央 23.6～) 笹原千聖(京都民医連あすかい 23.6～)

●放射線技師部会

20年度 ◎渡里 弘(京都九条) ○嶋 耕二(宇治徳洲会) ○小池義雄(蘇生会総合) 永田哲朗(新河端) 茶谷和真(京都田辺中央) 菊元力也(洛和会音羽) 太田和志(富田) 内田昌宏(三菱京都～20.6) 川越 聡(武田) 平井 靖(三菱京都 20.7～)

21・22年度 ◎小池義雄(蘇生会総合) ○嶋 耕二(宇治徳洲会～21.5) ○永田哲朗(新河端) ○菊元力也(洛和会音羽) 渡里 弘(京都九条) 茶谷和真(京都田辺中央) 太田和志(富田～21.5) 川越 聡(医仁会武田総合～22.10) 平井 靖(三菱京都) 池信祐二(宇治徳洲会 21.6～) 宇野 隆(京都博愛会 21.6～) 森 吉修(京都桂 21.6～)

23・24年度 ◎永田哲朗(新河端～24.5) ◎茶谷和真(京都田辺中央 24.6～) ○菊元力也(洛和会音羽～23.5) ○茶谷和真(京都田辺中央～23.5) ○平井 靖(三菱京都) ○森 吉修(京都桂 24.6～) 渡里 弘(京都九条～23.5) 池信祐二(宇治徳洲会) 宇野 隆(京都博愛会) 森 吉修(京都桂～23.5) 大城怜央(洛和会音羽 23.6～) 小林大志(十条武田リハビリテーション 23.6～) 本庄慶二(新河端 24.6～)

●臨床検査部会

20年度 ◎山口俊朗(京都民医連中央) ○西村和司(武田) ○江口光徳(宇治徳洲会) 深澤武

各委員会委員名簿 (2020~2024)

◎=部長または委員長、○=副委員長、()内は所属する施設名

志(相馬) 小澤 優(京都保健衛生専門学校)
山田宣幸(三菱京都) 増田哲也(愛生会山科)
下田浩史(堀川)

21・22年度 ◎西村和司(武田) ○江口光徳(宇治徳洲会) ○小澤 優(京都保健衛生専門学校)
山口俊朗(京都民医連中央 ~21.5) 深澤武志(相馬) 山田宣幸(三菱京都) 増田哲也(愛生会山科) 下田浩史(堀川) 増田信弥(京都民医連中央 21.6~)

23・24年度 ◎西村和司(武田) ○江口光徳(宇治徳洲会) ○深澤武志(相馬) 小澤 優(京都保健衛生専門学校 ~23.5) 山田宣幸(三菱京都 ~23.5) 増田哲也(愛生会山科) 下田浩史(堀川) 増田信弥(京都民医連中央) 小川秀一郎(京都保健衛生専門学校 23.6~23.7) 清本 史(三菱京都 23.6~) 宮井 優(京都保健衛生専門学校 23.8~)

●栄養士部会運営委員会

20年度 ◎佐伯美和(伏見岡本) ○佐々木由美(洛和会音羽) 赤尾 志(宇治徳洲会) 熊田久美(なぎ辻) 福島由理(宇治おうばく) 森田秀之(十条武田リハ) 杉本篤子(京都民医連中央)

21・22年度 ◎佐伯美和(伏見岡本) ○佐々木由美(洛和会東寺南) 赤尾 志(宇治徳洲会) 熊田久美(なぎ辻) 福島由理(宇治おうばく) 森田秀之(十条武田リハ~21.5) 杉本篤子(京都民医連中央) 松村明美(北山武田 21.6~)

23・24年度 ◎佐伯美和(伏見岡本) ○佐々木由美(洛和会東寺南) 赤尾 志(宇治徳洲会) 熊田久美(なぎ辻) 福島由理(宇治おうばく) 杉本篤子(京都民医連中央) 松村明美(北山武田)

●臨床工学技士部会

20年度 ◎井上 武(医仁会武田総合) ○太田雅文(宇治徳洲会) 泉田洋志(京都保健衛生専門学校) 澤田正二(西陣 ~20.8) 松田英樹(西陣 20.10~) 藤井 耕(京都民医連あすかい) 垣谷圭佑(洛和会音羽記念) 岡田忠久(京都桂)

21・22年度 ◎井上 武(医仁会武田総合) ○太田雅文(宇治徳洲会) 泉田洋志(京都保健衛生専門学校) 藤井 耕(京都民医連あすかい) 垣谷圭佑(洛和会音羽記念) 岡田忠久(京都桂)

松田英樹(西陣)

23・24年度 ◎井上 武(医仁会武田総合) ○太田雅文(宇治徳洲会) 泉田洋志(京都保健衛生専門学校) 藤井 耕(京都民医連あすかい) 垣谷圭佑(洛和会音羽記念 ~24.3) 明石有加(洛和会音羽記念 24.5~) 岡田忠久(京都桂) 松田英樹(西陣)

●リハビリテーション部会運営委員会

20年度 ◎田村 篤(洛西シミズ) ○織田泰匡(同志社山手) ○田後裕之(京都岡本記念) 秋本喜英(医仁会武田) 荒木美奈子(京都民医連中央) 大嶋孝司(京都リハビリテーション) 大藪誠士(洛和会音羽リハビリテーション病院) 尾谷雅章(京都きづ川) 橋本幸典(京都大原記念) 山本佐知子(京都南)

21・22年度 ◎田村 篤(洛西シミズ) ○織田泰匡(同志社山手) ○田後裕之(京都岡本記念) 秋本喜英(医仁会武田) 荒木美奈子(京都民医連中央) 大嶋孝司(京都リハビリテーション) 大藪誠士(洛和会音羽リハビリテーション) 尾谷雅章(京都きづ川) 岸本紀和(十条武田リハビリテーション 21.6~) 高岡佐和子(京都大原記念 22.4~) 橋本幸典(京都大原記念 ~22.3) 山本佐知子(京都南)

23・24年度 ◎田村 篤(洛西シミズ) ○織田泰匡(同志社山手) ○田後裕之(京都岡本記念) 秋本喜英(医仁会武田 ~24.5) (宇治武田 24.6~) 荒木美奈子(京都民医連中央) 大嶋孝司(京都リハビリテーション) 大藪誠士(洛和会音羽リハビリテーション) 尾谷雅章(京都きづ川) 岸本紀和(十条武田リハビリテーション) 高岡佐和子(京都大原記念) 山本佐知子(京都南)

●私病報編集委員会

20年度 ◎近藤泰正(担当理事) 藤井本達弘 浅田淳(以上、事務長会派遣) 中澤美知子 松本旗江(以上、看護部長会派遣)

21・22年度 ◎近藤泰正(担当理事) 藤井本達弘(~22.5) 浅田淳(~22.5) 山口寛士(22.6~) 中野 哲(22.6~)(以上、事務長会派遣) 中澤美知子 松本旗江(~21.5) 佐伯昭子(21.6~)(以上、看護部長会派遣)

23・24年度 ◎清水 幹久 (23.6~) 近藤泰正 (~23.5) (以上、担当理事) 山口寛士 (~23.5) 中野 哲 伴 卓浩 (23.6~) (以上、事務長会派遣) 中澤美知子 (~23.5) 佐伯昭子 白岩八千代 (23.6~) (以上、看護部長会派遣)

●京都府医療勤務環境改善支援センター運営委員会 (*はオブザーバー)

20年度 清水鴻一郎 石丸庸介 清水 聡 清水史典 真鍋由美 (以上、担当役員) 山田正明 古田智史 (以上、事務長会派遣) 高橋鈴子 寺才元泰代 (以上、看護部長会派遣) 馬瀬久宜 (薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘 (勤務環境改善推進員) 松尾治樹 (京都府健康福祉部医療課主幹兼係長) * 安村史人 (京都府健康福祉部医療課主事) * 高塚知紀 (京都労働局雇用環境・均等室監理官) * 21年度 清水鴻一郎 石丸庸介 真鍋由美 清水聡 清水史典 (以上、担当役員) 山田正明 古田智史 (以上、事務長会派遣) 高橋鈴子 和田めぐみ (以上、看護部長会派遣) 馬瀬久宜 (薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘 (勤務環境改善推進員) 松尾治樹 (京都府健康福祉部医療課主幹兼係長) * 安村史人 (京都府健康福祉部医療課主事) * 高塚知紀 (京都労働局雇用環境・均等室監理官) * 22年度 清水鴻一郎 石丸庸介 真鍋由美 清水聡 清水史典 (以上、担当役員) 山田正明 古田智史 (以上、事務長会派遣) 岩田裕花 和田めぐみ (以上、看護部長会派遣) 馬瀬久宜 (薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘 (勤務環境改善推進員) 小林邦昭 (京都府健康福祉部医療課課長補佐兼係長) * 安村史人 (京都府健康福祉部医療課主任) * 高地美夏 (京都府健康福祉部医療課主事) * 本間徹 (京都労働局雇用環境・均等室室長補佐) * 23年度 清水鴻一郎 石丸庸介 真鍋由美 清水 聡 清水史典 (以上、担当役員) 大西賢治 山田正明 (以上、事務長会派遣) 岩田裕花 土川真理子 (以上、看護部長会派遣) 馬瀬久宜 (薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘 (勤務環境改善推進員) 小林邦昭 (京都府健康福祉部医療課課長補佐兼係長) * 安村史人 (京都府健康福祉部医療課副主査) * 池田一真 (京都府健康福祉部医療課主事) * 本間徹 (京都労働局雇用環境・均等室室長補佐) *

24年度 清水鴻一郎 石丸庸介 真鍋由美 清水 聡 清水史典 (以上、担当役員) 大西賢治 山田正明 (以上、事務長会派遣) 岩田裕花 土川真理子 (以上、看護部長会派遣) 馬瀬久宜 (薬剤師部会派遣) 滋岡嘉弘 (勤務環境改善推進員) 小林邦昭 (京都府健康福祉部医療課課長補佐兼係長) * 池田一真 (京都府健康福祉部医療課主事) * 森泰彦 (京都労働局雇用環境・均等室監理官) *

●看護人材確保支援事業検討委員会

20年度 ◎富士原正人 武田隆久 茨木孝二 (以上、担当副会長・理事) 海藻 達 (事務長会派遣) 植村ひかる 山本美紀 (以上、看護部長会派遣) 北村周士 (医療法人三幸会) 田中和也 (医療法人清仁会) 京都府健康福祉部医療課

21・22年度 ◎富士原正人 武田隆久 茨木孝二 (以上、担当副会長・理事) 益野秀樹 (事務長会派遣) 植村ひかる 山本美紀 (以上、看護部長会派遣) 北村周士 (医療法人三幸会) 吉田義雄 (医療法人清仁会) 京都府健康福祉部医療課

23・24年度 ◎富士原正人 真鍋由美 海藻 達 (以上、担当副会長・理事) 益野秀樹 (事務長会派遣) 山本美紀 元生早苗 (以上、看護部長会派遣) 北村周士 (医療法人三幸会) 吉田義雄 (~24.11) 近藤 論 (24.12~) (以上、医療法人清仁会) 京都府健康福祉部医療課

●きょうと介護・福祉ジョブネット看護職確保プロジェクトチーム

20年度 茨木孝二 (担当理事) 松下智子 (京都府老人福祉施設協議会) 吉田知壽留 (京都市老人福祉施設協議会) 河内育子 (京都府介護老人保健施設協会) 廣幡頭一 (京都知的障害者福祉施設協議会) 林 千鶴子 (京都府看護協会) 山本かおり (京都府訪問看護ステーション協議会) 野々口義也 (京都府社会福祉協議会) 京都労働局 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

21年度 茨木孝二 (担当理事) 高桑 勝 (京都府老人福祉施設協議会) 吉田知壽留 (京都市老人福祉施設協議会) 澤田美里 (京都府介護老人保健施設協会) 廣幡頭一 (京都知的障害者福祉施設協議会) 林 千鶴子 (京都府看護協会) 物

各委員会委員名簿（2020～2024）

◎=部長または委員長、○=副委員長、（ ）内は所属する施設名

部理奈（京都府訪問看護ステーション協議会）野々口義也（京都府社会福祉協議会）京都労働局 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

22年度 茨木孝二（担当理事）高桑 勝（京都府老人福祉施設協議会）吉田知壽留（京都市老人福祉施設協議会）松田美雪（京都府介護老人保健施設協会）山代浩史（京都知的障害者福祉施設協議会）林 千鶴子（京都府看護協会）物部理奈（京都府訪問看護ステーション協議会）野々口義也（京都府社会福祉協議会）京都労働局 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

23年度 海藻 達（担当理事）高桑 勝（京都府老人福祉施設協議会）吉田知壽留（京都市老人福祉施設協議会）川勝己代美（京都府介護老人保健施設協会）中西昌哉（京都知的障害者福祉施設協議会）林 千鶴子（京都府看護協会）物部理奈（京都府訪問看護ステーション協議会）井上真次（京都府社会福祉協議会）京都労働局 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

24年度 海藻 達（担当理事）高桑 勝（京都府老人福祉施設協議会）吉田知壽留（京都市老人福祉施設協議会）川端昭子（京都府介護老人保健施設協会）中西昌哉（京都知的障害者福祉施設協議会）矢田貴子（京都府看護協会）田辺順子（京都府訪問看護ステーション協議会）井上真次（京都府社会福祉協議会）京都労働局 京都府健康福祉部医療課 京都府健康福祉部介護・地域福祉課

●医師事務作業補助者研修検討委員会（24年度は勤務環境改善に係る研修会運営委員会）

20年度 武田隆久 仲田昌司（以上、担当副会長・幹事）宝輪克博 廣瀬良太 西海和成 荒井達雄（以上、事務長会派遣）

21年度 武田隆久 仲田昌司（以上、担当副会長・幹事）廣瀬良太 荒井達雄 杉浦隆史 上垣昭宏（以上、事務長会派遣）

22年度 武田隆久 仲田昌司（以上、担当副会長・幹事）廣瀬良太 荒井達雄（～22.5）杉浦隆史

上垣昭宏 三好智和（22.6～）（以上、事務長会派遣）

23年度 武田隆久 仲田昌司（以上、担当役員）廣瀬良太 杉浦隆史 上垣昭宏 三好智和（～24.1）（以上、事務長会派遣）

24年度 武田隆久 仲田昌司（以上、担当役員）廣瀬良太 杉浦隆史 上垣昭宏（以上、事務長会派遣）

●医療従事者確保強化事業検討委員会

20年度 畑 典男 茨木孝二（以上、担当理事）浅野育子 大津山裕美子 佐藤和生 沼田多重（以上、薬剤師部会派遣）

21・22年度 畑 典男 茨木孝二（以上、担当理事）浅野育子 大津山裕美子 佐藤和生 沼田多重（～21.5）（以上、薬剤師部会派遣）

23・24年度 畑 典男 市場真澄（以上、担当理事）浅野育子（～23.5）大津山裕美子 佐藤和生 金森諭希（23.6～24.3）小関敦視（23.6～）（以上、薬剤師部会派遣）

●診療報酬委員会

20年度 ◎富士原正人（担当副会長）○仲田昌司（担当幹事）篠田浩之（事務長会派遣）寺田克己（事務長会派遣～20.11）福島朋樹（看護部長会派遣）橋元 誠（薬剤師部会派遣）

21・22年度 ◎富士原正人（担当副会長）○仲田昌司（担当幹事）海藻 達（事務長会派遣～21.6）篠田浩之（事務長会派遣）福島朋樹（看護部長会派遣）橋元 誠（薬剤師部会派遣）

23・24年度 ◎富士原正人（担当副会長）○仲田昌司 海藻 達（23.6～）（以上、担当理事）篠田浩之（事務長会派遣）福島朋樹（看護部長会派遣）橋元 誠（薬剤師部会派遣～23.5）馬瀬久宜（薬剤師部会派遣 23.6～）

●介護保険委員会

20年度 ◎久野成人 ○近藤泰正 ○清水 聡 茨木孝二（以上、担当副会長・理事・幹事）中川正之 齊藤史雄（～20.6）（以上、事務長会派遣）長谷川寿子 門 真由美（以上、看護部長会派遣）川添チエミ（一般財団法人仁風会）木下大作（長岡）松本恵生（京都市岩倉地域包括支援センター）湯浅由美（西陣）長谷川智恵子（京都久野）オ

オブザーバー／京都府 京都市 清水 紘 (嵯峨野)
 21・22年度 ◎久野成人 ○近藤泰正 (～21.5)
 ○清水 聡 (～21.7) ○赤木 博 (21.6～) ○菊
 地三弥 (21.8～) 茨木孝二 (以上、担当副会長・
 理事・幹事) 中川正之 (事務長会派遣) 長谷川
 寿子 (～21.5) 門 真由美 (～21.5) 村中和美 (21.6
 ～) 田中悦子 (21.6～) (以上、看護部長会派遣)
 川添チエミ (一般財団法人仁風会) 木下大作 (長
 岡～21.5) 松本恵生 (京都市岩倉地域包括支援セ
 ンター～21.5) 湯浅由美 (西陣) 長谷川智恵子 (京
 都久野～21.5) 岡 昌子 (京都久野 21.6～) オ
 ブザーバー／京都府 京都市 清水 紘 (嵯峨野)
 23・24年度 ◎久野成人 ○赤木 博 ○菊地三
 弥 (～23.5) ○矢野裕典 (23.6～) 茨木孝二 (～
 23.5) (以上、担当副会長・理事) 中川正之 (事
 務長会派遣) 村中和美 (～24.5) 田中悦子 新
 井妙子 (24.6～) (以上、看護部長会派遣) 川添
 チエミ (一般財団法人仁風会) 湯浅由美 (西陣)
 岡 昌子 (京都久野) オブザーバー／京都府
 京都市 清水 紘 (嵯峨野)

●介護サービス第三者評価

評価調査者／磯部真理子 (公益社団法人信和会)
 稲岡秀陽 (医療法人同仁会) 榎原 良 川添チ
 エミ (一般財団法人仁風会) 川西真知子 (木津
 屋橋武田病院介護医療院) 北 昌城 (介護老人
 保健施設桃山) 兒玉邦子 (服部医院) 小寺 勝
 (社会福祉法人京都悠仁福祉会) 小中宏三 (社会
 福祉法人アイリス福祉会) 古矢野弘久 (介護老
 人保健施設やすらぎ苑) 正 美津恵 (京都武田)
 高月孝之 (久御山南) 瀧本稚子 (千春会介護複
 合施設東向日) 竹田ひろ子 (特別養護老人ホー
 ムやすらぎの杜) 棚瀬 裕 (介護付き高齢者住
 宅寺田ホーム) 坪田美也子 (介護老人保健施設
 西の京) 土井雅代 (医療法人社団育生会) 永野
 裕子 (吉川) 長谷川寿子 (京都博愛会) 藤居一
 洋 (丹後中央) 藤原啓行 (特別養護老人ホーム
 ヴィラ稲荷山) 星 綾子 (サービス付き高齢者
 向け住宅咲あん上京) 増田 典 松本恵生 (京
 都市内岩倉地域包括支援センター) 松本みちる (京
 都市沓掛包括支援センター) 山崎 論 (特別養
 護老人ホームヴィラ山科) 吉村秀和 (医療法人

清仁会)
 評価審査委員／渡邊善次 (軽費老人ホームヴィラ
 城陽)

●地域医療構想検討委員会

20年度 ◎清水鴻一郎 久野成人 富士原正人
 武田隆久 富田哲也 岡田 純 (～20.5) 小森
 直之 石丸庸介 藤澤明生
 21・22・23・24年度 ◎清水鴻一郎 久野成人
 富士原正人 武田隆久 富田哲也 小森直之 石
 丸庸介 藤澤明生 真鍋由美 (21.6～)

●救急医療検討委員会

20年度 ◎武田隆久 ○富士原正人 清水 聡
 清水史記 (以上、担当役員) 安田冬彦 (洛和会
 音羽) 西海和成 末廣健児 (以上、事務長会派遣)
 南 京子 岩田裕花 (20.9～) (以上、看護部長
 会派遣)
 21年度・22年度 ◎武田隆久 ○富士原正人 清
 水 聡 清水史記 (以上、担当役員) 安田冬彦 (～
 21.5) (洛和会音羽) 隅田靖之 (21.6～) (洛和会
 音羽) 西海和成 (～21.5) 末廣健児 篠田浩之
 (21.6～) (以上、事務長会派遣) 南 京子 (～
 22.5) 岩田裕花 (～22.5) 坂田 薫 (22.6～)
 下岡美由紀 (22.6～) (以上、看護部長会派遣)
 23年度・24年度 ◎武田隆久 ○富士原正人 清
 水 聡 清水史記 河端博也 (23.6～) (以上、
 担当役員) 隅田靖之 (洛和会音羽) 末廣健児
 篠田浩之 (以上、事務長会派遣) 坂田 薫 下
 岡美由紀 (以上、看護部長会派遣)

●感染症対策委員会

20年度 ◎清水 聡 ○清水史記 (以上、担当役
 員) 山田 豊 (京都民医連中央) 浅野育子 (薬
 剤師部会派遣) 永野裕子 谷口文代 (以上、看
 護部長会派遣) 植村陽子 (三菱京都～21.3) 深
 澤武志 (臨床検査部会派遣)
 21・22年度 ◎清水 聡 ○清水史記 ○菊地三
 弥 (21.6～) (以上、担当役員) 山田 豊 (京都
 民医連中央) 浅野育子 (薬剤師部会派遣) 永野
 裕子 谷口文代 (以上、看護部長会派遣) 深澤
 武志 (臨床検査部会派遣) 細野恵理 (三菱京都)
 23・24年度 ◎清水 聡 ○清水史記 ○菊地三
 弥 (～23.5) (以上、担当役員) 山田 豊 (京都

各委員会委員名簿 (2020~2024)

◎=部長または委員長、○=副委員長、()内は所属する施設名

民医連中央) 浅野育子 (~23.5) 下田優作 (23.6~) (以上、薬剤師部会派遣) 永野裕子 谷口文代 (以上、看護部長会派遣) 深澤武志 (臨床検査部会派遣) 細野恵理 (三菱京都)

●医療安全対策委員会

20年度 ◎小森直之 ○武田隆久 (以上、担当副会長) 坂本裕里 黒田正博 (以上、事務長会派遣) 坂田 薫 (看護部長会派遣) 益野秀樹 (薬剤師部会派遣) 渡里 弘 (放射線技師部会派遣) 増田哲也 (臨床検査部会派遣) 尾谷雅章 (リハビリテーション部会派遣) 赤尾 志 (栄養士部会派遣) 藤井 耕 (臨床工学技士部会派遣)

21・22年度 ◎小森直之 ○武田隆久 (以上、担当副会長) 坂本裕里 黒田正博 (~21.5) 山口寛士 (21.6~) (以上、事務長会派遣) 坂田 薫 (看護部長会派遣) 益野秀樹 (~21.5) 大津山裕美子 (21.6~) (以上、薬剤師部会派遣) 渡里 弘 (~21.5) 小池義雄 (21.6~) (以上、放射線技師部会派遣) 増田哲也 (臨床検査部会派遣) 尾谷雅章 (リハビリテーション部会派遣) 赤尾 志 (栄養士部会派遣) 藤井 耕 (臨床工学技士部会派遣)

23・24年度 ◎小森直之 ○武田隆久 (以上、担当副会長) 坂本裕里 山口寛士 (~23.5) 谷口明弘 (23.6~) (以上、事務長会派遣) 坂田 薫 (看護部長会派遣) 大津山裕美子 (薬剤師部会派遣) 小池義雄 (放射線技師部会派遣) 増田哲也 (臨床検査部会派遣) 尾谷雅章 (~23.5) 岸本紀和 (23.6~) (以上、リハビリテーション部会派遣) 赤尾 志 (栄養士部会派遣) 藤井 耕 (臨床工学技士部会派遣)

●府民リハビリテーション啓発支援事業検討委員会

20年度 富士原正人 武田隆久 岡田 純 (~20.5) (以上、担当役員) 田村 篤 織田泰匡 田後裕之 山本佐知子 (以上、リハビリテーション部会運営委員会派遣)

21年度 富士原正人 武田隆久 児玉直俊 (~21.6) (以上、担当役員) 田村 篤 織田泰匡 田後裕之 山本佐知子 (以上、リハビリテーション部会運営委員会派遣)

22年度 富士原正人 武田隆久 児玉直俊 (以上、担当役員) 田村 篤 織田泰匡 田後裕之 山

本佐知子 (以上、リハビリテーション部会運営委員会派遣)

23年度 富士原正人 武田隆久 児玉直俊 (以上、担当役員) 田村 篤 織田泰匡 田後裕之 山本佐知子 (以上、リハビリテーション部会運営委員会派遣)

24年度 富士原正人 武田隆久 児玉直俊 (以上、担当役員) 田村 篤 織田泰匡 田後裕之 山本佐知子 (以上、リハビリテーション部会運営委員会派遣)

●病院認知症対応力向上事業検討委員会

20年度 委員/◎武田隆久 (医仁会武田総合) 富田哲也 (富田) 畑 典男 (長岡) 近藤泰正 (堀川) 澤田親男 (北山) 松岡照之 (京都府立医科大学) 西村伊三男 (川越) 西村幸秀 (京都九条) 山田亜由美 (京都民医連中央) 坂井加津美 (北山) 山出健博 (長岡) 川添チエミ (一般財団法人仁風会) 矢田部信行 (いわくら) 山田みずほ (洛和会東寺南) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構 (京都府高齢者支援課)、京都市健康長寿のまち・京都推進室

21・22年度 委員/◎武田隆久 (医仁会武田総合) 富田哲也 (富田) 畑 典男 (長岡) 近藤泰正 (堀川) 澤田親男 (北山) 松岡照之 (京都府立医科大学) 西村伊三男 (川越) 西村幸秀 (京都九条) 坂井加津美 (北山) 辰巳弥生 (洛和会音羽) 山出健博 (長岡) 川添チエミ (一般財団法人仁風会) 矢田部信行 (いわくら) 山田みずほ (洛和会東寺南) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構 (京都府高齢者支援課)、京都市健康長寿のまち・京都推進室

23年度 委員/◎武田隆久 (医仁会武田総合) 富田哲也 (富田) 畑 典男 (長岡) 澤田親男 (北山) 西村伊三男 (川越) 西村幸秀 (京都九条) 大矢 希 (京都府立医科大学) 坂井加津美 (北山) 辰巳弥生 (洛和会音羽) 川添チエミ (一般財団法人仁風会) 矢田部信行 (いわくら) 山田みずほ (洛和会東寺南) 若井貴史 (長岡) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構 (京都府高齢者支援課)、京都市健康長寿のまち・京都推進室

24年度 委員/◎武田隆久 (医仁会武田総合)

富田哲也(富田) 畑 典男(長岡) 澤田親男(北山) 西村伊三男(川越) 西村幸秀(京都九条~24.9) (西山 24.10~) 大矢 希(京都府立医科大学) 坂井加津美(北山) 辰巳弥生(洛和会音羽) 川添チエミ(一般財団法人仁風会) 矢田部信行(いわくら) 山田みずほ(洛和会東寺南) オブザーバー/京都地域包括ケア推進機構(京都府高齢者支援課)、京都市健康長寿のまち・京都推進室

●病院地域包括ケアシステム強化事業検討委員会(在宅医療・介護連携体制支援事業、在宅医療・介護人材育成事業、病院在宅医療・介護体制強化事業検討委員会を含む)

20年度 委員/◎久野成人(京都久野) 近藤泰正(堀川) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 甲田由美子(京都民医連中央) 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) 勝尾一史(京都岡本記念) 日沖義治(京都博愛会) 大島恭子(武田) 矢田部信行(いわくら) 柴田拓哉(京都久野)

21年度 委員/◎久野成人(京都久野) 近藤泰正(堀川) 菊地三弥(千春会) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 甲田由美子(京都民医連中央) 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) 勝尾一史(京都岡本記念) 日沖義治(京都博愛会) 大島恭子(武田) 矢田部信行(いわくら) 柴田拓哉(京都久野)

22年度 委員/◎久野成人(京都久野) 近藤泰正(堀川) 菊地三弥(千春会) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 甲田由美子(京都民医連中央) 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) 勝尾一史(京都岡本記念) 日沖義治(京都博愛会) 大島恭子(武田) 矢田部信行(いわくら) 柴田拓哉(京都久野 ~22.10) 大橋倫子(京都久野 22.11~)

23年度 委員/◎久野成人(京都久野) 赤木博(なごみの里) 矢野裕典(洛和会音羽) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 甲田由美子(京都民医連中央) 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) 日沖義治(京都博愛会) 大島恭子(武田) 矢田部信行(いわくら) 大橋

倫子(京都久野) 佐藤紗知子(宇治リハビリテーション)

24年度 委員/◎久野成人(京都久野) 赤木博(なごみの里) 矢野裕典(洛和会音羽) 川添チエミ(嵯峨野病院居宅介護支援事業所) 甲田由美子(京都民医連中央) 松本恵生(京都市岩倉地域包括支援センター) 日沖義治(京都博愛会) 矢田部信行(いわくら) 大橋倫子(京都久野) 佐藤紗知子(宇治リハビリテーション) 杉本美和(医仁会武田総合) 小林舞見(京都市紫竹地域包括支援センター ~24.10)

●京都病院学会

第55回(2020年) 【学会長】清水鴻一郎(京都市リハビリテーション) 【副学会長】藤澤明生(賀茂) 山下俊幸(京都府立洛南) 【実行委員長】石丸庸介(京都田辺中央) 【副実行委員長】若園吉裕(京都桂) 【理事】岡田 純(脳神経リハビリ北大路) 小森直之(なぎ辻) 近藤泰正(堀川) 清水 聡(新京都南) 尼川龍一(日本バプテスト) 小林裕(京都第二赤十字) 島崎千尋(京都鞍馬口医療センター) 坪井知正(南京都) 【監事】富田哲也(富田) 辰巳哲也(京都中部総合医療センター) 【実行委員】外川敬介(京都市リハビリテーション) 生田 幹(京都府立洛南) 植村ひかる(京都田辺中央) 辻本かよ子(十条武田リハビリテーション) 四之宮敏宏(京都府立洛南) 谷口文代(京都桂) 瀧村孝一(京都市リハビリテーション) 馬瀬久宜(医仁会武田総合) 増田哲也(愛生会山科) 酒井徳昭(京都第二赤十字) 四方達二(京都南) 三浦健一(京都岡本記念) 井上直人(京都医療センター) 梅原久活(宇治おうばく) 岸本紀和(十条武田リハビリテーション) 大井ゆかり(京都保健衛生専門学校) 小西靖志(京都保健衛生専門学校) 安原郁子((専)京都中央看護保健大学校)

第56回(2021年) 【学会長】池田栄人(京都第一赤十字) 【副学会長】若園吉裕(京都桂) 藤澤明生(賀茂) 【実行委員長】尼川龍一(日本バプテスト) 【副実行委員長】石丸庸介(京都田辺中央) 【理事】小林 裕(京都第二赤十字) 島崎千尋(京都鞍馬口医療センター) 坪井知正(南

各委員会委員名簿 (2020~2024)

◎=部長または委員長、○=副委員長、()内は所属する施設名

京都) 吉田憲正(済生会京都府) 小森直之(なぎ辻) 近藤泰正(堀川) 清水 聡(新京都南) 清水 聡(京都南西~21.7) 清水史記(シミズ) 【監事】 辰巳哲也(京都中部総合医療センター) 清水鴻一郎(京都リハビリテーション) 【実行委員】 本多 登(京都第一赤十字) 佐藤靖洋(賀茂) 田中由美子(京都第一赤十字) 岩井和美(日本バプテスト) 辻本かよ子(武田) 矢田貴子(堀川) 松井久典(京都第一赤十字) 竹内隆馬(京都府立医科大学附属) 滝本寿史(綾部市立) 酒井徳昭(京都第二赤十字) 谷中景子(千春会) 三浦健一(京都岡本記念) 井上直人(京都医療センター) 奥村真也(十条武田リハビリテーション) 岸本紀和(十条武田リハビリテーション) 上野佳穂(京都保健衛生専門学校) 泉田洋志(京都保健衛生専門学校) 山本敏子((専)京都中央看護保健大学校)

第57回(2022年) 【学会長】藤澤明生(賀茂) 【副学会長】石丸庸介(京都田辺中央) 若園吉裕(京都桂) 【実行委員長】真鍋由美(八幡中央) 【副実行委員長】尼川龍一(日本バプテスト) 【理事】小森直之(なぎ辻) 近藤泰正(堀川) 清水 聡(新京都南) 清水史記(シミズ) 小林 裕(京都第二赤十字) 吉田憲正(済生会京都府) 黒田啓史(京都市立) 梶 龍兒(宇多野) 小池 薫(京都医療センター) 【監事】清水鴻一郎(京都リハビリテーション) 池田栄人(京都第一赤十字) 【実行委員】佐藤靖洋(賀茂 ~22.7) 志賀徹也(京都桂) 矢田貴子(堀川) 畑田宏美(シミズ ~22.10、洛西ニュータウン 22.11~) 岩井和美(日本バプテスト) 清水真奈美(京都桂) 河辺延枝(賀茂) 菱田啓介(洛和会音羽) 和田香織(京都岡本記念) 辻本紘史(蘇生会総合) 谷中景子(千春会) 三浦健一(京都岡本記念) 田村 篤(洛西シミズ) 奥村真也(十条武田リハビリテーション) 岸本紀和(十条武田リハビリテーション) 上野佳穂(京都保健衛生専門学校) 泉田洋志(京都保健衛生専門学校) 横関智恵((専)京都中央看護保健大学校)

第58回(2023年) 【学会長】若園吉裕(京都桂) 【副学会長】尼川龍一(日本バプテスト) 石丸庸介(京

都田辺中央) 【実行委員長】小林 裕(京都第二赤十字) 【副実行委員長】真鍋由美(八幡中央) 【理事】黒田啓史(京都市立) 小池 薫(京都医療センター) 吉田憲正(京都済生会) 水野敏樹(京都鞍馬口医療センター) 小森直之(なぎ辻 ~23.5) 近藤泰正(堀川 ~23.5) 清水 聡(京都南) 清水史記(シミズ) 赤木 博(なごみの里) 矢野裕典(洛和会音羽 23.6~) 【監事】池田栄人(京都第一赤十字) 藤澤明生(賀茂) 【実行委員】奥谷康次郎(京都桂) 貞由昌宏(京都田辺記念) 清水真奈美(京都桂) 徳田洋子(京都第二赤十字) 畑田宏美(洛西ニュータウン) 立木三千代(稲荷山武田) 入江篤志(京都桂) 瀬下貴大(京都第二赤十字) 木下博之(京都第二赤十字) 辻本紘史(蘇生会総合) 谷中景子(千春会) 三浦健一(京都岡本記念) 田村 篤(洛西シミズ) 奥村真也(十条武田リハビリテーション) 岸本紀和(十条武田リハビリテーション) 上野佳穂(京都保健衛生専門学校) 多田俊介(京都保健衛生専門学校) 川崎紀子((専)京都中央看護保健大学校)

第59回(2024年) ※「第65回全日本病院学会in京都」実施のため開催延期

●保健医療管理者養成講座運営委員会

20年度 ◎石丸庸介(京都田辺中央病院)(20.6~) 岡田 純(脳神経リハビリ北大路)(20.6~) 清水史記(シミズ) 真鍋由美(八幡中央)(以上、担当役員) 池内研二(以上、事務長会派遣) 木村克美(以上、看護部長会派遣) 今井隆久 山田剛(以上、保健医療管理士会) 佐藤真喜子(京都保健衛生専門学校事務局長) 津崎桂子(京都私立病院協会事務局長)

21・22年度 ◎石丸庸介(京都田辺中央病院) 清水史記(シミズ)(担当役員) 池内研二(以上、事務長会派遣) 木村克美(~22.5) 長谷川寿子(22.6~)(以上、看護部長会派遣) 今井隆久 山田剛(以上、保健医療管理士会) 佐藤真喜子(京都保健衛生専門学校事務局長) 津崎桂子(京都私立病院協会事務局長)

23・24年度 ◎石丸庸介(京都田辺中央病院) 清水史記(シミズ) 清水幹久(23.6~)(以上、

担当役員)池内研二(以上、事務長会派遣) 長谷川寿子(以上、看護部長会派遣) 今井隆久 山田 剛(以上、保健医療管理士会) 津崎桂子(京都私立病院協会事務局長)

●環境問題委員会

20年度 ◎藤澤明生 明石 純(以上、担当副会長・幹事) 市場真澄 金岩孝也(以上、事務長会派遣) 高橋鈴子 矢田貴子(以上、看護部長会派遣) 茶谷和真(放射線技師部会派遣) 江口光徳(臨床検査部会派遣) 福島由理(栄養士部会派遣)

21・22年度 ◎藤澤明生 明石 純(以上、担当副会長・幹事) 市場真澄 金岩孝也(以上、事務長会派遣) 高橋鈴子(～22.5) 矢田貴子 岩田裕花(22.6～)(以上、看護部長会派遣) 茶谷和真(放射線技師部会派遣) 江口光徳(臨床検査部会派遣) 福島由理(栄養士部会派遣)

23・24年度 ◎藤澤明生 明石 純(～23.5) 武田敏也(23.6～)(以上、担当副会長・理事) 市場真澄 金岩孝也(以上、事務長会派遣) 矢田貴子(～24.3) 岩田裕花(以上、看護部長会派遣) 茶谷和真(放射線技師部会派遣) 江口光徳(臨床検査部会派遣) 福島由理(栄養士部会派遣)

●病院機能向上委員会

20年度 富士原正人 武田隆久(以上、担当副会長) 廣瀬良太(事務長会派遣) 齋藤文代 山本薫里(以上、看護部長会派遣)

21・22年度 富士原正人 武田隆久(～21.5) 武田敏也(21.6～) 明石 純(以上、担当役員) 廣瀬良太(～21.5) 山口寛士(21.6～)(以上、事務長会派遣) 齋藤文代 山本薫里(～21.5) 塚本美晴(21.6～)(以上、看護部長会派遣)

23・24年度 富士原正人 武田敏也 明石 純(以上、担当役員) 山口寛士(～23.5) 三好智和(23.6～24.1) 金岩孝也(24.6～)(以上、事務長会派遣) 齋藤文代(～23.5) 塚本美晴 飯古美詠子(23.6～)(以上、看護部長会派遣)

●情報セキュリティ向上対策事業検討委員会

22年度 児玉直俊(担当役員) 井關博喜(洛和会ヘルスケアシステム) 大木達雄(武田病院グ

ループ) 前田 正(医療法人清仁会)

23年度 児玉直俊(担当役員) ◎井關博喜(洛和会ヘルスケアシステム) 大木達雄(武田病院グループ) 前田 正(医療法人清仁会)

24年度 児玉直俊(担当役員) 井關博喜(洛和会ヘルスケアシステム) 大木達雄(武田病院グループ) ◎前田 正(医療法人清仁会)

●病院対抗野球大会実行委員会

20年度(中止)

21年度(中止) ◎加茂有紀浩(いわくら) ○西野優也(京都岡本記念) 江口光徳(宇治徳洲会) 北本雄大(洛和会音羽記念) 松下和彦(医仁会武田総合) 木下良信(京都久野)

22年度(中止)

23年度 ◎加茂有紀浩(いわくら) ○高取優人(京都岡本記念) 江口光徳(宇治徳洲会) 北本雄大(洛和会音羽記念) 松下和彦(医仁会武田総合) 木下良信(京都久野)

24年度 ◎松下和彦(医仁会武田総合) ○松田隆志(同志社山手) 江口光徳(宇治徳洲会) 加茂有紀浩(いわくら) 高取優人(京都岡本記念) 兵等裕一(洛和会本部)

●病院対抗バレーボール大会(旧・病院対抗女子バレーボール大会)実行委員会

20年度(中止) ◎吉岡喜代美(京都武田) 江川大地(京都大原記念) 安東寧浩(宇治徳洲会) 岡田英子(医仁会武田総合) 塩谷智子(新河端)

21年度(中止)

22年度(中止)

23年度(中止)

24年度 ◎安東寧浩(宇治徳洲会) 江川大地(京都大原記念) 岡田英子(医仁会武田総合) 別府美穂(洛和会音羽)

●病院対抗フットサル大会実行委員会

20年度(中止)

21年度(中止)

22年度(中止)

23年度 ◎前田啓人(蘇生会総合病院) 池田昌司(京都九条) 久保田聡(西陣) 鷺見俊亮(京都回生)

24年度 ◎池田昌司(京都九条) 久保田聡(西陣)

各委員会委員名簿（2020～2024）

◎=部長または委員長、○=副委員長、（ ）内は所属する施設名

前田啓人（蘇生会総合病院） 鷺見俊亮（京都回生）

●会員親睦ゴルフコンペ実行委員会

20年度（中止）

21・22年度 ◎富士原正人（担当役員） 茨木孝二（担当役員） 山田正明 上垣昭宏（以上、事務長会派遣）

23・24年度 ◎富士原正人（担当役員） ○藤澤明生（担当役員） 上垣昭宏 藤田幸久（以上、事務長会派遣）

京都私立病院協会・創立60周年記念誌 2020-2025年度

2025年3月31日発行

発行者 一般社団法人 京都私立病院協会
〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地 COCON 烏丸8階
TEL(075)354-8838 FAX(075)354-8802 <https://www.khosp.or.jp>

制作 株式会社ティ・プラス
〒604-8457 京都市中京区西ノ京馬代町6-16
TEL(075)462-7889 FAX(075)464-3923 <https://tplus-group.co.jp>